

---

# **なにかが違うGXと3邪神**

ナム

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

なにかが違うGXと3邪神

### 【Zコード】

Z0547V

### 【作者名】

ナム

### 【あらすじ】

・・・なにかが違う・・・。

なにかが違うのだ。

なにかはわからないが、どこかが違うのだ。

・・・おもに、十代とか精霊とかが。

ひひやら死んだようだが・・・。

俺の目の前に、四季映姫様のような人が、座っている。

・・・かわいい・・・。

「あなたには、転生してもらいます。」

・・・ゑ・・・?

いや待て・・・死んだ記憶ないんだけど・・・。

・・・とりあえず、お持ち帰りしても、いいですか?

マジかわいいよ閻魔様・・・。

「本来ならば、あと77年生きたはずです。」

・・・無駄に長生きしたんだな・・・俺・・・。

「で、転生先を、リストにしてみましたので、その中から、選んでください。」

どれどれ・・・うん・・・いろいろとおかしいね

転生先リスト2011

- ・ 日常
- ・ 北斗の拳
- ・ リリカルなのは
- ・ ドラクエ
- ・ 遊戯王GX
- ・ ランダム
- ・ ギャグ漫画日和
- ・ ブラックロツクシユーター
- ・ モンハン
- ・ ポケモン
- ・ スターウォーズ
- ・ トランسفォーマー（コンボイ）
- ・ マリオ

- ・ 東方
- ・ ガンダム（初代）
- ・ 初代遊戯王
- ・ ネウロ
- ・ もう一つの現実

「遊戯王GXで。」

「……ほとんど死」「フラグだし、ほとんど普通に死ぬし。  
わかりました……。

なにか望むものがありますか？」

「全力ード9枚ずつ

キヤラメル4箱とハバネロ4箱

俺の『現実』でやっていたアニメのDVD全部で。」

「……わかりました。それでは転生させますね。（そんなんじゃ

虫歯になりますよ……。）」

そう呟いた瞬間、真っ暗な穴が……。「ああああああああああ  
ああ。」

死んだようだが……（後書き）

今回が初投稿です。

褒められると伸びます。

罵倒されても興奮しません。

見苦しい点や誤植などが、あつまいたら、「」指摘お願いいたします。

**実技試験に遅刻・・・乗る電車まちがえた・・・（前書き）**

前回の続々・あの世から落ちてきました。

実技試験に遅刻・・・乗る電車まちがえた・・・

視点：主人公

場・受験会場

ガスの元栓閉めたかな？と心配しつつ受験票を受け取る。

まあ、ぼちぼちやりますか。

門1

ダークキメラに収縮を使った時の攻撃力を答えよ。

・・・ゑ・・・なぜダーク・キメラ?  
805・・・だよな・・・。

門2

エラーカードを3枚答えよ。

・・・まあ、難しいな。これ。

ほとんどの問題は分かったのだが、ある問題で、手が止まった。

門88

オレイカルコスと名のつくカードを3枚答えよ。

マテ社長、この問題はいろいろと問題があるよ社長。  
この問題はひとまず置いて、ほかの問題をやろう。

受験番号は108番だった。

・・・一覧すらして書いてしまったようだ。

『受験番号108番、月影永理さん

4番の決闘場に移動してください。』

・・・俺の出番か・・・。

今更だが、自己紹介だ。俺は月影永理。元の世界では学生だった。つて、誰に言っているんだ俺は。

俺がそう呟いているといつの間にか決闘場につまずいた。周りから笑い声が聞こえる・・・その前に顔が痛い・・・。

「君が受験番号108番か。

よろしく。」

「よろしくおねがいします。」

「『デュエル』」

「私の先行、ドロー。」

私は、魔法カード『古のルール』を発動。

手札から『コスマクイーン』を特殊召喚。』

女王様がフィールドに現れた。・・・タイプじゃないな・・・。

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンド。」

あいつ終わつたな。

可哀想に・・・と聞こえてきたが気にしない気にしない。

「俺のターン、ドロー。」

手札から魔法カード『デスマテオ』『火炎地獄×3』発動。』

・・・なんか口からエクストラズマーみたいなのが出ているが気にならないことにしよう。

さあ、テュエルだ（前書き）

オリカ出します。

## さあ、デュエルだ

視点・月影永理

合格通知が届いた。

レッド寮のはいい幽霊もこの際どうでもいい問題なのは

「なぜ貴様らがいる・・・『邪神』共」  
俺が疑問に思つてることを口にするアバターが  
「神に不可能などないっ」て、言つていた。  
しばらくの間邪神たちとマ○オゴルフを

やつていたら、歓迎会の時間になつたので行つた。  
邪神たちがズルいぞとか言つていたが、無視した。

料理？・・・美味かつたとだけ言つておこひ。

俺は食後の、デザート（ちなみに今日はエビフライだ）を  
食べていると、PDAからにゃんにゃんにーはおにゃんと聞こえて  
きた。

どうやら、万丈目たちとのデュエルのようだ。  
メールの内容から、そだらう。

ちなみにフェバリットカードは『モリンフーン』だ。  
まあ、アイドルカードみたいなものだが・・・。

デュエル自体は別に良いのだが

デザートの時間を邪魔した代償・・・きちんと払つてもらおう。  
俺がそう思つてると幽霊の栄ちゃんから顔が怖いつて言われた。  
ちょっとへこみつつ俺は着信音を替えた。  
何に変えたって？最終鬼畜妹です。

俺がデュエル場に行くと、万丈目たちがいた。  
どうやら俺が先にデュエルらしい。

相手は水色のほうか・・・  
まあいい。我がサンプルテックの一つ  
大邪神祭のモルモットにしてやる。

「「デュエル」」

「俺のターン、ドロー。」

先行が取られた・・・俺の、勝ちは決定したな。  
俺がそう思つていると、モブ1がゴブリン突撃部隊を召喚して  
デーモンの斧を装備させターンエンドした。

罷力ードぐらい伏せるよエリート（笑）

「俺のターン、ドロー。」

俺は手札から『嘆きの幽霊』を特殊召喚  
俺の場に嘆きの亡靈みたいなのが現れた。  
友達になりたいな・・・。

「俺は『嘆きの幽霊』を生贊に捧げ  
『邪教神官』を召喚」

嘆きの幽霊が崩れ落ちて  
ハーゴンみたいなのが出てきた。

「『邪教神官』を生贊に捧げ  
デッキから  
『邪神アバター』を特殊召喚。」

邪教神官が闇に飲み込まれ、黒い丸が現れた。

登場時『映画のタイトルになりました』

と言っていたが、情報が・・・古いよ。

「魔法カード『死者蘇生』を発動

墓地から『邪教神官』を特殊召喚

『邪教神官』を生贊に捧げ『邪教幽霊』を

デッキから特殊召喚。」

俺の場に蒼い幽霊が現れた。

まあまあ可愛いな、勿論クリボーみたいな感じだ。

「『邪神アバター』でこう『ガードマン』が来たわ  
見つかったら退学よ。」「え？」

あと少しなのに・・・あと少しで勝てるのに・・・。

そう思いつつ、俺は逃げます。十代が騒いでいるが無視していった。

「で、どうだつた？ブルー生徒の洗礼を受けて。」

「話にならん弱すぎる面白くもない眠いエビフライが食べたいリオ  
レイアが倒せない」

「後半から、関係なくなっているわよ。」「

「大丈夫だ、問題ない」

俺は明日香を軽く受け流しつつ、帰った。

見たことのないモンスターを使う生徒  
面白そうな人・・・。

## さあ、デュエルだ（後書き）

初の原作キャラ 初のオリカ  
ほぼ初の後書きというのも珍しいんじゃないでしょうか。  
今回初めてまともにデュエルを書きました。

・・・モリンフェンは弱い？表に出る。

オリカの説明は下に書いておきます。

『嘆きの幽靈』

レベル；2

闇属性

攻撃力；666

守備力；2200

アンデット族；効果

このカードはフィールドに存在しない場合

このカードは『邪神』として扱う。

自分フィールド場にモンスターが存在しない場合  
手札から特殊召喚できる。

『邪教神官』

レベル；5

攻撃力；1940

守備力；4500

闇属性

悪魔族；効果

このカードを生贊に捧げ『邪神』と名のついた  
モンスターを一体、召喚制限を無視して  
デッキ特殊召喚する。

『邪教幽靈』

攻撃力：0

守備力：5000

レベル7

闇属性

アンデット族：効果

このカードの攻撃宣言時攻撃力を4000ポイントアップする。

このカードは戦闘によつては、破壊されない。

トロシヤ発動アモ つまう ルル（通常モード）

トロのレイバー、 もうと全端クリア できたら~。  
レイ可憐こよレイ。

## トラップ発動げき りゅう そつ

視点・月影

テスト前日に、隣の部屋から呪詛のよつなものがきてきたから  
ぞいてみると・・・。

オシリスに拝んでいました。

翔よ、なぜそんなにも、死者蘇生を持っているのかね。  
たしか、かなりのリアカードだったはずだが・・・。  
そう思いつつ、俺は布団に潜った。

視点・ジHd・・・・ゲフンゲフン・・・・十代

月影が起きてこない・・・。  
寝ているんだろうか。

いや

それはないと・・・。

そう思っていた時期が、俺にもありました・・・。  
だって寝てるし・・・。

昨日の黒丸がそう言つていたし・・・。  
でも、もつ8時だぜ？寝すぎじゃないか？  
俺がそう思つていると

黒丸が『昨日、徹夜で○ンハンをやっていたからね』って答えた。  
俺が月影を起こさつとすると寝言で  
「トラップ・・・発動・・・げき りゅう そつ」て、言つてい  
た。

「じゃあ、俺は先に行くぜ。」

『いつてらっしゃーい。』

今思えば、あいつ等見たことないカードだった。

視点：ドレッド・ルート

ぐつすり寝てるな・・・

あいつは・・・。

と思いつつ俺はあいつを起こす方法を考えた。

拷問車輪・・・は駄目だったな・・・。

バイサー・ショックは・・・起きなかつたな・・・。

・・・よし諦めよう・・・。

そう決めつつパソコンの電源を付けた。

視点：十代

結局、来なかつたな・・・授業・・・。

明日・・・テストなのに・・・。

あと翔・・・その儀式みたいなのが怖いからやめて。

翌日

視点：寝てた人

4日ぶりに寝た気がするが、たぶん気のせいだ。

そう思いつつ俺は寮を、あとにした。

テスト・・・だと・・・。

まあ、この程度の問題、35分あれば十分だ。

あとは・・・、実技か・・・。

恐らく相手は、前のアイツだな・・・たぶん。

そう予想しつつ、俺は『デュエル場へ向かつた。

「貴様が相手か・・・。

昨日の借り、返させてもらう。」

「返品はお断りです。」

「『デュエル』」

「俺の先行、ドロー。」

手札は・・・まあまあだな。

「俺はモンスターをセット  
カードを伏せ、ターンエンドだ。」

「俺のターン、ドロー

俺は、魔法カード『ワン・フォーワン』を発動。  
手札の『ボルト・ヘッジホッグ』を墓地に送り  
デッキから『千眼の邪教神』を特殊召喚。

『ジャング・シンクロン』を攻撃表示で召喚。

『ジャング・シンクロン』の効果により『ボルト・ヘッジホッグ』  
を特殊召喚。』

ワンターンでシンクロをするのは凄いが、俺はその斜め上を行く。

「トラップ発動『激流葬』」

相手が『な・・・なんだつてー』って顔をしている。だが、まだ相手のメインフェイズは終了していないぜ。

「破壊された、『ワイス・コア』の効果、発動。

自分フィールド場のモンスターカードをすべて破壊し  
デッキから

『機皇帝ワイゼル』

『ワイゼルT』

『ワイゼルA』

『ワイゼルG』

『ワイゼルC』を特殊召喚する。」

まわりから『きれい

とか『ガンダムですか?』

とか『ふつくしい』

とか、聞こえてくる。

「さつさと、エンド宣言をしな、モブ1」

「・・・カードを・・・伏せ

ターン・・・エンド・・・。

これでジ・エンドだな。

「俺のターン、ドロー

俺は魔法カード『ハリケーン』を発動。」

生暖かい風が、辺りを駆け巡ると、モブ1の伏せていたカードが飛んでった。

「手札から永続魔法『一族の結束』を発動し、バトル

『機皇帝ワイゼル』で攻撃。

『爆熱ゴッドフインガー』。

どこからか『Gガンダムですか?』と聞こえたが、気にしないよう

にした。

ワイゼルが相手に突っ込んで・・・爆発?!!  
さすが社長、俺たちじゃできないことを、平然となつてのける  
そこにシビれる憧れるう。

まあ、イエローへの昇格は無かつたんだけどね。

前編・主人公が、敵サイドに入るつて、どうなの？

視点・アバター

『『憑依するブラット・ソウル』でダイレクトアタックです。』

『ヒテブツ。』

どうも、アバターです。

俺は、栄ちゃんと、デュエルをしてました。

『ぐ・・・偶然ですよ。』

『偶然で、14回も負けるか・・・普通？』

『栄ちゃんに、勝つたこと、一度もないもんね～。』

『あべしつ。』

昨日は、ビートだったから、ロービートを構築したのに・・・。

何故負けるのだ。あれか、3邪神（俺たち）は弱いのか？

「お前が弱いだけだろ。」

『たわらばつ』

酷いよ酷いよみんな酷いよ。

（そう言えば、初めて喋ったなあ私。）

そう静かに思う、栄ちゃんでした。

視点・月影

アバターが今日も負けたようだ。

栄ちゃんは、なぜ憑依するブラット・ソウルを入れているんだろう。アバターは、どう考へても弱すぎるな・・・。  
さて、PCで幻想郷でも、しますかな。  
PCの電源を入れた。

数時間ぐらいたつたので

なんとなく、廃寮に行きたくなつたので  
PCの電源を切つた。

「少年移動中」

適当にぶらぶらと歩いていると  
明日香の姿が見えた。

あとを追いかけると、あの人気がいた。

「我が名は、タイタン。

闇のデュエリストだ。

かかつてこい遊城じゅうと・・・だれだつ！－

「俺の名は、月影永理

十代を狙つているらしいなあ。」

「貴様、なぜそのことを、お前が  
知つている！－！」

お前が言つたんだろ、お前が。

「そんなことはどうでもいいだろ。

貴様が十代を狙つているのなら、俺と共に戦え。

「何故？ 貴様には、メリットなど無いはず。」

疑つてゐるなあ、当たり前か

俺にはメリットなど無いからな。

「俺は奴が気に入らないから  
潰したいと思つてゐる。

ただ、それだけだ。」

「十代が、『そんなにも嫌いなのか？』

「当たり前だよ。」

(そんなにも、嫌われているのか……あいつは。)

「だが、貴様のデッキでは、私との相性が……」

「問題は、そこな『話は、すべて聞かせてもらつた』だれだ！」

「！」

声がしたほうを、見ると、万丈目が立っていた。

なぜこんな時間に……？

「……何の用だ、万丈目。」

「万丈目さんだ。」

どつちでもいいだろ。

「まあいい。

タイタンとやら、十代とのデュエルはこの俺  
万条目様が、やる。」

「なら、ストーリーを用意しないとなあ。」

俺はさつそく作ったストーリーをタイタン達に教えた。  
我ながらいいストーリーができたぜ。

視点：遊城 十代

俺たちが、廃寮を探検していると

明日香の悲鳴が聞こえた。

「ひいっ、きっと彼氏が浮気して

それに絶望して自殺した女性の靈の声っすよ～。」

どう聞いても明日香の声だつたんだが。

ビビり過ぎじやないか？

「アニキ～、もう帰りましょ～。」

「も・・・もう、帰つたほうが、い、いいと、おおお思つんだな。

みんなビビり過ぎだる。

「でも、どう聞いても、明日香の声に、聞こえたんだが？」

俺たちが、悲鳴のした方向に行くと

月影と万丈目がいた。

「我が名は、タイタン。

闇のデュエリストである。」

セルだ。セルに、そつくりの声だ。

### 視点・月影

まんまと引っかかりおつたな、ヴァカめ。  
すべて、計画どうりだ。

十代はさらわれたと思つてゐるらしい。

(万条目、計画どうりに、行くぞ。)

(万条田さんだ。)

・・・そろそろか。

「貴様の相手をするのは、俺じゃない。  
こいつらたちだ。」

十代が、なんか騒いでいるが気にせず  
タイタンは、ストーリーを進めた。

「このデュエルに、負けた者は闇に葬られる。  
言わば、闇のゲームだ。」

「闇のゲームなんて、あるわけがねえ。」

「信じるか信じないか、どちらにせよ  
・・・助かるのは、貴様らか、こいつらか・・・だ。  
」

勿論、嘘だがな。

だが、奴は単純だ。すぐに信じるだろう。  
此処までは、ストーリーどうりだ。  
さあ、遊びの始まりだ。

「「デュエル」

今日は、タイタンはデュエルをしないらしい。  
みじとな、原作ブレイクだな。

「俺の先行、ドロー。」「

ひひひ、我が新たなるデッキの力を思い知るがよい。

「俺は手札から魔法カード『愚かな埋葬』を発動する。  
デッキから『DT・デスサブマリン』を墓地に、送る。」「

「聞いたことのないカード

でも僕のデッキの敵じゃない。」「

くくく、俺がその幻想をぶち殺す。

「『DT・デスサブマリン』の効果、発動。

蘇えれ、デスサブマリン。」「

俺の場に、黒い潜水艦が現れた。

「俺は、手札から『邪神の器』を、特殊召喚。

レベル1『邪神の器』にレベル9『DT・デスサブマリン』をダ  
クチユーニング。」「

「「ダークチユーニング?!?!」「

シンクロ召喚時とは違い、邪神の器が闇に飲み込まれた。

1 - 9 = - 8

「全てを呪殺する闇の龍よ。我が使い魔を贊にし  
我が勝利を約束せよ。

ダークシンクロ召喚、『破滅の邪龍 サタン』召喚。」「

真っ黒な龍が俺の場に現れた。

ちなみに噂ではサタンというのは、一個体を示しているわけではな  
い、らしい。

「ダークシンクロ? おい永理、そんな召喚方法聞いたこともないぞ。」「

「すっげえ。これが永理の・・・モンスター・・・。  
でも破壊できないモンスターはいない、絶対勝てるわけではないぜ。」

「勝てる？無理だろ。

てか、このカード、能力が、チートだな。

「『邪神の器』の効果により、デッキから

『邪神レイザー』を手札に加える、」

まあ、がんばって倒してくれよ？俺のモンスターを。

## 前編：主人公が、敵サイドに入るつて、どうなの？（後書き）

ついに出しました。ダークシンクロ。では、オリカの、説明をいたしますね。

『邪神の器』

レベル：1

闇属性

攻撃力：0

守備力：0

悪魔族；効果

このカードは、自分フィールド場にDTと名のつくモンスターが存在する場合、特殊召喚できる。

このカードが、ダークシンクロ召喚の素材として、墓地に送られたとき、デッキから、邪神と名のついたモンスターを手札に加えることができる。

『破滅の邪龍 サタン』

レベル：-8

闇属性

攻撃力：0

守備力：-1500

「DT」と名のついたチューナー+チューナー以外のモンスター1体このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「DT」と名のついたチューナーのレベルから、それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルを引き、その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬこのカードが戦闘を行う場合、デッキから闇属性モンスターを墓地に送る事ができる

このカードの攻撃力は、墓地の闇属性モンスター一體につき、600ポイントアップする。

## 後編・主人公より敵が好きです（前書き）

万条目を強化しそぎました。  
だが、自嘲しない。

## 後編・主人公より敵が好きです

視点：万丈目

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ。」

まさか奴が『ターン』田から、ダークシンクロを使うとは  
本来は出しにくいと、永理から聞いていたが。  
次は・・・水色の髪のドロップアウトか。

「僕のターン、ドロー。

手札から『沼地の魔神王』を捨て、『融合』を、手札に加える。』

まさか、1ターン田から、融合をするといつのか?  
まあ、遊城十代よりは、ましか。。。

「手札の『サイバー・ドラゴン』2体を融合。」

まさか出るのか?1ターン田から。

「『サイバー・ツイン・ドラゴン』を融合。」

アレ、もの凄くヤバいんじゃ。

「ターンエンドだ。」

馬鹿か!つい、カードぐらい伏せりよ。

「俺のターン、ドロー。

手札から魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動  
手札の『ヘル・ドラゴン』を捨て、デッキから

『ヘルセキュリティ』を特殊召喚

さらに、魔法カード『地獄からの誘い』発動  
このカードは、自分フィールド場に、ヘルと名のついたモンスター  
が存在するときにのみ

発動が可能、手札または墓地から、レベル6以下のヘルと名のついたモンスターを1体特殊召喚する。

俺は墓地から、『ヘル・ドラゴン』を特殊召喚する。  
俺は、レベル4『ヘル・ドラゴン』にレベル1『ヘルセキュリティ』  
をチューニング。』

馬鹿みたいに手札が良いな。  
だが、俺は自嘲しないぜつ。

「地獄より来たりし暗黒の書物よ。長き封印を解き、我が土地に現  
れよ。

シンクロ召喚、呪殺せよ、『地獄の書物』。  
ドロップアウトボーキ達が騒いでいるが、無視しよう。

『『地獄の書物』の効果、発動。

手札の地獄と名のついたモンスターを1体、墓地に送ることで、効  
果発動。

相手フィールド場のモンスターのコントロールを、1体得る。  
さあこい。『サイバー・ツイン・ドラゴン』。』

「ああ、僕の『サイバー・ツイン・ドラゴン』があー。」  
「カード一枚伏せ、ターンarendだ。」

あれ？俺のデッキって、こんなにも展開力あつたっけ？

視点・月影

万条目よ、手札消耗しそぎだ。

だが、手札の消費量が2枚で、ダークシンクロの俺は、どうなるん

だろう。

しかし・・・十代がいきなりシャイニング・フレア・ウイングマンを融合召喚したのには、驚いた。

アイツのドローは、もはやチートだな。

「俺のターン、ドロー。」

俺は『マンジュー・ゴッド』を召喚する。

『マンジュー・ゴッド』のモンスター効果によりデッキから、『高等儀式術』を手札に加え、発動する。デッキから『モリンフェン』『青眼の銀ゾンビ』を墓地に送り、『闇の支配者 ゾーク』を儀式召喚。

へんな仮面を被つたおっさんが出てきた。

おお、きもいきもい。

「だ・・・『闇の支配者 ゾーク』・・・?」

「なんか怖いっすよ~。」

(永理・・・エグイことするなあ~。)

(全く台詞がない、特別ゲストなのに・・・)

・・・タイタンすまぬ。

「『闇の支配者 ゾーク』のモンスター効果、発動。ダイスロール。」

出た目は、2。

「ひひひ、スーパークリティカル、敵モンスターを、すべて破壊する。」

ゾークが闇の波動?を出し、十代達の、モンスターを滅ぼす。サイコーだ、サイコーな状況だ。

「更に、トラップカード、『針虫の巣窟』を発動。デッキから5枚、墓地に送る。

このカードによって墓地に送られた闇属性は5枚、よって『破滅の

邪龍 サタン』の攻撃力は3000アップする。

バトル、『破滅の邪龍 サタン』で、丸藤にダイレクトアタック。

『ソロモンフ2柱の裁き』「

「うわあああああ。」

「次、『サイバー・ツイン・ドラゴン』で、十代に攻撃、『レボリ

ューション・ツイン・バースト』「

「トラップ発動』攻撃の無力化』。

「カウンター・トラップ発動』盗賊の7つ道具』。

「えつ、つてうわあああああああ。」

あつ、やばつ、十代達倒しちゃったよ。

まあ、いいか。

その後、十代達の目をさまらせ、俺たちは各自自分の寮に戻った。  
勿論、明日香も起こしたぞ。万丈目が。

・・・1キルしか、してないような気が・・・。

## 後編・主人公より敵が好きです（後書き）

万丈目にオリカをつかわしたらこんなことに  
万丈目、まだいたつけ？このころ。

では、毎回恒例のオリカ説明を開始します。

『地獄の書物』

レベル：5

闇属性

攻撃力：0

守備力：3000

悪魔族；効果

チューナー+地獄と名のついたモンスター

手札の地獄と名のついたモンスターを、捨てて発動する。  
相手ファイールド場のモンスターの、コントロールを得る。

「

フタノホキツツク、アーティスト（前編）

今日は、デュエットほぼ無しです。

## フタエノキワミ、ア――――

視点・永理

前回、十代達と廃寮でデュエルし、寮へ、戻った。  
恐らく、みんなはもう、寝ているだろうか・・・。  
そんなことを、考えつつ、ファミコンの電源を入れた。  
やはりチー〇ーマンは難しい。

チーター〇ンを何とかクリアすると不意に魚が食べたくなった。

『出かけるんですかあ？』  
「少しばかり釣りにな・・・。」  
『でも、もう3時ですよ？』  
アバターさんたちは、もう寝ましたよう。『  
「大丈夫だ、問題ない。」

たしか、釣り具は屋根裏の物置に、置いてあつたはずだ。

数時間が経過しただろうか、太陽が昇り始めている。  
しかたない、釣りはあきらめるか。  
デッキでも、作成しますかな。

（数分後）

できた、最高のネタデッキ、『CCO』が。  
『CCO』ってなにかつて？二口二口で調べろ。  
デッキテストとして、アバターとデュエルでもしますかな。  
「起きろ、雑魚神、OCG効果のオベリスクで破壊するぞ。」  
『あと、5分寝かせて・・・。』

「却下、今すぐ起きる、燃やすよ?」

『すいません、生意気言つてすいません。』

「よし、なれば『テュエルだ。』

「『テュエル。』『眠い・・・テュエル。』

『テュエルはしょ「りやく」式の秘剣、グレンカイナ。』あつう  
いよおい。』

『また負けた・・・。』

弱い、弱すぎる。

お遊びテッキに負けるなんて。  
こいつはほんとに神なのか?

『畜生、次は格ゲーで、勝負だ。』

『対戦はしょ「りゅーけん。』さやああああああああ  
あ〜

『何故だ、なぜ負けた。』

『やりこみ時間が、違うのさ。』

『煩いですよう、静かにしてください。』

『すんません。』』

アバターとの対決も飽きたしエグゼ4でもやりますか。

そう思いゲームボーイの電源を入れた瞬間ブツツンと切れた。  
ドアがドンドンとなつているが気のせいだらう。

『・・・煩い・・・。』

『よし、ならば貴様が出る。』

『サービスッサー。』

「扉を開ける、そもそもば、爆破す」『どなたですか?』『うわあああ。』

・・・なんだる。すん』『面倒事に、巻き込まれそつた氣がする。

「何の用ですか?ドリフアーサン。』

「誰がドリフかつ。』

「で、何の用ですか?ドリフヒアーサン。』  
「だからドリフヘアージやなくて、てかなんでそんなの知つているの?。』

「好きな番組だから。』

「古いよ、昭和の番組だよ。』

「で、何の用だ?。』

「はあ、なんか疲れる。・・・、『ホン・・・

我々はアカデミア査問委員会の者だ。月影永理

つこしてきてもいい。』

・・・めんどい眠いし少しかおうかな。

「ついてきてほしい』やん つて言つたひ、ついていり。』

「つな、そ、そんな」とこえるかあーー。』

顔真つ赤にして、まあまあ可愛いな。

自重しろ?だが断る。

「じゃあ『主人様あー、学校の時間です』やんと、言つてもいいんだぜ。』

顔が真つ赤だなあ~飽きた。

「お~行ぐぞ。』

「(恥ずかしい、でも言わなく。)えつ?あ・・・はい。』

「だから~う、ペットは犬が一番だつて。』

「こやいや、ペットにするなら、猫が一番でしょう。」

「『ドーブリもけつこう可愛いぞ。』」

「「「え？ 飼つてるの？」」「」

「いや、可愛いじやん。」

「「「それはない。」」「」

『ドーブリを買うのは、さすがになあ。

「少しば静かにしる。運転に集中できん。」

酷いや。

「着いたぞ、ほら、降りろ。」

（校長室へ移動中）

（どうやら退学らしい。）

制裁デュエルで、負けたら退学、勝つたら無罪放免らしい。  
十代と翔がタッグを組んで、俺がシングルでデュエルをすることになった。

「話は澄んだか？ 俺はもう、寮に帰つてもいいよな？」

「はい、一通りのことは伝えましたから、もう帰つてもいいですよ。」

「では、さへば。」

「ちよつ、ここは3階ナノーネ。」

（ここから飛び降りるナン~テ、正氣でス~ノ？

「・・・無事、みたいなんですが。」

（あのドロップアウトボーカは、ほんとに、人間ですか？）

（少年移動中）

さて、帰つてしまひました夢のジメジメホーム。

外で、デュエルがあつたみたいだけビビりでもいい。  
ロマサガを、クリア、するまで、ファミコンをやめない。

「少年ゲーム「パワーをメテオに。」あつつか。

満足満足、さて、明日の

制裁タッグデュエルのために、デッキでも作りますか。

レッド寮は、今日も平和である。

## 対戦相手はギャンブラー

視点：永理

制裁タッグ決闘当日

ね・・・眠い。

まさかデッキ制作中に新たなネタデッキが思いつきたらにネタデッキが（以下エンドレス）ノリで7個も作っちゃったよ。

「大丈夫？」

「天上院殿、君はこの顔色で元気と思うのかね。」

「全然、昨日は寝たの？」

「デッキ作成に4時間、釣りに1時間、睡眠時間はわずか30分。いつ、どこで、倒れてもおかしくない。」

（こいつ、馬鹿なの？退学がかかっているのよ。）

うわっ、可哀想な人を見る目だよこの人。  
まあ、仕方ないっちゃあ、仕方ないか。

「そろそろ時間だぞ、天上院殿。」

「私のことは、明日香でいいわ、  
時間ね、行くわよ。」

はいはい、元氣があつて、よろしい。

・・・遊戯つて、伝説のデュエリストだつたんだ。

まあ、がんばれ十代、嫌いだけどな。

十代たちの相手は迷宮兄弟、どこぞの配管工のカラーリングだな。

まずは迷宮兄のターンだな。

地雷蜘蛛を攻撃表示で召喚しエンド宣言。

カードを伏せるカードを

仮面コンビのほうが強いんじゃね?

次は十代のターン。

1ターン田から融合とは、チートドローもいい加減にしぃ。

「いかりや「しょーーーつゅーーーけーーーん。」があああああ~

十代がE・HEROフレイム・ウイングマンで、止めをさした。  
それと同時に、パソコンの電源をOFFにした。  
お嬢様強すぎ。

眠いけど、これで勝つたら廢寮をくれるらしい。

『裁判デュエル勝者遊城十代＆丸藤翔な～ネ。

まだ終わらない裁判デュエル、続きましては、  
彼の有名なデュエリスト、武藤遊戯の親友であるデュエリスト、  
城之内克也な～ネ。

対する相手は史上最恐のデュエリスト、彼に常識は通用しない、  
月影永理、両者デュエル場に上がるな～ネ。』

やっと俺の出番か。

ギャラリー達がうるさい、寝てないんだから、頭が痛くなる。

「退学が懸かってるらしいが、手加減はしないぜ。」

「ふうん、凡骨デュエリストが、粹がるんじゃない。」

「凡骨つてゆーな。」

「「デュエル」」

「俺のターン、ドロー。

俺は『ワイバーンの戦士』を攻撃表示で召喚、カードを2枚伏せ、ターンエンドだ。」

ワイバーンの戦士・・・

所詮凡骨は凡骨だな。

「俺のターン、ドロー。

『キラー・トマト』を攻撃表示で召喚。カードを1枚伏せ、ターンエンドだ。」

「『キラー・トマト』・・・その気持ち悪いペシトちゃんを倒してやるぜ。」

俺のターン、ドロー。

手札から儀式魔法『黒竜降臨』発動。

手札から『真紅眼の飛竜』を生贊にし、『闇竜の黒騎士』を儀式召喚。

そして、このカードを生贊に捧げ、デッキから、『真紅眼の黒竜』を特殊召喚。」

真紅眼、ぐらつで騒ぐなや、つるそー。

あの程度、雑魚モンスターだろ。

「バトル、『真紅眼の黒竜』で、『キラー・トマト』を攻撃

黒炎弾。」

黒竜が、トマトを焼き焦がす、香ばしい香りが当たりに広がり、充満する。

今日の晩飯はマルゲリータにしよう。

「『キラー・トマト』の効果発動、デッキから『ボーガニアーン』を特殊召喚。」

「『ワイバー・戦士』で、『ボーガニアーン』を攻撃。」

ワイバー・戦士がボーガニアーンを切りかかるつとする。

どうでもいいけどワイバー・戦士でトカゲ人間で獣族だよな。テキストやら名前やら種族がバラバラで、設定に全く統一感のないモンスターだな。

「罠カード『過ちの加護』を発動、このカードは、闇属性モンスターが

攻撃対象に選択されたとき、発動が可能。

そのモンスターの攻撃を無効にし、そのモンスターの攻撃力分のダメージを与える。」

ボーガニアーンの『から黒い光が出、ワイバー・戦士の攻撃を防ぐ。』  
・・・主人公が使うカード名じゃないな。

「くっ、ターンエンドだ。」

「俺のターン、ドロー。」

くくく城之内い、貴様にとつて最悪のカードを拝ませてやる。

「さあ、ボーガーアンよ、苦痛の矢を放て。」

「へん、その程度のダメージ屁でもないぜ。」

貴様の余裕もそこまでだ。

「貴様のモンスター2体を生贊に捧げ、『溶岩魔人ラバア・ゴーレム』を特殊召喚。」

ギヤラリーから、あいつバカか？相手フィールドに、攻撃力3000のモンスターを特殊召喚するなんてとか聞こえてきた。  
貴様が馬鹿だヴァカめ。

「ターンエンドだ。

さあ、もがき、苦しみ、絶望の淵へと落ちろ。」

あ～楽しつ、城之内トラウマデッキは、使いやすいな。

「お、俺のターン、ドロー。」

「！」の瞬間、溶岩魔人の体が崩れ、貴様のライフを削りゆくぞ。」

ラバア・ゴーレムの体が崩れ、城之内に降りかかる。

「うつ、ラバア・ゴーレムで『ボーガーアン』を攻撃い城之内ファイアー。」

「罠カード『拷問車輪』」

「はあ？ そんなのアリかよお～。」

ラバア・ゴーレムの、体を、拷問車輪が挟む。シユールだ。

「ターンHンドだ。」

「俺のターン、ドロー。」

さあ、チヒックメイトだ。

「『ボーガニアン』＆『拷問車輪』の効果で、死ね。」

「ぐつ、うわあああああ。」

『し、勝者用影永理なノーネ。（ま、またか城之内さんまで負けるなんて、あいつには常識なんて本当に通用しないデスヘ。）』

「校長先生、もう帰つてもいいですか？」  
寝てないので。」

「はい良いですよ。ゆっくり休んでくださいね。」

周りから外道だ、酷い、って聞こえてくるが、いったい何故だろう。  
『自重しろサディストめ・・・。』

「俺は女性には、マゾヒストだぞ。」

オチはなこよ。

## 対戦相手はギャンブラー（後書き）

（オリカ説明）

『過ちの加護』

通常罷

自分フィールド場に存在する闇属性モンスターが攻撃対象に選択されたとき、発動が可能。そのモンスターの攻撃を無効にし、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。

このカードの発動は、無効化されない。

## 熱中症に注意を。

視点：永理

「夏。」

「つくり。」

「獅子。」

「シルク。」

「クマノミ。」

『水色のレオタード。』

『同性愛。』

どうも、永理です。

夏休みも冬休みも終わりました。  
部屋にはコミケで培ったゲーム、小説、同人誌などが、散乱しています。  
今万丈目たちと、シリトリをしています。

体育？ナンノコトテスカ？

「イチジク。」

「クリスマス中止のお知らせ。」

「せ？・・・せー、せー、・・・栓？」

「・・・・黒川唯一アウト、罰ゲーム。」

「えつちよまつ。」

「では、罰ゲームはくじ引きで決める。」

「　　「　　「　　」おお～。」『　』『　』『　』

「罰ゲームは何かな？ わあ、引くのだ黒川唯一。

「引いたくじは、なんと初恋の相手を暴露だ。」

「この罰ゲームは引いたくじで、運命がきまる。今食べたいものから初恋の相手まで、引いた内容をすべて暴露しなければならない。

「あ俺を楽しませり、初恋が叶つたってんならボッコボッコにしてやんよ。

何度もしつこく黒川唯一に、言へ言へコールが、発せられる。

はい、言一え言一え言へるふしあ。

何？ 何が起きたの？

十代君？ なんでここに？

まさか

まさか

まさか、明日香イベントが、起ついるのか？

こんな暑い中で？

態々外で？

「実はカクカクシカズカで、明日香のフイアンセを賭けたデュエルをしてほしい。」

「よしことわ」「断る」とは許さないよ。」誰だお前は……」

声のしたほうを、見てみると、さわやかという単語が似合言にそな  
いかにもモテてます的なオーラを出している人がいた。

「いかにも、モテませんって人たちが、集まる場所つて感じだなあ。  
どうしてこんなところでたむろってる奴が、彼女と仲がいいのかね  
え。」

OK、こいつ潰す。

精神を完全に崩壊させてやる。

我々ゲームD.E.デッキ作成部を侮辱したこと、公開させてやるよ。

「「「テュヒー」お餅焼けましたよ~。」・・・。」

「少年たち食事中~

ではあらためて

「「「テュエル」」

『さあやつてまいりました。

『第一回テニス部vsゲームD.E.デッキ作成部~モテる漢に殺意が  
走る。』

解説は私アバターと。』

「万丈目がお送りいたします。」

注：邪神たちは実体化したり精霊化したりします。

「僕のターン、ドロー。」

僕は手札から魔法カード『サービスエース』を発動。

このカードは、手札からカードを一枚選択し、

相手はそのカードの種類を当て、当たった場合そのカードを破壊する

でも君が外したら1500のダメージだ。

さあ、当ててみな。』

サービスエース・・・相手はギャンブルデッキか？

だとしたら前回戦つた凡骨と被るではないか。

だが、凡骨はギャンブルカードを使って無かつたな。

もしやコレの伏線だつたのか？

忘れてただけです。

『初手から『サービスエース』・・・

出だしとしては微妙なところですね。』

『確かに、初手なら普通は『デスマテオ』が良いだろうな。  
ほんとにこいつは、あのカイザーと互角の実力なのか？』

『まあ、この世界では禁止ですからね。』

「魔法カードで。」

「残念、外れだ

僕が選択したカードを除外し、君に1500ポイントのダメージだ  
よ。』

得意氣だなあ、でも残念。

「手札から『炎食いの餓鬼』の効果を発動。

このカードを手札から捨てることで、カード効果によるダメージを  
1000減らすことができる。

そして手札の『冥府の使者ゴーズ』の効果により

手札から特殊召喚、さらに『冥府の使者』『ゴーズ』の効果により相手ライフに500のダメージだ。』

はあ、ファンデッキで唯一ガチなカードを速攻使つてしまふとはライフは互角、まあ俺の勝ちだろうな主人公だし。

「くつ、僕は『聖なる魂』を守備表示で召喚しカードを2枚伏せ、ターンエンド。」

みょうな球体が場に現れる。

天使ごときがあ、闇へと引きずり込んでやるわ。

まあこのデッキは悪魔族はゴーズしか、ないんだけどね。

「俺のターン、ドロー。」

俺は手札から儀式魔法『高等儀式術』を発動しデッキから『灯り火』『難破した海賊船』『竜巻』を墓地へ送り『クラブ・タートル』を儀式召喚。

さらに手札から『オカルトファン・儀式』を、自身の効果により特殊召喚

そして手札から魔法カード『大嵐』を発動し、バトルフェイズに入る。

『外道ですね。』

『ファンデッキでここまでするなんてな。』

『『クラブ・タートル』で、『聖なる魂』を攻撃クラブ・クラッチ。』

カメでありカニであるクラブタートルが聖なる魂をハサミの部分で殴る。

聖なる魂は潰れて、昇天してしまった。

「『聖なる魂』の効果により、『聖なる魂』を2体、表側守備表示で特殊召喚するよ。」

ちつゝ面倒な、こつちは早く出てつてほしいんだよ。

「はあ、『オカルトファン・儀式』で、攻撃  
通信教育式黒魔道弾。」

普通の青年が杖に黒いオーラみたいなのを  
魂に投げつける。  
ついでに杖も飛んでゆく  
悲しそうだ。

「続いてゴースで攻撃

冥府斬。」

ゴースが魂をぶつた斬る  
拡散した魂をさらに斬る。  
この外道め。

「ターンエンドだ。」

「ほ、僕のターン、ドロー。

モンスターを伏せ、カードを伏せターンエンドだ。  
(僕の伏せたカードは『聖なるバリア ミリーフォース』  
君が攻撃したところをドッカーンだ。)」

あの顔、聖バリが激流葬だな

「俺のターン、ドロー。

モンスターを伏せ、カードを2枚セット、ターンエンドだ。」

「僕のターン、ドロー。

カードを伏せ、ターンエンドだ。」

飽きた、決着をつけよ。

「俺のターン、ドロー。

手札から魔法カード『ハリケーン』を発動。」

「な・・・『聖なるバリア ミラー・フォース』が。」

まじでそれやつたんかい。

ポーカーフェイスを覚えろ貴様は。

「カードを一枚伏せ

セットモンスターオープン、『メタモルポット』

手札をすべて捨て、5枚ドロー。

手札の『ワタポン』の効果により、手札から特殊召喚。

『ワタポン』を生贊に『炎帝テスタロス』を生贊召喚する。

『テスタロス・・・ぶっちゃけ要りませんよね。』

「あいつのデッキはゴルベーザ四天王デッキ

完璧なファンデッキだぞ。」

『でもスカルミリヨーネが、まだ出てませんね。』

「おそらく手札に来ていないのだな。」

「手札から魔法カード『天使の施し』発動カードを3枚引き、2枚捨てる。

手札から魔法カード『二重召喚』発動し『オカルトファン・儀式』を生贊に捧げ

『死靈伯爵』を生贊召喚。

バトルフェイズに入り

『死靈伯爵』で、ダイレクトアタック

伯爵のレイピア。」

死靈伯爵がレイピアを出し、相手に投げつけた。ダーツ投げをさせてみたいな。

「続いてゴースでダイレクトアタック

冥府斬。」

ゴースが相手を切りつける。

デュエル終了のブザーが鳴った。

テニス君が頃垂れているが、気にしない。

『そろそろ銀〇の時間だぞ。』

「マジで！？」

みんな、今日はここで銀〇を見よう。

レッド寮は今日も平和である。

## 熱中症注意を。（後書き）

『炎食らいの餓鬼』

レベル：5

炎属性

攻撃力：2600

守備力：0

悪魔族：効果

このカードを手札から捨てることで効果ダメージを、  
1000減らすことができる。

『灯り火』

レベル：3

炎属性

攻撃力：600

守備力：200

炎族

怨念のこもったロウソク

火をつけると、悪魔を呼び込む。

『難破した海賊船』

レベル3

水属性

攻撃力：760

守備力：980

アンデット族

その昔、世界中の海を支配していた海賊船。  
今は腐敗し、まともに航海すらできない。

『竜巻』

レベル2

風属性

攻撃力：400

守備力：670

雷族

意志を持つた竜巻

成長したら大嵐になると信じている。

『聖なる魂』

レベル4

光属性

攻撃力：1500

守備力：100

天使族；効果

このカードが破壊され墓地へ送られたとき  
デッキから聖なる魂を2体特殊召喚する。

『オカルトファン・儀式』

レベル5

闇属性

攻撃力：1600

守備力：400

悪魔族；効果

儀式召喚に成功したとき

このカードを手札から特殊召喚する。

おじめつは梅がいぢばん。

視点・永理

『ドローパンが食べたいですっ。』

栄ちゃん、いきなり何言い出すんだよ。

ドローパン？あんなもん買わないほうがいいよ。

「永理へ、ドローパン買つてきただぞ  
一緒に食べよつぜ。」

『万丈目よ・・・なんとタイミングの良い時こ  
てか、キャラ崩壊しそぎだい。』

『・・・万丈田らへんの市場・・・  
崩れてきてるよ。』

あ～、落ちたな・・・

ドッポーンとド派手に。

やっぱノース校に流れるのかな。

『万丈目・・・パン持つて落ちて行つたな・・・ナース服なら興奮  
するが。』

『勿体ないな～、水に濡れたのは嫌だけど・・・白スク女子はグッ  
ジヨブだが。』

『体操服なら興奮するよな。』

『おまいら自重しるwww。』

『おなかすいたですう。』

マジで辛そうだ・・・、幽霊なのに・・・。  
幽霊つて死んでるはずなんだけど  
お腹が減るらしいんだよ。

『お腹すいたずら～。』

『ジヤンケンで負けた人が買つてくるってのは?。』

『貴様・・・俺の苦手な分野で決めようとしているな・・・。』

「擬人化しろよ。

たしか『前編：主人公が敵サイドに入るって、どうなの?』でテス  
トデュエルしたじゃん。』

思い出したつて顔してるな。

イレイザー達まで・・・。

駄目だこいつ等・・・早く、何とかしないと・・・。

『私たち学生ではないので代わりに買つてきてください。』

栄ちゃんの頼みならしかたねえ、俺は行つてくれるぜ。

『いつてらつしゃーい。

あ、俺ジャムパンで。』

『俺力レーパンで。』

『俺はコツペパンで。』

『私はチョコパンでおねがいしま～すう。』

・・・ドローパンでいつかあ

人性はギャンブルで十代並みにドローカがあつたらたぶん引けるよ  
な・・・。

「ツッペパン以外……。

「少年パシ」「マスター——スパー——ク。」ピチュー——

「永理い——、万丈目さん見なかつたか——。」

おや、ブルー寮の高田と清水ではないか。

「落ちてくの見た。」

隠してもしょうがない、半分正直に答えよう。

「で、何処に行つたの?」

「海にドボンと……。

たぶん今頃漂流してると思づ。」

「で、何処から落ちたの?」

「崖。」

「死んでるなそれ。」

「死んでないよ。

今も生きているさ。」

そう・・・「心のな<sub>k</sub>「それ死んでんじゃねーか。」

「大丈夫だつて、たぶんここ等で『レッド寮は今日も平和でした』で終わりだから。」

うん、心配ないな  
コレギヤグ小説だし。

「メタ発言は自重しろ。」

「じゃあどいぞの東方ゲームの如くセピアでチンヒ。

「無理だろ・・・。」

「こいつは事件が起こつたら多分、有利なほうに付くんだろな。

「こいつは事件が起こつたら多分、有利なほうに付くんだろな。

「心の声を口に出すなよ・・・。」

不可能だ。

「あ〜、俺ドローパン食べたいから  
そろそろ行くわ。」

俺は適当にさう言い残しドローパンを買つため  
購買の方へ足を急がせた。

十代はパンを買つたびに叫んでいる。  
ちなみに俺は4分叫び続けたら喉と頭が痛くなる・・・。  
なにかの病気であろうか。

「十代は元氣だね〜。」

「アニキは元氣とドロー力だけが取柄だからね。」

翔にもそう思われてんだ。

「僕なんてあと相手ライフ100で相手フィールド場にはモンスターなし

互いに手札なしで引いたカードが『サイバードラゴン』つかう。」

「とりあえず不幸だつていつとけ。」

すんげー不運だなそりや。

「その元気と若さを分けてほしいわ。」

「永理君は十分若いじゃないですか。」

「見た目は少年中身は老人

この前身体検査したら老人並だったぜ。」

「マジっスか。」

「大マジだ。」

去年なんてぎっくり腰になつたからな。

つと、当初の目的を忘れるところだつたぜ。」

「ふあ～、ふえいふい。

ふおつふおふいふえふおうーふあんふあいふいふいふあふおふあ？。

」

何言つてるかわかりません。

「翔、通訳よろ。」

「アニキは『あ～、永理

ひょつとしてドローパンか？』と言つてるんつす。」

「・・・翻訳こんにゃく頭に乗せたほうがいいかな？

あと十代、喋るのは食べ終わつてからにしろ。」

翻訳こんにゃくは頭に乗せても効果発動できるんだぜ。  
おや、妙なトリビアを読者に伝えていたら十代が食べ終わつたらし  
い。

「残念だつたな永理、黄金の玉子は盗まれたらしいぜ、残念だよな  
」。

で、何しに来たんだ？お前は米好きだとおもつてたが。」

「別に米以外もスペゲティやマルゲリータ、ナンカレー やチーズフ  
ォンデュも好きだが・・・

邪神共 + に頼まれてだ。」

半分は本当だ。

・・・このパンでいいか。

「ぐつ・・・なにを入れたんだこれ・・・。食つたことのないの。味が、わからねえ。

甘くなく、辛くなく、苦くない。オレンジ色が奇妙だ。  
これ、かなり嫌な味だ。」

「なんか聞いたことのある台詞・・・。」

アレ・・・意識が・・・遠のいて・・・まさか・・・。  
「謎ジャムかよ。」

死ぬつていうの・・・こんな感じなんだな・・・。  
そこで俺の意識はブラックアウトした。

田が覚めたらベンチの上でした。  
やつぱ謎ジャムはいかんよ、逝きかけたよ。

「おつ気が付いたか。」  
「田が覚めて一番に見るのが美少女じゃなくて貴様かよ・・・。  
「ギャルゲのやり過ぎつすよ。」

やり過ぎ?何言つてるの?  
「俺は一日最低10時間しかやらねえぞ。」  
「やり過ぎつすよ・・・。」

「で、貴様ひは句をやつてこる?」

原作知識知ってるけどな。

「永理は、ドローパンが盗まれたのは知つてこるよな。」

「知つてはいるが・・・それで?」

「簡単に言えば泥棒退治つす。」

「なんだつて、ゆるせねえな。」

「何でそんなメンడクサイ事を・・・。」

「永理君・・・思つてることと口で言つてゐじが反対つすよ・・・。」

「

「腹減つたなあ・・・、帰つていにっすか?」

「お腹空いたならおきり食べるつすか?」

「じゃあ貰おうか。」

「おひ、梅だ。」

「まだまだあるからドンドン食べなよ。」

「マシのマシのマシ。」

「トメやんあやーっす。」

「やはり梅は最高だ。」

「酸っぱさがるのがちょいびつい。」

「十代は涙田になつてこる。」

「まあ、普通の人にとって酸っぱさがる・・・のか?」

「今までミ〇カンの酢を飲んでたからなあ。」

「パソコンの前の諸君。」

あとで「ノーメの素を食べてみる、結構いけるから。

「なんだか昼よつパンピンしてないですか？」

「俺は夜型で普段は明るくなつたら寝る生活をしていたがなにか？」

中学時代は、だけどな。

最近はなかなか起きれなくて途中で、寝落ちしたりしてた中…。

あんときのコーナーさん「めん、結局リオに狩られたね。

「ドラキュラっすか……。」

「ドラキュアはたしかドラキュア伯爵の名前のことでないぞ。」

「マジっすか……！」

一般常識だろ。

「マジだ。」

眠い・・・でも起きなきやな。

時計を見ると午前1時・・・やっぱすっげえ帰りたい。

ちなみにみんなは盗人を捕まえるために隠れた。

十代達はテーブルの下に

トメさんは机の下・・・よく入ったな。

俺はパンかごの後ろに。

・・・シャッター辺りが、ガタガタなつている・・・。

嫌な予感が・・・。

やっぱ開いたよコンチクショ一。

その馬鹿力は化け物の特権だ、ここでは常識ことひざわれたら負けなのか・・・。

馬鹿力の化け物はパンを手に取った。  
かかつたな化け物。

『そこまでよつ！－！』

びっくりしてるびっくりしてる。  
さすが俺様特製防犯ブザーパッチエさん。  
まあやつぱり逃げただけどね・・・。  
やっぱ追いかけなあかんよな。

「待て！－！」

十代君・・・待てと言つて止まれば警察はいらないんだぜ。  
つて足早つ着いていけねえぜ。

「ちょつ・・・まつ・・・しつ・・・・・。」

「永理君大丈夫っすか？」

「死・・・ぬ・・・・。」

「頑張れツス。」

何とか追いついた・・・。  
ああ、お花畠が見える。  
嘘だけどね。

「貴様の噂は聞いているぞ。」

十代がアレヒデュエルするんだろうか。  
十代・・・とうとう人間をやめちまつたんだな。

「月影永理！……俺とデュエルだ。」

やつぱ原作ブレイクだよこん畜生。

「なぜ俺なんだ。」

ほんと何故だ・・・。

別にそんなにチートドローは・・・やつてるな。

「お前は年に一度しか入れないと『うメイコさん特製のジャムパンを当たたからだ。」

マジかよ。

「ど、言つわけデュエルだ。」

「くう～、俺もデュエルしたいぜ。

でも相手がお前を指名しているなら、お前に譲つてやるよ。  
絶対負けんなよ。」

ふつふつふ、十代君君はは僕が負けるとでも・・・。

「大丈夫だ、問題ない。」

「デュエル」

「俺の先行。ドロー。」

手札は・・・なあにこれえ。

「・・・手札から魔法カード『手札抹殺』」

「手札事故かつ。」

「イエス、手札を五枚捨て、五枚ドロー。」

墓地の『DT・デスサブマリン』の効果発動。

墓地より蘇生させる。

『DT・デスサブマリン』の特殊召喚成功時速攻魔法『連鎖する悪夢』を発動。

効果により『DT・デスサブマリン』をデッキから2体特殊召喚。  
そして3体のモンスターを生贊に捧げ『邪神アバター』を特殊召喚だ。』

自重しろ?よし断る。

「な・・・なんすか・・・その黒いラーみたいなのは・・・。」

「見たことのないモンスターだぞ。

なんだそれは。』

そういや翔に見せるのは初めてか・・・。

「このカードは『ラーの翼神竜』を超える神のカード。  
このカードはフィールドの攻撃力が一番高いモンスターの攻撃力+  
100になる。』

「インチキ効果つすね・・・。」

大丈夫だ、問題ない。

「俺はターンエンドだ。さあ貴様のターンだぜ。』

「お、おれのターン、ドロー。

俺は手札からまじ「あつそれ無理。」なに!—!

「アバターは召喚時に相手ターンで数え2ターンの間、魔法罠の発動を行つことは出来ないよ。』

驚いてる驚いてる。

でもそん位だけだぜ。

「なら俺はモンスターを伏せ、ターンエンドだ。』

「俺のターン、ドロー。

俺は『ブラッド・ウォルス』を攻撃表示で召喚。バトルフェイズに入り、アバターで伏せモンスターを攻撃 ダークネス・ブラッドスラッシュ。」

ブラッド・ウォルスの攻撃名知らんから適当に名づけた。だつて知らないんだもん。ドローラーだった。

「『ブラッド・ウォルス』でダイレクトアタック ブラットスラッシュ。」

「ぐつ、手札の『ドローソルジャー』の効果発動、このカードを特殊召喚する。」

泥の兵士?なんか溝臭そう。  
攻撃力0つて……。

「カードを一枚伏せ、ターンエンドだ。」

「俺のターン、ドロー。

『ドローソルジャー』の効果発動。

手札を『デッキに1枚戻すことで攻撃力を700ポイントアップする。手札を4枚戻し、攻撃力を2800アップだ。バトル、『ドローソルジャー』で『ブラッド・ウォルス』を攻撃 マッドスラッシュ。」

泥の兵士に負ける獣戦士族つて

「速攻魔法発動『収縮』

『ブラッド・ヴォルス』の攻撃力を半減させる。  
更に罠カード『死のデッキ破壊ウイルス』発動  
『ブラッド・ヴォルス』を媒体に選択し発動  
貴様の『デッキ手札・フィールド場の攻撃力1500以上の攻撃力を  
持つモンスターを全て破壊する。』

「くっ、カードを伏せ、ターンエンドだ。」

良し、なんとなくオベリスク召喚しよう。

「俺のターン、ドロー。

手札から魔法カード『悪夢の施し』を発動。  
デッキからカードを4枚ドローし、5枚捨てる。  
で、手札から魔法カード『死者蘇生』発動。  
墓地の『オベリスクの巨神兵』を蘇生。』

「「「3幻神！……？？」」

「バトルだ。

さあ、その力を存分に發揮するがいい  
オベリスクの攻撃、ゴッド・ハンド・クラッシュヤー。』

やつぱ生でみたら迫力が全然違うなあ。

「ぐつ、うわあああああ。」

「まだまだ、アバターでダイレクトアタック  
ダークネス・ゴッド・ハンド・クラッシュヤー。」

こちらは黒い方、やつぱなま（以下略）

「うわあああああああ。」

「じゃ、あとひよりしくな、十代  
明日ドローパン買ってたら今一あげるわ。」

「お、おひ、また明日な。」

さて、家に帰つてひと睡つしますか。

・・・なんか・・・忘れてるやつな・・・。

一方その頃レッズ寮では

「あ、焦らずとも料理は消えたりしないのこやあ～。」

『アバター、そのエビフライは俺のんだ。』

『とつたもん勝ちさ。』

『パセリうめえwww』

『大徳寺先生、おかわりお願いします。』

「はいはーいなのにや。早く帰つてきてほしこやあ～。』

視点・？？？

ついに見つけた・・・邪神使い。

貴様のその汚れた心、魂ごと浄化してやるぜ。  
この・・・天界磁誠がな。

## ねじまつせ梅がいぢばん。（後書き）

### オリカ説明

『ドローソルジャー』

レベル5

地属性

攻撃力：？

守備力：0

岩石族：効果

このカードは戦闘ダメージを受けた時、手札から特殊召喚できる。

このカードの攻撃力はデッキに手札を一枚戻すことにより攻撃力を700ポイントずつ

アップさせる。

### 『悪夢の施し』

#### 通常魔法

デッキからカードを4枚ドローし、5枚墓地へ送る。

## 神と悪魔の対決

視点・永理

「月影永理！！

貴様にデュエルを申し込む！！」

面倒そうなやつが来たよ・・・。  
しかも二人も。

「永理、デュエルするのか？  
なら見せてくれよ、永理のデュエルを。」

「十代、あいつを追い払つたらレアカードをやるつ。」

「よし、貴様は帰れ。」

ふむ、デュエルで追い払つかあの馬鹿とデュエルするか・・・  
アカデミアってスゲーな。

『デュエル？ 見るわけねーだろ、帰つてサイレントヒルするわ。  
『あれやつた後榮ちゃんガタガタ震えてたぞ。』

幽霊がホラー映画怖がつてどうする。

『怖いもんは仕方ないんじゃね。？ 可愛かつたけど。』

確かに布団に潜つてガタガタ震えて泣いてたのは可愛かつた。

勿論写メも撮つたぞ。

『今日は月曜・・・大会を開催する日だぞ、サイレントヒルはまた今度だ。』

「あ〜、忘れてたわ。」

『時間だ・・・教室へ行こう。』

どこのムスカ大佐だ。

視点：誠

「永理に挑んだ無謀者がいるらしいよ、馬鹿だよね〜。」

「あ〜聞いた聞いた、たしか天なんとかって人でしょ。」

命知らずだよね〜馬鹿だよね〜。」

「・・・ひるさいぞ女ども。」

ギャラリーが騒々しい、神に逆らう者のさばくせるワケにはいかないのだ。

そもそも俺は一年では上から4番目に強いんだ、あんな奴に負けるわけがない。

「うわっ、何あれキモツwww。」

「正義のために戦います〜つて顔、キモツwww。」

ふん、人間の雌ごとに馬鹿にされてもなんともおもわんわ。  
騒がしい、果たし状を書いてるんだぞ。

『主人・・・そろそろ授業の時間でござります。』

「・・・。」

感謝はしない・・・こいつは執事で俺は主人だからだ。  
こいつは俺の手駒であり、それ以上の価値はない。

月影よ・・・貴様の無様な負けっぷり、見せてもらうぞ。

／月影永理

眠い・・・相変わらず授業は暇だ。

丸藤は、本当に馬鹿だな・・・。

永続魔法位誰でも知っているぞ。

「丸藤は小学生からやり直したほうがいいな・・・。」

『それは言いすぎだろ・・・たぶん。』

『なんかあいつ3幻神も答えられなさそうだな。』

まあ確かに・・・あいつ馬鹿だから。

『永理くん、誠つて人から手紙だよ。』

「どうも。」

ちなみに俺はブルーの席の前に座っている。

よくブルー生徒でもわからない技術を聞いて来たりしている。

俺のカリスマまじパネエ。

『俺、あいつ嫌い。』

俺も嫌いだよ。

『PDAなんか取り出してどうするんだ?』

「今週の大会は中止、俺と誠どっちが勝つかの対決、場所は廃寮、入場料400円つと。」

『・・・やはり金か貴様は。』

「金以上のものはないぜ。」

ほい、送信つと

一体何人集まるかなあ、楽しみだぜ。

『受付の人はどうするんだ?』

「受け付けはカイザーにでもやう。奴は新たなサイバー流デッキを望んでいる、だからそれを餌にして、利用させてもらつ。」

これも送信だぜ。

あ~、眠いから寝たい。

もうダメ、寝るわ。

「・・・いり君、永理君、永理君起きて、デュエルの時間だよ。」

「起こしてくれてありがとう  
ただ、腹が減つた購買に買いに行く  
一緒に来るか?」

「はあ、こいつも寝てばかりでこのままじゃ二ートになるよ。」

「大丈夫だ、問題ない。」

「問題あるよ。」

とこりで、こいつ誰だ？

「あ～、こいつ誰だつて顔してる～。  
まあ、会ったのは初めてだつけ。

初めまして・・・かな？永理君、月城藍です。」

藍・・・まさか・・・。

「八雲藍ですか。」

「違います、月城藍です。」

どっちでもいい  
さて、

「往くぞ。」

『我らが。』

『戦場へ。』

（少年移動中）

俺は歩みを止めない。  
早く行けと言わっても止めない。

「諸君、俺はデュエルが好きだ。」

淡々と喋りながらクソ天使の居場所まで足を怠がす。

「諸君、俺はデュエルが大好きだ。  
デッキ破壊が好きだ。  
ギャンブルが好きだ。

手札破壊が好きだ。

バーンダメージが好きだ。  
エクゾデアが好きだ。  
禁止カードが好きだ。

絶版カードが好きだ。  
1ターンキルが好きだ。

限定カードが好きだ。」

足を止めない、奴は俺のカリスマに充てられ  
雨に濡れた子猫のように震えているであらう。

「飛行船で、闇の世界で

バー・チャル空間で、精霊界で

バイクの上で、地球の外で

孤島で、廃寮で

大会ドームで、ゴーストタウンで

此処以外の世界でも行われるありとあらゆるデュエルが好きだ。」

廃寮は大きい。

いつもの近道が生徒たちで埋め尽くされている。

「フィールドをBFで満杯にし、一斉攻撃で1キルするのが好きだ。」

マシュマロンを壁にした相手が絶望する瞬間など心がおどる。

対戦相手のコントロールするレアカードを奪うのが好きだ。

胸を張る対戦相手の目の前で切り札級のモンスターをコントロールを得た時など胸がすくような気持ちだった。

銃剣先をそろえたレベルの横隊が敵の戦列を蹂躪するのが好きだ。

恐慌状態の志願新兵が既に息絶えた敵兵を何度も何度も蘇生させ、心が壊れ、虚ろな目には感動すら覚える。

完璧主義の対戦相手を1ターン・キルする様などはもうたまらない。

泣き叫ぶ対戦相手が私の振り下ろしたギルファー・デーモンからの魔のデッキ破壊ウイルス、

相手の墓地から蘇生

外道のひらめきのコンボとともに

金切り声を上げるドラグニティを虫のよつに薙ぎ倒すのも最高だ。

たつた1枚のカードで環境を滅茶苦茶にするのが好きだ。

必死に守るはずだったアイドルカードが破壊され相手の怒りを買いつぶされていく様はとてもとても悲しいものだ。

激動のあのスライム・トークンの物量に押し潰されて殲滅されるのが好きだ。

ライコウをリバースされ、確実にしもべを破壊されるのは屈辱の

極みだ。

諸君 私はデュエルを戦争の様なデュエルを望んでいる。

諸君 私に付き従うデュエリスト諸君  
君達は一体何を望んでいる？

「観客へと聞く、勿論足は止めない。

「更なるデュエルを望むか？

情け容赦なく殺され、何もできないまま殺されゆく糞の様なデュエルを望むか？

コントロール略奪、バーンダメージ、高攻撃力で殴り、殴られるなどの限りをつくし

3000世界の極楽鳥を殺す戦争の様なバトルロイヤルを望むか？

「

デュエル場へ着いた。

その真ん中に立ち、両手を広げ

こう叫ぶ。

「高らかに宣言せよ！－！－

貴様らは何を望む！－！－。」

『デュエル！ デュエル！ デュエル！』

今更ながらカリスマ高いな。

「よろしい、ならばデュエルだ。

我々はありつたけの運と知識を込め、今まさに手札を開かんとする拳だ。

だがこの運が体力4000の我々にただのデュエルではもはや足りない！！

闇のデュエルを！！

生き残りを賭けたバトルロイヤルを！！

我らはわずかに一個大隊、十人に満たぬデュエリストに過ぎない。

だが諸君は軍人だと私は信仰している。

ならば我らは諸君と私で総力100万と1人のデュエリストとなる。

禁止カードリストを忘却の彼方へと追いやり、眠りこけている連中を叩き起こそう。

裏世界からカードを手に入れ、レアカードをゴピーし、相手を絶望の淵へと追い込み、思い出させよう。

連中に、カオスの味を思い出させてやる。

連中に、我々のバーンの音を思い出させてやる。

闇と光のはざまには、奴らの常識では思いもよらない事がある」とを思い出させてやる。

40以上のカードで動員令で

環境を破壊し尽くしてやる。

最後の「デュエルより、すべてのデュエリストにへ

目標禁止カード…！」

デッキを持て、デュエルを開始せよ

征くぞ、諸君。」

・・・主人公が言うセリフじゃねーな。

『今更だけどね～。』

「さあ、デュエルだ。」

・・・警戒しているか、天使のなり損ないめ。

「貴様・・・闇の者がこの世界の住人にこんなにも愛されているなんて。

俺は認めない…！貴様のような人間など…！

人の道を踏み外した罪人め…！…来い…！…貴様を闇へと送り返してやろう…！」

「屑天使ごときの遠吠えなど、聞こえんわ。

さあ来な

神の飼い犬ごときがつ。」

さあ、ショーや始まりだ。

「デュエル！…」「わやーひやつひやつひやつひやー…」

「俺のターン、ドロー。

俺は永続魔法『エンジエルゲート』を発動  
手札から『大天使ミカエル』を特殊召喚する。  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ。」

ふむ、こいつも転生者か・・・。

しかし1ターン目から上級モンスターねえ・・・。

しかも大天使とは、破壊のし甲斐があるぜ。

「俺のターン、ドロー。

『ゲルニア』を守備表示で召喚  
カードを3枚伏せ、ターンエンド。」

まずは様子見様子見。

「俺のターン、ドロー。

手札から魔法カード『天使収集』を発動。  
デッキからレベル4以下の天使族モンスターを2体、特殊召喚する。  
よってデッキから『聖なる魂』『シャインエンジェル』を特殊召喚。  
3体のモンスターを生贊に捧げ、『聖神アバター』を生贊召喚。」

白色のアバターだな。

恐らく、新たなる神のカード・・・か。  
だから天使族は嫌なんだよ。

「行けアバターよ、現世に留まる亡靈を書き殺せ

ホーリープレス！！

神の息吹・・・だと・・・。

こいつはヤバそうだな。

「永続罠カード』不死者の記憶』発動！！

自分フィールド場のアンデット族モンスターが破壊され、墓地へ送られたとき

デッキからアンデット族モンスター以外のモンスターを特殊召喚。よって、デッキから『ネクロマンサー』を特殊召喚。

『ネクロマンサー』が特殊召喚された瞬間、リバースカードオープ

ン『連鎖魔術』発動。

『連鎖魔術』は自分フィールド場に魔法使い族モンスターが特殊召喚された瞬間

デッキから同盟カードを1体特殊召喚する。』

俺の場にインフィルにティ・ネクロマンサーみたいなのが3体現れた。

「ちつ、だか『聖神アバター』の効果により『ゲルニア』の攻撃力つまり1300のダメージを受けてもらおう。」

「ところがそもそもいかねんだよ、罠カード『死者の道すれ』発動。このカードは俺が効果ダメージを受けるとき相手モンスターを1体破壊し、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手プレイヤーへ与える。効果により『聖神アバター』は破壊させてもらひ。」

神に罠は効かないと思つたか。

「残念だつたな、神のカードは罷では破壊され「それはどうかな。なに！」」

おうおうびっくりしてる。

残念だつたな、貴様より神のカードは長く使つてゐんでねえ。

「『死者の道ずれ』の効果がそれだけと・・・誰が言つた？

『死者の道ずれ』の効果は絶対。

つまり効果は無効にされないのさ。」

「なん・・・・だと・・・・ぐッ、カードを伏せ、ターンエンドだ。」

「俺のターン、ドロー。

手札から魔法カード『苦渋の選択』を発動。

デッキから『邪神アバター』『カオス・エンド』『死体食いのグル』『狂人ジャック』

『不死の人間』を選択、さあどれを選ぶ。』

迷つてる迷つてる。

まあ、どれを選んでも一緒だけどな。

「ちつ、『不死の人間』を選択だ。」

「残りを墓地へ捨て、『ネクロマンサー』を生贊に『死靈を操りしペペットマスター』を生贊召喚。

ペペットマスターの効果により1000ライフを払い

『邪神アバター』『カオス・エンド』『狂人ジャック』を墓地より特殊召喚。

行け、『邪神アバター』よ、敵を殺せ  
ダークネス・エンドクラッシュヤー。』

闇の波動を手から噴き出した。

相手は苦しそうだ、だがやめるわけねえ。

「『狂人ジャック』の効果により伏せカードを破壊する。

『狂人ジャック』でダイレクトアタック、ジャックスラッシュ。更に『カオス・エンド』でダイレクトアタック、エンドクラッシュ。

『ネクロマンサー』でダイレクトアタック、蘇生の舞。

明らかなオーバーキル、最高だ。

我ながら最高のバトルだった。

「あばよ、肩天使

神のカード程度、たかが知れてる効果だ、その程度で最強だと清とかほざくなカス。」

「・・・とめない。」

なんか言つてるよこの肩。

面倒だ。

「貴様のようなデュエリスト、認めない。

もう一度デュエルだ、次は貴様を倒してみせる。」

なにいつてゐのこのカス。

「もう腹減ったから帰る。

貴様ごとに神のカードは使ひこなせねえよ。」

野郎がどこで泣こうが知るか。

俺はチーズさえありやそれでいいや。

## 神と悪魔の対決（後書き）

あとでコメントで言われるような気がするので先に言つときます。  
原作効果のアバターは特殊召喚できます。

### オリカ説明

『エンジエルゲート』

### 魔法カード

手札の天使族モンスターを一体特殊召喚する。  
このカードを発動するターン、通常召喚できない。

『聖神アバター』

### レベル10

#### 光属性

攻撃力：？？？？

守備力：？？？？

幻神獣族：効果

このカードは特殊召喚できない。

このカードは天使族モンスターを3体、生贊に捧げた場合のみ召喚  
できる。

このカードを対象とするモンスター効果、罠カードの効果を無効に  
する。

このカードの攻撃力、守備力は場のモンスターの攻撃力 + 100 に  
なる。

このカードが相手モンスターを破壊し、墓地へ送ったときそのモン

スターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。

『不死者の記憶』

永続罠

自分フィールド場のアンデット族モンスターが破壊され、墓地に送られた時  
デッキからレベル4以下、アンデット族以外のモンスターを1体、  
特殊召喚する。

『ネクロマンサー』

レベル4

闇属性

攻撃力：0

守備力：2000

魔法使い族；効果

手札を1枚捨て、効果発動。

墓地からアンデット族モンスター以外のモンスターを攻撃表示で特殊召喚する。

『連鎖魔術』

速攻魔法

自分フィールド場に魔法使い族が特殊召喚したとき、効果発動。  
デッキから同盟カードを1体、特殊召喚する。

『死者の道ずれ』

通常罠

自分が効果ダメージを受けた時、発動。

相手モンスターを1体破壊し、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。  
このカードの効果は無効にされない。

『力オス・エンド』

レベル5

闇属性

攻撃力：0

守備力：0

悪魔族・効果

このカードの攻撃力は自分フィールド場に存在する悪魔族モンスター1体につき  
700ポイント攻撃力をアップさせる。

『狂人ジャック』

レベル4

闇属性

攻撃力：1300

守備力：1200

悪魔族・効果

このカードがフィールド場に表側表示で存在する場合  
悪魔族モンスターが直接攻撃に成功したとき、効果発動。  
相手フィールド場の伏せカードを1枚、破壊する。

『死体食いのグール』

レベル4

地属性

攻撃力：2400

守備力：0

アンデット族・効果

このカードが攻撃した場合、このカードのコントロールは相手に移る。

『不死の人間』

レベル2

地属性

攻撃力：900

守備力：450

アンデット族：効果

このカードが攻撃した場合

相手のデッキからカードを4枚、墓地へ送る。

たまにはシリアルもいいよね。

視点・永理

「遊戯のデュエリストつづつたつてなあ。

時間を割いて見るほどの価値があるのかねえ。」

『夢ねえな。』

伝説のデュエリストつづつたつてなあ。  
てかぶつちやけ戦つてたのATMだしな。  
あと十代づるさい。

「折角チケット手に入れたんだから行こうぜ。」

「チケット手に入れたの僕なんだけどね・・・。」

「今はゲームに集中しろ。翔、レイアのサマーソルト来るわ。」

「えつ、ちょ、毒に・・・ポイズンになっちゃったツス。」

「解毒薬持つてきてるだろ。」

「持つてきてないっすよ。」

「翔、苦虫やるから落ち着け。」

「翔、苦虫やるから落ち着け。」

なぜ苦虫だ？

『ランスで突撃。』

栄ちゃん、火炎弾に当たるよ・・・。  
あ〜、やっぱ当たったか。

ちなみにやつてるゲームはモンハン2Gだ。

翔が下位のリオに苦戦してるから手伝つてって言われて……。

『尻尾切りました。』

「今回もやられたサマーソルト。」

『腹減つた……。』

いい感じに力オススメてるな。  
氣刃斬り美味しいです。

「竜撃砲ぶっぱ！！」

「ちよつ、アニキ巻き添えくらつたッス！」

『邪魔だ邪魔だ、突撃！』

「また飛んだー！」

「閃光玉どーん。」

栄ちゃんホンマに自由だな。

一応幽靈なんだけどね、死に設定になつてるね。  
あ、十代の後ろにランゴスタガ・・・しかもレイアのファイアードに  
当たつたし。

『罠張りますね。』

「では、捕獲の方向で。」

「「サー・イエッサー。」」

栄ちゃんが落とし穴を張り、レイアが穴に落ちた。  
いまだああ。

「麻酔玉発射。」

「隊長！！麻酔玉を忘れました！！」

「構わん、麻酔玉があるものだけが投げる……。」

『発ぐらい投げたら捕獲できました。

脳内BGMはFFの勝利のファンファーレです。

『逆鱗ゲット。』

『逆鱗ゲット。』

『逆鱗ゲット。』

「僕だけ逆鱗なしツスか。」

『これ遊戯王小説つすよね。。。。』

『「大丈夫だ、問題ない。』』

『メタ発言自重するツス。』

『ところで俺の隣にいる人って誰?』

レイイザーの隣?

あ、イエローの制服の人。。。

『「いたんだ、三沢。」「いたんだ三沢君。』』

『いましたよ!!』

いや、だつてねえ。存在感が全くなくつてさあ。

・・・ホラ、この小説三沢の出番なかつたじやん。

三沢vs万丈目も崖から落ちてなくなつたし。

だからもう出てこないと思つてたり。

『全く出てこなかつたしなあ。』

『三沢君、存在感が全くないツスから、ねえ。』

『ぶっちゃけ外国のディグマみたいな状況になつてたと思つてた。』

『で、この人誰?』

『そんなことよりおうどん食べたい。』

『おーん』

マジで恋れてた。

だってもう出てこないかと。

作者も忘れてたと思ってたから。

・・・文化祭で活躍をせてやるつづ。

「あ、もうこんな時間ッス、僕たちまたさう帰りますッス。」

まだ22時だぞ。

「じゃあ明日、校舎前で。」

「ああ、じゃ、おやすみ。」

「どうせ俺なんて・・・俺なんて。」

三沢うるさい。

『うんうん、その気持ち分かるよ。俺も最近出番がなくなってきたから。』

「お前ら帰れ。」

『ポケモンはガキの遊びじゃねーんだよ。』

『朱ちゃん強すぎ。』

『お腹空いたー。』

『早く寝ないと貞子さんが来るぞー。』

『『『『おやすみ』』』

寝るの早ツ。

俺も寝ないとな。

夢の世界でぐらりい彼女できてもこいつね。

いや～、久々にグッスリ寝たわ～。

気分もいいし、亡靈たちも見えるし、ドローパンでチヨコパン当たるし、いい朝だ～。

『2時に寝て5時に起きてピシンピシンしてゐる貴様は何もんだ。』  
人間です。

ちなみに今日は休日である。

でも、休みの日に早起きつて誰でもやるよね。

・・・やることね～。

マジで早起きしてもやることね～。

誰だ早起きは3文の得つて言つたのだれだ。

・・・ブルー寮周辺にでも行くか。

蝉取りに。

カブトムシ捕れちゃつたよ。

しかもいやな奴に出会つてしまつたよ。

誰が呼んだか黒光りするG

まさにキモいよ黒い悪魔。

『呼んだ?』

呼んでません。

「何してんだ、お前。」

おや、君は高田君じやあないか。  
全くデュエルしていない高田君じやあないか。

「見て分かれ。」「わかるか!」

やれやれ、少年の頭は柔軟ではないのかねえ。

「天なんとかのために黒くてカサカサ動いて背中がテカテカしてて妙に動きが速いやつを捕まえようとしているのではないか。」

「要は『ヨキ リだろ。』

「高田、オブラーートに表現しろ。」

『てか、そろそろ展示の時間だぞ。』

・・・忘れてた。

「俺には用事があつたんだ、というわけでアーテュオス。」

「どこのタキシード仮面だ。』

別にピチピチフレッシュの女子が好きなわけではないぞ。  
別に可だけど。

午後10時・・・いつもなら貯まりに貯まつたゲームの攻略で忙しい時間である。

・・・高校生スケジュールじゃねえ。

普通高校生つて幼馴染が起こしに来たり朝飯作ってくれたりして朝を迎える・・・死が向かってくる気がする。  
恋人なんて都市伝説です、実在しません。  
自分の思考回路が悲しくなってきたな。

「お、永理じやないか、お~い。」

「カブトムシが見えるッス。」

「やつと来たか、遅かつたな。」

「三沢君、いたの?」

「三沢、いたんだ。」

「君たちより早くいたんだが・・・てか挨拶したじゃないか。」

「モブと思つてた。」

「おれ」

また落ち込んでるよ。

どうでもいいけどクロノスの肌つてやっぱ京都のアレなのだろ？

「クロノス先生の悲鳴！！」

扱けたのかな。

「ダンスの角に小指をふつけたんだろう。」

で、やつぱり原作の「」とく盗まれてました。

「なにちょっと前の三沢の格好してるんすか。」

「にいます!!」

見失つてた、ミストボディ装備してんじゃね？

やつぱ探さなあかんのかなあ。

「うわああああつーー！」

今の声は・・・あのガキか・・・。

なんで石場なんだ神楽坂、こいつちは塩が弱点なんだぞ。

・・・幽霊みたい？ちがう、俺は悪魔だ。（使用するモンスターの種族的な意味で。）

自重しろ？自重してほしならコメント欄にそいつ書けばいいじゃない。

そいつすれば考えるぞ、考えるだけだがな。

「くわくわくわくわくわくわく、この力だ、伝説のデュエリストの『テックキ』を持った俺はもはや誰にも止められねえ！！

この俺にたてつく奴はこの『テックキ』で葬り去ってくれる！！俺は最強なんだーー！」

あの程度で伝説って・・・どうなのぞ。ぶつちやけカイザーとか凡骨とかのまつが伝説のような気がするけど、主に運全般的な意味で。

「で、翔

あそこでサイド一にハイツて奴だみたいなになつてるのは誰？」  
知つてゐるけどな。

「遊戯さんの『テックキ』を盗んだ人だよ。

返してもらおうとしたらこのとうり負けちゃつて。

・・・煩いなあ、あいつの声。

こいつは頭痛つてのにさあ。

あー、頭痛い。

「おこそこその黄色、デュエルしろよ。

この世界なら、たぶんこれで通じる。

俺なり逃げるけどな。

「なんだお前は。」

「わが名は土のスカルm・・・一般人だ。

盗人君、デュエルでこの俺が勝つたらそのデッキを返してもいいわ。

「

そこ、神のカードを使っているからって一般人じゃねえだろって思わないっ！！

まあ、このデュエルを受けるような馬鹿はいないよな。

「いいだろう、受けて立つ！！

貴様もこのデッキの鑄してくれるわっ！！

受けちゃったよこの人。

大丈夫かこのデュエルアカデミア。

「デュエル！…」「ぎゃーひやつひやつひやつひや…！」

「俺の先行、ドロー。」

先行とられました、そろそろ1キル止めようかと思います。  
ちなみに別にスキルは使いません。  
キチアーノではありません。

「魔法カード『融合』発動、『幻獣王ガゼル』と『バフオメット』  
を融合

『有翼幻獣キマイラ』召喚、ターンエンドだ。」

いきなり融合・・・チートキャラめ。

「俺様のターン、ドローカード。」

なぜバクラ風かつて?  
気分さ。

「魔法カード『悪夢の施し』発動、デッキからカードを4枚ドロ  
し、5枚墓地へ送る。

そして魔法カード『死者蘇生』発動。さあ、我が勝利のため、起動  
せよ『ラーの翌神龍』！！」

「神のカード……だと……。」

「もうなんでもありッスね。」

さすが神のカード、灰になりそつだぜ。  
つてか熱つ、ラーの周り熱つ。

「ラーの攻撃力は自身のライフをラーに1になるように捧げ、拝つ  
た数値分アップさせる。

よつてラーの攻撃力は3999だ。

行けラーよ、その魔物を焼き払え！－ゴッド・ブレイズ・キャノン

！－

あ～、炎がスゲエマジパネ。

さすが神のカード、現実じゃライフチュツチュギガントだけどな。

「ぐ、うわああああ！－！」

どんな攻撃方法かつて？ググレ。

「くつ、だがキマイラの効果により『バフオメット』を  
特殊召喚。」

「メインフェイズ2に魔法カード『融合解除』

選択するのは『ラーの翼神龍』

「なつ、ラーは融合モンスターではないはずだ。」

バトルタワーのアレを見ていなか貴様は。  
やれやれだぜ。

「カードを2枚伏せ、モンスターを1体伏せる。  
このターンは終わりだ、再び墓地へ舞い戻れ。」

いつぺん言つてみたかっただよな〜。  
どうしてOCGではラーになってしまったんだ。

「俺のターン、ドロー。」

『マンジュー・ゴッド』を召喚、効果発動。  
デッキから『高等儀式術』を手札に加え、発動。  
デッキから『青眼の白龍』を墓地へ送り、『カオス・ソルジャー』  
を儀式召喚。

・・・どうでもいいけど暑そだなソルジャー。  
仮面だし、鉄だし。

「行け、『カオス・ソルジャー』  
モンスターを切り裂け!! カオス・ブレード!!」

やはり遊戯のデッキでも、基本的なブレイブングは一緒か。  
遊戯なら社長の嫁を蘇生させ、大ダメージを狙うだろう。  
ちなみに嫁ドラゴンはレプリカだ。

一般に発売されているカードだ。  
・・・リア度高いけど。

「破壊された『ニードリア』の効果、発動。このカードが破壊され、墓地へ送られたとき、破壊したモンスターを破壊する。」

「なつ、卑怯な…！」

卑怯？ ありがとう、最高の褒め言葉だ。だが、まだ俺のコンボは終わってないぜ。

「罷カード『蘇生の石板』

このカードは戦闘によって破壊され、墓地へ送られたときその戦闘によって破壊されたモンスターを蘇生させる。つまり、『ニードリア』召喚…！」

死者蘇生の罷版です。

ひゃーはっはっはっはっは。

主人公として、このカードはどうなんだろう。

「くつ、ターンendidだ。」

バフォメットを守ったか…。

所詮貴様のレベルじやあ、その程度か。

「俺様のターン、ドローカード。

魔法カード『左腕の代償』発動。

手札をすべて捨て、デッキから魔法カードを手札に加える。俺が手札に加えるのは『天よりの宝札』。」

一応レアカードなんだけど、このデッキには3枚入っている。  
翔も突っ込むのが疲れたのか黙っている。

「『天よりの宝札』発動、互いのプレイヤーはデッキから手札が6枚になるようにドローする。

貴様は3枚ドローしな……！」

6枚ドロー美味しいです。

「永続魔法『エクトプラズマー』発動。  
『怨念のキラードール』を召喚。更に手札2枚をコストに『魔法石の採掘』発動。

『死者蘇生』を手札に加え、発動。

『死者蘇生』で蘇生させるのは……

社長の嫁。」

「なぜに嫁ツスか？」

翔よ、小さいことを気にしてるから背も小さいんだぜ。

「行け青眼

目障りな摩獣を焼き殺せ。滅びのバーストストリーム。」

さすが社長の嫁、強いな。

「『一二コードリア』で直接攻撃。

エンドフェイズに社長の嫁を生贊にし、貴様にダメージ、止めだ。」

はい止めシヨボイです。

そしてキラードール可愛いです。

「くつ、俺は間違っていたのか・・・？」

「強奪は犯罪だからなあ、間違ってたつむやあ間違ってたかな。」

敗北のショックで項垂れたまま話しかけてきた。

関係ないがすごい髪だ。

他の小説なら慰めの言葉をかけるのだろうが俺はしない。

闇は黙つて消え去るのみ。

「・・・さて、他の奴が来る前にとつとつすらかりますか。」

表向きは翔が倒したつむやとしておけばいいし

俺は正義には似合わなすぎる。

俺は邪神で十分だ。



PDAからメールが届いた。  
しかし、シリアルスに決めている場面でナイト・オブ・ナイツはない  
だろ。

件名：破壊の闇

奴を我らが同志に引き入れても良いのではないか?  
我らの闇を集めるために・・・。  
妬みを集めるために・・・。  
殺意を集めるために・・・。  
返信を待つ。

教祖様。

「・・・ちょうどいいかな。  
・・・あいつ程度の実力なら、消えても・・・。」

デュエルアカデミアから。

恋愛？そんなの幻想です。偉い人にはそれが解らんのです。

### 視点・恒例の永理

『前回までのあらすじ

破壊の闇はモテない人の集まりです。』

「台無しになること言うな。」

「何の話をしているのにやー。」

まあ、それは置いといて、転入生の紹介にやあ。』

編入生、ねえ・・・。

あ、HDDの容量が限界に近いんだった。

「寮長殿、ハードディスクドライブの容量が限界に近いので部屋に戻つときます。」

「ダメですにや。」

「ダメですよね。」

『エビフライお変わりですう。』

「わた・・・僕の存在感ゼロ！？」

さすが栄ちゃん、通称エアーブレイカー。

でもそんなところがまた可愛い。

変態・・・いいえ、紳士です。

ピチピチフレッシュな女子高生が好きなんて言いません。  
変態といつ名の紳士です。

『早乙女君には、永理君と一緒に部屋ですんでもううう』エビフライ

「…。ああ、まだですか？」

「ちよつ、アバター君僕のエビフライ取らないでよ。」

『弱肉強食、早いもん勝ちや〜。』

『肉を食べたい・・・。』

L

アバターが翔のエビフライを食べ、翔が文句言ってアバターのエビフライを取ろうとしたらなんやかんやでデュエル。イレイザーは肉が食べたいらしい。

・・・力オスだ！の一言に尽きる。

卷之三

卷之三

「僕が完璧に空氣！？」

仕方ない

だってキャラ濃すぎだからねえ。

卷一百一十一

・・・幼女の匂いかす「一筋肉バスター」きやああああ

! !

視点・レイちゃん可愛によレイちゃん

レッド寮、力オスって聞いてたけど、ここまで力オスだとは思わなかつたです。

あの黒い服を着た人たちはなんだらつ・・・。  
レッド寮の生徒ではなさそうだし。

てか寒い！超寒い！

あと怖い、あの女の人人間じゃない。

「では、解散、早く寝るにやよ。特に永理君はできるだけ夜に起き  
ないでくださいにや。」

「尿意だ、仕方ない。」

「・・・年寄りですかにや？」

「年寄りではない。思春期真っ盛りのいたつて普通で健全な男子生  
徒だ。」

「健全な男子生徒は「ミケなんか行かない」と思つにや。」

『 ハジフリヤああああああああああああああああああああひゃひゃひゃ  
はははははははは。』

・・・お母さん、ここは地獄です。

常識なんて通用しません。

「大徳寺先生、ここはいつもこんな感じなんですか。」

「どちらかといつとまだソフトなほうにや。」

なにそれ怖い。

お母さん・・・私はデュアルアカデミアに入ったことを後悔します。

「良い子は寝る時間にや。みんな～、解散にや～。」

寮長も適當ですね・・・。

（次の日）

「あの・・・これ、なんですか？」

「カレーだ。」

すんごい真っ赤なんだけど。

目が、目が痛い。

何入れたのこれ。

「ハバネロだ。（本当はテスソースだけどな。）」

食べたら口の中痛いわお腹が痛いわで大変だった。  
永理さんはなんで大丈夫なの？  
てかなんで朝からカレーなの？  
あとなんで幽霊がいるの？  
なんで幽霊がカレー食べてるの？

「なあ、時間・・・大丈夫か？」

「・・・あ、忘れてた。

こりゃ完璧に遅刻だな。」

笑つてないで早く食べてよ。  
もう間に合わないけど・・・。

『レイちゃん、一緒にストファやるつ〜。』

『えつ、別にいいけど・・・。』

? B ?ならできるんだけど、まさかレバガチャのほうとは・・・

もつ突つ込みビリがたり過ぎるよー。

あと栄さん強すぎるよー。

なにあのガイル！歩きながらスマートをつてきたよー。

高橋名人もびっくりだよー。

結局クロノス先生がやつてきてストファは中断になった。

・・・永理さん、貴方は一体何者ですか。

授業は難しかったなあ、鍊金術とか解んないし。

永理さんは僕の恋を応援してくれるらしい。

僕の恋、叶うといいな。

視点・永理

恋する乙女ねえ、青春だねえ。

おじやんは青春の88%をゲームに費やしたね。

さて、レイちゃんはたしかカイザーに告白 フラれる 十代に恋  
弾ぜひ。

あれ、なんか違うな。

レイちゃんカイザーに告白 フラれる 僕が慰める 夢オチでした。

絶望

やつぱり違う。なにかが違う。

レイちゃんカイザーに告白 くつつく カイザー死ね  
どうして俺の頭はこう、ネガティブなのかね。

「なにしてるの？早く行くよ」

そういう俺の手を握つてきた。

・・・もう思い残すことはない。死んでもいいや。

「永理さんー鼻血が凄いよー！」

「大丈夫、少し目が霞んでるだけ。」

「それ大丈夫じゃないよねー！」

「大丈夫、死にゃあしないよ。」

「なにやつてるんだお前ら。」

あ、亮さんだ。

「俺の初登場時に鼻血、貴様まさかペドかつー」

「せめて口リツテ言え。」

「永理さん、保健室行こうよ。

さすがにヤバいよ、リツトルぐらい出でるよー。」

何言つてるんだレイちゃん、俺なら大丈夫だぜ。

「まだ、大丈夫だ。」

初めてのH口本読んだときに比べ・・・。」

レイちゃん、上目使いは、反則、だぜ。

「ふはあーーー！」

「え、永理さ――ん！！！」

亮さん！ 救急車を、救急車を呼んでください」

「学園に救急車はないぞ。」

この匂いは、保健室か。

「目が、覚めたか。」

カイザー

制服は汚れるわお前を運ばなきやならないわで。

ルノーデ、トトモゼニサヘ.

「レイちゃんなら帰つたぞ。お前に言伝を頼まれてな。」

レイちゃんが言伝?

俺そんなフラグ立てたっけ？

「また来ます・・・だとよ。」

また？

・・・文化祭の事かな？

あの後、勿論寮に帰つたよ、俺は。  
レイちゃんが居なくなつて広く感じるけれど、すぐに慣れるよね。  
すg『永理さーーん、テレビから、テレビから人が！？』  
静かにならないかなあ。

しゃ、主人公がいつ台詞じゃないよな。

視点・永理

代表・・・みんなは代表に選ばれたことがあるだろ?か。  
生徒会会長とかなら選ばれたりするだろ?う。

なぜ俺が?それと十代が相手なら86%負ける自信はあるアルヨ。

「お断りいたします、その日は黒魔術で実験がありますので。」

「く、黒魔術!?ま、まあそれは置いといて、そこを何とか・・・。」

「

嫌だよメンドクサイ。

なんで俺が。

代表で出てもバーンデッキで決めるからな。

「メールが入ったみたいですので、席を外してもよろしいですか?」

「あつはい、いいですよ。」

立ち話だけどな。

そつ心の中でどや顔しつつ、俺は廊下へ出た。

なになに

文名・満月栄  
文件・無題

永理さん助けて・・・貞子さんが・・・貞子さんが。

何があつた我が寮よ。

「何してゐるのそんなどいろで・・・。」

おや、何時ぞやの藍様ではないか。

「何の用・・・月城さん。」

「その言葉、そのままそつくりあんたに返すわ。」

「メールを読んでただけだ。」

「メール?」

まあいいわ、今日はあなたに紹介したい友達がいるの。」

これまた面倒なキャラを連れてきたなあ。  
よりもよつてこいつとわな。

「貴方があの伝説の作家、百合白ランの小説を持つてゐて聞いた  
から華麗に参上!

大庭ナオミ、参上!」

TFとキャラが全然違つじやねーか。  
なにこのハイテンション。

「なぜに参上を2回も言つたんだ?」「  
大切なことなので2回言いました。」

あつそづ。

「ああ、百合白ランの小説とつこでに百合漫画を私に売りなさいー。」

「1冊756円です。」

「買った！！

元気だな～。

まあ小遣い稼ぎにいやあなるか・・・。

「で、何をしてたの？少佐君。」

「で、何をしていたのですの？大隊指揮官さん。ついでにゲームも売りなさい」

「俺は別に吸血鬼を倒したりしないぞ。

ちょこっとメールが来たんで見てただけだ。プレミアがついてる妹と姉のラブコメのやつ90000円な。」

何処の少佐だよ、まったく。

そりゃあさ、射的で全弾外したけどさ。あれはライフルだぜ、だからノーカンだよな。

「もしかしてアカデミア代表とか？」

「まあ実力だけは認めますけど・・・代表って性格では・・・。もつ少し安くなりませんの？76000円。」

「藍様正解、あと大庭さん性格のほうは触れないでくれ。安すぎる、84000。」

「まあ顔は普通ですからね。買いましたわ。」

おうおう、ブルジョアは違うねえ。

一気にこんなにも金が。

あとやっぱり性格が違うねエ。

ん、メールだ。

文件：無題

永理さん、テレビから、テレビから人があ～。  
呪怨を、呪怨を～。

めそ。

栄ちゃん呪怨をどうしたの！？それとめそつてなに…？めそつて…？  
『で、めそつてなによ。』

「しらねーよ。」

「誰と話してるんですの？」

まあ、いいですね。

一応出ておきなさい、校長の頼みですので。」

メンドクサツ。

「メンドクサツ。」

「わざわざ口に出さなくとも…。」

「一応でおきなさい、百合ヶーあ～「よし、出るぜ。」や、そつ・  
・・。」

いざ、戦いの舞台へ…！

（学園対抗デュエル、予選当面～

視点：十代

「なあクロノス先生、永理はまだ来てないのかよ。」

楽しみにしてたのにな。

「そう焦ることもないゾーネ。すぐに来るはずデスゾー。」

まだかなあ、早くデュエルしてえよ。  
ん、明かりが消えてる、まさか・・・。

「はははははははははは。」

あの声はツ！

「おい、あれはなんだ！！」  
「鳥か！！？」  
「飛行機か！！？」  
「いや違うー少佐だーーーー！」

スポットライトが声のしたほうへ向けられる。

「諸君、待たせて悪かつたねえ、最恐の悪魔族使い月影永理ただ今  
参上！！」

諸君に最高のデュエルをお見せしようつーーー！」

永理つてあんなキャラだっけ？

たまには田立つのもいいなあ。

あとみんなノリがいいねえ、おじれんはつきつけりやう。

「さあ『テュエル』スタートだ！！！」

「一応それ言うの私なんでスーガ。」

「『テュエル！』『ゲームスタート！…』

「まずは私のターン！ドロー！…

さあ、出番ですよ『熟練の黒魔術師』召喚！…

そして手札から『永続魔法』『前線基地』発動！…

手札から『W ウイング・カタパルト』を特殊召喚！…カードを一枚伏せ、ターンエンド『ヒース！…』

やばッ、このキャラ楽しつ。

ちなみに使用『テックキはブラック・マジシャン』と『WXYN』のアレだ。

「俺のターン、ドロー！…

手札から魔法カード『強欲な壺』発動！…

いきなりですかい。

「『融合』発動！

手札の『E・HEROHンシャント』と『E・HEROプリズマー』を融合！…

『E・HERオヘブンズ・ガイ』！…

「！」攻撃力2800、だと…。」

いきなりそれはないでしょ。

「行けエエエエエヘブンズ・ガイ！…ヒンジュルシユウウウトオ  
オオオオオ…！」

やばいやばい、大分とやばい。

はア、まさかこんなにも早く使うことになるとはなア。

「罠オープソ『基地爆破』発動！…

このカードは『前線基地』を破壊する」と相手モンスターの攻撃を無効にし、デッキからカードをドローする…！」

ピンポイントだなこのカード。

とりあえず作つてみたけど…。使い道が限られてるんだよなあ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターンですね、ドロー！…

魔法カード『強欲な壺』を発動！…デッキからカードを2枚ドローします！

『熟練の黒魔術師』を生贊に捧げ、来なさい『ブラック・マジシャン』…」

もうみんなびっくりしない、なれたっぽいなあ、おじさんちよつと悲しいよ。

ちなみに色はパンドラさんの奴。

「そりに、『？ タイガー・ジロット』召喚…  
行きますよ、ドッキング！…』VV タイガー・カタパルト』合体  
召喚…！」

男の夢だよね、合体。ちなみに合体召喚は勝手に名づけた。

「タイガー・カタパルトの効果により、憎き英雄を守備表示にし、『ブラック・マジシャン』に『蝶の短剣 エルマ』を装備し  
行け！タイガー・カタパルト！－

メガ粒子砲！－」

「ビグザム！－？」

なぜ知ってる丸藤翔！

「罠カード『ヒーローバリア』を発動！  
相手モンスターの攻撃を無効にする！」

「ならば『ブラック・マジシャン』で攻撃！パピ ヨン光線！」

やっぱ装備魔法はネタに走らないとねえ。  
で、攻撃はとくに『ブラック・マジシャン』が杖を捨て、「蝶、サイ  
コーナー」と言いながらヘブンズ・ガイを殴り、杖を拾いに行つた。  
・・・すげえよ海馬コーポレーション。  
まさかうる覚えネタまでにも反応するとは。

「まだまだ、速攻魔法『光と闇の洗礼』を発動！  
デッキより出でよ－『混沌の黒魔術師』！」

出てきた瞬間「今夜の俺はあア、ジェントルマンキャラなのよ。  
つて言つてた。

やっぱスゲーゼ海馬コーポレーション。  
ネタも欠かさず入れるつてか。

「効果により墓地の魔法カード『強欲な壺』を手札に加えるぜ。  
行けえい、混沌魔術師、カオス・ブラファームー！」

「攻撃名ちげえよーー！」

はーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはー  
はーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはーはー  
ボウズ。

名前？ノリで付けたに決まってるじゃない。  
あと声が若本になってきた。何故に？

「ちょツ、声がおかしいってうわああああーーー！」

俺、中二病になつたかも。

「『強欲な壺』を発動し、ターンエンドだ。」

次のターンに『ライトニング・ボルテックス』を浴びせ、止めをさして  
やる。

アレ、これ、死亡フラグ？

「なんだかわくわくしてきたぜ、俺のターン、ドローー！

『天使の施し』を発動、『デッキからカードを3枚ドローし、2枚捨  
てる。

さらに魔法カード『ミラクルヒュージョン』発動ーーー！」

「こまさら融合したつて無駄だぜ、貴様の融合『デッキには攻撃力2  
800以上のモンスターは入つてないばす

俺様の勝ちだー！」

「『J』のカードが、俺を勝利へと導いてくれる。J-J-E-H-E-R-Oフレイム・ウイングマン！』

「だかそいつじゃア攻撃力がたりねえなあ。次のターンで貴様に落雷を落とし、直接攻撃で決めてやるぜーー！」

あ、これ死亡フラグだ。

「ヒーローにとっちゃアこのフィールドは殺風景すぎるぜ。フィールド魔法『摩天楼スカイクレイパー』発動！！！」

負けましたーっと。

「行つけエエエエ『混沌の黒魔術師』に攻撃！スカイクレイパー・シユート！！」

「だ、だか『混沌の黒魔術師』は破壊されたら墓地へと送られる、次のターンで俺の勝ちだ！」

だがあの伏せカードが気になるが、まさか。

「そんなことは百も承知だぜ！永続罠発動！－『王宮の鉄壁』－！」

まじでかよ、だから主人公は嫌なんだよ。

「フレイム・ウイングマンの効果発動！永理のライフに直接ダメージを与える－」

まさかとは思うがあのカードを使つたりしないよな、無罪釈放パーティであげたあのカードを。

「これで止めたよ」の「都合主義の塊めツ。

「さうはり来たよ」の「火炎地獄」を発動！！」

「ぐッ、たとえこの場で死すとも……闇は消えん……貴様らが存在する限り、私はよみがえ、ぐはあツ！！」

ノリで言いました、後悔はしていません。

「し、勝者、遊城十代ナノ～ネ（なんなノ～ネあのセリ～フわ。）」

「ガツチャ、楽しいデュエルだつたぜ。」

「負けた、だが次は俺が勝つ！またその日までサ～～ラバ～～！」

視点・十代

腰に引っかかつてゐるワイヤーに引っ張られ、どこかへ行ってしまった。

「ちょッ、引っかかつてゐよ、服が引っかかれて、まッそんな無理やり引っ張つたら・・・！」

な、なにが起つてゐるんだ！！

「だからダメだって、死ぬから、苦労して作った衣装が、あッ、仮面が落ちた、パピ ヨン仮面がつて踏むなヒビが入つて・・・！！」

大変そうだなあ・・・。

「あの服、凄い派手だつたゾ～ネ。いくら位でショ～カ？」

クロノス先生、買つんだあの服。

「えッ、オチがないから落ちろつて、ちょッまツイ、エアアアアアア  
アアアアアアアアア！」

しゃ、主人公がいつ台詞じゃないよな。（後書き）

どうもナムです。

「永理です、しかしながら今日は俺たちが後書きに出てるんだ？」  
他の小説見てたらやつてみたくなったからさ。

「お前、それ駄目だろ。」

まあ小さいことは置いといてオリカ紹介しようか。  
「逃げたな。」

（オリカ紹介）

『E・HEROHンシャント』

レベル8

光属性

攻撃力：2600

守備力：1500

天使族；効果

このカードを生贊に捧げることで墓地からHEROHンシャントのつくモンスターを1体

召喚条件を無視し、特殊召喚する。

このカードは墓地から特殊召喚することはできない。

『E・HEROヘブンズ・ガイ』

レベル10

光属性

攻撃力：2800

守備力：1700

天使族；融合

『E・HEROHンシャント』 + 『E・HEROプリズマー』

このカードは融合召喚でしか、特殊召喚できない。

このカードが戦闘を行う場合、相手モンスターの効果を無効にする。

『基地爆破』

通常罷

相手モンスターの攻撃宣言時に『前線基地』を破壊することで、相手モンスターの攻撃を無効にする。

「で、本当のところなんで今回は後書きを、前まで『ネタが思つ  
かん、たまに書くぐらいなら書かないでおこう』って言つてたじや  
ん。」

まあ、ちょっとしたアンケートを取るつと思つてな。

「アンケート？」

ほら、永理の部屋つて色々とおかしいじゃん。  
レバガチャのストファとか。

「あ～、あれね。」

アンケートで5人以上部屋の構造を見たい！プロフィールとか見た  
い！って人がい  
たら書こうと考えてる。

「ふむなるほど。」

プロフィールが見たい！部屋の構造が見たい…どこが違うかわから  
ないから詳しく書いてつ、て人は感想欄に書いといて。ついでにオ  
リキャラも募集する。

「性格が改悪になつたりするかもしれないぞ、作者が作者だし。」

どういう意味だてめえ、募集するキャラは見た目、性格、使用テッ  
キ、性別などを書いてくれ、書かなかつた場合勝手に決める。

「それじゃ、また次の更新でお会いしましょう。」

生きてたら更新します。

それではまた次回お会いしましよう。サヨウナラ～。

あの後どうなつたの？

「布切つたよ、苦労して作つたのに。」

デンマーク。

太陽神がデュエルって想像できん。

視点・永理

学園対校試合・・・凄かつたなア・・・。

十代の後攻1ターンキル。

流れとしてはフレイム・ワイングマン スカイクレイパー ミラクルフュージョンで総攻撃！

『すいませ～ん、さださだ宅配便で～す。ハン～お願いしま～す。』

「あっ、はいどうも。」

『またのじ利用、お待ちしております。』

そう言いながらテレビに潜つて帰つた。

さて、東方花映塚でもやりま～「おい、家具運ぶの手伝え！」え～。

「住まわしてやるだけでもありがたいと思え。」

「俺だつてこんな薄気味悪い場所は嫌だが・・・仕方ないだろ。」

氣味が悪いって・・・そりや異世界に繋がつたりしている地下室はあるけどさア。

幽靈いるけどさア。

『万丈田のアニキ～、この部屋、凄いポスターの量だね～。』

『見たところかなりのレア物ゲームも山積みだ～。』

『でも女の子を部屋に入れるにはちょっと。』

『こいつに彼女はいませんよ・・・。』

『俺の能力つてさ～、原作では神には効かなかつたんだぜ、俺の能

力意味なくね?』

『俺なんか入任せの神つて言われたし……。』

精靈が増えたらだいぶどうなさい……。

てか靈使いの精靈来てくれマジで、ここもさ苦しい。  
てか何、なんで俺の部屋なのよ。涼しい物件だけど。

・・・新たな精靈が欲しい。

と、思つてた時期が、僕にもありました。

よつこもよつておジャマかよ!  
精靈? もちろんあげましたよ。

「永理! タンス運ぶの手伝え!」

「よし断る。」

だって面倒なんだもん。

ん、PDAから着メロが……。

『月光蝶である! 月光蝶である! げkkk 「鬱陶しいわーー」 「  
アブツ! 」うであ・・・』

ソウルイーターのHクスカリバーのほうが数百倍ましである。  
あと万丈目よく避けたな、タンス持った状態で。

『随分飛んだな。』

『ありや遺跡のほうまで行きましたな。』

『若干無理やりな気もするけど・・・。』

『てか、潰れてるだろPDA。』

『月影のアニキ～、ちょっとヤバいんじゃない？』

ウルセH、マジウルセH。

頼むから靈使い、ブライマジ、来い。

「万丈目、取りに行くぞ。」

「一人で行つて来い。」

まアどうちでもいいけどね。

遺跡か～、久しぶりに行くなア～。

はいやつてまいりましたアカデミアの遺跡。

前探したときはお宝が見つかなかつたけど」「そこには・・・。

「「J・・・これはうまい棒たこ焼き味・・・だと・・・。」

『絶対賞味期限切れてるよそれ！絶対食べちゃダメだよそれ！』

『トランسفォーマー・コンボイの謎ゲット！』

『古ツ～！そのゲーム古ツ～！』

『いつちや幻のレアカード『氣まぐれの女神』を見つけたぜー。』

『『『おっぱいキタ━━━.』』』

『何このカオス』

いやだつてレアアイテムだらけじゃん、これで興奮しないドレッヂは何者かツ～！

『ドレッヂくん、もしかしてテュエルで使ってくれないの気にし

てるんじゃない?』

うわ、嫌味だ。

『『地碎き』で潰すぞ』

『すいません調子こきました許してください。』

ドレッド君のオラオラがアバターにむかって・・・アバター、『愁傷様。』

ん?次元の裂け目みたいなのがこっちにむかって・・・。

「やつぱり精霊界か!」

「こじじゃア『』が「」になるんだね。』

「アバターメタ発言自重。』

・・・遺跡・・・ペリシアード・・・墓守・・・あ!

もしかしたら俺、死ぬかも・・・。

「闇のゲーム・・・やらなきゃダメかな?』

「ダメなんじゃね?』

やりたくねエ。

俺は捕まらんぜ・・・アレ、コレ死亡フラグ?

死亡フラグでしたよやっぱ。

どうしてこう不幸なんだ俺は。

「我らが神が貴様に会いたがっている。』

そういうわれたからついて行つたらわー。

「我と『テュエル』せよ。」

つて言つたのよ神様。  
いきなり何?  
しかもインティだし。  
それに明日香達が人質のとられてるらしい。  
メンドクサツ。

今度パン奢つてもらおつ。

「『テュエル!』」

「我のターン、ドロー。」

遊戯王つてすごいね・・・竜でも『テュエル』できるんだ。  
どうやつて『テュエル』ディスク持つてるかって?・?・?想像にお任せいたします。

「私は『キラートマト』を攻撃表示で召喚、ターンENDだ。」

インティの場にグロトマトが現れた。

もつ誰も傷つけたくないんだー!

俺はファーストガンダム派だ!

「では俺のターン、ドロー。」

全体的に氣の抜けた感じでテコヒつてます。

「手札から魔法カード『魔の試着部屋』を発動します。」

今回の「テックキはロマン」があります。・・・紳士な。

「800ラーフ払い『テックキからカードを4枚めぐり、レベル3以下の通常モンスターを特殊召喚します。』」

「ザ・一枚目、ドロー、モンスターカード！  
・・・」めざ。

「『占い魔女ヒカリちゃん』！」

周りの墓守達が「よひじょキター！」って叫つてゐる。この口コロン  
共め！

「2枚目ドロー、『占い魔女エンタちゃん』召喚！  
3枚目ドロー、『占い魔女フウちゃん』召喚！」

俺の勝ちは決定したア！！

あとドローはしていません、めぐつてゐるだけです。  
勿論ノリで言つてします。

「4枚目ドロー、『占い魔女フウちゃん』！」

俺なんていの「テックキ選んだんだわ！」・・・。

「そのよつな雑兵・・・並べたといひで壁にしかならぬぞ。」

「残念、こいつ等はサポートカードで真の力を發揮するのぞ。」

「なん・・・だと・・・・・！」

インティさん、BLEACH読んでんだ・・・。

「永続魔法『開運ミラクルストーン』発動！

自分フィールド上の占い魔女と名のつゝモンスター1体につき攻撃力を1000アップさせる！

つまり、こいつらの攻撃力は4000！

周りの墓守達が「踏まれたい」「罵倒されたい」「殺されたい」ダメー等最低だ！

「3体のモンスターを生贊に捧げ。」

「占い魔女達を生贊だと！酷い！」

「外道め～。」

テメー等最悪だ！

「出でよ『ラーの翼神竜』」「

はたしてこんなに無茶苦茶する主人公がいたのでしょうか？

「ラーの攻撃力は生贊に捧げたモンスターの攻撃力の合計数値となる、つまり攻撃力は12000！

ラーの効果発動！1000ライフを払い、『キラートマト』を破壊！ゴッド・フェニックス！

勿論マリク風にね。  
キラートマトに当たって、ファイアーアー。

・・・スライムだつたらばよえ〜んだな。

「さりに『占い魔女ヒカリちゃん』を召喚し、ヒカリちゃんを生贊に捧げ攻撃力2000ポイントアップ。そしてライフを1になるように払い、攻撃力を2999ポイントアップ。」

つまり攻撃力9000+2000+2999=オーバーキル。

大体15000のオーバーキルだな。

うわすげえ。

「『ラーラーの翼神竜』で攻撃、ゴッド・ブレイズ・キャノン!」

ラーラーさんが突っ込んでボンバーした。  
なんか突っ込む時泣いていたような。

「では俺が勝つたんでみんなを元の世界に戻してください。」

「う、うむ。

しかしあ主、どこのカードを・・・。」

どこのでつて言われてもなア。

「企業秘密です。」

「あ、そう。じゃあ戻しどくからどつかで遊んどいて。」

墓守達と話をしていたらなんか闇のゲームを無効化するペンダント  
貰つた。

どこのやうにこのお土産らしい。

「また来いよ。」

「次は靈使いを・・・。」

「我も待つて いるぞ。」

「じゃ、またな。」

こうして俺達は元の世界に戻つていった。

『永理、PDAは?』

「・・・あッ!」

太陽神がデュエルって想像できん。（後書き）

「お前さ、少しほ自重しろよ。」

「だが断る」

「駄目だこいつ」

「そ、そう。まあいいや。」

えーと、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違う  
かわからないつて人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くか  
ら。」

「あとオリキャラも募集中です。感想欄に  
見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてください。  
ついでに使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決  
めますので。」

「それではまた次回の更新日まで、さよなら。」

「インテイと戦つてみてどうだった？」

「ふつひもけ暑かつた。」

## 紳士と「スペアレヒタークネス

視点：亮

俺が出るの久しぶりじゃないか？

まあそんなことはどうでもいい。  
どうでも・・・いいんだ！泣いてなんかないよ？  
泣いてなんか・・・。

『マスター・・・泣いてる。』

『泣いてなんかない！目には涙が入っただけだ！。』

『帝王って呼ばれてるのに・・・。』

『こっちじやバカイザーだね。』

『だれがバカイザーだ！』

バカイザーではない、少なくとも未来融合 オーバー来ない 自滅  
なんてことはない！  
だからバカイザーではない！

『でも最初辺りやつてたよね未来自滅。』

『マスター・・・あのころは仕方ない・・・。』

『その喋り方靈使いがやるものだぜオーバーさん。』

そうだ！あのころはアレだ、仕がないんだ！  
だって師範がアレだし！

『マスター・・・師範が呼んでる。』

まさか、心を読まれたかッ！

『たぶん違うぜ（バ）カイザーさん、鍵がなんとか言つてたぜ。』  
「てめバカイザーって言おうとしたろ。」

『痛い痛い痛い痛い！アイアンクローハやめて。』  
『とりあえず行つとけ。』

ツインがそう言つので校長室に行つてみた。

ちなみに校長室は永理、クロノス先生、論理委員会の人達で改築され、ゲームセンターみたいになつていて

「ひつ『フルコンボだён。』なん『甘いースラ・ストライク！』

』

なに言つてるかわかんないだつて？そこは読者の頭でなんとかして  
もらおひ。

「え『波動k』速さが足りないッ！』『しょー』『サマーソル  
トなんて卑怯』『め～る〇とけ』『か『フルコンボだён』あず  
か『今日』そは負けないぞ十代！』せび『今日も勝たせてもら  
うぜ。』

全く聞こえません。

そういうやクロノス先生に万丈目、十代に翔まで居る。いつもはブル  
ー生徒でにぎわい、レッドは勉強しているはずなのに。「俺もいる  
ぞ！」・・・何処からか声が聞こえた気が・・・。

『そ、うい、よ。『レアフイギュア』の、リーチキター……ガチャを！』  
フルコンボだ、ドン！』ない！』

『読みにくいのでカットしますね』

「「「お前誰？」」「」

『一応カイザーの精霊です  
エンドごめん、忘れてた。

視点：永理

『このちの服は縫い付け終わつたよ～』  
『万丈目つて無茶難題出すときあるよね。』  
『XYZなんてできるのか？』  
「口を動かさず手を動かせ。」

どうも永理です。今コスプレデュエル大会の衣装を作っています。  
今残ってる衣装の頼まれた数は20、7割方終わつて残りがこの量  
だよ！

『なんか鍵が送られてきたけど・・・。校長かい。』

・・・鍵？いつたい何の？

『『インヴァルズ・ギラファ』の衣装完成ですう～。』  
『なんでギラファなんだろう。翔の衣装。』  
『『サイバー・ヴァリー』の衣装、オーダー入りました。』

『何故に、ヴァリー？』

はア、万丈目何処へ行つたんだ・・・。  
せっかく手伝わせようと思つたのに・・・。

『万丈目なら校長室へ行つたぞ。』

「あのやう~。」

帰つてきたら田の前でおジャマカード破つてやる。

『それはやめとけ。散らかるし』  
「それもそうだな。」

かたづけるの面倒だし。  
焼却炉潰れてるし。

ん、鍵？まさか・・・。

そのままかでした。

田の前にダークネスがいます。  
むつりや熱いです。

『クーラーねえの？ダークネスさん。』

「火山だから。」

『アイス食べてええ。』

「我慢しろ。」

『一体何の用を。こつちはコスプレ衣装作りで忙しいんだ。  
あとで手伝う。』

・・・なんでこいつ等は自然に話ができるんだ？

「ダークネス、今手伝え。」

「じつせ倒したら氣絶するんだろ絶対！俺は騙されんぞ！結構重労働なんだよ作るの！」

「断る。」

「では断ることを断る。」

「断ることを断ることを断る。」

「断ることを断ることを断ることを断る。」

「いや（いや）」

とりあえず作業がまだ残っているので、ダークネスを倒すことになりました。

倒したら元の世界に戻れるよね・・・たぶん。

「大丈夫だ・・・たぶん。」

「たぶんをつけないで！」

闇のデュエルらしいけど、勝てばいいんでしょ？  
勝てば出れるんでしょ？

「・・・よし、そつと決まつたら・・・。」

「「デュエル！」」

最近デュエル宣言のネタなくなってきたなー、と思いつつデッキから5枚カードをドローする。

・・・じ、事故ったアアアアアー！！

「なんだこれは！」「なあにこれえ」

敵さんも事故つたみたい。手札抹殺使つてくんねえかな。

「私の先行、ドロー！」

魔法カード『手札抹殺』を発動！』

・・・よし、まあまあの手札だ。

相手もいいカードを引いたみたいだ。

「魔法カード『思い出のブラン』を発動し、墓地の『真紅眼の黒竜』を特殊召喚する！」

黒炎弾来るかな。・・・来ないでほしいけど・・・。

「魔法カード『黒炎弾』を発動！2400のダメージを相手に与える！」

黒竜さん・・・口から出してください・・・。

何故に波動拳風？つて、熱ツ！さすが闇のゲーム！

「真紅眼を生贊に『真紅眼の闇竜』を特殊召喚する！カードを一枚伏せ、モンスターをセットし、ターンエンド！」

攻撃力3900・・・出だしとしては中々だ。

「俺のターン！ドロー！」

手札から魔法カード『古のルール』を発動！手札から『レオ・ワイザード』を特殊召喚！』

俺の場でマントを被つたヒヒみたいなのが出てきた。  
やつぱレオはロマンだよね。

「・・・古にな・・・。」

『氣にするな！』

『『レオ・ワイザー』の特殊召喚時、速攻魔法『地獄の暴走召喚』  
を発動！』

『デッキよつしレオさんを1体、墓地からレオさんを1体特殊召喚する  
！』

『闇竜は特殊召喚できない、まさか・・・。』

『そのまさかさ！3体のモンスターを生贊に『邪神ドレッド・ルー  
ト』を召喚！』

『俺の出番キター！』

『うむせえ・・・。

「おい。」

「ん、なに？」

「アレ、うるさい。」

「うん、俺もそう思つてた。」

『酷い！』

『「だまれ」』

『「うわーん！」』

緊張感の欠片もねえ。

一応元ネタは恐怖の根源なの。』

てか、こんな神、この小説だけだろ。

「とりあえずドレッジで攻撃、ドレッジ・サーヴァントー。」

攻撃名が違うのは仕様です。  
ちなみにただのパンチです。

「餓カード『攻撃誘導アーマー』発動！

攻撃したモンスターは私が選んだモンスターと、戦闘を行つ。」

な、なんだつてー。

闇竜を破壊できなかつたのは痛いな。  
たぶん次のターンライボルくるな。

「『メタモルポット』の効果発動！

互い手札をすべて捨て、デッキからカードを5枚ドローする。」

やべえ、後でイレイザーがすねるよ。  
いいドローだけど・・・。メタモルじゃなくてもグレファーさんで  
捨てるけど。

「カードを2枚伏せ、ターンを終了する。」

バーンダメージ対策にレインボー・ライフを伏せた。もう一つは和睦、これで勝てる！

「私のターン！ドロー！

魔法カード『ハンマーシュート』を発動！ドレッジを破壊！』

ドレッジさん滞在ターン、2。

神がハンマーに潰される、シユールだ。

『イ、エアアアア』

俺も出したことあるけど、どうやってだしてるんだろ。

「闇竜で直接攻撃！ダークネス・ギガ・フレイム！」

ダークネス・・・アバターの攻撃名どう・・・。

勿論和睦で防ぎましたよ。

「ちっ、カードを一枚伏せ、ターンエンド！」

そろそろ終わらしちゃう。

「俺のターン、ドロー！

手札から『俊足のギラザウルス』を特殊召喚！』

このデッキ、コンセプトがよくわかんない。

「貴様は墓地のモンスターを蘇生せることができる。され、好きなモンスターを蘇生させな！」

・・・俺って悪役の方があつてる気がする。

「では、『真紅眼の黒竜』を特殊召喚しよつ。」

・・・でもこいけどこいつちじや特殊召喚つていうんだ・・・。

俺、普段から蘇生つて言つてた。

「さらに速攻魔法暴走召喚！デッキからギラザウルスを2体特殊召喚する！」

「では、私は真紅眼を特殊召喚しよう。」

ふうん、たかが攻撃力2400のモンスター、すぐに破壊してやる。

「ギラザウルスを3体生贊に捧げ、アバター召喚！『すごく・・・』

「黒いいですって、何言わせるんだ貴様！」

さすがフブキング！ノリがいい！  
さて、問題は・・・。

「ダークネス君、ここでちょっとした問題が発生した。  
「えっ、なに？」

これが一番の問題なんだよね。

「『邪神アバター』の攻撃名はダークネス・ギガ・フレイムの攻撃名は・・・」

「ダークネス・ギガ・フレイム・・・はつ！」

気づいたか！

「そう、真紅眼姿のアバターの攻撃名がダークネス・ダークネス・ギガ・フレイムになるんだ。

でもそれは格好悪い、そこで攻撃名のアイデアを求む。」

マジで問題なんだよなあ・・・アバターの攻撃名・・・。  
だってダサいじゃん。ダークネス・ダークネス・ギガ・フレイムな  
んて・・・。

討論の結果、攻撃名はフルダークネス・バーストに決定しました。  
鎧黒竜の攻撃名にも使えるね！

「ど、 いうわけでアバターで黒竜を攻撃！フルダークネス・バース  
ト！」

黒い闇竜が黒い炎を吐く、闇竜だから黒いのは当然か・・・。  
その炎に焼かれ、真紅眼が崩れる。

「ターン終了。」

次のターンで、一気に決める。

「私のターン、ドロー！」

真紅眼たちを守備表示に変更、ターンエンドだ！」

「くくく、ドロー！」

魔法カード『ライトニング・ボルテックス』を発動！』

空から雷が降り、竜を燃やし尽くす。  
僕・・・悪役じゃないよ。

「魔法カード『死者蘇生』蘇生させるのはもちろん真紅眼！  
バトル！真紅眼で直接攻撃！黒炎弾！」

最初あたりはこの名前だつたんだけどな・・・なんでダーク・メガ・フレアになつたんだろう。

「ぐ、うわああああああ！」

「ジ・エンドだ！潰せ！アバター！フルダーカネス・バースト！」

「ぐ・・・あ・・・あ・・・。」

・・・おお！戻ってきた！

で、倒れているダークネス・・・どうじよつ。

・・・一先ず俺の部屋に連れて行こう。  
別にくそみそのアレをしようつて訳じやない。  
俺はいたつて健全で一次ファンなだけだ！

『どこが健全だ!』

『ロリコンの癖に・・・』

「う・・・うるさい！ イレイザー、テーマが運べ！」

# なぜ俺が

『酷い』

レイザー・・・後でペプシソあげるから元気をだして・・・。

『ペプシソなんかいるかああああー!』

## 紳士と「スペアレ」とダークネス（後書き）

「チートドロー。」

「いうな」

「真紅眼、強かつた？」

「結構強かつた。」

「ドレッドさん、やつと召喚されましたね。」

「たしかに初めてだな・・・。」

「さて、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うから。」

「あとオリキヤラも募集中だ。感想欄に

見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてください。  
ついでに使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決める。」

「真紅眼の闇竜つてさ、ワイバーンだよね。」

「それをこうな

吸血鬼と聞くとおやつやおもを思い出す。

「・・・夢想封印・・・やつてみたい。」  
『ヤメレ。』

視点・永理

始まりがいつもと違う。気にするな。  
ところで・・・このダークネス・・・どうじよひ。  
全く覚めないんだよね・・・。

「万丈目、どうすればいいと思つ?」  
「それは置いといてコスプレ衣装を作れ。」

さいですかい・・・。

ダークネスのコスプレ衣装でも作るうー疲れるけど・・・。

「手伝あうか?」

「いや、いい・・・つて、え?」

声のした方を見ると・・・吸血鬼がいた。パジャマ姿で・・・。  
たしかTFの・・・「顔芸女!」「その言い方やめて!」

「永理・・・そいつだれだ?」  
「おせつまじやない方の吸血鬼。」  
「なるべそ。」  
「酷い言い方!」

だつて……ねえ。吸血鬼ですよ奥さん。  
つて、誰に言つてるんだ俺……。

「……で、何の用や?セブンスター・ズさん。」

本当に何の用やこの人……人じやないけど。

「スト2やりに来ました。」

グーサインで言つ事じやないよね。  
てかタグにキャラ崩壊入れた方がいいかな?

「スト2 スト2」

カミコーラさん……キャラが……キャラが……。  
ヤベエスゲエ可愛い。

「スト2は校長室に移した。こゝはカード専門ショップ、石村だ。」

「なぜに石村?」

「凡アイザックさんゲームの戦艦の名前。」

「あのゲームは怖かつたわ、一人で寝れなくなつたもん。」

マジでか……すんげえイメージ変わつたわ。  
おつと鼻血が……。

「ストファの方なら廃寮の方にあるよ。」

「情報提供感謝するわ、それではサラバ、ダーダー!」

飛んで行くんじやなくて歩いて行くんだ……どうでもいいけど。

カミコーラが廃寮へ移動した数分後PDAから・・・。

『絶望した！絶望した！絶望した！絶望した！絶望した！』

・・・ウゼエ。

『せ、何の用だ、クロノス先生・・・だつけ？』

PDAからクロノスの独創的な声が聞こえる。

『覚えてないんデスヽノ？酷いデスヽヨ・・・。

まあ、いいデスヽノ。今からソッチでカードを買いたいんデスヽノ。

』

「了解、電気代が勿体ないからそろそろ切る。24時間営業だから急がず慌てずガス栓閉めたか確認してから来てください。」

『アナ～タホントに学生デスヽカ？いつ寝てるんでスヽノ？』

「気にするな。」

そういう俺はPDAの携帯で言ひ赤色のアレを押し、PDAでゲームをした。テトリスって、オモシロッ！

・・・ところで携帯の赤色のアレって、なんて言ひなんだ？どうでもいいけど。

携帯なんて親のしか使ったことないですがなにか？

「栄ちゃん、万丈目、俺は寝る。店番よ。」

「アバター店番よ。」

『アバターさん店番よろしくですう。』

『・・・俺・・・一応神ですよ・・・。』

気にするな。

ウザいほど清々しい青空一灰になつてハイになりそうなほど熱い太陽！

アカデミア内に聞こえる蝉の鳴き声！

ヤバい引きこもりたい。

おや、正門前でデュエルが行われている。

よく見ると青い方は彼女ができたばかりの金山ではないか。  
あちらの赤い制服でマスクを被つてているの方は・・・破壊の闇の信者であり隊長である木野山君ではないか。

「リア充が・・・破壊の闇の力・・・思い知れ！」

木野山・・・ホドホドにな・・・。

「レッド寮生徒如きが・・・生意氣な！」

「「デュエル！」」

結果は・・・まさかの赤の方の勝ちだ。

破壊の闇信者は妬みを力に変え、カイザー並のチートドロー、カイザー並の実力・・・いや、カイザー以上の力が備わる。  
嫉妬の力ってすげえ。

ちなみにデュエル内容は・・・

青の方の先行、ゴブリン突撃部隊を召喚、エンド。

赤の方、きのこマンを召喚し、フォースで攻撃力を上げ、地割れで相手を破壊、直接攻撃し、速攻召喚でテスタ 手札破壊 レベル4 直接攻撃。

・・・嫉妬の力ってすげえ。

ついでに木野山は勝利時に「俺は、勝利をリスククトするうううう！」って言つてた。

「十代・・・アレどう思つ？」

「相手が哀れに思えてきた。」

ですよね・・・まああの宗教・・・俺が造ったんだけどね。  
でもロックデッキとかパーミニッシュョンとかバーンデッキとか使う生徒が居るんだよね。  
レッドに・・・。

普段は

ブルー

イエロー

レッドだけど嫉妬が加わつたら

レッド

ブルー

イエローになる。

・・・嫉妬のt(r'y)

まあそれがこれから物語で重要なことは一期はない。

2、3は分からん……出すとしてもギャグサイドだけだなッ！

「そういうや永理、知つてるか？」

十代・・・居たのか。

「攻略できなじヒロインの攻略ルートか？・・・そういうえば口を精靈はどうした？」

「どこの高校生だ。『ハネクリボー』なら校長室でキミキスやってる。」

ハネクリボー・・・ついにヨタとして田覚めたか。  
さて、冗談は置いといて。

「知つてるってなにが？」

「アカデミアに湖があつて、そこに最近城が現れたらしい・・・。」

アカデミアに湖あつたんだ。  
ん、城？・・・おぜつさまか！

「と、いつわけで城に探検しこいつと思つんだ。」

「宝は？」

「たぶんある。」

よし、行こうたか・・・探検に！

・・・ところで、どうしてカイザーまで來てるの？  
わくわくすんな！

で、授業をさあ・・・早退してやつてきました』『うまく・・・城！看板になんか書いてある、なになに・・・

### 『吸血鬼の館

入場料

大人300

子供250

「どこのテーマパークだ！  
てか城じゃない！」

「十代！永理！翔！行くぞ！」  
「兄さん・・・。」  
「手を引っ張るな。」  
「カイザー・・・あんた、変わっちゃったな。」

まるで原作の十代とカイザーが入れ替わったみたいだ。

吸血鬼の館に入り、適当に歩いていると・・・扉から光が・・・。  
扉を開けると・・・。

「あ、殻入った。つて、あ・・・。」

カミユーラさんが食事中でした。

「闇のゲームやりに来たの？朝食食べ終わるまで適当に、遊んでて。

「

ご飯に玉子のくぼみを作りつつそう言つたので、適当にゲームで遊びました。

・・・ところで西洋の妖怪がメザシと卵かけご飯と味噌汁つてどう

なの？

「腹減つた・・・。」

「じゃあ・・・食べる？」

「いただきます。」

十代・・・食べるなよ・・・。

カイザーも食べたそうにしない

「思いつかないからいか」「不夜城れええええつびーーーー・ピチ  
ユーン

「『』馳走様でした。さて、ゲームでもしようか。」

「そだね。」

「ああ。」

おいおい。

ま、なんやかんやで闇の『テュエル』するんだ。

なんやかんやって何があったかって？簡単に言つと・・・

カイザーとカリコーラがくにおくんをプレイ カイザーがカリコーラにダメージを与える 闇のゲームに。

・・・せつめいすばりおうじょーもな！

「「テュエル！」」

どうしてみんなやる気なの？バカなの？死ぬの？

「私のターン、ドロー！

『ゴブリンゾンビ』を守備表示で召喚！カードを1枚伏せ、ターンエンド！

ゴブリンがゾンビ・・・ゴブリンは執念深いから・・・かな。  
さすがゴブリン死んでもしつこいゴブリン！

「俺のターン、ドロー！・・・ヤバい事故った。」

カイザーが事故る・・・だと。

あの積み込み上等なカイザーが事故だとう！

「カードを2枚伏せ、モンスターをセットし、魔法カード『封印の黄金欄』を発動！

自分のデッキからカードを1枚選択し、ゲームから除外する！  
発動後2回目の俺のスタンバイフェイズ時にそのカードを手札に加える！

俺が選択するカードは『サイバー・ソルジャー』！ターンエンドだ

！」

サイバー・ソルジャー・・・俺が売ったカードだな。

最近サイバー流デッキに入つたみたいなのでカイザーは持つていなかつたんだ。

(まさか『サイバー・オーガ』が2枚来て『融合』がないとは・・・)  
。

『運が悪いだけ・・・次は大丈夫・・・。』

『『日頃の行いがアレだからな』』

「どういう意味じやい！」

「あの・・・私ターンエンドなんだけど・・・」

カミコーラの場に人型モンスターがいた。

・・・ 猫型ロボットみたいな文だな上の・・・。

『僕ドラえもん。』

てめ猫型ロボじやねーだろ。

「俺のターン、ドロー！（あれ？ 翔はどこ行った？）

俺は伏せモンスターをリバース！『メタモルポット』！

手札をすべて捨て、5枚ドロー！（やつとアタッカーを出せるよ！）

『サイバー・パラサイド』を攻撃表示で召喚！『サイバー・パラサイド』の効果により除外場の『サイバー・ソルジャー』を特殊召喚し、そのカードに装備する！

『サイバー・ソルジャー』の効果発動！デッキからカードを5枚墓地へ送り、墓地の魔法カードを1枚、手札に加える！

俺は墓地の『サイバー・インパクト』を手札に加える！行け！『サイバー・ソルジャー』！『カース・オブ・バンパイア』に攻撃！『サイバー・スパイ럴』！

カイザー・・・サイバー・ソルジャーが苦しそうだぞ。  
寄生虫のせいで。

「カースが戦闘で破壊された時500ライフを払うことで、私のスタンバイフェイズに特殊召喚するわ！」  
「どうでもいい、ターンエンドだ。」

「十代・・・翔はどうした？」

「トイレ。」

「あ、そう。」

翔め・・・ジユース飲みすぎたな。

ちなみに俺はジユースが飲めない。笑えばいいと思つよ。

「ところで十代・・・ハバネロ食べるか?」

「永理・・・お前なんでそんなにハバネロがあるの?」

だつてさつと送られてきたもん。

キヤラメルはイレイザーに持つて行かせた。

『なんで俺ばっかり・・・』

気にするな!手札コスト。

『だれが手札コストじや!』

え?

「私のターン、ドロー!

・・・そろそろ爪切ろうかしら・・・。

スタンバイ・フェイズにロードを蘇生!そしてロードを生贊に捧げ

『偉大魔獣ガーゼット』を召喚!

魔法カード『幻魔の扉』を発動! (あいつにだけは負けたくない!  
だからどんな手段でも使う!)

『サイバー・ソルジャー』を破壊し、私の場へ特殊召喚する!

そしてこのカードの代償として、負けた方の魂は・・・誰にしよう。

『

「光子カビュー  
アイアンカッター  
ルストカリケーン  
ブレストファイヤー

ドリルミサイル

ミサイルパンチ

大車輪ロケットパンチ

強化型ロケットパンチ

冷凍ビーム

スクランダー・カッター

サザンクロスナイフ

「え、永理？」

すらすらマジンガーの武装を答えられる俺って……。

あつ、翔が帰ってきた。

「（）のトイレムツチャ綺麗つす。」

マジでか。

「カイザー弟を捕まえろ！」

幻魔の扉からマジックハンド？が出て、翔を捕まえる。

マジックハンドって……。

あとカイザー……無表情はヤメテ。

「卑怯だぞ！」

「勝てばいいのよ。行け！まん……ガーゼット！ロケットパンチ

！」

拳は飛びません。

ガードは普通に殴りました。

ガードのZがおかしい？元ネタを見る。

「手札の『速攻の力カシ』を捨て、攻撃を無効にする…」「ターンエンドよ。」

「俺のターン、ドロー！」

・・・カミューラ、貴様の負けだ！

魔法カード『未来融合 フューチャーフュージョン』！！

『キメラティック・オーバー・ドラゴン』を選択し

デッキから『サイバー・ドラゴン』と19体の機械族を墓地へ…！

カイザー、あんた容赦ないな。

弟が捕まつてんだぜ。

「…さらに魔法カード『オーバーロードフュージョン』を発動！！  
翔、許せ。『キメラティック・オーバー・ドラゴン』融合召喚…！」

「ちょ、兄さん！？」

まさかカイザーがヘルカイザーになるとほ…。  
信じられるか…」「レ…原因くにおくんなんだぜ。

「あんた、自分の弟を犠牲にするとでも言うの…？」  
「俺がリスペクトするのは翔じゃない！勝利だ！」

魔法カード『サイクロン』を発動！伏せカードを破壊！  
さらに『サイバー・ソルジャー』に『ミスト・ボディ』を装備！  
行け！オーバー・ドラゴン！『サイバー・ソルジャー』に攻撃！  
エヴォリューション・レザルト・バースト+19連打

「ちよつ、あんた弟大事にしなさいって、うわあああああ…！」

「俺は、翔を犠牲にしてでも、勝アアアアアツッ…！リスペクトなんかクソくらえじやヒヤハハハハハ…！」

かくして、恐ろしい（カイザーが）闇のゲームは幕を閉じた・・・。  
このカイザーに勝つ我が宗教団体つて・・・。

「十代・・・帰ろつか。」

「・・・うん。」

城？家の地下室が出てきたカミューラが引き続き使ってますがなに  
か？

たまに栄ちゃん率いるブルー女子がお茶会に使ってるらしい。

「・・・アレ？」

「ん？どうした永理？」

「・・・PDA・・・失くした。」

吸血鬼と聞くとおやつを思ふ。 (後書き)

不味い、カイザーのキャラが・・・。

永理「勝利をリスクトするカイザー・・・田覓めたきつかけはくにおくん・・・。

カイザー・・・色々と駄目だ。」

カイザーのキャラ変更は反省も後悔もしていません。  
それが、ナムクオリティー!

永理「てめえもうだめだ。」

「オリカラ紹介」

『サイバー・ソルジャー』

レベル4

光属性

攻撃力：1850

守備力：1400

機械族：効果

このカードが召喚、特殊召喚された時、デッキからカードを5枚墓地へ送り

効果発動。墓地の魔法カードを1枚、手札に加える。

『サイバー・パラサイド』

光属性

攻撃力：600

守備力：1980

機械族：効果

このカードの召喚に成功した時、除外されているサイバーと名のつくモンスター1体を特殊召喚し、そのカードに装備する。

このカードが装備されているモンスターの攻撃力は600ポイントアップする。

『サイバー・インパクト』

通常魔法

墓地のサイバー・ドラゴンを3体、特殊召喚する。

翔さ、カイザーについてどう思つてる？

翔「昔はもつと優しかったような。」

永理「ええー！？」

## 番外編・謎になつてこむシンクロ召喚の誕生と翔のサイバー・ドラゴン

（シンクロ秘話）

2ちゃんのあるスレ

156： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
ラーがシンクロだつたら使えてた。

157： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
シンクロ？

158： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
オリカ乙 www

159； 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
オリカじやねえ！未来の召喚方法だ！

160： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
あの詠唱しなきや召喚できないアレだろ www

161： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
召喚方法キボンヌ

162： 我が勝利のため、起動せよ！ななしの翼神竜  
シンクロ召喚の手順 十

1・自分のターンのメインフェイズに、自分フィールド上に表側表示で存在するチューナーと他のモンスター1体以上のレベル合計が、召喚したいシンクロモンスターのレベルと等しくなった時にシンクロ召喚することを宣言します。

2・召喚するシンクロモンスターのレベルとレベルの合計が等しくなるように、チューナー1体と他のモンスターをシンクロ素材として墓地に送ります。

基本的に、チューナーは必ず1体でなくてはいけません。

3・シンクロ素材としたモンスターが墓地に送られた後、エクストラデッキからシンクロモンスターをフィールド上へ表側攻撃表示か表側守備表示で出します。

コピペだけど堪忍なwww

「・・・シンクロ召喚・・・作ろつーー」

もしかしたら結構売れるかもしれまセーン

このような事があつてシンクロが作られたのであつた・・・。

→翔がサイバー・ドラゴンを持っている理由→

兄さん・・・いや、カモといった方がいいかな?

なんせ兄さんがゲット出来なかつたゲームが僕の手にあるんだから。

「・・・翔、そのゲーム・・・譲つてくれ!」

兄さんが土下座をしてそう言つ・・・。だけどね・・・。

「僕もコレ手に入れるのにだいぶと苦労したんだよ……なのにタダであげるワケにはいかないよ。

取引だ。」

「と、取引……？」

「そう……兄さんのサイバー・デッキを僕に渡す。ただそれだけだよ。」

兄さん……君に選択権はないんだよ……。

「……いいだろう。サイバー・デッキをくれてやる。だから早くソレをこっちへ寄こせ！」

「最初にサイバー・デッキを貰つ。拒否するならこのゲームを……。」

「このゲームを……？」

僕は息を吸い、こう言った。

「割る。」

その後カイザーのデッキが僕の物になった……。  
外道？ 戦略だよ。

## 番外編・謎になつてゐるシンクロ召喚の誕生と翔のサイバー・ドライコン（後書き）

永理「今日は短いな・・・。」

外編だし？

永理「そうか・・・。」

では、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないうて人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くから。あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてください。ついでに使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決める。

・・・やばい！ペペ編集超ラク

永理「コピペ・・・ルイズ・・・俺、本当に主人公か？」

しるか、ではまた次回の更新かほかの方の小説の感想欄で・・・さよなら。

温泉といえば混浴、男しかイネ。

視点・永理

「温泉？」

「そう温泉！－久々に行きたくなつたんだ。」

温泉か・・・温泉卵しか思いつかねエ・・・。  
原水で緑茶作つてみようかな・・・やめておひ。

「・・・で？温泉で何したいの？・・・まさか翔のていS「違うー。  
精靈が出るつて噂があるんだ！」なにを今更。」

邪神とか実体化＆擬人化してるではないか。  
む、緑茶パン・・・微妙な味だ！

「常に実体化してゐる精靈がいるではないか。」

『トメや～ん、チヨコパン4つね。』

「はいよ、よく噛んで食べるんだよ。」

『はいはー。』

・・・こいつら本当に邪神か？  
原作（遊戯王R）の面影ねえ！

チヨコパン買おうかな・・・。

次のパンは・・・キムチ！？漬物は駄目だろーー！パンにあわん！！

「久々に幻の唐辛子パン食べたい。」

ハズレパンではない！ウマパンだ！  
・・・ついでにピザまん食いたい。

なに？キムチも唐辛子使つてるだろつて？野菜が入つてるであらう  
！？私は純な唐辛子が食べたいのである！？キムチは米だ！？

「唐辛子はやめといた方がいいぞ。翔が当てた時すんごい辛そうだ  
つた。」

そんなにか？言つほど辛くはなかつたぜ？俺にはちょうどいいぜ？

おっ、カードパンだ。中身は・・・

「スカゴブ死ね！？氏ねの方じやなくて死ね！？」

「『スカゴブリン』・・・ドンマイ、永理。」

テメエなんか使う事ないんだよヴォケ！？普通の主人公とは違うんだよーー！

こんななんならマグロの田舎パンの方が数倍マシだよーー！

そういうや温泉でなんのイベントが行われるんだろつ・・・？闇のデ  
ュエルはだいぶと軽いノリでやつてたし・・・。  
どこのFate/tiger colosseumだ！？って言われ  
そうなほど軽かつたし・・・。

・・・またカードパン・・・次はなんだ？

ポー···緑···風···。

「ワインたんキター———！」

「まじっスか！？？」

『イヨッシャア！今夜は宴会だーーー！』

『めでてえな！めでてえな！めでてえなつたらめでてえなーーー！』

なんで喜んでるかって？ワインだからだ！家のカードは色々特殊すぎるアレなんだよ！

今夜は宴会だーーー！

『なあ永理···。』

『なんやドレッド。』

『ワインの精霊は別の人気が持ってるよ。』

「···は？」

マジでか···畜生！畜生！畜生！

ワインたんとにゃんにゃんできると思ったのに！！

絶望した！ほかの作者の小説では美少女＆美幼女の精霊が居るのでこっちにはいない事に絶望した！！

「十代···温泉行こつか···。」

「お、おう。」

もしかしたら新しい精霊が出てくるかもしれないし！

うん、希望を持って月影永理！信じていればヒノキの棒でゾーマ位倒せるんだ月影永理！神竜は無理です！  
もう男の娘でいいから···。

永理・・・ゲテモノ食つても大丈夫つて凄いな・・・。

あと翔、ワイン欲しそうにするな。

てか男の娘つて、どんだけ萌えに餓えているんだ。

『不味ッ！！』

イレイザーがなんかのジャムパンを当てたみたいだ・・・。  
なんか臭いのはそのせいか・・・。ん？臭い？まさかくさやジャム  
か！？どこの日常だ！！

あと温泉に行つても新しい精霊は出ないと思つよ。  
おつ、黄金の玉子パン。普通だ。

いやでもキムチパンとかマグロの玉玉パンとか幻の唐辛子パンとか  
よりはマシだ。

・・・贅沢言ひなとか言ひな・・・4回以上食つたら飽きるわ！

ん？アレはカイザー？

「む・・・不味い。」

カイザーの食べたパン。それは・・・

鮭のキモだった。

うん、温泉行け・・・。

久々の温泉だ、今日はゆっくり浸かろう。

・ いつの間に移動したかって？ 小さい」とは気にするな。  
・ なんかヘリの音がうるさい・・・アレ？ ヘリから人が飛び降  
りたような・・・？

聞こえたのはそこまでだった。温泉が結構な高さまで波打った。  
バツシャーンって、こうバツシャーンって・・・温泉に飛び込んでいいけません。

「アビドスだ！」

三沢・・・居たのか！

「二沢居たのか？」

「君たちが温泉に入る前から居たんだか・・・」  
「気付いた人」。

「なんか久しぶり。」

「居たんだ、三沢君、

「ずっと居た！吸血鬼と聞くとおぞましさを思い出すから居たよ僕！」

居たんだ三沢、全く気付かつた。

さすが三沢、そこに痺れず憧れない。

つか三沢メタ発言由重www。

「俺を無視するなーー！」

忘れてた。

「・・・で？何の用？アビドス2世。」

「3世だ！・・・俺はセブンスターズのアビドス、幻魔の鍵を賭け

どっちでもいいだろシッコイ。

あ～ウザい。さつせと闇のゲーム済ませり。

「アレ？貴様のデッキは？」

「ふふっ、心配無用！カモン！マイデュエルデイスクリー！」

ヘリから「コエルデイスクがアポビス」「アビドスだ！」の腕・・・  
の一個前に落ちた。

アビドスが立っているのは温泉に一つある岩に立つてこる・・・つ  
まりデュエルデイスクはぼちやん。  
わ・・・笑うな、笑つちや駄目だ。

・・・」めぐ無理。

「わ、笑うな――――！」

「あはははははちょ、ふくく、だわ、ふつ。」

「ふくく、がちで、ぶつ、だわ、あははははははは――！」

「マジダセエwww、あはははははは――！」

で、ヘリから「テッキのホルダー」が投げられた。

お察しの通り、ばら撒かれます。空中で。

パワー・ウォールの如く、温泉に浸り、凡蟹さんでも無限の可能性が無くなるほどビチャビチャに。

ヤヴァイマジセブンスターズって、面白ッ……

「ふくく、翔、コレデユエルしなくても、あはは、いいよね」「きやはは、いいと、ヴァハア！おも、ふくく。」

「わ、笑うなーー！」

「ーーそれ無理、ぶはははははーーーー！」「

その後、温泉に浸かり、帰りました。

その頃出番がない精霊界では……

「・・・アレ？出番ない？」

「グルルルルルルルル！」

「デュエル・・・やりたかつたな。」

「ギャウー！」

温泉といえば混浴、男しかイネエ。（後書き）

## 魚の目玉？

「部屋に飾つてゐるぞ？」

趣味悪ツ！

俺が出てない。

テカいし?

『擬人化できるだろ？！俺をだせえーーー！ドレッド・サーヴァントーーー』

リバースカードオープン、次元幽閉

『 』 ! !

ふう、さて、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うから。

「あとオリキャラも募集中だ。感想欄に

見た目、性格、使用テツキ、性別などを書いてください。  
ついでに使用テツキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決  
める。

「**コピペ**楽だ！」

「テメエは駄目だ色々と・・・。」

「INのロココンめ！」

靈使いは俺の嫁！ただしダルク、テメエは駄目だ！

オリキャラ出すの久しぶりだ・・・。

視点・永理

「『ブラック・マジシャン・ガール』で翔にダイレクトアタック、

黒・魔・導・爆・裂・破。」

『コレで止めよ 黒・魔・導・爆・裂・破』

「負けた。」

どうも永理です。いま翔とデュエルしています。

今俺が使っているカードはみんな嫁、ブラック・マジシャン・ガールですね。

このカードは唯一マトモなカードなんですよ。  
・・・99枚の中で唯一・・・。

「翔・・・お前弱すぎ。破壊の闇（嫉妬団）の時はカイザーもびっくりのディスティードローなのに。」

「仕方ないッスよ、あの時は嫉妬パワーでやつてんスから。」

説明しよう！破壊の闇（レッド寮嫉妬団体）はリア充（要するに力ツブル、専門用語で異端者と言つ）は普段はアニメ道理の弱い団体だが嫉妬の力よつて

カイザー（アニメの方、この小説では未来融合とオーバーロードはリストバンドに隠している）並のチートドローを持つのだ！

尚チートドロー1回に忍き1嫉妬が消費されるのだ！（1嫉妬＝ゲームのプレイ時間4分）

嫉妬の力つてスゲー。

コレも転生した時に入手した力・・・フラグ力が欲しかつた！ええ！最低なのは分かつてますよ！男が変態で何が悪い！男はすべからく変態だ！だがその変態を認めるか否かで、男の器は天と地ほどの差があるので！

・・・神よ！どうして私をこんな性格にしたのですか！私はこんな残念な性格＆思考回路を『与えた神を恨みます！

「セブンスターZはまだ来ないのか・・・。」

アドビス「ア・ビ・ド・ス！」はまだテッキの作成中だし・・・あ  
・・・

「暇だ〜。」

視点：誠

「『大天使クリステイア』で止めだ！」

「罠カード『爆導索』でクリステイアを破壊！破壊された『ピエロナイト』の効果で自分手札の枚数×400のダメージ！僕の手札は2枚！君のライフは800ポイント！僕の勝ちだ！」

「なッ・・・うわああああ！！」

また・・・負けただと・・・。

何故だ・・・何故だ何故だナゼダナゼダナゼダ！！

・・・そうか、アイツが悪いんだ・・・アイツが・・・勝たなけれ

ば・・・。

力が欲しいか・・・。

・・・誰だ！

力が欲しいのなら・・・くれてやる！

そう俺の頭の中の誰かが言つた瞬間、目の前が光に包まれた・・・。  
ふと目を開けると・・・見たことのないカードがデッキに・・・。

「死天使・・・？」

神が俺にチャンスをくれたんだ・・・。  
これで・・・コレで奴に勝てる！

「神よ！私めに復讐のチャンスをもたらした事に感謝いたします！  
「うるさい。」

「ごめん。」

視点：影丸

「はあ、タイタンが闇のデュエルしたらこんな面倒な事せんですん  
だのに・・・。」

「確かにな、4カード。」

「よし、私も4カード。」

「ちつ、4カード。爺さんは？」

「2ペア・・・。」

「「「「によっしゃーーー。」「

「畜生。」

あ〜、なんで天使族使いをセブンスターZに引き入れなあかんのだ。  
てかみんな運いいなオイ。いや・・・私の運がないのか？

アムナエルは何してるんだろう？

カミューちゃん出番だよ。

『骨までぐだく・・・なによ影丸・・・。

「今アムナエルは何してる？」

『一緒にテイルズしてるよ。』

何してるのでアムナエルさん・・・。  
てか何なのこのノリ・・・？

『もひい？通信切るわよ。・・・喰らえ！ジエノサイドブレイバ  
ーー！』

カミューちゃん・・・本当にキャラが・・・。

『ぶるああああああ

可愛い、スゴイ可愛い。  
てか、口リボイスなのね・・・。

アレ？俺悪役だったよね？

「魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動！」

手札の『カタパルト・タートル』を捨て、『魔導サイエンティスト』を特殊召喚！

魔法カード『死者蘇生』で『カタパルト・タートル』を特殊召喚！

『魔導サイエンティスト』の効果で『サウザンド・アイズ・サクリファイス』を特殊召喚！

『サウザンド・アイズ・サクリファイス』の効果により『偉大魔獸ガーゼット』を装備する！

「なん……だと……。」

『偉大魔獸ガーゼット』の攻撃力は40000！つまり『サウザンド・アイズ・サクリファイス』の攻撃力は4000！

更に『魔導サイエンティスト』の効果により『コアラッコアラ』を特殊召喚！リストに『コアラッコアラ』を特殊召喚！

『カタパルト・タートル』の効果により『コアラッコアラ』を射出！もう一回『コアラッコアラ』を射出！リストに『サウザンド・アイズ・サクリファイス』を射出！！『カタパルト・タートル』を射出し、止めだ！

「ひどくね？」

「ガチデツキならこんなもんだブルー生徒くん。」

むつ、アレは……天界磁くん！8～9話ぶりだな。

「久しぶりだな……悪魔使い！」

我こそはセブンスターズの一人！天界磁誠！いざ！七精門の鍵を賭け！デュエルだ！

「闇の力を手に入れたか……面白い！俺様を楽しませろ！俺様の

ために足掛け！」

極めてことになつてゐた。・・・へひやせせせせせせせ

「満足させてくれよ。」

「テユルー！」「くわせははははー！」

「俺のターン！ドロー！」

『ダーク・エンジェル』を守備表示で召喚！

ナードを、木伏せ 管弦樂

おかしい・・・普通のシャインエングルとは違つて、なんか羽が黒い。

ちなみに笑い声が俺だ。

「御世のノハラ」

『手札抹殺』を発動！互いに手札をすべて捨て、捨てた枚数分ドロ

一九二九

「墓地の『邪神イレイザー』

除外！」

『やめろ！そんな事をしきやいけない！』

おや？ 空耳が聞こえたよつな・・・？

!』

『氣のせいだなうん。氣のせい氣のせい。

「『ダーク・ネクロファイア』を召喚!」

禿げ頭の女人が出てきた。あ・・・睨まないでお願い。  
気にしてたんだね。

「魔法カード『トレード・イン』発動!」

手札の『DTスラッシュ・ブラッド』を墓地へ捨て、2枚ドロー!  
更に装備魔法『早すぎた埋葬』発動!スラッシュ・ブラッド蘇生!  
『DTデス・サブマリン』を捨て、『ダーク・グレファー』を召喚!  
『DTスラッシュ・ブラッド』に『ダーク・グレファー』をダーク  
チューニング!

神と生が朽ちし時、封印されし闇が舞い降りる!我が地へ現れよ!  
ダークシンクロ!  
出でよ!『不完獣キメラ』召喚!』

俺の場に一見完璧に見えるキメラ。

だがリミッターが常に外れている危険な人工生命体・・・。

「このカードは攻撃力は3000!」

行け!キメラ!『ダーク・エンジェル』を攻撃!キメラ・パッショ  
ン!』

キメラの口から黒い炎を吐く、その炎に当たられ、羽からダーク・  
エンジェルが朽ちて逝く。  
くくく、絶景だ!

「ぐつ、だが『ダーク・エンジェル』の効果により、デッキから死天使と名のつくモンスターを特殊召喚する！

こい！『死天使アモラティス』を召喚！」

レベル5で攻撃力が1470？何故そんなカードを・・・。何を考えている？

「何を考えている？『ダーク・ネクロファイア』でアモラティスを攻撃！念眼殺！」

「罠カード！『和陸の死者』！」

「ちつ、モンスターを伏せ、エンドフェイズにキメラの効果でデッキを3枚墓地へ送る！」

伏せたモンスターはメタモルポット・・・次のターンに手札を一気に回復してやる。

「俺のターン！ドロー！

『死天使の使い』を召喚！」

攻撃力が2000の下位モンスター・・・。

「『死天使の使い』の効果発動！このカードを破壊する！

『死天使の使い』の効果により、墓地から『死天使クリスティアゼロ』を召喚！

黒いクリスティア？アイツは誠の精霊だつたはずじゃ・・・。  
まあどうでもいい。次のターンで潰す！

「『死天使クリスティアゼロ』で『不完獸キメラ』を攻撃！タナト

ス・フラッシュ！

攻撃力2700のモンスターで攻撃？何を考えて・・・。

「『死天使クリスティアゼロ』の効果！」

キメラが・・・破壊された！？

どういう事だ！？

「クリスティアゼロは特殊召喚されたモンスターと戦闘を行う場合、そのモンスターを破壊する！」

そして『死天使アモラティス』の効果により、デッキからカードを1枚墓地へ送る毎に100ダメージ軽減する！俺はカードを3枚墓地へ送り、ダメージを0にする！」

面倒くせえ効果だ。

しかし、死天使・・・聞いたことがないし持つてない・・・どういう事だ？

「ターンエンドだ。」

「俺様のターン！ドローカード！

ちっ、リバースモンスターオープントメタモルポット！

5枚ドロー！『ワタポン』を特殊召喚！『DTシールド・ドルリラ』を特殊召喚！

『DTシールド・ドルリラ』に『ワタポン』をダークチューニング！  
破壊の闇に現れし闇の竜よ、今我のため、力を解き放て！  
ダークシンクロ！我が契約せし死の神！『カタストロフィー』！

機械族じゃないです。

「『カタストロフィー』で『死天使クリスティアゼロ』を攻撃！カタストロフィー・ブレス！」

黒い竜が闇のブレスを吐く、だがクリスティアゼロが黒く光り、カタストロフィーを破壊する。

だがカタストロフィーの効果でクリスティアゼロも破壊される。

「な・・・何故クリスティアゼロが・・・？」

「くきやはははは、『カタストロフィー』の効果は、破壊された場合、相手モンスターを破壊する！」

『ダーク・ネクロフィア』でアモラティスを攻撃！念眼殺！』

ダーク・ネクロフィアが目からビームを出した。

何処のネウロですか？

「ぐつ、アモラティスの効果で7枚墓地へ送り、ダメージを軽減！」

おいおい、残りデッキが15枚だぞ・・・何を考えている？

「カードを伏せ、ターンエンドだ！」

「俺のターン！ドロー！」

墓地の死天使と名のつくモンスターを全て除外し、『死靈天使アラ・ブラミス』を墓地から特殊召喚！

アラブラミスの効果発動！除外されている死天使と名のつくモンスター1体につき、攻撃力を200ポイントアップさせる！  
除外されたモンスターの数は19！よって攻撃力は3800ポイントアップ！

おいおい、こりや不味いんじゃねーか？

アラブラミスの元々の攻撃力は1800・・・FGDを超えたな。  
だが、その攻撃力が命取りになるんだぜ！

「行け！アラブラミス！『メタモルポット』を攻撃！死天使怨念波！」

はい、  
残念。

「罠力ード！」『スパーク・ブレイカー』！『ダーク・ネクロフィア』を破壊！

を導く！』の効果で『ハリウッドのヒロイ

「な  
・  
・  
・  
！」

卷之三

アラブラミスの効果は除外された死天使の数攻撃力が上がる。それは自分の数ではなく、全体の数・・・。  
それこそが・・・最大の利点であり弱点！  
この勝負！俺の勝ちだ！

「自身のモンスターで死にな・・・！」

ジ・ Hondada

「中々楽しかったよ。へへへ、わあ、七精門の鍵を渡してもいいおつか

おや？奴の居た場所には、カラスの羽と鍵のみが落ちている・・・？  
消えた？何故？

・・・まあ、どうでもいいか。

さてと、鍵を拾つてさっさと寝ますか！

『まだ18時だぞ。』

気にすんな。

オリキヤラ出すの久しぶりだ・・・。（後書き）

お疲れ様。

『今日は俺出でない・・・。』

たまにはいいじゃないアバターくん。

『俺全く出でないんだけど・・・。』

ラストの台詞がお前でいいよ。

「全くダメージ喰らわなかつたな・・・俺・・・。」

それは置いといて、久しぶりのオリカ紹介！！

『ダーク・エンジェル』

レベル3

闇属性

攻撃力：1300

守備力：1200

天使族：効果

このカードは魔族族としても扱う。

このカードが戦闘によって破壊され、墓地へ送られた時、デッキから死天使と名のつく攻撃力1500以下のモンスター1体を特殊召喚する。

『DTスラッシュ・ブラッド』

レベル 8

闇属性

攻撃力 : 2100

守備力 : 0

悪魔族 : ダークチューナー

このカードをシンクロ素材とする場合、ダークシンクロの素材にしかできない。

このカードが守備表示でフィールド場に存在する時  
このカードを破壊する。

『不完獣キメラ』

レベル 4

地属性

攻撃力 : 3000

守備力 : 1200

獣族 : ダークシンクロ

チユーナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「DT」<sup>ダークチューナー</sup>と名のついたチユーナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。

このカードが自分フィールド場に表側表示で存在する場合  
エンドフェイズにデッキからカードを3枚、墓地へ送る。

『死天使アモラティス』

レベル 6

闇属性

攻撃力 : 1470

守備力 : 2100

**天使族：効果**

このカードは悪魔族としても扱う。

このカードが自分フィールド場に存在する場合、自分が戦闘ダメージを受けた場合

自分のデッキの上からカードを任意の枚数墓地に送る事で自分が受ける戦闘ダメージを墓地に送ったカードの枚数×100ポンクト少なくする。

『死天使の使い』

レベル4

闇属性

攻撃力：2000

守備力：0

**天使族：効果**

このカードは悪魔族としても扱う。

このカードが召喚に成功した時、このカードを破壊する。

このカードが破壊され、墓地へ送られた時

自分の墓地からし天使と名のつくモンスター1体を特殊召喚する。

『死天使クリスティアゼロ』

レベル8

闇属性

攻撃力：2700

守備力：1700

**天使族：効果**

このカードは悪魔族としても扱う。

このカードは戦闘によつては破壊されない。

このカードが戦闘を行う場合、相手モンスターが特殊召喚されたモンスターだった場合、そのモンスターを破壊する。

『DTシールド・ドルリラ』

レベル9

闇属性

攻撃力：0

守備力：0

戦士族：ダークチューナー

このカードをシンクロ素材とする場合、ダークシンクロの素材にしかできない。

このカードをドローフェイズ以外にドローした場合、フィールド場に特殊召喚できる。

『カタストロフィー』

レベル8

闇属性

攻撃力：3300

守備力：2700

幻神獣族：効果

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルを、

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き、

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。このカードが破壊された時、相手モンスターを1体破壊する。

『死霊天使アラブラミス』

レベル12

闇属性

攻撃力：1800

守備力：2900

天使族：効果

このカードは通常召喚できない。

このカードは墓地の死天使を5体以上除外した場合のみ手札又は墓地から特殊召喚できる。

このカードは悪魔族としても扱う。

このカードの攻撃力は、除外された死天使と名のつくモンスター1体につき

200ポイント攻撃力をアップさせる。

このカードは魔法・罠の効果では破壊されない。

主人公どっちだっけ？

「俺だ。」

所で名前の由来とかはあるのか？」

無い！

「それでこんなにも出せるのか貴様は・・・。」

はつはつは。

サイエンカタパこの時代使えたつけ？

「野良<sup>ワル</sup>テユエルだからいいんじやね？」

## 食の恨みは恐ひしや

視点・永理

あ～、疲れた・・・。

なんでこんな日にアイツヒデュエルしなきやならなくなつたんだ?  
次は美少女のセブンスターーズ来ないかな?

「美少女!？」

うわっびっくりした!

いきなり田を覚ましたな吹雪さん・・・。  
さて・・・と・・・狸に連絡でもしますかな・・・。

「おい校長、吹雪さんが田え覚ましたぜ。」

「お～い永理、でつかいエビを貰えたから今日エビフライにしようぜ。」

『さすが万丈田のアーチー! そこに痺れる憧れる!』

『何ネタやつてんだテメエ・・・。』

『まあまあ、そう怒らすに・・・イエローだつて悪氣があつたわけ  
じゃないんだから。』

・・・ウルセH・・・。

「少し静かにしろ・・・今吹雪さんが田覚めたところなんだから・・・  
・。」「

ついがなんでこのタイミングで田覚めるんだ?

しかも美少女とか言つてたような……。

駄目だこいつ……早く何とかしないと……。

『おおっ！田が覚めましたか、吹雪くんが……。コレでまたファンクラブとかが活発に……はあ。』

大変ですね……校長も……。

『おジャマズレミー。』

『『『『ドジカーンー。』』』』

ウゼエ……マジウゼエ。

なんなのこのノリ、さすがおジャマ！

「じああもう切れますね、電池がアレなんで。」

『そりですか……では……。』

校長がそう言ったのを確認し、電話を切った。

「アレ？ここは何処？僕は誰？」

「お前は天上院 吹雪、ここは俺の部屋だ。」

「一応俺も住んでるんだが……。」

気にするな万丈目。アドビス「アビドスだ！」だって住んでんだから。

ウゼエ……アポピス「ア・ド・ビ・ス！」ウゼエ……。

……よしー今日はエビフライにしてやつー！

「千丈田！今日はエビフライだ！」

「万丈田だ！」

「どうでもいいだろ・・・ソースまだあつたつけよし、ここは吹雪ングに任せよう！」

「吹雪さん、ソース買つてきてください。拒否権はありません。」「えー？何で僕が・・・まあいいけどさ・・・。」

いいんだ・・・吹雪わん。

視点・キング？

おい上の？はなんだおい。

まあそれは置いといて、月影くんの態度が先輩に対しての態度じゃない様な・・・。

えつ？出席日数が足りないから留年？マジで？

えつ？なんで名前を知ってるかつて？ダークネス時代に影丸さんから聞いたからさ。

は？記憶を失つてるんじゃないかつて？失う訳ないだろ。そう簡単に・・・。

じゃあ最初の台詞はなんだつて？へつ？目覚めたら普通ノリで言うでしょ？えつ？言わない？

・・・ソース買いに行こう・・・。

なんだろう・・・すんごい久しぶりに外へ出た気がする・・・。  
あつはつは、久しぶりに明日香に会いに行こうかな・・・女子風呂

でなッ！

あつ痛い痛い、石こうが飛んで来た様な……。

「あ……。」

「うん……！？」

亮……なにその薄い本……月影くんの部屋の本と同じ様な……。

まさか……目覚めたのか亮……ついに本当の男の子として……。

中等部時代は熟女や醜女好きだったのが遂に……。

「スクラップ・ファイスト！」  
「ひでぶつ！」

い……いきなり何するんだ亮！中等部からの長い付き合いじゃないか！

涙が出ちゃう……男の子だもん！

「黙れ……この本を見たからには生かして帰せん！」

「吹雪さん？ソースはまだかな？かな？」

アレ？月影くん……いつの間に……。

気のせいかな……一人の背後に三幻神が……。

「せつせと黙つてこいや吹雪！」

「くたばれい！衝撃のファーストブリットおー！」

ああ……空つて……こんなに青かったっけ……？

僕は今……空を飛んでいます……。そして落ちてます……。

アレ？クロノス先生・・・？まさか・・・。

「避けて！クロノス先生避けて！」

「ひょっ？」

何だろ？・・・頭が痛い・・・。

「痛いノーネ・・・いきなり何するノーネ・・・。」

「すいません・・・亮が僕を飛ばしたから・・・。」

嘘はついてないよ・・・事実だし・・・。

ああ・・・頭がクラクラする・・・恋とは別の・・・物理的な・・・。

「じゃあクロノス先生・・・僕はソース買いに行かなきゃならないので・・・この辺でサイナラ～。」

「ちょっと待つノーネ！って足早つ！」

はつはつは一面倒事に巻き込まれる位なら逃げるさー。  
購買へ向かつて・・・全速前進DA！

その頃永理達は・・・

「なあ、学食の方でソース・・・貰えれば良かつたんじや・・・。  
「・・・あー！」

氣のせいかな・・・なんか殺意が・・・。

「氣のせいだなうん。

さて・・・

「トメさん、ソース下さい！」

「おや、久しぶりだねえ、吹雪くん。はいよ、230円だよ。」

学校のソースって高いんだよね・・・ハア・・・・。

帰ろう・・・なんか明日香に会う氣分じゃないし・・・。

「ハイフライってなんかドン・フライを連想させる・・・。

ドン・フライってなんだろ?・・・自分で言つたんだけど・・・。  
おや・・・アレはアビドスくん?何をして・・・はつ!

忘れてたけど彼・・・まだ負けてないんだつた!ソレでの生徒と  
デュエルを・・・。

氣のせいだよね!タニアまで届く氣がするけど氣のせいだよね!

「あつ、吹雪さんが覚めたんだ。」

「ちょうどいい・・・タッグデュエルだ!」

いや・・・いきなり言われても・・・。

タニア何とかしてくれ。

「諦める。」

「それ酷い。

あつ、月影くん!助けてくれ!

「ソースまだあったからデュエルしても大丈夫だゾエ」

何処の魔理沙だ！

あと鍵はどうするの？

「俺のを授けよう。全力で頑張れ。」

ああ・・・助け舟はどこにもないのか・・・。  
タニア止めてくれ。

「ムリダナ。」

畜生・・・。

「さあ・・・デュエルだ！」

「全力で行くぜ！」

「なんで私まで・・・。」

「畜生・・・。」

「「デュエル！」」「「はあ・・・デュエル。」」

さて・・・読者の皆様はアニメ版のタッグデュエルは知ってるでしょう。

でも知らない人のために月影くんが説明してくれます。（多少改変してあるかも？原作のルール知らないし。）

「月影 永理と・・・。」

『アバターの・・・。』

『「タッグデュエルルール説明！」』

「プレイヤーは最初のターン攻撃できません。  
なんで最後の人も攻撃できないんだろう？」

『ソレは言わないお約束だぜ！

墓地は共通で例えば吹雪ングが『貪欲な壺』を発動した場合

『貪欲な壺』を発動したプレイヤーのデッキに味方のカードも入ります。

終わつたらしつかり返しましょ。』

「以上！説明終わり！短い？気にするな！」

先行はじゅんけんで勝つたアボカドく「アビドスだ！貴様ダークネス時代に散々注意したではないか！」からのターンだ。

「俺の先行！ドロー！

『E・HEROヒーロー』を召喚！効果により『E・HEROオーシャン』を手札に加える！

カードを2枚伏せ、ターンエンド！

「ちつ、属性HEROめ・・・。」

おお・・・十代くんが燃えている。

何で名前が分かるかつて？上の文参照。

「僕のターン！ドロー！

魔法カード『竜の目覚め』を発動！

デッキからレベル4以下のドラゴン族モンスターを手札に加える！  
僕が手札に加えるのは『黒竜の雛』！そして『黒竜の雛』を召喚し、  
効果発動！

『黒竜の雛』を生贊に捧げ、『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！  
カードを2枚伏せ、ターンエンド！

アビドスくんのデッキが変わつてゐる？何故・・・？

「私のターン！ドロー！

『アマゾネスの戦士』を召喚！更に装備魔法『ミスト・ボディ』を装備！ターンエンド！

「ワーオ……ガチコンボだー。  
ターンアさんソレヤヴァイです。

「俺のターン！ドロー！  
魔法カード『天使の施し』を発動！  
デッキからカードを3枚ドローし、2枚捨てる！  
墓地のネクロダークマンの効果によりヒッジマンを召喚！  
カードを伏せ、ターンエンド！」

おおー！十代くんも凄いね。本当にレッド寮生徒かい？  
なんか・・・なんでもない・・・。

「俺のターン！ドロー！  
戦いの生態系！戦いの食物連鎖！その頂点に君臨するのこの俺と  
属性HEROだ！」

アビドスくん・・・何処の社長ですか。

「御託はいい・・・ひとつと続くべし！」

おいおい十代くん、三下はないでしょ。  
一応無敗王者なんだよ。

「威勢がいいな・・・魔法カード『融合』！  
『いい！』E・HER アブソルートNeroー！」

アブソ？ポケモンですか？

あれ？ 十代くん？ ・・・。

「残念でした！ 麻力カード『ヘル・ポリマー』ー。」

十代くん？ ソレは主人公が使うカードじゃないよ。  
てかなんでそんなアンチカードを？

「コレでアブソは俺の手中に収まつたー。きえーきえつせつせつせつー。」

十代くううううん！ ！ ！

その笑い方悪役！ 原作の綺麗な心はどこへ行つた！

「卑怯な・・・モンスターをセット、ターンエンド」

「じつじょつ・・・たしかがら空きの方を狙つてもタニアアガ庇うだら  
うからなあ・・・。  
よし！ ここは・・・」

「僕のターンードロー！

リバースカードオープン！ 『砂塵の大龍巻』ー破壊するのは勿論そ  
の伏せカード！」

「なつ・・・（ちつ・・・『死せし英雄の骸』が・・・。）」

いいカードが破壊出来たかな？

「行くよ！ 魔法カード『黒炎弾』！ アビドスくんを対象にするよー。」

真紅眼が黒い炎を吐き、アビドスくんの人中に撃つた。  
人中は駄目でしょ。

「なつ、ぐわあああああーー！」

「更に儀式魔法『高等儀式術』を発動！デッキから『片翼の飛龍』と『ゼロ・ドラゴン』を墓地へ送り、『闇竜の黒騎士』を儀式召喚！そして『闇竜の黒騎士』を生贊に捧げる事で、デッキから『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！そして伏せカード『天よりの宝札』…デッキからカードを5枚ドロー！」

我ながら凄まじいドローだね・・・。  
おっ、いいカードだ。

「魔法カード『サイクロン』…破壊するのは勿論『リスト・ボディ』！」

そして魔法カード『禁じられた聖杯』…『アマゾネスの戦士』の効果を無効！  
そして『真紅眼の黒竜』を2体生贊に捧げ、『真紅眼の皇帝竜』をレッドアイズモンスター・ラグーン召喚！

おお、カツコいいぞ真紅眼！コレが皇帝になつた姿・・・。  
どこの銀河竜なんて田じやない！

「はつはつは！行け皇帝竜！田障りな女を殺せ！滅びのダークネスバースト！」

どう聞いても青眼の攻撃名です本当にありがとうございました。

なんだろう・・・叫びたいぜ僕のコスモ！

ダークネス時代よりも輝いてるぜ僕！あつはつはつはつはつは！

「攻撃！破壊！大喝采！」

「吹雪さん……どこのキャベツ社長ですか？」

ターニアの残りライフはわずか1000…この勝負！貰った！

「ターンヒンディー！」

「不味いな…私のターン！ドローー！  
（来たか！）魔法カード『アマゾネスの蘇生術』を発動！『アマゾ  
ネスの戦士』を蘇生！  
更に『アマゾネスの戦士』を生贊に捧げ、『アマゾネスの神』を召  
喚！」

弱い！弱すぎる！今の僕では攻撃力2900など…弱すぎる！

「『アマゾネスの神』は1ターンに一度、相手モンスターを操る事  
ができる…』真紅眼の皇帝竜』を選択！  
「なつ、なん…だと…。  
なんちやつて…ヴァカめ！皇帝竜は相手のカード効果を受けないん  
だよ！」

「な…カードを1枚伏せ、ターンエンド…」「

勝利の女神は僕たちのチームに微笑む！

さあ十代くん！君のチートドローー！勝利を掴もう！あと田嶋くん  
エビフライ残しといで！

「もぐもぐ…頑張れー！」

『タルタルウマー！』

「博多の塩ー！」

『サクサクウマー！』『サクサクウマー！』

畜生。

「俺のターン！ドロー！」

『融合』発動！手札の『沼地の魔神王』とスパークマンを融合！

『E・HER シャイニング・フレア・ウイングマン』を融合召喚！更に魔法カード『苦渋の選択』！

さあ、この中から選べ！アビドス！

なになに・・・

E・HEROスパークマン

E・HEROバーストレディ

E・HEROネクロ・ダークマン

E・HEROバブルマン

E・HEROバブルマン・ネオ

なあにこれえ。

どれを選んでも攻撃力アップって・・・。

外道だ十代くん！月影くんの影響を受けたか！

「どれを選んでも同じだろう・・・バブルマンを選択する。」

「OK！残りは墓地へ！更に魔法カード『セメタリーヒーロー』を発動！

デッキからHEROを5体墓地へ送る！行け！シャイニング！アビドスに攻撃！セメタリー・フラッシュ！

うおっ、眩し！

ああ、目があ～、目があ～。

「さあ行け！エッジマン！エッジスラッシュ！」

「何故俺を、ぐわああああ！」

「アブソ！絶対氷壁！」

「貴様・・・ぐわああああ！」

ひ・・・酷い・・・。オーバーキルだ・・・しかも止めアビドスく  
んのH-E-S-M-O-N-S-T-A-R-D-I-S-H-O-U-L-D-E-R-S！

「くくく、ターンエンド！」

外道だ・・・外道だよ十代くん！原作の綺麗な心は何処へ・・・。  
一体どうして・・・確かに属性HEROやシンクロが増えたけど・・・  
。

「（殺らなきゃ・・・殺られる！）私のターン！ドロー！

『アマゾネスの神』の効果はつゞく『残念、戻カード』『天罰』！ひ  
よつ？

ターンアさん・・・どこの羽蛾だ！

どこの羽蛾だ！大事な事なので二回言いました！

「つづく・・・なんで吹雪はそんなにも強いんだよー。ターンエン  
ド・・・」

ターンアさん・・・どうなのそのキャラ。

「僕のターン！ドロー！

皇帝竜で攻撃！滅びのダークネスバースト！」

なんでだろう・・・攻撃法がバルバトスのジェノサイドブレイバー  
風なのね・・・。

粉碎！玉碎！大喝采！

勝利！

「わあ、なんとかの鍵を渡してもいいつか。」

十代くん、七精門の鍵ね・・・。

「ちつ、ほらよ。」

「なんか釈然としないんだよなあ、まあ負けたから渡すわ。じゃつ、  
さよなら～。」

タニア・・・ハングライダーで風に乗って飛んで行った・・・。ア  
ビデスクくんはビデオあるんだわ。

「カモンーへリ」「フター！」

アビデスクくんがそう叫ぶと、空からヘリが・・・ではなく海から船  
が出てきた・・・。  
ヘリじゃねえのかよ！

「では、さへば～。」

おお、崖から飛んでも死なないとは・・・さすが幽霊！

「月影くん・・・Hビフライ頂戴。」

「「「」」めん全部食つた。」」

「「ダークネス・ギガ・フレイムー！」

「「R + スマブラ的回避ー！」

許せん…許せん…

## 食の恨みは恐りしや（後書き）

Hビフライ・・・食べたいなあ。

永理「貴様の分はない！」

このガキヤア・・・。

永理「さて、オリカ紹介！」

『竜の目覚め』

通常魔法

デッキからレベル4以下のドラゴン族モンスターを1体、手札に加える。

『死せし英雄の骸』

通常罠

デッキからHEROと名のつくモンスターを1体、特殊召喚する。このカードは、自分のメインフェイズにのみ発動できる。

『片翼の飛龍』

レベル3

地属性

攻撃力：1200

守備力：1700

ドラゴン族

その昔、数多の人々を喰らつた伝説の飛龍。その力はもう、残つてはいな。

### 『ゼロ・ドラゴン』

レベル1

攻撃力：0

守備力：0

ドラゴン族

ガンドラの雛で、最強に近い力を持つ竜。だがその力をまだ、コントロールできない。

### 『真紅眼の皇帝竜』

レベル12

攻撃力：5500

守備力：2200

ドラゴン族：効果

このカードは、真紅眼と名のつくモンスターを生贊にしなければ、召喚できない。

このカードは魔法、罠、効果モンスターの効果を受けない。

### 『アマゾネスの蘇生術』

通常魔法

墓地のアマゾネスと名のつくモンスターを1体、特殊召喚する。この効果で特殊召喚したモンスターの効果は、無効となる。

### 『アマゾネスの神』

レベル10

攻撃力：2900

守備力：2900

戦士族・効果

このカードは、アマゾネスと共につべモンスター1体で、生贊召喚できる。

1ターンに一度、相手モンスターのコントロールを得る。

『セメタリーヒーロー』

通常魔法

デッキからHEROのつべモンスターを5体、墓地へ送る。

永理「なんといつチートカード・・・。」

はっけつは、名前の由来など考えんでもこくらでも出てくれわ!

永理「お前ヤ・・・もつこいわ。」

ヒルハイのじつまは堅い！

永理「俺も食えん。」

テメヒは食えるだろ・・・魚の田玉も食いつてゐるんだし・・・。

**黒蠍？どんな効果か知らぬ！！**

視点・永理

「ジヒノサイドブレイバー！」

「つるさい吹雪。」

「つるせこぜ吹雪先輩。」

「酷い・・・お兄ちゃん泣いちゃう！」

何だこの人・・・前回は結構マトモだったのに・・・  
どうしてこうなった！作者！

はあ・・・客が来ない・・・何故？神のカードもあるのに・・・。

『今授業中だからだろ・・・。』

「ああ！」

そうかーでもなんでこいつ等は逝かないんだ？

「永理字が違う。・・・もしかしたらセブンスターZが現れるかも知れないからDA！」

それを利用してサボってるんですね分かります。

「こいつ等駄目だ！」

「永理！」

十代の声！？何故？まだ授業の時間だアアアア！！なのに・・・。  
えつ？なんでお前は授業に出ないのかつて？店番だ！

「あつ、居るんだ・・・授業はどうした！」

「無断欠席D A！」

「授業出ろよ・・・。」

見るな！そんな田で俺を見るなアアア！  
てかお前が言つな。

「お前が言つな。」

「あはは・・・十代くん何か用かな？用がないなら是非、カードを  
買つてくれ！」

「じゃあ『魔導雑貨商人』を2枚・・・って、そんなこと言つてる  
場合じゃないよ！

なんか外に警察の人が居るんだが・・・何かしたのか？」

俺は無実だ！本当に無実だ！

本当だよ・・・昔不良達の頭になつてたけどさ・・・。

なんとなく嫌な奴のデッキを燃やしたり破いたりしたけどさ・・・。

「ハア・・・ドロップアウトは何時まで経つてもドロップアウトだ  
な・・・。」

「黙れネタデッキのエリーー（笑）」

「貴様・・・。」

「えつ？何この雰囲気？僕置いてけぼりなんだけど・・・。」

喧嘩すんな・・・面倒な奴らだ・・・。

あと地獄デッキは地味に強いお。

レイイザー、後口ロシク。

『酷いよマスター・・・。』

「マスターって言つていいのは俺の嫁だけだ！」

思考がおかしい？ 気にすんな！ そんな事よりスマートチーズを食べよう！

『お前本当に主人公か？』

「言ひなアバター・・・。」

はつはつはつは！ 知るかヴォケがあ！

無理矢理ベリーメロン食わすぞ！ シークレットソード？ 放っちゃう  
よおおじさん！  
塩くれてやるぞ！

「外に居る人達って誰？」

「三沢居たのか。」

「吹雪さんがジェノサイドブレイバー、って叫ぶあたりから居たよ  
！」

メタ発言多いな・・・この小説。

いつその事アレするか？ アレしちゃうよ俺？ アレってなんだ！

「しらねえよ。」

ちよつ、心の声読むな十代！

「あの・・・もう入つてもよろしいでしょうか？」

「「「あつ、忘れてた。」「」「」」

すまぬ、ガチで忘れてたゾE ワザとではないんだゾE

「酷い。」

「存在感がない同志、仲良くしましょ！」

「よし断る。」

「しゃんな～。」

「三沢ウゼエ・・・・とりあえずウゼエ・・・・なんかウゼエ・・・・。  
ロリコンの癖に…くさやジャム食わすぞ！

俺？・・・嫌いですけどくさやジャムは。

「で？何の用なんだ？用がないなら帰れ！商売の邪魔になる…」「でも今、授業中…・・・。」

「大丈夫よ。授業ならつぶさ・・・・潰れたわ。」

明日香・・・・潰したって言わなかつたか？もしそれが本当ならお前  
ヤバいぞいろんな意味で。  
てか居たのか？気付かなかつたぞ？

「明日香…お兄ちゃんの為にこの店へやつて來たんだね…お兄ちゃん  
うれしいよ！」

「それはない。・・・・ちょっとカードを買こにね。  
で、この人達誰？警察みたいだけど・・・何かやつたの？」

何も殺つてないし犯つてない。

本当だよ…それは昔の話だよ…

ふるふる、ぼくわるじテュエリストじゃないよ。

「何もしていない、おそらく七精門の鍵の件じゃないか？」

「まあ・・・・そうですね。その件です。鍵は奪われてないんですけど  
用心に越したことないですからね。」

ちなみにこいつ等はカードの精霊……らしい。アバター達が言つてた。

「皆さんは何処に、鍵を隠していますか？」

「私は女子風呂の排水溝に隠しているわ。」

明日香……どこの犯罪者だ！絶対犯罪犯すよこの人！  
てか髪の毛詰まつたりしないのか！？

「リストバンドの中だ。」

カイザー……居たのか。音も声も聞こえなかつたから気付かなかつたぞ。

・・・リストバンド好きだねこの人・・・。オーバーロードに未来融合隠してゐるしね・・・。  
しかもデッキに4枚積み・・・こいつデュエリストとして最低だ！  
本人はリアリストって言つてるけど・・・。

「俺は翔の髪の中に。」

翔ー！ 気付け！ 普通気付くだろ！

それと十代！ どうしてそんな所に・・・。

「俺はデッキケースの中に・・・。」

さすが三沢！ 地味だ！ 普通だ！ 特徴ねえ！

「俺は薄い本のどれかに・・・。」

万丈目・・・お前なあ・・・  
どうしてそれに隠したよ・・・。

「大会の景品にしたぜ！」

「「「「「隠せよ！…」」」」」

はつはつは！強化ガラスだから問題ない！

それに最近大会出る人いないし・・・。

・・・バカとか言つな！

アレ？クロノスは？原作ではカミューラに負けて鍵失くしたけど・・・。

「クロノス先生なら今日はおやすみよ・・・なんでも阪神VS巨人  
の試合を見に行つたらしいわ。」

「授業しろよ・・・。」

アレ？あのでかいおつさんの肩が震えているぞ？

「くつくつく・・・それさえ聞けばもはやきさま」「奪つてもたしかデュエルで盗らなかんぞ。」・・・まじで？」

知らんかつたんかい・・・駄目だこのおつさん・・・。

「貴方がセブンスターZの一人なら・・・私とデュエルよー最近出番が無いしデュエルだつて全くやつてないし・・・。」

明日香エ・・・メタ発言を・・・一応アニメのキャラなんだからさ・  
・・・。

「だったら俺もだ！なんか無視されてばつかな気がするから……。

「

三沢……だから『スプレテュエル大会で活躍させたるつて……。

「だつたら俺だつてでゅえ」「テメエは沢山出てるだろーー」「だが原作では俺がテュエルする事になつてるんだ！」

万丈目……アニメのキャラが原作とか言つなん……。  
もうジャンケンで決めろ……。

まさか万丈目が勝つとは……なんか一人位絶望してたぞ？

「デュエルの女神は俺に微笑んだ！さあ『デュエルだ！！』  
「えつ？あ、ああ。……なんか釈然としないなあ……『デュエル  
！』

さて……万丈目はあの『ツキをどこまで使いこなせるかな？  
・・・警官の方誰だつけ？

「俺のターン！ドロー！

魔法力ード『苦渋の選択』を発動！』

おいおい……一気に決めるつもりかよ……。  
しかも選択したカードが……な……。

「俺は『おジャマ・イエロー』を選択！

「なら残りは墓地へ捨て、『アームド・ドラゴン』？？を召喚！  
『永続魔法』『ハイリスク・レベルアップ』を発動！『ツキの魔法カ

ドを5枚墓地へ送り、『アームド・ドラゴン』<sup>5</sup>を特殊召喚…

初つ端から飛ばすねえ、破壊されたら泣くよ？

「カードを伏せ、ターンエンド！」

さて・・・アイツはどんなインチキを使う？  
何故インチキを使うと思うかつて？勘だ！  
まあ、俺の勘は外れやすいけどな！

「俺のターン！ドロー！

・・・魔法カード『黒蠍団の勧誘』を発動！デッキから黒蠍以外のモンスター1体と、黒蠍と名のつくモンスター1体を特殊召喚する！デッキから『首領・ザルーグ』と『黒蠍 畏外しのクリフ』を特殊召喚！さらに魔法カード『黒蠍団召集』を発動！

手札から『黒蠍 茨のミーネ』『黒蠍 強力のゴーグ』『黒蠍 逃げ足のチック』を手札から特殊召喚！カードを伏せ、ターンエンド！

一気に並んだな・・・黒蠍？・・・ああ、アレか！たしか万丈目が中の人ネタするアレか！

・・・いつからだろう・・・公式が病気になつたのは・・・。

「俺のターン！ドロー！

スタンバイフェイズに『ハイリスク・レベルアップ』の効果発動！このカードが表になつている時、1000ポイント払う。魔法カード『ハイリターン・レベルアップ』を発動！自分の場に存在する『ハイリスク・レベルアップ』を墓地へ送り、デッキからモンスターを特殊召喚する。

俺はデッキから『アームド・ドラゴン』<sup>7</sup>を特殊召喚！『アーモンドから飛ばすねえ、破壊されたら泣くよ？

ムド・ドラゴン』?』の効果により、手札の『地獄殻の使い』を墓地へ送り、貴様の場のモンスターすべて破壊する！

アームド・ミサイル！

アレ？ ドラゴンってたしか生き物だよな・・・なのになんで爪を射出してんだ？

おかしいよね！

「なつ、貴様・・・。」

「はつはつは！ 大事な友達が潰されてさぞや悲しいだろうな！ だがそれも、俺にとつては至福の時だ！ 相手のエースモンスターがあつさり破壊されす様・・・最高だ！」

万丈目が・・万丈目があ！ 完全に悪役に・・・。  
駄目だこいつ・・・。

「案外あつけなかつたな・・・。『地獄戦士』を召喚！ 更に魔法カード『イージー・チューニング』を発動！

墓地の『地獄からの使い』を除外！ 『地獄戦士』の攻撃力を2600アップさせる！ ならばだ・・・。『アームド・ドラゴン』?』で直接攻撃！

完全破壊！ アームドブラスト！

うわあ・・・。これはやり過ぎ感が・・・。

そもそも爪を射出し、ブレスを吐いて、相手へのリスクペクトが全くない感じが・・・。

「チェックメイトだ・・・。『地獄戦士』で止め！ 一族秘伝ヘルスラツシユ！』

一族秘伝なんだ・・・地獄戦士・・・。

「な、うわああああああーーー！」

「あつはつはつはつはつはーーー貴様の実力など、所詮その程度だ。  
雑魚め！」

万丈目・・・明らかにやり過ぎだ。

よし、カードをあげよう！レア物の青眼だ。レアカードって書いて  
ある方のな！

「さあ、七精門の鍵を俺に渡し、ひとつとと失せぬー！」

「商売の邪魔になるから消えてくれ。」

外道？タグに書いてあるではないか！  
あつはつはつはつはつはつはーーー！」

「僕たち・・・空氣だね・・・。」

「次こそは・・・ちやんと活躍を・・・。」

・・・お前りなあ・・・そんな事言つていいのか？一応アニメキャラ  
だぞ？

**黒蠍？どんな効果か知らぬ！！（後書き）**

「お前さ、もう少し長くは出来ぬのか？」

ムリダナ。

・・・さて、後書きが短い気がするけど気にせずオリカ紹介！

「お前なあ・・・本当に駄目だ！」

『ハイリスク・レベルアップ』

永続魔法

自分フィールド場に「？」と名のつくモンスターが存在する場合に発動。

そのカードに記されているモンスターをデッキから特殊召喚する。このカードが破壊さてた場合、この効果で特殊召喚したモンスターを破壊する。

このカードが表側表示で存在する場合、自分のスタンバイフェイズに1000ポイントのライフを払う。

『黒蠍団の勧誘』

通常魔法

自分のデッキから黒蠍と名のつくモンスター1体と黒蠍と名のつくモンスター以外を1体、特殊召喚する。

『ハイリターン・レベルアップ』

通常魔法

自分ファイールド場に表側表示で存在するハイリスク・レベルアップを墓地へ送り

デッキからハイリスク・レベルアップで特殊召喚したカードに記されている」と

名のつくモンスター1体を特殊召喚する。

「『レベルアップ!』といひのく魔法カードの方が強いな・・・。

黒蟻団の勧誘はいいと思うが。

「まあそれ位だな。」

だね。

恋愛などはなア、ソレだけで死亡フラグなんだよおーー！

視点：みんなとか

「俺の名前は三沢 大地だ！！」

「いきなり何叫んでんだよ……沢？」

卷之三

俺はそんなにも影が薄いのか・・・。

たが……備は今回こそ元ニエリをする!

故 D A — — — ! ! !

「あつ、三沢くん居たんだ。

「西ましょー?」

ふつ ふつ ふつ ふ・・・ 今回は活躍するぞ！ コスプレデュエル大会！

これは出て  
俺は新・・・・・しやねえや  
真のメインギヤは・・・・・

「何故俺が準備を…・・・」

へ？翔くんもう一回言つてみてくれ。

「だから、三沢くんの出番せいで終わりだよ。」

「なん・・・だと・・・?」

・・・そだ・・・嘘だあああああああああ！－！－？

そんな訳がない・・・そんな訳がないんだ！だつて・・・だつて作者は・・・作者はアア・・・活躍させてくれるって・・・くれるつて言つたのに・・・。

三一詩集卷之二

「十代、この木材を持ってきてくれ。」

「……梅津博士は？」

「三沢くんの出番はこれで終わりです。」

卷之八

俺はレオバルドンじゃ ねえぞオオオオオオオオ ! ! !

視点：榮

「4カードね。」「2ペア・・・。」「3ペアですわ！」  
『ロイヤル・ストレート・フラッシュですう～。』  
「なん・・・だと・・・。」

気のせいですかねえ、喋るのが久しごぶりな気がしますう。  
気のせいですね！はい！

「やつこやあやー、レッズドロップアートユーハルするひしこんだけど、  
皆せ出るの？私は出るナビ。」

ジョン・セラは、出ぬひじこですねえ・・・やはり永理さんの造つた衣装が着たいんでしょつかあ？

まあ、気持ちは分からぬいでもないですかどう・・・。

「私は遠慮いたしますわ、レンちゃんなりみつとした曲を作りうかと思いましてね。」

「シヨタコン・・・」

「何か言こましたか？明日香さん。」

「ももえ・・・顔が怖いわよ・・・。」

ももえさん・・・何言つてるんですかあ？レンって誰ですかあ？あと、ももえさんはオタクなんですかあ？

「ぶえつくしょいーーー！」

「どひした永理・・・くしゃみなんかして・・・。」

「明日香～、どひ行つたんだい・・・お兄ちゃん寂しこよ～。」

「吹雪黙れ。」

「酷い・・・。」

何か聞こえたよつな気がしますが氣のせいですよね・・・。  
あとカミコーーラさん・・・何してるんですかあ？

「じうぶつの森。オオクワガタゲットオオオオーーー。」  
『シーラカンス4匹釣りましたけれど・・・。』

「ちくしょおおおおーーー。」

私は運はいいですかねえ、ジャンケンで負けた事は13回しかないんですよ。

「栄ちゃんはどうするの？出るの？出ないの？」

『出ますよ～。永理さんは凄いですからあ～。』

「なんかえ～ 黙りなさいももえ、この小説がR 15になつてしまわ。」 明田香さんメタ発言はどうかと・・・。」

なにがエロいんですかあ～。私にはわかりません。

「ファツシユイヤツフオオオオウ！～！」

・・・煩いですカミューラさん・・・。

視点：吹雪

明日香～、ジ～行つたんだよ～。お兄ちゃん寂しいよ～。

あと永理くん、背中蹴らないで痛いよ。

あと吹雪と呼ばないでお兄ちゃんと呼んでくれれば僕はうれしいな。

「貴様・・・この小説をボーアズラブにするつもりか！」

「永理・・・一応あんなんでも先輩だから・・・認めたくないけど・・。」

「みんな酷くない！？あと僕は普通に女子が好きだよ！基本大学生以上が好みの普通の少年だよ！」

みんなして酷い・・・一人だけだけど・・・。

て言つたか永理くん口リコソだよな！？そんな人に女性好きなだけの馬鹿なんて言われたくないよ！

「そんなことは言つていない。心中で呟いただけだ！」

『 酷いよ・・・。』

あと心読まないで！

「そもそもーー過ぎたらもつねばせんじやん。」

「ロリコソぬ。」

「ロリコソじやん！」

『 では、俺はその上を行く！』

「アバター黙れ。」「

『 黙れつて・・・俺神だよ？』

『 そういえばそうだったね。忘れてたよ。うん？永理くんどこかへ行くのかな？

「嫉妬センサーが反応した・・・今から幸せいっぱいの奴に地獄を見せに行く。」

『 永理くん・・・怖いよ・・・君本当に十代くんと同じ年齢かい？

「おじさんを差し置いて幸せなど・・・許すわけにはいかない！イザ！漆黒の世界へ！！」

『 永理くん！？

帰ってきて！』

『 ハーハツハツハツハア！！』オレイカルコスの結界で、あ奴の

魂を頂戴するぜ！」

永理くんが・・・壊れた！？僕には止めることができないよ・・・  
残念ながら・・・そのカツプルさん・・・『愁傷様だね。

視点・最終鬼畜暴走月影 永理

「奴をデュエルで拘束せよ！」

「――サー・イエッサー！――」

はっはっは、逃げろ逃げろ！

さあ万丈目！奴を捕まえるんだ！

「捕まえたぞ！異端児！」

万丈目ナイス！

「なつ、何の用ですか・・・？」

「貴様に朝日は拝ませねえ！フィールド魔法！『オレイカルコスの  
結界』！――」

「『よし！――万丈目さん！早く逃げて！――そこに居たら永理さんに  
二人同時に狩られてしまいますよ！――』

「おう！今そちらへ行く！」

さあ、ショ―の始まりだ！

「――」のフィールドはこのデュエルに勝利しなければ出る事は出来ない。そして負けた者は魂を刈り取られる！

「な・・・それなら貴様も負けたら魂が抜き取られるって事じゃねーか！」

「『安心を・・・私には闇の『テコエールを無効化するアイテムを持つていますのでね。私が負けた場合、どちらも助かるんですよ。』

「貴様・・・卑怯な！」

「せりやどりも、やあ、狩りしてもうつて、貴様の幸せをなシ……」

「テコエール！」「あやせはははーーー！」

先ずはあ奴のターンか・・・まあ、どうりで良い。貴様は一ターンで葬つてやる・・・くくくくくく・・・。

「『『ブロン突撃部隊』を攻撃表示で召喚！ターンヒンデー！』

弱い、弱すぎるぜ。

「私のターン！ドロー！

『黒竜の雛』を攻撃表示で召喚！『黒竜の雛』を生贊にして、『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！

魔法カード『一重召喚』！その効果により私は更にモンスターを通常召喚出来る！

そして『正義の味方カイバーマン』を攻撃表示で召喚！そして『正義の味方カイバーマン』を生贊にし、『青眼の白竜』を攻撃表示で召喚！

「なつ、貴様積み込みしただろ！－！」

何故分かつたし。だが、このデュエルにルールなどは関係ないぜ！  
それに、俺の手札にはオネストが有る。・・・オレイカルコス？あれは奴をデュエルで拘束するためだが？

「『青眼の白竜』でキモいゴブリン集団を攻撃！破滅のブラストスクリーム！！」

更に、ダメージ計算時に手札の『オネスト』の効果を発動！

はっはっはあ！氣分爽快だぜえ！

「なつ、うわあああああああ！」

「ヒヤーハツハツハツハツハア！真紅眼で貴様を攻撃！黒炎弾！…」

「うわあああああああああ！」

ジ・エンドだぜヒヤーハツハツハツハア！！

奴が負けたからオレイカルコスの光に包まれた。

スゲエ、アニメ道理だ！

空に魂みたいなのが吸い込まれていき、その魂が抜けた体・・・いや、骸と言った方がいいな。

骸が奴の場所、いや、今骸になっているのは奴か・・・まあ、そこに転がっている。

「諸君！私は勝利したぞ！－悪しき者の魂は、何処へ消えた！」

「－ジーケ、永理！－ジーケ、永理！」「

・・・さて、帰つて文園祭の準備でも手伝いますか。

・・・もう少し主人公した方がいいかな？

恋愛などはなア、ソレだけで死亡フラグなんだよお……（後書き）

お前セア、オレイカルコスはあかんやろ。

永理「仕方ないじゃん!他に拘束出来そうなカードが無かつたんだから!」

やつぱお前、セブンスターズにしたら良かつたわ。

永理「俺は誰にも従わない!」

金貰えるなら?

永理「従つぜ!」

お前外道だな。

アバター『俺たちの出番がなかつた・・・。  
三沢『せめてもう少し出番が欲しかつたなア。』

口リサイコー近〇相〇サイコー プス最悪・・・。

視点・永理

文園祭・・・それは俺の夢とロマンと桃源郷が造られる時間・・・。文園祭・・・それは好きなキャラクターにコスプレ出来る唯一の時間・・・。

文園祭・・・それは明日香ちゃんやこの島は来たレイちゃんや力ミ  
ューラのコスプレ姿が見れるという至福の時・・・。  
文園祭・・・それはトメさんによつて齎される我が嫁・・・じゃね  
えや我が心のオアシスが汚されてしまつた絶望の時間・・・。  
あえて言おう！何故・・・何故・・・

「明日香さんがブライダルのコスプレじゃなくてトメさんがブライダルのコスプレしているんだ————！」

「何叫んでるんッスか？永理くん。」

「貴様には解らんのか！熟女と言うアンテットによつてプラマジガールが汚されてゐるんだぞ！……あの狸め……地獄を見せてやる。」

「二二、ハニカム・ジーニー」

怖い？何処がだ？

「やはり・・・XYZでは中途半端だな・・・VWXYZまで行つた方がいいか?」

無茶言うなー！こちとら首なし騎士の鎧作るのに大分と金と時間を掛けたんだよ！

そもそもカイザーが「『ディアバウンド・カーネル』の格好してみたいな・・・」とか言つからなあ・・・首なし騎士の剣の部分がまだ未完成なんだよ！

サイバー・ヴァリー？あれは翔の奴だ！

「てか翔。どうやって移動してるんだ？俺が作ったんだけど・・・。

「下の方に穴開けて足を出しているんだ。兄さんはなんのコスプレなの？」

「『インヴァルズ・ギラファ』だが？」

「なんと悪趣味な・・・。」

ディアバウンド・カーネルなんか作れるか！

まあ・・・首なし騎士の完成度が予想の斜め上を行つたんで部屋に飾つてるんだけどね・・・。

じゃあ今は何の恰好かって？死靈伯爵ですがなにか？

む、アレは・・・アネキ！？

なんでアネキが！？

しかも何故ヒータ？声も見た目もシャナなんだしさ！

「アレ誰ツスか？見たところヒータっぽいツスけど・・・。」

「アレは俺の姉だ。」

「なん・・・だと・・・ー？」

『新たなヒロイン・・・私の立場が・・・。』

栄ちゃん・・・居たのか？

アレ？あれって・・・藍ちゃんか？大分と久しぶりな気がするな！

「トメさん、貴女のその姿はまるで天使のよつこ」「ダーク・メガ・フレアーーー」『わやああああああーーー』

なにしてるんだろう？一人とも・・・。

「私の出番が全く無いんだけど・・・。」

「ドンマイだ若人。生きてりゃ良い事あるつこー。」

「デコエルだつて、全くしてないしわあ。」

「じゃあ、永理ーーー！」の幽霊さんとの下、デコエルさせて。

無理難題だなおーーー！栄ちゃんのトッキは今、他の子どもに貸してるのでござー。

「栄ちゃん、デコエルやりたいっスか？」

『はい、そろそろマトモにデコエル描写が欲しいですうー。』

「吹雪め・・・貴様あー！」

「亮ー田を覚ますんだー！あんなブスの何処が良いんだー！」

「ゆ・・・許せんーーー！」

はあ、あつちの方もなんとかしないとな・・・。

まあ、栄ちゃんのデッキはもう一個有るんだけどねーーーたしか、このデッキだつたな・・・。

「栄ちゃん、パス。」

『えつ？はーーー！』

ああ、可愛いな栄ちゃん可愛い。

藍しゃま・・・じゃなくて藍様が『テュエルディスクを構える。藍ちゃんの方は可愛いと言つより、凛々しい感じだなうん。

「『テュエル!...』」

先ずは栄ちゃんのターンか・・・。

『私のターン!ドロー!

『地縛霊』を守備表示で召喚ですう~。  
カードを2枚伏せ、ターンエンドですう~!

栄ちゃんやっぱ可愛いよ栄ちゃん。

地縛霊? アレはアイドルカードみたいなのだ!

「ワタシのターン!ドロー!

魔法カード『愚かな埋葬』を発動! デッキから『トランプ・リター・RR』を墓地へ送る!

『ブラック・ボンバー』を召喚! 効果により墓地の『トランプ・リアクター・RR』を特殊召喚!

『トランプ・リアクター・RR』に『ブラック・ボンバー』をチューニング!

世界の平和を守るために、勇気と力をドッキング! シンクロ召喚! 愛と正義の使者! 『ダーク・ダイブ・ボンバー』!

あるえ~? その口上はパワーツールじゃなかつたつけ?  
コレ絶対ネタだよね?

『罠カード』『奈落の落とし穴』を発動ですう~。

「えっ、あううううう。カードを伏せて、ターンエンド』では『サイクロン』でそのカードを破壊ですう。』・・・・『えええええん！」

栄ちゃん・・・なんてガチカードを・・・。

「あの幽霊・・・この『デュエルに勝つたね。』

「え・・・あ、ああ。そうだね。」

逆に勝たなければおかしいけどね・・・あの『ツキは超ビートツキ。ガチシンクロのアンチも入れてあるし。でも、ゲームがつまんなくなるからね。封印してたんだ・・・。

ウソだけどね。

『私のターン！ドロ～！

『地縛霊』を生贊に『地獄詩人ヘルポエマ～』を攻撃表示で召喚ですう～。

装備魔法『デーモンの斧』をヘルポエマーに装備ですう～。

『地獄詩人ヘルポエマ～』で直接攻撃ですう～。『

「へつ？いや来ないで怖い怖い怖い怖い助けて～。みぎやつ！」

ああ、マジ可愛いな二人共。マジお持ち帰りしたい可愛い可愛い可愛い。

「避け吹雪！『サイバー・エルタニア』で止め！」

「罠カード！『魔法の筒』！」

「なん・・・だと・・・？」

なにやつてんだあつちは・・・。

「マジで何やつてるんだあつちが。」

『カードを伏せ、ターン Hondですわー。』

藍ちゃんやばいぞ・・・。

恐らく伏せたカードは次元幽閉・・・マジでガチカード集団だな。

「あーうー。私のターン・・・ドロー・・・。

(やつと来たよ〜。)『洗脳ブレイン・コントロール』を発動!選択するのは勿論ヘルボーマー!』

おおーまさかそのカードを引くとは・・・スゲホ!

あとあつちの方は・・・

「もう万策尽きただろ亮。わざとサレンダーしたら楽になるのこ・・・。」

「・・・・・くつくつくつ・・・・ライフを1にならせるライフを払い『サイバー・デス・デビルテーモン』を特殊召喚!  
潰せ!サイバー・デビル・クラッシュ!」

「な、うわああああああー!」

おーおい。そのオリカ使つか普通・・・。

こいつ駄目だ!

「ヘルボーマーで栄ちやんに直接攻撃!」

『残念ですね。罷カード』次元幽閉』ー』

やつぱりか!

この子、恐ひしこ子!

「あつひひひ……『大木人18』を守備表示で召喚して、ターンエンド……。」

『ふふふ、私の勝ちですね。私のターン！ドロ～！』

『ハンマー・シューート』を発動ですう～。『大木人18』を破壊ですう～。

『メカ・ハンター』を召喚ですう～。そして攻撃ですう～。

「ちょっと、やめて止めてやめて止めて……止まつた！」

うわあ、すんげえネタだあの台詞……。

マジでこの小説が何処向かっているか分からなくなってきた……。

「おおー！マジあの子強いよ永理ちゃんースゲエー！」

「はこはい。凄い凄い。」

「あつひひひ……永理ちゃん意地悪するよおおお。」

ああ、この姉可愛いNE

マジ可愛い本当に可愛いマジお持ち帰りしたいですが最強で最高に可愛いプロデューリスト！

「泣かない泣かない。良い子良い子してあげるから。」

「わーい。永理ちゃんの久しづびりの頭なでなでだー。」

ああ、この時間が最高だ……。やっぱりこの姉可愛い幽霊に怖がる姉可愛い一人でトイレ行けないから俺んとこにくる姉可愛いぶつちやけ口り顔で遊んで遊んでつてせがむ姉可愛い！

変態？紳士です。てかぶつちやけ口りなら何でもいいのでシスコンではありません。

「わ、私の出番が……。」

「「『あつ。明日香さん居たんだ。』」「」

「居たわよー！」

ごめんマジ気付かなかつた。

アレ？ 亮達何してるんだ？

「亮くん。君にも分かるか。彼女の魅力が。」

ええ、師範恋は子弟関係は関係無いですよね。」

いいでしょ？  
なあ  
今日から貴方共和のシナリオ  
がでる！

おいしいいい！－－何やつてんだアイツ等！  
何あの茶番劇？すゞくウザい。

「なあ、俺の出番無いのか？折角投票されたオリキャラなのにや。」

次回で出ると思うよ。

## ロリサイコー近〇相〇サイコーブス最悪・・・。(後書き)

あんな姉が欲しい。

永理「はつはつはあ。羨ましいだろ。」

だが貴様に恋人は作らぬ！

永理「なん・・・だと・・・?」

俺に恋人が居ないのに貴様に恋人を作るとでも？

永理「貴様・・・最低だな！」

ありがとう、最高の褒め言葉だよ。

さて、オリカ紹介DA

『サイバー・デス・デビルモン』

レベル12

闇属性

攻撃力：?

守備力：0

機械族：効果

このカードは自分のライフを1にして、特殊召喚する。

このカードの攻撃力は除外されている機械族モンスター1体に付き、攻撃力を600ポイントアップする。このカードが破壊された場合、自分は1のダメージを受ける。

さて、忘れてたアレ。

プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわから  
ないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うから。  
あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、  
性別などを書いてください。

ついでに使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決  
めます。

永理「なんで前までやつてなかつたんだ?たしか最後にやつたのは  
・・アビドス?の時だけ?」

ああ。

永理「もうお前最悪だな。」

はつはつは。ありがとう。

永理「褒めてない。」

レイちゃんは俺の嫁！異論は認めない！

視点：みんなの嫁レイちゃん

「おじやーん、久しふりー！」

僕は永理さんに向かつて走つて行つた。

僕が永理さんに抱きつくと、少し乱暴に頭を撫でてくれる。腕が女人の様に白いし、顔だつて女人みたいなのにおじさんつて呼んでしまうんだ。

所で、あの女人人は誰だろ？・ヒータっぽいけど・・・。

「永理おじさん。あの人誰？」

「俺の姉だ。」

ええ！？永理さんのお姉さん！？どちらかというと妹の方がシックリ来るよ！

あ、そうだ。永理さんにあのカードお願ひしてたんだ。

「永理おじさん。あのカード有る？」

「ああ、あのカードか。はい、レイちゃん。」

やつた。やつと手に入れれた！究極時械神セフィロンゲットだぜ！あつ、お金渡さなきゃ。

「レイちゃん。それはおじさんからのプレゼントだ。一人でよくここまで来れたね。」

「む～～。おじさん、僕もう子供じゃないよ～。」

「はいはい。良い子良い子。」

「あ～。レイちゃんズルい～。私も私も～。」

・・・この人本当に永理おじさんのお姉さんなのかな?  
だって、仕草がすんぐく子供っぽいんだもん。

あ～、僕が恋してるのは十代様様だからねツ～！

「吹雪～! あんなケツの青いガキの何がいいんだ! 熟女こそが最高なんだ!」

「亮田を覚ませ! つてかこのやり取り前回もやったよね! ?」

アレは無視だ無視。・・・無視つたら無視!

だつて怖いんだもん! 何あの亮さんの眼! 本気で怖いよ!

ああ、今日も海が青いなあ・・・。

「レイちゃんレイちゃん! 一緒にイーハロー寮の出店回りツ～! 勿論  
永理の奢りでツ～!」

「えつ、はい。そうですね。」

「ハア・・・まあいいけどさあ。5千円でいいな。

変な人に付いて行くなよ。金が余つたらおじさんに返せよ。しっかり考えて使つんだぞ。」

「「ハイハイ」」

「あの・・・お姉さん。」

「うふええば、このお姉さんの名前なんて言つんだらうつ。

「むッ、何かなレイレイ。」

「そのあだ名止めてください。……お姉さんの名前なんて言ひつんですか？」

なんで前回に名前出さなかつたんだらつ……。

あと、僕は普通だよ。永理おじさんのお姉さんの方が数倍可愛いよ。

「あッ、やういえば言つてなかつたね。……ふつふつふ、お姉さんの名前は円影 瑞璃だよ！」

瑞璃……可愛い名前だなあ……アレ? ピンから聞いたよつな……。

……あッ、思い出した! たしか、無敗伝説を持つプロテュエリスト、円影 瑞璃さんだ!

前にテレビでエドツテ人をノーダメージで倒してた!

……でも、エドツテ人のデッキは正直微妙な実力だったのはは密に、密に……。

「もあ行いつー夢のワンダー「ワンダーハーー」

「やういえば、永理さんが4時にはレッド寮へ戻るよういつて言つてましたよ。」

「なぬッ! (4時……永理の好きな時間に戻る……大会だなー) そう、だつたらじゅんと楽しもうではないかッ! ……」

「瑞璃さん。そんなに走つたら抜けますよ?」

あッ、抜けた。大丈夫かな?なんか涙目みたいだけビ……。

「レイちゃん! 絆創膏持つてきて~!」

この人、本当に私より年上なのかな?

～ようじ・・・少女移動中～

さて、やつてまいりましたイエロー亮ー

「レイちゃ～ん・金魚すくいやうひゅ～」

なんだらう・・・見てるだけで癒されるなあ・・・。

アレ? あの人・・・アカデミアの人じやない様な・・・。

「ついに見つけたぞ・・・月影 瑞璃ー」

「むッ? 誰っさ?」

懐かしいなあ・・・昔、ドラグニティってテックでぶいぶいいわせてた篠芽 韶谷さん。

しののめって聞いた時、日常のはかせの作ったロボットの一種ですか? つて、聞いたのは僕だけでいい。

ぶいぶいって言うのは時代遅れ?・・・屋上。

「俺を忘れたか! 篠芽<sup>しののめ</sup>韶谷<sup>ひびや</sup>だ!」

瑞璃さん。本当に知らないって顔してる・・・それはちょっと酷いんじや・・・。

『ツシャアー? 6個体ゲット!』

彼女はビッグバンガールのシャルロッテ。

厨二病じやないよ? 本当だよ?

だから、瑠璃さんの真上になんかデッカイ龍が居るんだけど……  
幻覚とかじやないよね？

『あ～、ありや混沌帝龍だね。どう見ても。』

ですよね……やっぱり、永理おじさんの家庭は普通じゃないな……。

「あ～、たしかリリーで負けた人ねたしか。」

「アレは偶然だ！そもそもあん時は手札が事故つてたから負けた訳であつてだな……。」

たこ焼き……美味しいなあ。外はカリカリ、中はトロ~リとしていて、学生が作れるレベルではないよね。

『美味しそう……。』

シャルロッテの分は無いよ。

あつ、涙目だ。……しようがない、一個だけだよ？

『おお、すんげえ美味しい！なにこれ学生が作るレベルを超越しちゃつてるよ。』

でしょ！すごいなあ……。前来た時は、自分で作った方が美味しいつて感じたのに……。

「「デュエル！」」

あつ、いつの間にかデュエルになっちゃったかあ。  
まあ、デュエルアカデミアだしね

「私のターン！ドロー！」

『ドラグニティ・ドウクス』を攻撃表示で召喚！更に魔法カード『

ワン・フォー・ワン』を発動！手札の『ドラグニティ ゴルセカス』

を捨て、『ドラグニティ トリブル』を守備表示で特殊召喚！

『ドラグニティ トリブル』の効果により、『ドラグニティ フアランクス』を墓地へ送る！ターンエンド！「

一気に2体も・・・永理さんの方が凄いよね。  
でも、普通の人よりは凄いのかな？

『？6じゃない・・・よし、もう一回ー！』

シャルロッテ・・・電池やバいんじゃないの？ランプが赤色だよ?  
あつ、やっぱ消えた・・・。

『イーブイが・・・？6のイーブイがあ・・・。

出すのに10時間かかったのに・・・。』

僕し〜らないッ！

「ふつふつふ、若人よ。はりきり過ぎて自分の首を絞めるなよ。私のターン！ドロー！」

『RF闇の狩人』を攻撃表示で召喚！更に『RF 漆黒を狩りし者』を特殊召喚！

そして『DT 闇からの使者』を特殊召喚！レベル2の闇の狩人にレベル1-2の闇からの使者をダークチューニング！

永理さんと同じ、ダークシンクロ！瑠璃さんも使うんだ・・・。  
あと、最初の台詞つてたしか・・・ブレイブって人と同じな気が・・・  
。。

「光が闇に閉ざされし時、冥府に封じられし邪神よ！我が勝利の為に働け！」

ダークシンクロ！「レガ私の神だ！『邪王モノフルスス』……」

うわあ・・・すんごいデカいなあ・・・。

アレ？攻撃力がたつたの2000？強力な効果があるのかな？

「このカードがダークシンクロに成功した時、デッキから光属性のモンスターを1体手札に加え、デッキから闇属性モンスターを特殊召喚する！」

私はデッキから『RF 陽月の神官』を手札に加え、『死者のお守り』を特殊召喚！

「カードを伏せて、ターンエンド！」

アレ？死者のお守りって攻撃力が0？どんな効果があるんだろう。

『嘘！？リオってこんなに強かつたっけ！？』

「カードを伏せて、ターンエンド！」

邪王モノフルススの攻撃力が900上がった。一体どれだけの効果があるんだろう。

私はその事で頭がいっぱいだった。だが、それは予想の斜め上を行く効果だつたのだ。

『なんか一気に普通の小説みたいになつたね。』

普通つて言ひな！

「RF・・・目障りなカードだ。私のターン！ドロー！」

『ドラグニティ ブランディストック』を攻撃表示で召喚！

レベル1の『ドラグニティ トリブル』にレベル4の『ドラグニティ ドゥクス』レベル1の『ドラグニティ ブランディストック』をチューニング！

竜の里に封じられし稻妻の竜よ。今、我が僕の魂を餌として、我が

地へ舞い降りる…シンクロ召喚！これが新たなる破壊の力…

『ドラグニティロード・カラドボルグ』！！

これがシンクロ…目に悪いなあ本当に…。光の中から出てきたのは翼が4枚のレヴァティン…若干白っぽい縁。

『なんか四枚の翼で白っぽい縁って強化版のデフォだよね。』

シャルロッテ…それを言っちゃ駄目だよ。手にやいばを持ち、体に白銀のよろいをまとっていたのって誰だけ？全く関係無いけど。

「カラドボルグの効果発動！手札のドラグニティと名のつくモンスターを1枚捨て、相手フィールドに表側表示で存在するモンスターを全て破壊！」

目障りな敵を焼き払え！フレイム・テンペスト！

属性風なのにフレイム…某E・HEROを思い出すなあ。そんなどうでもいい事を考えていると、目の前が真っ白になつた。どこのポケモンだ！って思つた人、私の時械神でみつくみくにしてやんよ。

「カラドボルグで直接攻撃！超電動斬 サンダー・スラッシュ…！」

どう聞いてもドジリスのパクリです本当にありがとうございました。そういえば、あのカードの攻撃力…3000なんだよね。瑠璃さん大丈夫かな？

「ふつふつふ、まだまだだよ若人！罠カード『ダークスター・フルガード』…！」

なんか『テックライ盾?』が描かれている罫……どんな効果が……。

『幼女はおおきこつて言つのがやるんだよーレイ!』

『少し静かにしてください。』

あつ、上に居た混沌帝龍が下りてきた。  
喋れたんだ……。

「ふつふつふ、『ダークスター・フルガード』はエクストラ『テック  
からダークシンクロモンスターを9体墓地へ送ることで、戦闘ダメ  
ージを0にするのさ!』

私はこの効果で『DST病竜』に『DST死竜』、『ワンハンドレ  
ッド・アイ・ドリコン』と『地底のアラネー』に『猿魔王ゼーマン』  
『地獄の亡靈スプライト』<sup>ハラッカイズ・フルドリコン</sup>『暴漢ピサロ』『セメタリー・クイーン』  
『黒眼の紫龍』<sup>ハラッカイズ・フルドリコン</sup>

を墓地へ送り、戦闘ダメージを0にする!』

ダークシンクロって、こんなにも居たんだ……。さすが月影家!  
アレ? たしか5D-Sでダークシンクロって、ダークシグナーが使  
つてたんじゃ……。

「カードを伏せ、ターンエンド! (伏せたカードは『竜族のバリア  
ドライコンフォース』これで奴もイチ口ロだ。)」

失敗フラグビンビンだね。

『幼女がビンビンつて、ちょっととえー・・・レイちゃん? そっちの  
方に関節は曲がらないんだよ痛い痛い痛い痛いよ! もうやめて! と  
つぐに私のライフは0よーもう勝負はついたよー!』

よし、この位にしておくか！反省してゐみたいだしね。  
鬼？教育です。

「私のターン！ドロー！

魔法カード『強欲な壺』を発動！デッキからカードを2枚ドローつ  
さ！

魔法カード『ミラクル・シンクロフュージョン』！

墓地のダークシンクロモンスター10体を除外！現れよ融合召喚！  
『絶望に染まりし英雄ゼブラ』…！

キン肉マンとは関係無いよ！本当だよ！

「ふーははははー！行けゼブラ！…マッシュル・インフェルノ！」

瑠璃さん狙つてやつてるだろ絶対！  
てか、ネタが古いよ！

「罠発動『竜族のバリア ドラゴンフォース』！！」

「無駄無駄！…ゼブラは魔法、罠では破壊されないのさ…」

なんというチートカード…この子、恐ろしい子…！  
『…それ、どこガラスの仮面？』

元ネタを言つた！元ネタを…！

あ、カラドが破壊されている…。

「なつ、攻撃力たつたの2000のモンスターに破壊されただと…！

？」

「ふつふつふう、このカードが風属性モンスターと戦闘を行つ場合、  
攻撃力を2600上げるのぞ…！」

やつぱりチートカードだったか！

僕の予想だけど、あのカードはクリアーワールドみたいな……。

今度作ろうかな？クリアーデッキ。

「カードを伏せて、ターンエンド…あ、どこまで足搔けるかな少年！」

おっさんに少年で……どうなのが、他人、他に切り札があるのかな？

「まだだ！まだ終わらんよ！私のターン！ドロー！

『強欲な壺』を発動！デッキからカードを2枚ドロー！更に『天使の施し』発動！デッキからカードを3枚ドローし、2枚捨てる！

普通そこでドローカード引くかな普通……。

私なんか、手札事故で負けたんだからな！

サンダー3枚に青眼2枚つてどうなのさ！

「『未来融合 フゥーチャーフュージョン』…『F・G・D』を選択！

『ドラグニティ・ピルム』『ドラグニティ・ファランクス』

『ドラグニティ・ブラックスピア』『ドラグニティ・ブランディストック』『ドラグニティアームズ・ミスタイル』を墓地へ送る！魔法カード『龍の鏡』！墓地のドラゴン族モンスターを5枚除外！来い！『F・G・D』…！」

すぐく…おおきいです。

でも相手は闇属性だから、瑠璃さんのチートモンスターのインチキ効果で破壊されるだろうなあ……。

「行け！ゼブラに攻撃！超炎弾波ファイア・フォース！！」

「ゼブラの効果！闇属性モンスターが攻撃する場合、手札を2枚捨てる！」

以外と地味でした。  
地味に強い効果だね。

・・・この人オシリス好きなのかな？だつて技名が全てオシリス風  
だし・・・。

『『死者のお守り』の効果！相手の闇属性モンスターの攻撃宣言時、  
そのモンスターの攻撃力を3000下げる！それにチーンして『  
収縮』発動！攻撃力を半分にするっさ…』

うわあ、チートだ、チート。

「なつ、うわあああああ！」

まさかの反射ダメージで止めとは・・・。  
でも最近、闇より光が待遇されている気がするから普通なの・・・  
かな・・・？

「ガツチャ、楽しいデュエルだったよ！」

「・・・十代様のパクリ？」

『お疲れ様です。マスター・・・早く帰つてアイドルマスターを攻  
略したいので帰りますよ。』

混沌帝龍さん・・・ヲタクなんだ・・・。

ああ、アバターさんを思い出すな・・・今頃何してるんだりう?

「混沌帝龍さんはデュエルするんですか?」

『下手の横好きですよ私なんて・・・瑠璃さんにも永理さんにも勝てないです・・・。』

いや、それが普通だよーあの人達に勝てるデュエリストなんてそう居ないよ!

・・・もつ、永理さんはプロで食べていけると思つよ僕は・・・。

あつ、もういんな時間だ!

「瑠璃さんーそろそろ4時になりますよー」

「なぬ!ル! それでは行くかレイレイーー目指すは優勝だーー!」

「次は負けないぞ瑠璃! 覚悟しているーー!」

ああ、多分この人も大会出るんだろうな・・・。

だって、こんな人がアカデミアに居るって事は、永理さん主催の大會で優勝して賞品のカードを田當てに他のプロデュエリストも居るし・・・。

「アレ? 今回も私の出番無し? なんで?」

「明日香さん、居たんだ。」

「ずっと居たわよー? てか、出番これだけ! ? 不幸だーー!」

禁書目録ネタですね、わかります。

レイちゃんは俺の嫁！異論は認めない！（後書き）

邪神達『俺たちの出番は？』

無いね。まあ、レイちゃんが主役の回だし？

明日香「私の出番をもつと増やしてよ！レオパルドンだつてもつと  
出てたわ！」

おお、キン肉マンネタ……。

まあ、それは置いといてと、オリカ紹介。

明日香「聞いてるの！？」

『RF 閻の狩人』

レベル2

光属性

攻撃力：1000

守備力：2000

鳥獣族：効果

このカードが表側守備表示で存在する場合、このカードを破壊し、  
このモンスターの元々の攻撃力ダメージを受ける。

自分フィールド場にRFと名のつくモンスターが存在する場合、手  
札から特殊召喚できる。

1ターンに1度、相手モンスターの元々の攻撃力を半分にする。

『RF 漆黒を狩りし者』

レベル4

光属性

攻撃力：1700

守備力：100

鳥獣族：効果

このカードが表側表示で存在する場合、このカードを破壊し、このモンスターの元々の攻撃力ダメージを受ける。

自分フィールド場にRFと名のつくモンスターが存在する場合、手札から特殊召喚できる。

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時その守備力を攻撃力が超えていればその数値だけ相手ライフに戦闘ダメージを与える。

『DT 閻からの使者』

レベル12

闇属性

攻撃力：0

守備力：0

悪魔族：ダークチューナー

このカードをシンクロ素材とする場合、ダークシンクロの素材にしかできない。

自分フィールド場にモンスターが2体以上存在する場合、手札から特殊召喚できる。この効果で特殊召喚した場合、エンドフェイズに除外される。

『邪王モノフルスス』

レベル10

闇属性

攻撃力：2000

守備力：750

悪魔族：ダークシンクロ

チューナー以外のモンスター1体・ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「**DT**<sup>ダークチューナー</sup>」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならない。

このカードがダークシンクロに成功した時、デッキから光属性のモンスターを1体手札に加え、デッキから闇属性モンスターを特殊召喚する事が出来る。

このカードの攻撃力は場にフィールドに存在する魔法・罠カード1枚につき、攻撃力を900ポイントアップさせる。

『RF 陽月の神官』

レベル6

光属性

攻撃力：1960

守備力：2780

鳥獣族：効果

このカードは、相手プレイヤーに直接攻撃できる。

『死者のお守り』

レベル8

攻撃力：0

守備力：3000

鳥獣族：効果

このカードが破壊された時、墓地のシンクロモンスターをすべて、エクストラデッキに戻す事が出来る。

『ドラグニティロード・カラドボルグ』

レベル6

攻撃力：3600

守備力：2300

ドラゴン族：シンクロ

ドラチューナー + チューナー以外のモンスター 2体以上

1ターンに一度、手札のドラグニティと名のつくモンスターを一枚捨てる事で、相手フィールドに表側表示で存在するモンスターをすべて破壊する。1ターンに一度、手札からドラグニティと名のつくモンスターを捨てる事で、自分フィールド場に表側表示で存在するこのカード以外のドラグニティと名のつくモンスターに、墓地のドラゴン族モンスターを装備させる事ができる。

『ダークスター・フルガード』

通常罠

ダメージ計算時、エクストラデッキのダークシンクロモンスターを9枚、墓地へ送る事で戦闘ダメージを0にする。

『DST病竜』

レベル1

地属性

攻撃力：200

守備力：1500

ドラゴン族：ダークシンクロ・ダークチューナー

チューナー以外のモンスター1体・ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「ダークチューナーDST」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。

このカードがダークシンクロに成功した場合、墓地のダークシンクロモンスターを1体、表側守備表示で特殊召喚する事ができる。

この効果で特殊召喚したモンスターは表示形式を変更する事ができず、効果は無効化される。また、1ターンに1度、エクストラデッキに存在するモンスターを相手に見せる事でエンドフェイズ時まで、このカードのレベルを相手に見せたモンスターのレベルにする事が出来る。

#### 『DST死竜』

レベル4

闇属性

攻撃力：2100

守備力：0

ドラゴン族：ダークシンクロ・ダークチューナー

チューナー以外のモンスター1体・ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「DT」<sup>ダークチューナー</sup>と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。

このカードが特殊召喚された場合、エクストラデッキからレベル8のダークシンクロモンスターを1体、特殊召喚する。

この効果で特殊召喚したモンスターは、効果を無効化される。また、1ターンに1度、自分の墓地に存在するモンスター1体を選択し、このカードのレベルをエンドフェイズ時まで、選択したモンスターと同じレベルにする事ができる。

#### 『地底の亡霊スプライト』

レベル6

闇属性

攻撃力：2600

守備力：3000

### アンデット族：ダークシンクロ

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する  
「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならない。

このカードの攻撃力は自分の墓地に存在するアンデット族モンスターの数×300ポイントアップする。1ターンに1度、墓地のレベル4以下の守備力700以上のモンスターを1体、特殊召喚する。この効果で特殊召喚したモンスターは、エンドフェイズに破壊される。

『暴漢ピサロ』

レベル7

地属性

攻撃力：3300

守備力：0

戦士族：ダークシンクロ

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する  
「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならない。

このカードの攻撃宣言時、自分フィールドのモンスターを1体、生

贊に捧げる事で攻撃力を300ポイントアップさせる事ができる。

この効果を発動した場合、エンドフェイズに自分フィールドのモンスターをすべて破壊し、墓地からレベル3以下の闇属性モンスターを表側守備表示で特殊召喚する。

『セメタリー・クイーン』

レベル3

闇属性

攻撃力：100

守備力：3000

魔法使い族：ダークシンクロ

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する  
「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。

このカードが表側表示で存在する場合、自分フィールド場のモンスターの攻撃力を600ポイントアップさせる。

墓地のモンスター1体につき、このカードの攻撃力を600ポイントアップさせる。このカードが戦闘で破壊され墓地へ送られた時、墓地のモンスターを1枚除外し、このカードを特殊召喚する事ができる。

『黒眼の紫龍』

レベル7

闇属性

攻撃力：3000

守備力：1500

ドラゴン族：ダークシンクロ

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する  
「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルか

ら引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならない。  
このカードが破壊された場合、墓地のカードを1枚手札に加える。

『竜族のバリア ドラゴンフォース』

通常罷

自分フィールド場にドラゴン族モンスターが存在する場合のみ、発動できる。

相手モンスターの攻撃宣言時、相手フィールドのモンスターをすべて破壊する。

『絶望に染まりし英雄ゼブラ』

レベル12

闇属性

攻撃力：2000

守備力：2000

幻神獣族：融合

ダークシンクロモンスター 10体以上

このカードは融合召喚でのみエクストラデッキから特殊召喚する事ができる。

このカードが表側表示で存在する場合、相手はコントロールしてい  
る属性によって以下を適用する。

光：相手は、手札からモンスターを特殊召喚、効果を発動する事  
ができる。

闇：相手は、手札を2枚捨てなければ攻撃する事ができない。

地：相手は、エンドフェイズにデッキからカードを6枚、墓地へ  
送る。

水：相手は、墓地のカードを2枚、除外しなければ攻撃宣言に入  
る事ができない。

炎：相手は、ライフに直接ダメージを与えるカードは発動できない。

風：風属性モンスターと戦闘を行う場合、このカードの攻撃力は2600アップする。

自分で作つてなんだけど・・・なんていうチートカード群。しかも、ダークシンクロモンスター多いなおい。

永理「まあ、原作でもあまり出てなかつたからな。OCG化しないかな？ダークシンクロ・・・」

したら使つよ俺。

レイ「あ～、明日香さん。元気を出して・・・ね。

さて、永理おじさんのプロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いてください。5人以上で作者が書くと思います。

あとオリキャラも募集中です。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてください。

あと、使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決めますので。

また、キャラ的に薄い感じがする。こうした方が盛り上がる。つて場合、性格などが変更される場合がございますので、あしからず。

レイレイって、暴デメリットアタッカーを思い出すゾ

レイ「サンダイオンで攻撃！」

『あやああああああああ…！』

参加者が凄すぎる大会では、大体自信満々な奴は噛ませ犬だけ!!の話ではそく

視点・レイ

「さあやつてまいりました!! 第一回 カードショップ石村デュエル大会!!」

永理・・・さん?なにこれ?大会?聞いてないんだけど・・・。  
アレ?瑠璃さん知つてたの?すんごいワクワクしてるけど・・・。

「さあ!勇気ある挑戦者達よ!神のカードを手に入れたいか!」

うわあ・・・みんなノリノリだあ。なにこれ怖い。

瑠璃さんまで、・・・神のカードってなんだろう?  
でも、優勝するのは無理そうだなあ・・・だつて海馬さんや城之内  
さんまで居るんだもん!なにこの豪華キャストは!!--?

『えーでは、この大会の大まかな説明をいたしますドレッジです。  
えー、この大会ではタッグデュエルを皆様方にしていただきます。  
タッグデュエルは

最初のターンは攻撃できません。この大会では、以下のカードを使  
用制限させていただきます。

- 1 封印されしエクゾディア
- 2 直接攻撃系魔法、または罠力カード
- 3 終焉のカウントダウン
- 4 意図的な目的でのデッキ破壊
- 5 サイキック族

6・相手モンスターを破壊する魔法、罠

7・ロックカード

などを禁止していただきますはい。この大会は基本、見せデュエルなので……。

あと、この大会では以下のような特別ルールが追加されます。

1・ライフルコストの踏み倒し

2・エンドフェイズに手札を5枚になるように補充可能

3・通常モンスターは二ラテキストに記されている説明がカード効果となる。

以上です。では皆様、見てる側もやつてる側にも楽しいデュエルをお待ちしております。』

ど、ドレッドさんが普通に喋った……だと……？  
あのドレッドさんが……ドレッドさんがあ。

『レイ～、ちょっとたこ焼き買ってくるわ。レイも居るか？』

「じゃあ頼むね。」

「じゃあ私もよろしくっさー。」

『食べ過ぎたら太りますよ……。』

混沌さん！それは言わないの！

そもそも、僕はまだ成長期だから体重が2？増えたぐらい……じやあ……。

・・・大丈夫だよね！？僕はまだ大丈夫だよね！？

「勝利と栄光と神のカードを手にするには誰だ！第一回戦 凡骨&エネコン社長VS顔芸＆顔芸 デュエルスタンバイ！」

「顔芸じゃないよ！…」「

「エネコン・…？」

「気にするな・・・海馬・・・。」

すんごい大物さんだあ・・・。これなんてM A D?

そう僕が自問自答していたら、海馬さん達とマリクさん達が『デュエル場へ上がつていった。

・・・ちょっとまって！？なんで永理さん家に『デュエル場なんかあるの！？何この人怖い。

ああ、永理さんは常識なんて通用しないんだな・・・帰つたら餌でも食べよう！

「レイちゃん・・・さすがに蠍はちょっと・・・。

「結構美味しいんだけどなあ・・・永理さん家で食べてみたら旨かつたのに・・・。」

お酒もいいよね あつ、始まつた始まつた。

『デュエル・・・開始です！！』

「「「「デュエル！」」「「

(永理家内BGM resonance)

なんでソウルイーターの曲？

まあ、それは置いといて。

まずはマリクさんからのターン・・・ホント、豪華だなあ・・・。

アレ？みんなどうしたのかな？手札事故つたのかな？

「俺のターン！カードドロー！

魔法カード『手札抹殺』！

今引いた『ニユードリュア』を守備表示で召喚！魔法カード『愚かな埋葬』を発動！デッキから『青眼の白龍』を墓地へ送る。更に魔法カード『死者蘇生』！蘇生させるのは勿論、『青眼の白龍』！タ

－ンエンド－カードを3枚伏せ、ターンエンド－

うわあ、これなのはMADだ。完全になのはMADだ・・・。  
てかいいの？こんな声優さん達集めてこんなのに使っていいの！？  
次は、城之内さんのターン。永理さんは凡骨つて呼んでるけどいい  
のかな？

「俺のターン！ドロー！」

『ランドスターの戦士』を召喚！魔法カード『スター・ブラスター』  
発動！このカードは、自分のモンスターを1体生け贋に捧げて発動。  
サイコロを一つ振り出た目の数と生け贋にしたモンスターのレベル  
の合計分のレベルを持つモンスターが手札に存在する場合、そのモ  
ンスターを特殊召喚するぜ！出た目は勿論、5！

また出るんだ・・・青眼さん・・・私も持ってるけどね。でも、  
出し過ぎじゃないかな？

『女の子が出しあり、最高－！』

・・・キン肉バスター！

『ギヤー！』

「手札から、『青眼の白龍』を特殊召喚！伏せカードを2枚場に出  
し、ターンエンド！」

これだけ手札消費しても、エンドフェイズに補充されるから凄いよ  
ね。壊れルールだよね。

あつ、海馬さん怒ってるよ！嫁出されて怒ってるよ！

「私のターン！ドロー！」

『カイザー・シーホース』を召喚！更に魔法カード『一重召喚』発  
動！『カイザー・シーホース』を生贅にして、『青眼の白龍』を召

喚！

カードを伏せ、ターンエンド！』

うわあ、最上級モンスターばっかだあ。これなんてMAD？最後は、社長のターン。どうせ融合だらうね・・・。

「俺のターン！ドロー！

『融合』発動！『融合解除！』・・・・・。

うわあ、マリクさんえぐいなあ・・・・。

『ノーノード』社長はどう出るか？伏せてエンドだらうけど・・・・。

「お、俺はカードを伏せ、『ジャイアント・ウィルス』召喚！ターンヒンドード！」

積み込みかな？普通、こんなにも早く青眼なんて出せないでしょ。えつ？TFでは初手裁きの龍3枚でワンキル余裕でされました？・・・・・。僕はライトロードなんか使わないよー？使うのは時械神だよ！時械神もヤバいだろつて？気にすんな

「俺のターン！カードドロー！

行くぜ！『青眼の白龍』で海馬の『青眼の白龍』を攻撃！『滅びの爆裂疾風弾』！』

「リバースカードオープン！『攻撃誘導アーマー』！このカードは、呪われし鎧を着せられた者に攻撃が誘導される！俺は凡骨の青眼を選択！

「海馬テメェ！・・・・・

なのはは出てこないよね？ないよね？タグに書いてないから出でこないよね？

海馬さん・・・全く協力しようとしてない。これじゃなのはと丸被りだよ！

『ヨーロッパネタ多いなあ・・・。

「カードを伏せ、『ギル・ガース』を守備表示で召喚し、ターンエンド！」

「俺のターン！ドロー！」

「魔法カード『死者蘇生』！青眼を蘇生！青眼で斎王だっけか？そいつの青眼を攻撃！バーストストリーム！（これで斎王の場にモンスターはいない、海馬の青眼で一気に決めるぜ）」

「所がそうはいきませんよ。罠カード『蘇生の石版』！このカードは戦闘で破壊されたモンスターを蘇生させる。つまり、青眼復活！」

「くつ、『リトル・ウインガード』を守備表示で召喚！ターンエンド！」

あの・・・後からやる人達の事も考えてくださいお願いします。本当に後からやる人達にとってはプレッシャーになりますので・・・

てかこのデュエル・・・

「一回戦でやる内容じゃねえ！！」

「『同意』」「」

やっぱみんなもそう思つよね！？そもそもこれ、ほぼオリジナリティーがないんだけど！？

しつかりと後からなのはMADとは違う展開になるんだよね！？

『最初あたりが違うじゃん。』

そうだけどさ！

「私のターン！ドロー！」

『酢酸の悪魔』を攻撃表示で召喚！『酢酸の悪魔』で海馬さんに直接攻撃です！

「かかつたな！リバースカードオープン！『死のデッキ破壊ウイルス』」

不味い！これがほほなのは道理に話が進むのなら……海馬さんのデッキは死滅してしまう！

これで、なんの対策もしなかつたらオリジナル展開になるけど……。

「甘い！『呪い移し』！」

「『呪い移し』？聞いた事ないっス。」

「翔さん、『呪い移し』は罠の効果を相手に移し替える効果なの。つまり……」

「つまり？」

「海馬さんがデッキ破壊されるって事。」

なのはだつたか……ヤバい……この回が長引けば……精霊界編に間に合わなくなつてしまつ……それだけは阻止せねば！  
だが、それより恐ろしいのは×××で××や×××が感想欄に書かれてしまう……それも阻止せねば！  
だが、マリクさんが何とかしてくれる……はず……

「『酢酸の悪魔』が戦闘を行つた場合、このカードは破壊されます。カードを伏せて、ターン終了です。」

あつ、そんな効果があるんだ。結構使える……かな？  
まあ、機皇帝の召喚に使えるけど……。

「俺のターン！ドロー！」

戦いの生態系、戦いのじょくもつれん『『六芒星の呪縛』』魔法

カード『闇の生産工場』！墓地の青眼を2体、手札に加える！魔法カード『融合』発動！来い！『青眼の究極竜』！そして魔法カード『死者転生』発動！墓地から『青眼の光龍』を手札に加える！そして『青眼の究極竜』を生贊に『青眼の光竜』召喚！

攻撃力・・・6000！？凄い・・・これが海馬さんの真の力・・・。

こんなとの戦う事になるなんて・・・笑えるよ本当に・・・。

みんなも驚いてるし・・・そりやこんな見せられたら驚くよね・・・

・永理さんや亮さんはその上を行くけど・・・。

「俺に力を貸せ！キサラ！！装備魔法『メテオ・ストライク』を装備、『ニユードリュア』に攻撃！シャイニング・バースト！…」「（甘い、甘いぜ海馬・・・くくくくく・・・）罷発動！『レインボー・ライフ』！このカードにより、ダメージは受けず、回復する！」

まさかのカード・・・これ以上デュエルを長引かせるのは作者の体力的にヤバい！5200ライフ回復なんて・・・。

ライフポイントが9200つてどうなの！？キュアバーンでもない限り無理だよ！？

「『リトル・ウインガード』を破壊！（光龍が倒せないのは痛いな・・・斎王、貴様の力を見せてみろ。）」

「カードを伏せ、ターンエンド！」

「（分かりました。）私のターンードロー。（このカードなら・・・勝てる！）

私は魔法カード『手札同調』を発動！手札のレベル6『アルカナファンクロン』をチューニング！

集められし破壊の光よ！今こそ我が身体を器とし、目の前の敵を破壊せよ！シンクロ召喚！来い！『フォーカード ジョーカー』！

凄いデカい化け物がそこに居た。信じられるか？これ、天使族なんだぜ？

ちなみにアルカナフォースはタロットってのをモデルにしてるらしい。日本人なら、スピリット使えよ！

「『フォーカード ジョーカー』の効果発動！このカードがシンクロ召喚に成功した時、デッキ、またはエクストラデッキからアルカナと名のつくモンスターを特殊召喚できる！

私はデッキから『アルカナフォースXXXI-THE WORLD』を特殊召喚！THE WORLDの効果発動！その瞬間『フォーカード ジョーカー』の効果発動！アルカナと名のつくモンスターの効果を任意で決めることができる！選択するのは勿論表！」

うわあ、なんというチートカード……何度目だろ？この台詞。そろそろ終わつてほしいんだけどなあ……作者的には。

「まだ終わりませんよ！『フォーカード ジョーカー』の第3の効果発動！相手モンスターのコントロールを得る！この効果は無効にされない！『青眼の光龍』のコントロールを得る！」

・・・コレナンテなのは？このままじゃバルバトス風のなのはさんがジエノサイドブレイバーぶっぱなすよ？

「行け！『フォーカード ジョーカー』で『ジャイアント・ウイルス』に攻撃！雷光弾！」

もうやだこの大会。自信無くす。

「『ジャイアント・ウィルス』の効果発動！」

相手ライフに500のダメージですね分かります。  
あえて言おう。ショボイなさい！永理さんが売ったんだらあいつ等  
に！あとシャルロッテ！食堂でDS充電してるんじゃないよ！怒ら  
れえるよ！」

「デッキから『ジャイアント・ウィルス』を2体、特殊召喚！」

「光龍で攻撃！シャイニング・バースト！」

「『ジャイアント・ウィルス』の効果以下略！－！」

略した！？略したよこの人！

そして海馬さんのライフはゼロに・・・最後にTHE WORLD  
で止めされました。

「そして魔法カード『神秘の中華鍋』発動！光嫁を生贊にし、ライ  
フ3500回復！ターンエンド！」

うわあ、駄目だろそれガチコンボ。  
しかし、城之内さん。ドンマイです。

「お、俺のターン！ドロー！」

『E・HEROプリズマー』召喚！プリズマーの効果でデッキの『  
メテオ・ブラック・ドラゴン』を相手に見せ、このカードを『真紅  
眼の黒竜』として扱う！

『真紅眼の黒竜』扱いのプリズマーを生贊にして、『真紅眼の闇竜  
』を特殊召喚！』

海馬さんが負けて、海馬さんの墓地は消滅した。なので攻撃力がた

つたの3000。普通なら十分なんだけど、この相手じゃあ……。  
城之内さん。ご愁傷様です。

「ターンエンド……。」

あっ、諦めた。

「俺のターン！ドロー！

魔法カード『苦渋の選択』を発動！俺が選択するのはこの5枚だ！」

- ・えーっと何々……
- ・サファイア・ドラゴン
- ・ヘルカイザー・ドラゴン
- ・輪廻独断
- ・処刑人マキュラ
- ・ラーの翼神竜

なあにこれえ。

「『サファイア・ドラゴン』を選択……。」

「残りは墓地へ送り、『ドリ・ラゴ』召喚！行け！『青眼の光竜』  
で攻撃！シャイニング・バースト！！」

『ドリ・ラゴ』で直接攻撃！『フォーカード ジョーカー』で攻撃  
！

城之内さん爆 殺！

勝つたのは顔芸チーム……もついやだこの大会。

「勝者！顔芸＆顔芸！素晴らしいデュエルを見せてくれた四人に大  
きな拍手を！！」

永理さんノリノリだあ・・・ある方の感想欄では残虐な性格なのに・・・

次は・・・僕と吹雪さんがチームなんだ・・・瑠璃さんと組みたかつたなあ・・・。

対戦相手は・・・遊戯さんと永理さん！？なんで永理さんまで！？盗られたくないなら賞品に出さないでよ！金か？金が目的なのか！？

一気にハードル上がったんですけど！？MJCは誰がやるんだろう・・・・アバターさんですか。

あつ、もう行かなきや。僕はこれで失礼するよディスプレイの前の諸君。

視点：君の瞳に何が見える？ん～～～ジョイン！！

僕はアニメよりハジけたりしないよ。

さて、デュエルの相手がまさかの無理ゲーと化すとは・・・誰が思つたでしょ。

でも負けられない！意地があんだよ、男の子にはね！

「心の準備はいいかい？レイちゃん。」

「はい、でもこれ・・・勝てないでしょ。チートドローとチートドロー＋ガチ構築寄りの人気がタッグ組むなんて・・・。」

うん。僕も信じられないんだよ。そもそも今回の賞品は三幻神の融合体らしいからね。たしか、ホルワクチンだったつけ？でも、三幻神が融合素材だから出しにくいんだよね・・・事故率高いし。

さて、無駄話が過ぎたかな？『デュエル』と逝こうか！負けるとわかつ

ついても、漢はやらなきやならない時が有るんだよ！！

こうなりやヤケだ！当たつて碎けろだ！粉碎とはいかないだらうけ  
ど、玉碎ならなんとか逝ける！

『デュエルファイト！レディーGO…！』

「…『デュエル…』」「…」

（永理家BGM 聖少女領域）

「僕のターン！ドロー！（なんでローゼン？）

モンスターをセット！ターンエンド！」

レイちゃんのパターんが僕と丸被りだあ・・・まあいいけどね！た  
ぶんデッキは違うだろうから。

次は・・・遊戯さんのターン・・・もつ勝つのは諦めてます（泣）

「俺のターン！ドロー！

『デーモン・ソルジャー』を攻撃表示で召喚！更に装備魔法『デー  
モンの斧』を『デーモン・ソルジャー』に装備！伏せカードをセッ  
トし、ターンエンド！』

アレ？意外と普通だつた・・・前での感覚が鈍つてるのかな？  
いや、でもそう簡単に鈍るわけ・・・あるなこれ。

「僕のターン！ドロー！

儀式魔法『黒竜降臨』を発動！手札の『真紅眼の飛龍』を生贊にし、

『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！

更に『真紅眼の黒竜』を生贊に『真紅眼の闇竜』を特殊召喚！モン  
スターを伏せ、カードをセットしターンエンド！

僕が伏せたカードは攻撃誘導アーマー···伏せたモンスターは魔導雑貨商人。このデュエル、僕たちの勝ちだ！

アレ？これって負けフラグ？

「くはははは！俺様のターン！ドロー！  
魔法カード『天使の施し』発動！デッキからカードを3枚ドロー！  
そして手札を2枚捨てる！更に魔法カード『愚かな埋葬』を発動！  
デッキから『首なし騎士』を墓地へ送る！

墓地の悪魔族モンスター···『首なし騎士』『絵画に潜む者』『  
夢魔の亡靈』を除外し、『ダーク・ネクロフィア』を特殊召喚！更  
に速攻魔法『異次元からの埋葬』！墓地の悪魔族モンスター3体を  
墓地へ戻す！カードを伏せ、モンスターをセット。ターンエンド！』

さすが永理くん···行動が速いな。  
確か効果は、コントロール略奪だつたっけ？···前のパワーゲー  
ムで感覚が鈍つてるとから大した脅威には感じないな···。  
どうでもいいけどこの曲、いい曲だね。

「僕のターン！ドロー！

リバースモンスターオープൺ！『魔導雑貨商人』！自分のデッキを  
上からめぐり、一番最初に出た魔法か罠カード1枚を自分の手札に  
加えよ！

それ以外のカードは墓地へ送るよ！

まず1枚目！『ライトロード・ビースト ウォルフ』！

2枚目！『時械神サンダイオン』！

3枚目！『時械神ラツイオン』！

4枚目！『時械神ザフィオン』！

5枚目！『魔導雑貨商人』！

6枚目！『カイザーシーホース』！

7枚目！『セカンド・エフェクト』！魔法カードだから手札に加えるよ！そして魔法発動『セカンド・エフェクト』！

このカードは墓地のリバースモンスターを除外して、その効果を得る！僕は墓地の『魔導雜貨商人』を除外！そして効果で以下略！

1枚目！『時械神ザフィオン』！

2枚目！『時械巫女』！（『時械巫女』が落ちた・・・『リミット・リバース』で蘇生できる…）

3枚目！『時械神力ミオン』

もう面倒だから5枚めくる！『時械神ミチオン』『時械神ハイロン』『ネクロ・ガードナー』『時械神ラフィオン』『天使の施し』…

レイちゃん・・・墓地肥やし過ぎだよ・・・。チートドローだね。

しかも、ウォルフが落ちたって事は特殊召喚されるって事だよね・・・。

この子、恐ろしい子！

・・・そりいえば、時械神つて全て天使族だったね。・・・まさか、これがレイちゃんの恋のキューピット…？

「ウォルフは『テッキから墓地へ送られた時、特殊召喚できる！』『ライトロード・ビースト ウォルフ』を特殊召喚！

更に魔法発動『死者蘇生』！墓地の『時械神サンダイオン』を特殊召喚！バトル！遊戯さんの『デーモン・ソルジャー』を攻撃！超魔導波ゴッド・サンダー！

「『時械神サンダイオン』の効果！相手モンスターを破壊した場合、スターを掛けた。つて駄目だろ！それキン肉バスターだよ！しつかりと神らしく、攻撃名道理に攻撃しなよ！」

「『時械神サンダイオン』の効果！相手モンスターを破壊した場合、相手ライフに4000ポイントのダメージ！まずは一匹目。きやはは・・・、ターンエンド！」

レイちゃん！？まさかのワンターンキル！？見せテュエルはどう行つたの！？

・・・永理くん！？何その顔！？もう諦めた感漂う顔は！？君あげたんでしょう！？

「レイ・・・変わっちまつたな・・・レイのヒンドフェイズに速攻魔法『終焉の炎』を発動！」

俺のターン！ドロー！

永続罠『サンダー・スパーク』！破壊するのは『ダーク・ネクロフィア』！」

ああ、彼女の体に稻妻が走り、身体を崩す。まるでマモーみたいに・・・

・・・久しぶりにルパン3世の映画が見たくなつてきたなあ。今度借りようつ！

「『ダーク・ネクロフィア』の効果発動！『時械神サンダイオン』のコントロールを得る！

魔法カード『愚かな埋葬』を発動！『ダーク・ネクロフィア』を墓地へ送る！

フィールド魔法『ダーク・サンクチュワリ』を発動！」

不気味なフィールド魔法だ・・・永理くんがいかにも好きそうなフィールドだね。

だつて永理くん。ホラー映画とかオカルトグッズとか集めてるし。前に千年リングを拾つたつて言つてたつけ？

「我が運命の光に潜みし亡者達の魂よ！この流転なる世界に暗黒の真実を導くため、我に力を与えよ！現れよ！『地縛神 ジーハ』！」

凄く・・・大きいです。

大きい・・・虫です。虫は嫌いだアー！永理くん狙つてやつてるの！？お兄ちゃん泣いちゃうよ！

なに？お兄ちゃんって誰が言つた気持ち悪い・・・？・・・。酷い！  
お兄ちゃん泣いちゃう！

「『地縛神』で吹雪に攻撃！ヘル・スレッド！」

呼び捨て？酷いや酷いや・・・どうせサンダイオンで僕の闇竜を破壊 バーンダメージで止めなんだろう？あつ、この伏せ力一ド使えるか？

「リバース罠オーブン！『攻撃誘導アーマー』！対象にするのは『時械神サンダライオン』！！」

ふう、なんとか凌いだぜ  
……ごめん、気持ち悪かつたね。反省  
してるよ。

でもまさか、勝てるとは思わなかつたね本当に。あのダブルチートに勝てるとは……。

『勝者ー・むといゆつ・・・吹雪&レイチームー・・』

あ、あはは・・・「れ夢じやないよね?僕達、  
あの入達に勝つたん  
だよね。

あはは、信じられないよ本当に！

「レイちゃんー! やつたねー!」

「はい！ですが、明田様わんがなんか〇ーにになつてゐるのですが・。・。なんですか？」

「たぶん出番が無いからだと思うよ。明日香、次回は出れると思うから・・・三沢くん？居たつてそんな人。」

「吹雪さん、それは酷いんじゃ・・・。」

いやだつて、最近見てないしさ。そういうえば三沢くんはもう、出番はないのかな？

ちょっと疑問だね。

『えへ、では第3回戦に入る前に少し、休憩に入りたいと思います。では皆様、次のデュエルも期待して。シーコーアゲイン』

英語で書こうよそんぐらい。

参加者が凄すぎる大会では、大体自信満々な奴は噛ませ犬だけの話ではそく

ああ、こんな世界へ行きたい。

永理「駄目だこいつ。」

煩い。・・・さて、次回は永理の姉さんと投票されたあの人を出す。  
・・予定。

永理「明日香は？」

分からぬ。

永理「お前なあ・・・。」

まあそれは置いといて、オリカ紹介！

『酢酸の悪魔』

レベル4

闇属性

攻撃力：1300

守備力：2100

悪魔族：効果

このカードは直接攻撃できる。

このカードが戦闘を行つた場合、このカードをエンドフェイズに破壊する。

『手札同調』

通常魔法

このカードの発動後、エンドフェイズまで手札でシンクロできる。

『フォーカード ジョーカー』

レベル10

光属性

攻撃力：3100

守備力：1200

天使族・シンクロ

チューナー+アルカナと名のつくモンスター1体以上  
このカードは手札同調の効果でのみ、特殊召喚できる。

このカードのシンクロ召喚時、デッキまたは、エクストラデッキからアルカナと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。

このカードが表側表示で存在する場合、アルカナと名のつくモンスターの効果は、このカードのプレイヤーが決める。  
1ターンに一度、相手モンスターのコントロールを得る事ができる。

『セカンド・エフェクト』

通常魔法

自分の墓地のリバース効果モンスター1体を除外する。このカードの効果は、この効果で除外したリバースモンスターの効果になる。

イレイザー『俺の出番が無い！ナム！…どういう事だ！』

こういう事だ。

イレイザー『闇電動波ダーク・サンダー！』

罠発動『ディメンション・ウォール』

イレーナー『あやゆみのあや...』

召喚条件が難しいカードは大体チート。幻魔?ゲート・ガーディアン?聞こえた

視点：カミューラ

「お姉さん、みぞれーつ。」

「ちょっと待ってね はいよ少年、一気に食つたら頭痛くなるから  
ゆっくり食べるんだよ」

はいどいつも。永理亭・・・じゃなくて永理家のヒロイン（自称）力  
ミコーラお姉さんだよ

ああ、そろそろ大会の時間だね。私も行かなきや。

「万丈目くん 店番ようだよ」  
「イー！」

ショックカー戦闘員ですか？さあ、行くぞ我らが戦場へ・・・あつ、  
たこ焼き買おう。大好きだし・・・。

おおー！フライドポテトが200円だー。これは買いだね

うう・・・服が汚れたよ・・・。たこ焼き持ちながらフライドポテ  
トなんか食べるんじやなかつたにやー。

服？永理くん家からコスプレの衣装を借りてきたから。・・・でも、  
何故にナージヤ？可愛いからいいけど・・・。  
てかこの服、完成度高いなおいー売れるぞ普通に！

『では、第3回戦 同じ中の人がS旧サイバーチーム デュエル場  
へ!』

アバター・・・その服なに？なんでカオス・ソルジャー？いや似合つてるんだけどさあ。ほら、普段とのギャップの差が激しいとか。永理は永理で死靈伯爵だしさ・・・。

はつきり言おう！もつとマシなコスプレは無かつたのか！！まあ、そんなんはどうでもいいんだけどね。さて、いつちょ頑張りますか私！

「頑張ろうぞよ少年。」

「へ、あ、ああ！優勝目指すか！」

うんうん。こういう純粋な心を持つた少年はいいね。青春だね。相手は・・・カイザー？とルドガーツぽい人が相手か・・・どうかで見たんだよねルドガーツぽい人。

「相手はカミューラか・・・くくく・・・旧サイバー・デッキの底力をとくと味わうがいい。」

「なんで俺を示す文字が一文も無いんだ！」

「黙れ！そもそも俺は瑠璃さんとペアを組み、裏サイバー・デッキで思う存分戦りたかったのに・・・。」

喧嘩・・・か・・・。これを腐女子がみたら『ヒビ×亮キター！』とか言うんだろうな・・・。

え？私？私は・・・普通が好みだよ！ヲタクではないよ！

「「ああ、貴様の罪を教える！」」

おお、ノリがいいねこの人！ヨハソツて言つたつけ？氣が合ひそうだ！

「え？ へ？ えつ？」

「それ何の台詞だっけ？」

さて、戦ひうか。

「 「 「 「 テュエル！」 「 「 「

『テュエルファイト・レディー G O -』

それって、Gガンダムでしょ？ ネタ多いなおい！

(永理家内BGM DIRT Y)

この曲！ ネウロだ！ 激エ！ 激い曲の数だ！

・・・永理の部屋にCDなんて置いてあつたつけ？ たしかDVDテッキは無いけどビデオデッキはあつたけど・・・。

そういえば最近、ラジカセ買つたらしいけど・・・iPhone買えよ！ って言いたくなつた私は悪くない。

「私のターン！ ドロー！

進化したドラグニティデッキの恐ろしさ、とくと味わうがいい！ 『ドラグニティダーク・トブリル』を攻撃表示で召喚！ 効果発動！ このカードの召喚に成功した時、手札のドラグニティと名のつくモンスターを特殊召喚できる！

『ドラグニティダーク・プラス』を特殊召喚！ 『ドラグニティダーク・プラス』の効果発動！ このカードがドラグニティダークと名のつくモンスター効果によつて特殊召喚された時、デッキからドラグニティダークと名のつくモンスターを特殊召喚できる！

『ドラグニティダーク・カタストロフ』を特殊召喚！ 『ドラグニティダーク・カタストロフ』の効果により、デッキからDTと名のつくモンスターを特殊召喚できる！ 『DT ダークネス・ドラゴン』を特殊召喚！

レベル2『ドラグニティダーク・フラス』にレベル8『DT ダークネス・ドラゴン』をダークチューニング！

破壊の風よ！我が龍に闇の力を！ダークシンクロ！飛翔せよ！『ドラグニティダーク・ブルラスト』！カードを伏せ、ターンエンダー！

ヘル・ドラゴンにD-Eのパーティクル付けたみたいな？はつきり言つとあんまり強そくには見えない。

一気に飛ばすねえ。まあ、私はその上を行くけど・・・永理？無理です勝てません。

レイちゃん？無理ですなにこれチート？

「私のターン！ドロー！

魔法発動！『苦渋の選択』！

さて、墓地に落とすカードはゾンビ・マスター×2に馬頭鬼×1闇竜の黒騎士×2

外道とか言つたな！これも立派な戦術なんだよ！

「私は『ゾンビ・マスター』を選択！」

あ～あ、どれ選んでも同じだつたんだけどね。

さあ、召喚条件はすべて整つた。ゲームスタートだ。

「墓地の光属性と闇属性を除外！『カオス・ソーサラー』を特殊召喚！皿の効果によりブルラストを除外！」

カオスがあのカードに描かれている光と闇を相手にぶつけ・・・ると見せかけて上で両方をぶつけて次元を空を作つたと思つたら落とし穴に相手が落ちた。

長いわ！行が長いわ！てかなんで得意げ？ドヤ顔やめい！

「納得いかねー！」

「カードを2枚伏せ、ターンエンドー。」

そういうえばあのカードの効果つてなんだらアヘンでもいいか！

ああ、攻撃してえ・・・。

これがタッグデュアルじゃなかつたらワンターンキルできたのになあ・・・。

「ふははははは！俺のターン！ドロー！

フィールド魔法『戦場の跡地』発動！』

煙を上げる戦車・・・地面に突き刺さってる剣・・・これ、少年向けじゃないね。今ならPTAに訴えられるなこりや。

永理はなんか心地いい感じがしてたけど・・・あいつってあんな性格だつたんだ。

『『戦場の跡地』の効果発動！1ターンに一度、『デッキからレベル4以下の旧と名のつく機械族を特殊召喚できる！

デッキから『旧サイバー・ドラゴン』を特殊召喚！』

なんか現在よりシンプルなデザインのサイバー・ドラゴンが戦車から出てきた。

でも攻撃力がたつたの1499・・・しかも通常モンスターと、何故このモンスターを選択したのかが気になる。

・・・まさか融合モンスター！？

「カミコーラ、貴様の推理は良い所まで行つてゐる。だがこいつの力は融合では無い！『旧サイバー・ドラゴン』を生贊に・・・

『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を生贊召喚！』

見た目は『デビルガンダム』と神龍を足して2で割った感じ……。  
攻撃力がたつたの2000? いつたいどんな効果が……。

『『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』の効果発動! 相手モンスターを装備魔法として装備!

そして『デッキから旧と名のつくサイバーモンスターをこのカードに装備させ、そのモンスターの攻撃力分アップする!

『カオス・ソーサラー』を装備! そして『デッキから『旧サイバー・オーガ』を装備!』

ヤバいやばいやばい! 攻撃力が6200だよ!

これ本当にヤバい! そもそも何のカード軍!? 効果鬼畜すぎだろ!  
しかもヨハンくんの『デッキ』はまだ分からぬし、でもこの攻撃力を超えるのは無理でしょ!

『永続魔法』機甲部隊の最前線』を発動! カードを伏せ、ターンエンド!』

うわあ……超ガチコンボだあ……。ヨハンくん頑張りうね! てか倒してくださいお願いします。

てかこの小説でのルールで毎ターン手札補充だからこの『デッキ』の生還の宝札いらなくなつた!

「俺のターン! ドロ! - !

『ボマー・ビー』召喚! 効果発動! 『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を破壊!』

虫が兵器を破壊する。シユールだわ……。

だつてそうでしょう? 警えるならビグ・ザムがボールに負けるような

もんだよ！

なに？ ガンダム∨SΖガンダムとか連邦∨Sジオンではできるだあ  
？ 知るかんなもん！

「甘い！ 永続罠発動！ 『不良品シールド』を発動！

このカードが場に存在する場合、効果破壊を戦闘破壊として処理す  
る…よつて『機甲部隊の最前線』の効果により、デッキから『旧サ  
イバー・ドラゴン』を特殊召喚！」

うわあ、しぶとい。またかよおい！

いちいち出てくる時の演出が凝ってるな！ 羨ましくなんか…な  
いんだからね！

「俺はカードを3枚セット！ ターンエンド！」

次のターンに、またあんなのが出てくるのか…。もう嫌だ！ すん  
ごいやる気削がれる！

まあ、あのカードのおかげで私のデッキは結構有利に進めれるけど  
ね！

「私のターン！ ドロー！

魔法カード『愚かな埋葬』を発動！ デッキから『DT ドラグニテ  
イダーク・スプロトル』を墓地へ送る！

墓地の『DT ドラグニティダーク・スプロトル』の効果発動！ 墓  
地のこのカードを除外し、デッキから同名モンスターを特殊召喚で  
きる！

『DT ドラグニティダーク・スプロトル』を特殊召喚！ 『ドラグ  
ニティダーク・ハルプトル』を召喚！

レベル3の『ドラグニティダーク・ハルプトル』にレベル7の『D  
T ドラグニティダーク・スプロトル』をダークチューニング！

集いし闇が、新たな進化の糧となる！ダークシンクロ！『ドラグ一  
ティダーク・ススパルト』をダークシンクロ召喚！

うん、もうね・・・普通の槍じゃん！黒い槍じゃん！  
ただ単にドラグニティアームズ レヴァテインの目が虚ろなだけじ  
やん！でも効果は強かつたり・・・。

「『ドラグニティダーク・ススパルト』の効果発動！デッキから装  
備魔法を3枚墓地へ送り、デッキから装備魔法を手札に加える事が  
できる！

私は『ビックバン・シユート』と『ドラゴンの秘宝』最後に『テー  
モンの斧』を墓地へ送り、デッキから『純悪な闇』を手札に加える！  
『ドラグニティダーク・ススパルト』に『純悪な闇』を装備！

攻撃力がたつたの3000・・・低いな。  
しかも装備してやつと4000つて・・・。

「『ドラグニティダーク・ススパルト』でカミコーラに直接攻撃！  
ダークスピア！」

「永続罠発動！『メタル・リフレクト・スライム』！」

みんな大好きマリクさん。変異でエンド出せるのがいいよね！  
おジャマ・カントリーを使えば攻撃力が3000→ロマンだね！

「スライムは×『罠発動！『ディフェンドアップ』！』なん・・・  
だと・・・？」

ちなみに効果は守備力を2000上げるだけなんだよね。  
アンデット族に相性がいいから入れてるんだけど・・・まさかこん  
な所で使うとは・・・。

「くつ、カードを伏せ、ターンエンド！」

ふふふふふ・・・折角出したのにすぐに退場する事になるとはね・  
・・。

「私のターン！ドロー！」

魔法カード『突然変異』を発動！『メタル・リフレクト・スライム』  
を生贊にし、『地天の騎士ガイアドレイク』を特殊召喚！  
装備魔法『復讐の剣』をガイアドレイクに装備！行け！ススハルト  
に攻撃！」

ある者はバウンズの力により戻されて、ある者は権力の力に屈し、  
ある者は最終兵器の龍に除外された・・・。  
今こそその恨みを糧として、その力を發揮せよ！

「ガイアアアアアア！！ストラッショウウウウウウ！！」

これが・・・復讐の力！恨み妬みの力だ！  
ふははははは！

「ぐ・・・チツ・・・。」

「まだまだア！速攻魔法『アンデットスラッシュ』－墓地のアンデ  
ット族を除外し、追加攻撃できる！  
行け！ガイアアアアアアアアア！ストラッショウウウウ！」  
「甘い！罠発動『レインボー・ライフ』！」

不味い、ライフが6000を超えた・・・だと・・・?  
ヨハンくんごめん！

「カードを3枚セット、ターン終了！」

カイザー・・・自重してね本当に・・・。

粉碎玉碎大喝采とかやめてね。

「俺のターンードロー！

魔法カード『プロトフュージョン』を発動！手札の『旧サイバー・ドラゴン』と場の『旧サイバー・ドラゴン』を融合！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』を融合召喚！

なんか黒いサイバー・ツイン・ドラゴンが出てきたんだけど！？すんごいやバ そ う な ん だ け デ！？ 勝てるのこ わ！？

私・・・やれるだけやったよね・・・。だから負けてもいいよね。でか、ビートデッキじゃなくてデッキ破壊作ればよかつた。・・・このデッキアンデシンクロだけど・・・。

アレ？攻撃力がたつたの2000？どういう事？

「装備魔法『プロトサイバー・キヤノン2001』を『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』に装備！」

バトル！『地天の騎士ガイアドレイク』に攻撃！旧レボリューション・ツイン・バースト！

こ、攻撃力が4500・・・？勝てない・・・。  
だが、私には罠がある！んだけど・・・どうせ妨害されるんでしょ  
！分かつてますよ！

「無駄だと思うけど・・・罠発動・・・できない・・・だと・・・？」

「無駄だ！このカードが攻撃する場合、魔法、罠は発動できない！」

なにそのインチキ効果！？DT・デスサブマリンよりチート効果じゃん！？

つて怖い！トゲが怖い！

「うう・・・面白くない・・・。」

「更に直接攻撃！」

やばこよやばこよやばこよ！

これぞうし・・・クリボーあつた。なんで？まあいいや。

「手札のクリボーを墓地に捨て、ダメージをゼロにするわー。」「カードを伏せ、ターンエンドー！」

さあハシくん！なんとかアレを倒してくれよー！

「俺のターン！ドロー！」

魔法カード『生贊人形』を発動！『ボマー・ビー』を生贊にして、『ブレイン・クラッシュヤー』を特殊召喚！  
魔法カード『フォース』を発動！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』を選択！バトル！『ブレイン・クラッシュヤー』で『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』を攻撃！  
行け！『ブレイン・ジャッカー』！『ブレイン・ショット』！

口から粘液を吐き出し、プロトサイバー・ドラゴンの体を溶かす。

気持ち悪いわ・・・。

つてか昆虫族でどうなの？HA GAさんぐらいでしょ使つの・・・。

へ？アンデット族も気持ち悪い？・・・表示りー

「くくくくくく・・・『機甲部隊の最前線』の効果により、デッキから『旧サイバー・オーガ』を特殊召喚！」

「カードを伏せ、エンドフェイズに『ブレイン・ジャッカー』の効果発動！ 来い！ 『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』！ ターンエンド！」

おお！凄いわヨハンくん！

…でも、カイザーしつこい。またモンスター出したし…。

「私のターン！ドロー！」

魔法カード『愚かな埋葬』発動！デッキから『青眼の白龍』を墓地へ送る！

更に魔法カード『希望の光と絶望の闇』を発動！墓地の『ドラグニティダーグ・ススパルト』と『青眼の白竜』を除外！除外したモンスターの攻撃力の半分、フィールドの表側表示のモンスターの攻撃力をアップさせる！

つまり、攻撃力が3000アップね。・・・てヤバいんじゃない!? ハルプルトの攻撃力は1600・・・3000アップで4600・・・

しかも私の手札には切り札の次元融合・・・異次元からの埋葬はまだ手札には来ていない。

・・・ネケロフエイスを使うしかないかな?いや、それでは折角除外したモンスターがデッキに戻ってしまう。

相手のテッキにまたあのカーデが戻るのは阻止しなければ……。それでは次元融合が腐ってしまうし、

「ふはは！ カミューラに直接攻撃！」

「つ、手札から『クリボー』を捨て、ダメージをゼロにするわ！」

なんとか凌いだわね。・・・次のターンで一気に決める！

「ふふん、ターンエンド！」

「私のターン！ドロー！」

罷発動！『異次元からの帰還』！

ライフコスト？踏み倒しです。  
なのは？はいそのとうりです。

『『闇竜の黒騎士』の効果発動！『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を蘇生！

そして場のモンスターを全て破壊し、『霸幻王』を特殊召喚！

これで私の勝ちだ！・・・たぶん。

攻撃力がたつたの2000のがたまに傷なんだけどね。

『『霸幻王』の効果発動！特殊召喚成功時、相手モンスターの攻撃力をこのカードに与える！』『ドラグニティダーカ・ハルプルト』の力を吸収！

行け！『ドラグニティダーカ・ハルプルト』に攻撃！霸王斬！

ハルプルトに剣を投げただけ。それで破壊されるってどうよ？  
・・・まだ私のバトルフェイズは終了してないわ！

『『霸幻王』の効果！相手モンスターを戦闘によって破壊した場合、攻撃力を元に戻す事で追加攻撃できる！直接攻撃！』  
「う、くくく・・・その程度か？まだまだだな。」

後は、このカードね！私の希望！

・・・吸血鬼が希望とか言つてたの？

「速攻魔法『幻の追撃』を発動！ライフを2000ポイント払い、追加攻撃！」

でもライフがまだ残っちゃうんだよね。はあ・・・罠とか発動されなければいいけど。

ライフコスト？踏み倒しだすがなにか？

「罠発動！『闇からの援軍』…『ドラグニティダーク・プライスト』を特殊召喚！」

攻撃力1400…守備表示で特殊召喚できない方の効果のようね。

私みたいにメタル・リフレクト・スライム入れればいいのに。

「構わないわ！攻撃！」

後はヨハンくん！頑張ってね！私、たぶん亮にやられると思うから…。だって亮のデッキヤバいんだもん！旧サイバー・デッキなんてほぼ歴史のデッキじゃん！

「カードを伏せ、ターンエンドよ！」「

「俺のターン！ドロー！」「

魔法カード『闇の量産工場』を発動！墓地の『旧サイバー・ドラゴン』を2枚、手札に加える！

『融合』発動！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』…

また出たよ！何こいつうざいわ！

まあ、このカード使うからそれも無駄になるんだけどね。

「罠発動！『奈落の落とし穴』！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』を除外！」

「で？魔法カード『魂の解放』を発動！墓地の『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』に『旧サイバー・ドラゴン』3体を除外！魔法カード『次元融合』を発動！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』に『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』『旧サイバー・ドラゴン』を特殊召喚！」

あれ？まさか青眼も出でくるんじゃ……。  
やつぱ出でぐるのね……あいつ……。

「『霸幻王』を『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』に装備！更に『デッキから『旧サイバー・エルタニア』を装備！『融合』発動！来い！『サイバー・ツイン・ドラゴン』！カミューラに直接攻撃！半エターナル・レボリューション・バースト！」

うふふふふふ……コレもう無理。伏せたカードは砂塵……ムリダナ。

手札にはクリボーはもう無いし……。速攻のカカシもないし……。勝てない。

「次！『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』に『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』で攻撃！

続いて『ブレイン・ジャッカー』に攻撃！ダメージ計算時に『オネスト』を捨て、攻撃力を『ブレイン・ジャッカー』の攻撃力分アップさせる！

そして『旧サイバー・ドラゴン』で直接攻撃！  
二体目の『旧サイバー・ドラゴン』で止めだ！」

私、オワタ！優勝オワタ！あははははははははーー！

「・・・俺、あんま出番無かつた・・・ゲストなのに・・・。」

ゴメン、私の実力不足だつたね・・・。

『勝者！旧サイバー流！素敵なデュエルをありがとう！』

嘘つくな！モンハンやつてたの見え見えだつたんだからね！  
アバター！あんた人間じやねえ！・・・精靈だつた・・・。

視点・異世界編では空氣だつた明日香

空氣じやなくてよ！

・・・コホン！さて、カミユーラ達が終わつた事だし、そろそろデュエルの準備でも・・・。  
・・・瑠璃さんとかよおおおお・・・！よりによつて一番田立つ人と組むとは、藍ちゃんと組みたかつたわ・・・。  
対戦相手は・・・誰？・・・うん、あんまり齋威には見えないわ私。  
なんでだらう・・・。

「若人よ、頑張ろうぞよ。」

「へつ？は、はい・・・。」

うわああああ、緊張するわー、プロと話すの。  
チキンですよ！私はチキンですがなにか！？

『では始めます。第4回戦！アイドル＆アイドル？VS出番の少ない精靈達 テュエル場へ！』

おい！？の方は私がおい！

やつてやんよーぎつたぎたのぼつじほのみつくみくにしてやんよー。

ふうん。すぐに決めるぞ小娘。』

『その仮面ダサいから取った方がいいですよ。』

『えつー・マジで！？』

あの～、そろそろ始めたいんだけど・・・。  
でも、さわらぬ神にたたりなしつて言つしね。  
てかみんな、なんか興奮してんだけど？なんで？

「では、行きますよ！」

「にやはは！」

『高ぶる、高ぶるぞ！』

『今日の晩飯、豚キムチにしよう！』

「『『『テュエル！』』』

精靈も『はん食べるんだ。知らなかつた。  
さあ飛ばすわよ私！久々の出番だから！  
先行は貰つた！

「私のターン！ドロー！

『極星天ヴァナディース』を攻撃表示で召喚！

『極星天ヴァナディース』の効果により『極星天ヴァルキュリア』  
を墓地へ送り、このカードのレベルを2にする！  
カードを3枚セット、ターンエンド！

あはは、この『テッキ後攻』の方が有利になるんだつた。忘れてたわ。  
いやだつてさ、久しぶりの出番だよ。普通浮かれるでしょ？

『私のターン！ドロー！

魔法カード『手札抹殺』を発動です！手札を全て捨て、捨てた枚数分ドローです！

『ワタポン』は通常ドロー以外でドローした場合、特殊召喚が可能です！『ワタポン』を特殊召喚！

魔法カード『コストダウン』を発動です！『ワタポン』を生贊に『青眼の白龍』を召喚です！

カードを伏せ、ターンエンドです！

相方すんごい怒ってるけどいいの？どうでもいいけど・・・。

「私のターン！ドロー！

『RF 桜桔を狩りし者』を攻撃表示で召喚つさ！

『RF 閻の狩人』の効果により手札から『RF 閻の狩人』を特殊召喚つさ！

『DT 閻からの使者』を特殊召喚つさ！

レベル4『漆黒を狩りし者』にレベル1-2の『DT 閻からの使者』をダークチューニング！

漆黒の帳下りし時冥府の瞳は開かれる。

舞い降りる闇よ！ダークシンクロ！

出でよ、『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』！カードを3枚セツトしてターンエンド！

瑠璃さん！？いきなりそれは無いんじゃないですか！？

そもそもダークシンクロで、永理ぐらいですよ使つてるの！

『俺のターン！ドロー！

儀式魔法『白龍降臨！手札の『サファイア・ドラゴン』を生贊に

『白龍の聖騎士』を儀式召喚！

永続魔法『未来融合 フューチャーフュージョン』を発動！『F・G・D』を選択！

デッキから『伝説の白石』3枚と『スピア・ドラゴン』『Hメラルド・ドラゴン』を墓地へ送る！

墓地の『伝説の白石』の効果発動！デッキから『青眼の白龍』を3枚手札に加える！

『白龍の聖騎士』を生贊に『青眼の白龍』を特殊召喚！更に魔法力ード』『増援』を発動！デッキから『正義の味方カイバーマン』を手札に加える！

おいおいおい、これヤバいんじゃない？

やばいよ瑠璃さん！助けて！

つて、何その余裕顔は…！つちは寿命が縮みそうなのに！

『『白龍の聖騎士』を生贊に手札から『青眼の白龍』を特殊召喚！『正義の味方カイバーマン』を召喚！『正義の味方カイバーマン』を生贊に『青眼の白龍』を特殊召喚！

カードをセットし、ターンエンド！

あ、あはは・・・！れ・・・もつ出番終わり？そんなのは嫌だ！私はもつと出たい！

他の小説ではメインキャラなのにこいつの私は出番が無いよ！なんで！？どうして！？

「私のターン！ドロー！

ヴァナディースを守備表示に変更！『極星獣タングリスニ』を守備表示で召喚！ターンエンド！

今は護りに徹しなきや！  
でも、無理そうです。

『私のターン！ドロー！

魔法カード『フォース』を発動！カイバーマンさんの青眼の攻撃力の半分を私の青眼に加える！

バトル！『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』に攻撃！滅びの爆裂疾風弾！』

うわあ・・・1ターンで瑠璃さんのワンハンドレッドを破壊するつて・・・。

信じられるか？これ、プロ同士のデュエルじゃ無いんだぜ・・・。

「『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！『ツキから好きなカードを手札に加える事ができる！

私は『ダークシンクロ・サポートー』を手札に加える！

『ふふふ、カードを伏せ、ターン終了です！』

またダークシンクロのサポートカード・・・なにこれ？こんなのが通じやないよ！

50円で売られているダークシンクロって、こんなにも強かつたの？永理ん家では結構な値段するけど・・・。

「私のターン！ドロー！

リバース罠発動！『呪縛牢』！エクストラテックから『DST死龍』2体と『黒眼の紫龍』を特殊召喚！

『DST死龍』に『黒眼の紫龍』をダブルダークチューニング！絶対王者と絶望が共鳴せし時、無限の苦しみより死の王は甦る！闇で蔽え！心も体も、世界も！ダークシンクロ！

これが絶対なる闇、『デスナイト・オブ・ダークネスドラゴン』…

こ、攻撃力5500つて、勝てないよ絶対！

なにこのチートカード！？どうせ効果もチートなんだろ！

「『デスナイト・オブ・ダークドラゴン』の攻撃力は、場のカードの数×1000ポイントアップする…」

予想の斜め上のチート効果だつた！

しかもまだ効果あるっぽいし！

アレ？相手の場に存在するカードは・・・私も入れて9！？つまり攻撃力18500！？絶対勝てないよーアバターでもない限り！

「行け！『デスナイト・オブ・ダークドラゴン』！青眼1に攻撃！デスナイト・オブ・ストリーム！」

そして『デスナイト・オブ・ダークドラゴン』の効果発動！相手モンスターを戦闘で破壊した場合、デッキを3枚めくり、闇属性モンスターの数分だけ攻撃が可能となる！

青眼2に攻撃！デスナイト・オブ・ストリーム！青眼3に攻撃！デスナイト・オブ・ストリーム！」

あ、あはは・・・私の出番・・・全く無かつた。

『勝者！アイドル＆アイドル？！瑠璃さん自重しろ！』  
「にやはは・・・アバター、それは無理な話っさ」

カムバーック！私の出番！

召喚条件が難しいカードは大体チート。幻魔?ゲート・ガーディアン?聞こえく

永理「なんというチート・・・。」

ふつふつふ、これこそがオリカの力よ！

アバター『そういうば、だいぶと更新してなかつたけどなにがあつたの？』

いやね、遊戯王MADにハマつたりネタが思いつかなかつたりTF6とかやつてたりで・・・ね？

永理「お前たぶん小説の作者の中で一番最悪なパターンだぞそれ。」

小さいことは気にすんな。それワカチコワカチコ。さて、オリカ紹介、入つてみよう！

『ドラグニティダーカ・トブリル』

レベル4

闇属性

攻撃力：1300

守備力：1200

鳥獣族：効果

このカードの召喚に成功した時、手札のドラグニティと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。この効果を発動するターン、自分はバトルフェイズを行う事ができない。

『ドラグニティダーカ・フラス』

レベル2

**闇属性**

攻撃力：250

守備力：120

**ドラゴン族：効果**

このカードがドラグニティダークと名のつくモンスターの効果で特殊召喚された時、デッキからドラグニティダークと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。

『ドラグニティダーク・カタストロフ』

レベル3

**闇属性**

攻撃力：1300

守備力：1200

**鳥獣族：効果**

このカードが召喚、特殊召喚された時、デッキから1枚と名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。

『DT ダークネス・ドラゴン』

レベル8

**闇属性**

攻撃力：0

守備力：0

**ドラゴン族**

地縛神に仕える龍、最近給料が減つてきたのでブックオフで働いてるとかなんとか。

『ドラグニティダーク・ブルラスト』

レベル6

**闇属性**

攻撃力：3100

守備力：1200

ドラゴン族：ダークシンクロ

チューナー以外のドラグニティダークと名のつくモンスター1体 -

ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「ダークチューナーDT」と名のついたチューナーのレベルをそれ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。このカードは戦闘では破壊されない。

『戦場の跡地』

フィールド魔法

1ターンに一度、デッキからレベル4以下の旧と名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。

『旧サイバー・ドラゴン』

レベル3

地属性

攻撃力：1499

守備力：1456

機械族

プロトサイバーより昔に作られた兵器

仲間との合体により、真の力を發揮する・・・かも？

『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』

レベル12

地属性

攻撃力：2000

守備力：3100

機械族：効果

このカードは旧サイバー・ドラゴンを生贊にする事で、生贊1体で召喚できる。

このカードの召喚、特殊召喚時、相手モンスターを1体、このカードに装備させ、デッキから旧と名のつくモンスターを1体、このカードに装備させる。

このカードの攻撃力は装備されているモンスターの攻撃力分アップする。

『旧サイバー・オーガ』

レベル5

地属性

攻撃力：1900

守備力：1200

機械族：効果

このカードを手札から捨てる事で、デッキから旧サイバー・オーガを手札に加える。

『ボマー・ビー』

レベル3

風属性

攻撃力：1300

守備力：1200

昆虫族：効果

1ターンに一度、相手モンスターを破壊できる。この効果を発動するターン、自分はバトルフェイズを行う事はできない。

『不良品シールド』

永続罠

モンスターがカードの効果によって破壊される時に発動できる。  
効果破壊を戦闘破壊として処理する。

『DT ドラグニティダーケ・スプロトル』

レベル7

闇属性

攻撃力：1200

守備力：1300

鳥獣族：効果

墓地に存在するこのカードを除外する事で、DT ドラグニティダーケ・スプロトルを1体、特殊召喚できる。

『ドラグニティダーケ・ハルプルト』

レベル3

闇属性

攻撃力：1500

守備力：1300

ドラゴン族：効果

このカードが墓地から特殊召喚された場合、デッキからカードを1枚ドローできる。この効果を発動した場合、このカードを除外する。

『ドラグニティダーケ・ススバルト』

レベル4

闇属性

攻撃力：3000

守備力：3000

ドラゴン族：ダークシンクロ

1ターンに一度、デッキから装備魔法を3枚墓地へ送る事で、デッキから装備魔法を1枚、手札に加える。

『純悪な闇』

装備魔法

闇属性モンスターにのみ装備可能。

装備モンスターの攻撃力を1000ポイントアップさせる。

『ディフェンドアップ』

通常罠

自分フィールドに表側守備表示で存在するモンスターを1体選択して発動する。  
そのモンスターの守備力をエンドフェイズまで2000ポイントアップさせる。

『復讐の剣』

装備魔法

ガイアと名のつくモンスターにのみ装備可能。

攻撃力を500ポイントアップさせる。

このカードが破壊された時、墓地のカードを1枚、デッキに戻す事ができる。

『アンデットスラッシュ』

速攻魔法

墓地のアンデット族を除外し、効果を発動する。自分フィールド場に存在するモンスターを1体選択する。そのモンスターは通常の攻撃に加え、もう一度だけ攻撃ができる。

## 『プロトファージョン』

### 通常魔法

手札またはフィールド上から、融合モンスターカードによって決められた

モンスターを墓地へ送り、機械族の旧と名のつくモンスターの融合モンスター1体を融合『テック』から特殊召喚する。

『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』

レベル8

地属性

攻撃力：2000

守備力：2000

機械族：融合

旧サイバー・ドラゴン+旧サイバー・ドラゴン

このカードの融合召喚は、上記のカードでしか行えない。

このカードが攻撃する場合、相手は魔法、罠を発動できない。

『プロトサイバー・キヤノン2001』

### 装備魔法

プロトサイバー・ツイン・ドラゴンにのみ装備可能。

攻撃力を2500ポイントアップさせる。

『希望の光と絶望の闇』

### 通常魔法

墓地の光属性モンスター1体と闇属性モンスター1体を除外して発動する。

除外したモンスターの攻撃力の半分を、自分フィールドのモンスター

ーの攻撃力をアップさせる。

『霸幻王』

レベル10

闇属性

攻撃力：2000

守備力：2000

悪魔族：効果

このカードは自分フィールドのモンスターを全て破壊する事でのみ、特殊召喚できる。このカードの特殊召喚成功時、相手モンスターを1体選択して発動する。

そのモンスターの攻撃力を半分にし、このカードの攻撃力を半分にした数値分、アップさせる。相手モンスターを戦闘によって破壊した場合、このカードの攻撃力を元に戻す事で、続けて攻撃する事ができる。

『幻の追撃』

速攻魔法

ライフを2000ポイント払う事で発動する。  
自分フィールド場のモンスターを1体選択する。  
選択したモンスターは、続けて攻撃ができる。

『闇からの援軍』

通常罷

デッキからドラグニティダークと名のつくモンスターを1体、攻撃表示で特殊召喚できる。

『ドラグニティダーク・プライスト』

レベル4

闇属性

攻撃力：1400

守備力：1900

鳥獣族：効果

このカードの召喚成功時、デッキからドラゴン族モンスターを1体、手札に加える。

『ダークシンクロ・サポーター』

レベル1

闇属性

攻撃力：100

守備力：0

機械族：効果

このカードの召喚時、手札からレベル8以下のTTOと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。この効果で特殊召喚したモンスターはエンドフェイズに破壊される。

『デスナイト・オブ・ダークドラゴン』

レベル1

闇属性

攻撃力：5500

守備力：2100

ドラゴン族：ダークシンクロ

黒眼の紫龍 - ダークチューナ2体 -

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「ダークシンクロチューナー」と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在する黒眼の紫龍のレベルから引き

このカードの攻撃力・守備力は、相手フィールド上に存在する

カードの枚数×1000ポイントの数値分アップする。

このカードが相手モンスターを戦闘によって破壊した場合、自分のデッキの上からカードを3枚めくる。

このターンこのカードはその中の闇属性モンスターの数まで攻撃する事ができる。

その後めくったカードをデッキに戻してシャッフルする。

永理「予想の斜め上を行くチートカード軍団だつた・・・。」

この俺が自重するとでも？

アバター『明日香の出番、もっと増やしてやれよ。』

大丈夫！次回の次回の次回で出てくるか。

ちなみに、それまで永理の出番はほとんど無いよ。

永理「行け！ラーよー！ゴッド・ブレイズ・キャノン！」

甘いー・マジック・シリンドラー！

永理「うわあああああー！」

英語版のバスター・モードの名前はカッコいい。だが、俺には読めないぜ！あー

視点：十代

さて、やっと俺の出番か。・・・しかし、まさかタッグパートナーがこいつとはな。

「よろしく頼むぜー！十代ー！」

神楽坂・・・その格好なに？

「たしか永理は・・・『DT・ナイトメアハンド』って言つてた。」

マジですか永理さん・・・。てか作ったの！？凄エー！

そういうやあ、この大会での優勝賞品つてなんだろう？分かんないな  
ちょっと・・・。

でも、さすがにホルアクティは無いだろ・・・。アレ？ 気のせいかな？・・・気のせいじゃなかつたよ！

こいつマジでやらかしたよ！レイのデッキしかり！普通に神のカード使用しかり！

『漲つて來たぜ！第5回戦！ 英雄は夢に何思うのか？ V S H E R O & H E R O デュエル場へ！』

アバターのテンションがヤバい事に・・・なんか怖い。  
だって眼が！眼が完全に逝っちゃってるもん！  
まあいや、忘れよう。さて、久しぶりのデュエルだぜ！楽しまないとな！

「行くぜ神楽坂！」

「OK！俺様のハンドレスコンボは完璧だ！」

「猫とは・・・いいものだ！」

「何言つてんだ馬鹿不死鳥！」

対戦相手は、アビドスと・・・誰だっけ？たしか人妻好きなプロ『エリリスト』だつた気が・・・。  
まあいい！ゲームの始まりだ！

「――『デュエル！』」「『デュエルではない、エドだ！』

（永理家内BGM ダークシグナー）

選曲いいな永理・・・。

エドさん何言つてんの！？

まずは神楽坂のターンからか・・・。先行欲しかったなあ・・・。

「俺のターン！ドロー！

モンスターをセット！魔法カード『愚かな埋葬』！『ツッキから』『インフェルニティ・ガーディアン』を墓地へ送る！  
カードを伏せ、ターンエンド！

それだけ？もつと行動したら？

まあいいや、次はアビドスのターンか・・・。

「名前覚えてくれたんだ。・・・俺のターン！ドロー！

『ジェスター・コンフィ』を特殊召喚！『ジェスター・コンフィ』を生贊に『生贊人形』を発動！

『E・HEROヒジマン』を特殊召喚！更に『融合』発動！手札の『E・HEROスパークマン』と『E・HEROオーシャン』を融合！

来い！『E・HEROアブソルートZero』！ターンヒンドー！

忌々しい属性HEROめ・・・。絶対に殺す！

「俺のターン！ドロー！」

チツ、モンスターをセット！カードを3枚セット！ターンエンド！』

くくく、伏せたカードは素つ破抜きとアヌビスの裁き・・・そして天罰！俺の勝ちだ！

エドのデッキはなんなのだろう？まあいい、我が力にひれ伏すがいい！

「俺のターン！ドロー！」

『D・HEROダイアモンドガイ』召喚！エフェクト発動！デッキトップをめぐり、そのカードが通常魔法だつた場合、そのカードを墓地へ送り、次のターンにエフェクトを発動できる！！  
デッキトップは当然・・・通常魔法『滅びの爆裂疾風弾』！次のターンエフェクト確定！』

やっぱ青眼か！青眼入れてるかあいつ！

しかし、面倒な効果だなあいつ・・・攻撃力がたつたの1400・・・か・・・低いな。

「カードを3枚セット！ターンエンド！『エドさんのエンドフェイズ』に罠発動！『砂漠の光』！『不幸を告げる黒猫』の効果発動！『ハンドレス・フェイク』デッキトップに！・・・ターンエンド！』

ガン伏せですか？さすがプロ！タッグフォースのアレはなんだつた  
んだプロ！？  
神楽坂、・・・やつちまえ！

「俺のターン！ドロー！

魔法カード『天使の施し』！デッキからカードを3枚ドローし、2枚捨てる！

手札の『インフェルニティ・デストロイヤー』を墓地へ捨て、『ダーク・グレファー』を特殊召喚！『ダーク・グレファー』の効果発動！手札の『インフェルニティ・リベンジャー』を墓地へ捨てデッキから『ネクロ・ガードナー』を墓地へ送るぜ！『ダーク・グレファー』を生贊に『死靈を操りしパペツトマスター』を召喚！1000ライフをコストに墓地の『インフェルニティ・デストロイヤー』『DT ナイトメア・ハンド』を特殊召喚！更に装備魔法『早すぎた埋葬』を発動！ライフを800払い、墓地の『インフェルニティ・ビートル』を特殊召喚！

更に魔法カード『死者蘇生』発動！墓地の『インフェルニティ・ドワーフ』を特殊召喚！

・・・嫌な予感が・・・てか、DT？まさか・・・月影家十八番のダークシンク口！？

インフェルニティと相性最悪なんだけどな・・・上級モンスターにDTは・・・。

おいエドさん！何ポケモンやつてんだ！しかもGBT・・・GBTで・・・。

「おっ、ファイヤーレベルアップ、にらみつけるか・・・ビハシよう、諦めよう！」

初代！初代だあれ！

おつ、神楽坂が動くぞ。

「カードを伏せ、レベル2の『インフェルニティ・ドワーフ』にレベル10の『DT ナイトメア・ハンド』をダークチューニング！漆黒の帳下りし時冥府の瞳は開かれる。

舞い降りろ闇よ！ダークシンクロ！出でよ『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』！

レベル6の『死靈を操りしパペツトマスター』にレベル2の『インフェルニティ・ビートル』をチューニング！

死者と生者、ゼロにて交わりしどき、永劫の檻より魔の竜は放たれる！

シンクロ召喚！いでよ、『インフェルニティ・デス・ドラゴン』！

おおー満足龍に不満足龍！凄エ！

・・・コレ、俺いらなくネ？

「ヒヤッハー！踊れエド！死のダンスを！『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』で『D・HERO・ダイヤモンドガイ』を攻撃！インフェルニティ・サイト・ストリーム！」

「甘いぞ少年！震発動『炸裂装甲』！」

ああ！神楽坂のダークシンクロモンスターが破壊される！  
俺がそう確信した時、目を疑つた。  
・・・笑っているのだ、神楽坂が・・・。

「残念だつたな・・・『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』は、墓地の闇属性モンスターの効果を得るのぞ！  
ヒヤーツハツハツハツハア！墓地の『インフェルニティ・ガーディアン』の効果は、手札が無い場合、戦闘、カード効果では破壊されない！」

やつぱりか！やつぱりそんな効果か！

でも、これでエドさんも終わりか、意外と早かつたな。

「ヒヤーッハッハッハア！』インフェルーティ・デス・ドラゴン』で止め！ デス・ファイア・ブラスト！』

Q・これはプロ養成学校ですか？

A・はい、プロからやる気を削ぐ学校です。

「やはり甘いな、最初の『炸裂装甲』はおどり！これが本命だ！罷発動！『次元幽閉』！」

はいガチカード入りました。

さすがに堪えたみたいだな、神楽坂も・・・。

「そりでなくては面白くないな！ターンエンド！」

この状況で楽しむとか無理！絶対無理！

・・・まあいい、次の次のターン、俺のデッキの真の力を見せてやる！

「俺のターン！ドロー！

『融合』発動！手札の『E・HEROスパークマン』と『カード・ガンナー』を融合！来い！『E・HEROガイア』！』

またか、・・・ヘルボリマー伏せときやよかつた。だが、所詮その程度の効果！ひやははははは！

「『E・HEROガイア』の効果発動時に、こいつを発動させても

「うわー！『天罰』！」

「ぐつ、小癩な！『カード・ガードナー』を守備表示で召喚し、ターンハンド！」

さて、残りの属性HEROをどうするかな？  
・・・くくく、運命は俺に味方するのか。

「俺のターン！ドロー！」

手札の『沼地の魔神王』を墓地へ捨て、『融合』を手札に加える！  
魔法力ード『融合』発動！手札の『ゼミアの神』と『E・HERO  
プリズマー』を融合！

『G・HEROグリファル』を融合召喚！融合召喚した瞬間、効果  
発動！場のカードを全て破壊！

「ぐつ、猪口才な！」

「え？何？何？何が起きたの！？」

くくく、シンクロの力、とくとその日に焼き付けるがいい！  
ヒヤーッハッハッハッハア！！・・・Hドさんがなんか違うんだよ  
な・・・テレビとはな・・・。

「『デブリ・ドラゴン』を召喚！効果により、墓地の『沼地の魔神  
王』を特殊召喚！レベル3の『沼地の魔神王』に、レベル4の『デ  
ブリ・ドラゴン』をチューニング！

冷氣を纏いし龍よ！我が勝利のために、古の封印を解き放つがいい  
！シンクロ召喚！飛翔せよ！『氷結界の龍グングニール』！そして  
速攻魔法『異次元からの埋葬』！」

ふつふつふ、こいつの効果は、ちょっとキツイぜ？  
さあ、イツツ・ショータイム！

「グングールの効果発動！手札を2枚まで捨て、捨てた枚数分だけカードを破壊できる！」

ヒヤーハツハツハア！エドの残りカードを全て破壊！オール・ブリザード！

さあ行け！グングールでアビドスに攻撃！『ールド・ブリザード！』

グングの口から冷氣を纏いし息吹が放たれる・・・訳ねえだろ！下等生物に息吹なんぞ必要ねえ！

尻尾で攻撃しな！ヒヤーツハツハツハア！

「ぐ、貴様は、貴様だけは許さん！絶対にぶつ瀆す！グアアアアアアア！」

「寝言は寝て言つてゐ。ターンエンド！」

相手の場には壁モンスターが存在しない。たとえ融合されたとしても、俺の墓地にはネクロ・ガードナーが2枚。たとえ攻撃してきたとしても攻撃を無効にし、神楽坂のワンハンドレッド・アイ・ドラゴンで攻撃。効果破壊で勝てる！

「俺のターン！ドロー！』

墓地の『滅びの爆裂疾風弾』の効果発動！全てのモンスターを破壊！・・・『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』は破壊されないけど・・・。

魔法カード『ダーク・ゲート』を発動！手札を2枚捨て、デッキからダークと名のつくモンスターを1体、召喚条件を無視して特殊召喚できる！來い！『ダーク・アームド・ドラゴン』！

『ダーク・アームド・ドラゴン』を生贊に『偉大魔獣ガーゼット』を召喚！バトル！十代に直接攻撃！ミサイルパンチ！

『エドの直接攻撃宣言時、墓地の『ネクロ・ガードナー』を除外し、

攻撃を無効！』

「ちつ、カードを2枚伏せ、ターン終了だ。』

ついに、ついに来た！プロを倒す時が！……まあ、倒すのは神楽坂なんだけど……。

まあそんな事はどうでもいい！永理の口から血が出てる気がするが気にしない！

なんかリング持ってるが気にしないぜ俺は！

「俺のターン！ドロー！』

手札の『インフェルニティ・デーモン』を相手に見せ、手札から特殊召喚！

『インフェルニティ・デーモン』の効果発動！デッキから『インフェルニティ・アタックター』を手札に加える！そして、『インフェルニティ・アタックター』の効果発動！

手札から特殊召喚し、デッキからインフェルニティと名のつくレベル5以上のモンスターを手札に加える！俺は『インフェルニティ・ジェネラル』を選択！

2体のモンスターを生贊に『インフェルニティ・ジェネラル』を召喚！バトル！『インフェルニティ・ジェネラル』でアビドスに直接攻撃！アビドス撃破！

メインフェイズ2に、『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！『偉大魔獣ガーゼット』を破壊！

くははははは・・・これでバーノンダメージは2800・・・俺達の勝ちだ！

「バーンで止めは嫌ああああああああ！」

「恐怖におびえ、生き恥さらせー！」

神楽坂くつわくつと！！？

悪役ですやん、もう完璧に・・・。

俺？？？気にするな！

『あ、終わった？？？勝者、英雄は以下略。』

アバター絶対にもう飽きてるだろ！  
はあ、まあいいやもう。

「神楽坂、少しばし自重しろよ・・・」

「ダークシンクロ以外と使いやすかつた・・・。それは無理だな！  
ヒヤーツハツハツハツハア！！」

いや、マジで自重してくださいお願いします。

視点：一！十！百！千！万丈目サンダー！

幽靈つて飯食つもんなのか？まあいいや。

『万丈目さん、頑張りましょうね！』

ああ、俺には眩しそうむせ・・・その笑顔。

・・・殺氣が背中からするのは僕のせいではないなうん。

『え～では、次の選手は、デュエル場へ上がってください。  
フォルテあのバルカン卑怯だろ。』

お前もうやる気ないだろ！

しかし、対戦相手が迷宮兄弟とは・・・。

「我々の力。」

「とくと思い知るがいい！」

「「「『テュエル！』」」

『私のターンですう～！ドロ～！

『レッド・ガジェット』を召喚ですう～。効果により、デッキから

『イエロー・ガジェット』を手札に加えますう～。

カードを3枚伏せ、ターン終了ですう～。』

栄ちゃんのデッキはいつたいなんなのか？まあいいや。  
次は、迷宮弟の番か・・・。

「私のターン！ドロー！

『地雷蜘蛛』を召喚！魔法カード『生贊人形』を発動！『地雷蜘蛛』  
を生贊に、『風魔神・ヒューガ』を特殊召喚！

更に魔法カード『天使の施し』発動！デッキからカードを3枚ドロ  
ーし、2枚捨てる！魔法カード『死者蘇生』発動！

墓地から『水魔神・スーガ』を墓地から特殊召喚！更に装備魔法『  
早すぎた埋葬』を発動！ライフを800払い、墓地から『雷魔神  
サンガ』を特殊召喚！

魔法カード『強欲な壺』を発動！デッキからカードを2枚ドロー！

3体のモンスターを生贊に、『ゲート・ガーディアン』を特殊召喚  
！』

『では、特殊召喚成功時に『奈落の落とし穴』を発動ですう～！』

「「えつ？」」

ああ、ガーディアンが、落ちていく・・・。

しかも除外だしな・・・。ダーク・エレメント対応してないし・・・

。この子、恐ろしい子！

「カードを伏せ、ターン終了……。」

「俺のターンードロー！」

魔法カード『スター・ブласт』を発動！500ライフを払い、『アームド・ドラゴンLV5』を召喚！更に魔法カード『ハイリスク・レベルアップ』を発動！デッキから『アームド・ドラゴンLV7』を特殊召喚！

魔法カード『天使の施し』を発動！デッキからカードを3枚ドロ一し、2枚捨てる！カードを2枚伏せ、ターンエンド！

伏せたカードは、リビングデッキの呼び声……。たとえ効果で破壊されたおしても、蘇生できる！

そしてもう一枚は収縮。たとえ攻撃してきたとしても、相手モンスターを破壊し、デッキからアームド・ドラゴンLV7を特殊召喚できる！

「私のターンードロー！」

ふつふつふ・・・魔法カード『古のルール』発動！『青眼の白龍』を特殊召喚！カードを3枚場に出し、ターン終了だ！

栄ちゃんのデッキがまだ分からないな……。ガジェットだから機械族か？

・・・まさか、前に永理が作つた機械アンデじやないよな……。あれの展開力は恐ろしかった……。

『私のターンードロー！

『愚かな埋葬』を発動ですう～。デッキから『ゾンビキャリア』を墓地へ送りますう～。『ゾンビ・マスター』を召喚ですう～！

『ゾンビ・マスター』の効果で、手札の『サイバー・フニーックス』を墓地へ送り、『ゾンビキヤリア』を特殊召喚ですう～！更に罠発動ですう～！『地の代償』！『ゴブリンゾンビ』を召喚ですう～！レベル4の『ゴブリンゾンビ』にレベル2の『ゾンビキヤリア』をチューニングですう～！

地獄の名を持つ龍よ、我が勝利のために甦るがいい！シンクロ召喚！これが、死の文字を『えし龍！』『デスカイザー・ドラゴン』ですう～！

『ゴブリンゾンビ』の効果発動ですう～！『ツキから『ゴブリンゾンビ』を手札に加えますう～！

ヘルカイザー・ドラゴン？だが腐ってるし・・・。まあいいや！効果は、永理から聞いた時は、相手の墓地のアンデット族を1体特殊召喚だっけか？

『フィールド魔法『アンデットワールド』を発動ですう～！バトル！迷宮兄弟兄に直接攻撃ですう～！『デスマニアデット・ヘルブレス！』

・・・『氣のせいかな？』『ンキル臭』がするんだけど・・・。

恐らく、あの伏せカードの1枚はバスター・モードだと思つんだよね俺。

いや無いが、さすがにそれは無いよな。

『罠カード『Assault Mode Activate』を発動ですう～！』

外国かい！まさかの外国かい！

ん？永理がグーサイン・・・？まあ、カッコいいよね外国版。

『『デスカイザー・ドラゴン』を生贊に、デッキから『Doomk

『aisserDragon / Assault Mode』を特殊召喚ですう♪！

『DoomkaiserDragon/AssaultMode』の効果発動！万丈目さんの墓地から『青眼の白竜』と、迷宮兄弟弟の墓地から三魔神を特殊召喚ですう～！

『青眼の白竜』で『青眼の白竜』を攻撃ですうう！滅びの爆裂疾風弾！更に三魔神で直接攻撃ですうう！雷衝弾！流水波！魔風波！

ああ、俺の出番が無かつたぜ

折角のバー・エ・リ・ンが無駄になつたせ  
あらうたるに・・・・・は。

『ありがとう、ヤマモトさん。』

「成アバ第」

「その時まで」

負にのてはなしぞ！」

・・・元気だなあいつら。

『ちつ、移動するなよ。・・・あ、勝者、栄ちゃんと万丈目。はい

お前後で正固めな。

英語版のバスター・モードの名前はカッコいい。だが、俺には読めないぜーあー

やつと不満足に50回勝った今日。長かつたぜ。

永理「・・・凄いなお前、勉強しろよ。」

はつはつは、断るゾエ

家ではゲーム＆ネット＆漫画でおく。  
成績悪くともなんとかなるわー。

永理「おいおい・・・。」

まあいいじゃんそれは、さて、オリカ紹介エーイ

永理「無駄にテンション高いなお前。」

『ダーク・ゲート』

通常魔法

手札を2枚捨てる。

デッキからダークと名のつくモンスターを、召喚条件を無視して特殊召喚する。

この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃できず、効果を発動する事も出来ない。

永理「正直言つと、微妙だな。」

うん、俺もそう思つ。でもさ、シンクロとか、ガーディットとかに使えるし、ダーク・グレイにも使えるしさ。

永理「確かに、ダークシンクロ『テック』に入れてもいいんだが、『簡易融合』でおkだし。」

言つた。それを言つた。

歯茎、大丈夫？

永理「歳には勝てぬわ。」

お前まだ高校生だろ、設定上は。

地縛神には何かの魅力を感じる。・・・やつ、ロマンとこう魅力を・・・。

視点・ナノーネ

長き四年を得て、やつとの出番・・・。  
そう、今ここに面会しよう。

「わが世の春が来たアアアア！！」

「つむさいでアール！クロノス先生！」

いや、だつて全くデュエル描写が無い〜よーいやまじ本当だ。

『ふああ、フ試合開始。眠うう。』

やる気が無い〜ネ・・・、アバター。  
ま、まあいい〜ネ。頑張る〜ネ！

「「「「デュエル！」デース！」でアール！」〜ネ！」

(永理家内BGM らららラッピペパン)

「(おお、りきすたBGMデース 素晴らしい・・・)私の先行!  
ドロー!

ライフを1000払い、『トウーン・ワールド』を発動デース!『

トウーン・マーメイド』を特殊召喚デース!

『トウーン・マーメイド』を生贊に『トウーン・デーモン』を特殊

召喚テース！『トウーン・チヒミナイ・エルフ』を召喚し、ターン終了テース！

いきなりヤバいノーネーの状況……、どうする私！ あつ、愚かな埋葬あつた。

てかこの手札、一目見たら事故じゃね？ って手札なノーネー！

「私のターンでアール！ ドロー！」

『トイ・ワールド』を発動でアール！ 『トイ・ソルジャー』を召喚でアール！ カードを3枚伏せ、ターンエンドでアール！

嫌な予感しかしないノーネー。ああ、この手札ならワンキルできるのに……。

まあいいノーネー！ うん！

「俺のターン！ ドロー！」

『ツインバ렐・ドラゴン』を召喚だ！ 『ツインバ렐・ドラゴン』の効果！ 選択するのは『トイ・ソルジャー』！

不味いノーネー！ あのカードはナポレオン教頭のキーカードなノーネー！ でも、あの人ならたぶん、罠を発動するのでしそうね……。

「甘いのでアール！ 罠発動！ 『トイ・ガード』を発動でアール！ このカードは対象を相手モンスターに変更する事ができるのでアール！ 変更対象は『トウーン・デーモン』！」

「甘いテース！ 罠カード『トウーン・ガード』！ 1000ライフ払い、トウーンと名のつくモンスターは効果では破壊されませーん！」

おお、美味しい事かわしたノーネー！

でも、1000ライフコストはちょっとキツイノーネー……あつ、

この大会ではライフコストの踏み倒しが可能だつたゾ～ネ！まさか、そこまで考えて……。

「ちっ、カードを2枚伏せ、ターン終了だ！」

「私のターン！ドロ～によ！」

魔法カード『愚かな埋葬』を発動なゾ～ネ！デッキから『DT デス・サブマリン』を墓地へ送るゾ～ノ！

墓地の『DT デス・サブマリン』の効果発動ナゾ～ネ！墓地から特殊召喚できるゾ～ネ！魔法カード『ワン・フォー・ワン』を発動なゾ～ネ！

手札の『古代の機械巨人』を捨て、デッキから『ダークシー・レスキュー』を特殊召喚ナゾ～ネ！レベル1の『ダークシー・レスキュー』にレベル9の『DT デス・サブマリン』をダークチューニング！

闇と闇重なり～し時、冥府の扉は開かれ～る。光無～き世界へ！ダ

ークシンクロ！出でよ、『ダーク・フラット・トップ』！

『ダーク・フラット・トップ』の効果発動！墓地の『古代の機械巨人』を特殊召喚するゾ～ネ！」

私の得意なコンボより早く出せましたゾ～ノ。・・・事故率高くなりましたゾ～が・・・。

ちなみに、このデッキは機械族のみなのデス！つまり、一族の結束で攻撃力3800の貫通効果の巨人が出てくるゾ～ネ！

・・・1枚しか持つてませんゾ～が・・・はあ・・・。

あと、ナポレオン教頭も機械族オンリーなゾ～ネ！つまり、タッグには最適なゾ～ネ！・・・性格は好きに慣れませんが。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドなゾ～ネ！」

「私のターン！ドロー！」

『トゥーン・デーモン』でクロノスさんを直接攻撃デース！

「甘いノ～ネ！罠カード『スピリット・バリア』！」

ふつふつふ、効果は以下略なノ～ネ！だつて面倒だし。

「中々やりますね。カードを伏せ、ターンエンドテース！」

さすが遊戯王の生みの親。強いノ～ネ・・・。てかなんでこの人がここに居ますノ？

マリクさんとか遊戸さんとか海馬さんとかがなんで・・・。  
やはり永理、恐ろしい子！

「私のターンでア～ル！ドロー！」

スタンバイフェイズに『トイ・ソルジャー』の効果発動でア～ル！  
デッキから『トイ・ソルジャー』を特殊召喚でア～ル！

更に特殊召喚した『トイ・ソルジャー』の効果でデッキから『トイ・ソルジャー』を特殊召喚でア～ル！

『二トロ・シンクロン』を召喚でア～ル！レベル3の『トイ・ソルジャー』3体に、レベル1の『アンノウン・シンクロン』をチューニングでア～ル！

自立型機械大砲の力、とくと見るがいいのでア～ル！シンクロ召喚でア～ル！いでよ、『A・O・Jディサイシブ・アームズ』！  
バトル！『A・O・Jディサイシブ・アームズ』で『トゥーン・デーモン』を攻撃でア～ル！ギガ・バースト！

おお、スゴイ迫力なノ～ネ！  
でも、ちょっと煩いノ～ネ・・・。

「カードを伏せ、ターン終了でア～ル！」

「俺のターン！ドロー！」

魔法カード『愚かな埋葬』を発動！デッキから『トラップ・リアク

ター・RR』を墓地へ送るぜ！

『ブラック・ボンバー』を召喚！『ブラック・ボンバー』の効果で、墓地の『トラップ・リアクター・RR』を特殊召喚するぜ！

レベル4の『トラップ・リアクター・RR』に、レベル3の『ブラック・ボンバー』をチュー二ング！

屑鉄の悪魔よ！屑鉄の山より目覚めよ！シンクロ召喚！来い、『スクラップ・デス・デーモン』！

『ツインバ렐・ドラゴン』の効果発動！効果対象は『A・O・Jディサイシブ・アームズ』！

『oint』の結果は、成功です。

城之内さんですか？

「バトル！『スクラップ・デス・デーモン』で、ナポレオンに攻撃！デーモン・ストラッシュ！」  
「甘いでア～ル！罠カード『次元幽閉』！『スクラップ・デス・デーモン』を除外でア～ル！」

ガチ入りました。

ああ、この人とやると楽に勝てると思つてしまふノ～ネ。ですが、このデュエルで勝つたとしてもマリクさんや、カイザーとがが控えているノ～ネ・・・。

だから、このデュエルだけでも輝いてみせるノ～ネ！

「ちつ、カードを伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン！ドロ～によ！」

これをこれでこれして、フィールド魔法『歯車街』を発動なノ～ネ

！」

『トイ・ワールド』が破壊された瞬間、デッキから『トイ・ジェネラル』を特殊召喚でア～ル！

そんな効果だつたノーネ。。。知らなかつたノーネ。。。それにも、あのキースつて人、すんごく帰りたそうなノーネ。。。

「『歯車街』の効果発動なノーネ！『古代の機械獣』を召喚なノーネ！」

「おい、そのモンスターは上級だぞ！なんで召喚できてんだ！？」

「『歯車街』の効果なノーネ、古代の機械と名のつくモンスターの生贊を減らす効果なノーネ。

バトル！『古代の機械巨人』で『ツインバレル・ドラゴン』に攻撃！アルティメット・パーウンド！」

やはり、バトルは拳が一番なノーネ！まさに男の浪漫！

でも、永理は騙し討ちや不意打ちを好むって言つてたノーネ。。。教師としては少し、心配なノーネ。

「ぐつ、だがこいつの効果を使わせてもらひぜ！手札から『ツインゲーム・ガジエット』を墓地へ捨て、コイントスをする！コイントスが表なら戦闘ダメージを0に、裏なら『テッキからレベル4以下のモンスターを1体、特殊召喚する！

さあ、運命のコイントス！」

なんなノーネ！？そのチート効果は！？

永理・・・これも売つたノーネ！！？

ゴホン！・・・コイントスの結果は裏、キースは『デッキからツインバレル・ドラゴンを特殊召喚したノーネ。気のせいか、若干ツインバレルの顔色が悪い気がするノーネ。

「構わないノーネ！『古代の機械獣』で『ツインバ렐・ドラゴン』を攻撃なノーネ！ブレシャス・ファング！」

さすがに2枚目はもう、無い筈なノーネ！この勝負、貰つたノーネ！

「手札から速攻魔法『ツイスター』を発動なノーネ！『歯車街』を破壊なノーネ！」

「わざわざ自分のカードを破壊！？何考えてやがる！」

「・・・結構ヤバいデース・・・。」

むひょひょ、このカードは永理から2100円で買ったカードなノーネ！

・・・意外と高かったノーネ・・・。おかげでいつも買つワインが買えなかつたノーネ・・・。

ま、まあいいノーネ。そんな小さい事は・・・。ナポレオン教頭に馬鹿にされたけど・・・。

「『歯車街』の効果発動なノーネ！『デッキから『古代の機械巨竜』を特殊召喚なノーネ！」

『古代の機械巨竜』で直接攻撃！ガジェル・サイクロン！』

んふふ、このデッキの展開力は素晴らしいノーネ！永理から買ったカードを加えてこんなにも素晴らしい展開力になるとは！

んん？永理がなにかドロップアウト・ボイに言つているノーネ。

「なあ十代、巨竜が巨乳に聞こえた俺は末期なのかな？」  
「ただの思春期だ。」

それはただの思春期なノーネ・・・。

永理の部屋に前に入つてみたことがありまゝすが、まず田に付くの

は棚に並んだガンQ・・・。怖かつたノーネトラウマなノーネ・・・。

。その後見たのはたしか、××××だつたノーネ・・・。  
まあ、仕方ないノーネ。思春期だし・・・。

「ぐ、うわああああああ！」

「カードを伏せ、ターンエンドなノーネ！」

さすがに、この状況ではあのペガサス会長でも覆すことはできない  
ノーネ！この勝負、貰ったノーネ！

・・・いや、永理から聞いた事があるノーネ・・・その昔、ペガサス会長が使用したレベル1の儀式モンスター。その名も・・・。  
サクリファイスと・・・。でも、さすがに無いでしょ。もしあつたとしても、1枚しかデッキに入れていないのであれば、その力  
ードを引く確率はほぼ無いに等しいノーネ。

「これはだいぶと不味いデスね。私のターンードロー！  
『トゥーン・ゴッド』を召喚デース！『トゥーン・ゴッド』の効果  
で、デッキから『イリュージョンの儀式』を手札に加えマース！  
儀式魔法『イリュージョンの儀式』を発動デース！手札の『洗顔の  
邪教神』を生贊に『サクリファイス』を儀式召喚デース！」

「出できたノーネ・・・最悪なノーネ・・・。  
やつぱりこの人もチートドローだつたノーネ・・・。  
だけど、まだ甘いノーネ！」

「『サクリファイス』の効果発動デース！『古代の機械巨竜』を装備デース！」

「甘いノーネ！罠カード！『天罰』！『サクリファイス』の効果を無効にし、破壊するノーネ！」

「・・・ターンエンドテース・・・。」

ふつふつふ、諦めたノーネ！この勝負、私たちの勝ちなノーネ！アレ？これって失敗フラグ？いやでも、ナポレオン教頭のトイ・ジエネラルで直接攻撃し、次のターンに私の古代の機械巨竜で攻撃して勝ちなノーネ！

「私のターンでアール！ドロー！」

『トイ・ジエネラル』の効果発動でアール！1ターンに一度、デッキからトイと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できるのでアール！

デッキから『トイ・スペイ』を特殊召喚でアール！バトル！

『トイ・ジエネラル』で『トウーン・ヂエミナイ・エルフ』を攻撃でアール！ジエネラル・スピン！

『トイ・スペイ』で攻撃でアール！ターンエンドでアール！

うわあ、これもう積んだノーネ・・・さすがに少し、同情するノーネ。

まあいいノーネ。この大会で優勝して、優勝賞品をゲットなノーネ！

「私のターン！ドローによ！」

魔法カード『トレード・イン』一手札の『古代の機械巨竜』を捨て、2枚ドロー！

『ダーク・フラット・トップ』の効果発動なノーネ！墓地の『古代の機械巨竜』を特殊召喚なノーネ！

バトル！『古代の機械巨竜』で直接攻撃！速攻魔法『リミッター解除』発動なノーネ！

続いて、2枚目の『古代の機械巨竜』で直接攻撃なノーネ！『古代の機械巨人』で直接攻撃なノーネ！

「ちょ、それやり過ぎテース！NOOOOOO・・・。」

勝利したノーネ・・・。信じられないノーネ。これ夢じゃないよね?

『あつ、終わった? 勝者、機械族組。はい拍手!』

やる氣出すノーネ! 少しはやる氣を出すノーネ!  
はあ、なんかすんごく疲れたノーネ・・・。

視点・久しぶりだな! 永理だよ!

歯茎痛い、口が血の味する。・・・ちなみに作者は、自分の血を舐めて節分に使うあの豆の味したらしい。

俺? 血の味好きだけど? 眼とかも好きで集めてるけど?  
ふう、まあそれは置いといて、・・・何故アイツがここに居るんだ?  
?・?・? ディヴィアイン!

たしかトカゲちゃんにぱつくんちょされた筈・・・。一人称がおじさんと、俺とキャラが被るではないか!  
・・・ホセ爺さんも居るし・・・。

『ワタル絶対チート使つてるだろ・・・。あつ、第8試合開始!。  
・・・れいとうゲームでカイリュー撃破!』

ポケモンやつてんじやねえよアバター!

あとデヴァイン共感するな!

ホセは、モンハンやつてるし・・・。なんだこの未来組!?  
ジャックが居たらなんだこれはーつて言ひよ絶対!  
あつ、ピチュウた・・・。美鈴強いよね。

「　「　「　『テュエル！』　「　「

あつ、始まつてた。ホセはどんな『テュエル』したつけ？  
でもさすがに機皇帝は無いよね！

「私のターン！ドロー！　

『ダッシュ・ウォリアー』を召喚！カードを伏せ、ターンエンド！  
ホセのデッキがなんかヤバいんだけど・・・。  
ネタデッキだアレ！完璧にネタデッキだアレ！  
でも、ダッシュと名のつくモンスターはあんまり無いような・・・。

「ひょひょひょ、俺のターン！ドロー！　

『DT　スパイダー・コクーン』を特殊召喚！『ダーク・スパイダー』を召喚！

『ダーク・スパイダー』の効果発動！『DT　スパイダー・コクーン』のレベルを2上げるぜ！  
レベル1の『ダーク・スパイダー』にレベル7となつた『DT　スパイダー・コクーン』をダークチューニング！  
闇と闇重なりし時、冥府の扉は開かれる。光無き世界へ！ダークシンクロ！出でよ『地底のアラクネ』！

おお、早速羽蛾に売つたカードを召喚したか、成長したなあいつ。  
ダイナソー竜崎には、何売つたつけ？

「カードを2枚伏せ、『地底のアラクネ』の効果！トワイナー・スレッド！『ダッシュ・ウォリアー』を装備だ！ターン終了だ！」

こいつにデッキレシピ売つたつたが、インセクト女王を抜かなかつたな・・・。

何故だろ？地底でいいじゃん。

「私のターン！ドロー！

永続魔法『アポート』を発動！『アポート』の効果で『強化人類サイコ』を特殊召喚！速攻魔法『緊急テレポート』を発動！『デッキから』『クレボンス』を特殊召喚！

レベル4の『強化人類サイコ』にレベル2の『クレボンス』をチューニング！

我が深渊に眠りし悪魔よ、殺意の風を纏いこの世界を粉碎せよ！シンクロ召喚！降臨せよ、『サイコ・デビル』！

モンスターを伏せ、カードを2枚場に出そう。ターン終了だ！

さすがサイキック！ガチデッキ！

えつ？BFだろGJ？セイバーだよ今は。

なんか腹減ってきたな・・・。今の季節はピザまん美味しいよね！

「わいのターン！ドロー！や！

手札の『キラーザウルス』を墓地へ捨て、『デッキから』『ジュラシックワールド』を手札に加えるわ！

『フィールド魔法』『ジュラシックワールド』を発動！永続魔法『一族の結束』を発動や！『キラーザウルス』を召喚！カードを2枚伏せ、ターン終了や！

キラーザウルスの攻撃力は1800、ジュラシックワールドの効果で300アップして2100、更に一族の結束の効果で攻撃力は2900か・・・。

中々の出だしだ、褒めてつかわそ。・・・うん、なんかごめん。

「私のターン！ドロー！

『魔法カード』『愚かな埋葬』を発動！『デッキから』『グランド・コア』

を墓地へ送る！

永続罠『リミット・リバース』を発動！墓地の『グランド・ゴア』を特殊召喚！魔法カード『カオス・ブラスト』を発動！デッキから『バット』を3枚墓地へ送り、『グランド・ゴア』を破壊する！「わざわざ、自分のモンスターを破壊やと！？」

「何考えてやがる、プレイミスか！？」

うわあ、TF6の悪夢・・・。

初見ではプレイミスと思つよね。おじさんもそう思つてたよ。

「『ワイス・ゴア』の効果発動！」

来るぞ、BF以上の展開力を持つ機皇帝デッキの真の力があ・・・！ああ、地底が吸収されてしまう未来が見えるよ。

「デッキから機皇帝グランエル『グランエルT』『グランエルA』『グランエルG』『グランエルC』を特殊召喚！  
合体変化、『機皇帝グランエル』！」

合体キター！竜崎も目を輝かせてるし、だれでも興奮するよね！・・・はい、幼女見てた方が興奮するロリコン主人公ですはい。

「『機皇帝グランエル』の効果発動！シンクロモンスターを吸収！」

「ひょひょひょ、残念だったな、罠カード！『虫神の加護』を発動！フィールド上に表側表示で存在する昆虫族モンスターを対象にする効果モンスターの効果・魔法・罠カードの発動を無効にし破壊するぜ！」

おお、昆虫族デッキにちょうどいいカード作ってみたから売ったつ

たが、ここで使ってくれるか。うれしいな俺。  
あとホセ、バットは抜いた方が良いぞ。

「ぐつ、カードを伏せ、ターン終了だ！」

「ひょつひょつひょ、俺のターン！ドロー！」

『代打バッター』を召喚！魔法カード『死者の手向け』を発動！手札の『ゴキボール』を墓地へ捨て、『代打バッター』を破壊するぜ！

『代打バッター』の効果発動！手札から『地縛神ヒュ』を特殊召喚するぜ！そして装備魔法『火器付機甲鎧』を『地縛神ヒュ』に装備！

永続魔法『一族の結束』を発動するぜ！バトル！『地縛神ヒュ』でディヴァインに攻撃！ヘル・スレッド！

ルドガーより操るの美味しいなこいつ。・・・ダークシグナーに最適なんじゃね？

未来世界へなら、いつでも行けるし・・・。

主人公がチートで面白くない？何言つてんだ、フラグが全く立たないではないか。

・・・ああ、レイちゃんが欲しい。

いやね、姉も好きだけどね。その、血が繋がってるじやん？つまり、姉弟じやん？これなんてエロゲ？って話になるのよ。  
兄？野郎に興味は無い。

「甘い！罠カード『聖なるバリア ミラーフォース』！」

「甘いで！カウンター罠『盗賊の七つ道具』発動や！」

「それも甘いぞ少年！カウンター罠『神の宣告』！」

「まだまだ！罠カード！『神の警戒』！」

上からディヴァイン、竜崎、ホセ、H A G Aだ。

・・・なんか凄いなおい！

「ぐ、がああああああああああああ！」

「ひょひょひょ、次は貴様の番だ爺さんよおー『地底のアラクネ』でホセに攻撃！ヘル・スレッド・ターンエンド！」

次のターンプレイヤーは、竜崎か。ホセ爺さん負けたな、残念だ。しかし、誰が予想したでしょうか？まさか羽蛾と竜崎が勝利すると…。

「わいのターンードローや！

『暗黒プロテラ』を召喚や！バトル！『暗黒プロテラ』でホセに攻撃！暗黒ブレス！

名前安易だなおい！

いや、いいけどさ！

『シゲル如きが生意氣なんだよ！…えつ？終わった？…ええ、勝者、元準優勝者＆元優勝者。はい拍手～。』

やる気出せよ！

はあ、まあいいや。さて、少しばかり聞いてみるかな？なんでここに居るか…。

・・・まさか、俺もパックンチョされたりする伏線なのか？それは嫌だな。

「おい、そここの勾玉髪の人。少しばかり聞きたい事がある。」

「何かな？何も力になれないと思うけど…。ってか勾玉つて何さ！？」

「気にするな。さて、お前は何故、ここに居る？たしか地縛神に食われた筈だが。」

「あ～、それね・・・。話せば長くなるけど・・・。」「

“ディヴァインの話によると、田が覚めたらいに居たと……。アレ? じゃあなんでホセはここに?”

「大会の景品目当てじゃ。」

あ、そうですか。・・・しょうもないなおい！えつ？つーかこれで終わり？オチてないよ！

「じゃあ『落とし穴』で落ちとく?」

「」の構造の「」

「傷つかないぐらいにまでは抑えたから大丈夫でしょ。」

地縛神には何かの魅力を感じる。・・・やつ、ロマンという魅力を・・・。(後)

おじやん出しました。

永理「謎のカリスマだよなあいつ。」

俺は悪役キャラが好きだからな。・・・勿論、幼女も好きだぜ??

永理「そうか、俺もだ。」

さて、オリカ紹介工ーイ!

『トイ・ワールド  
フィールド魔法

トイと名のつくモンスターは、1ターンに一度だけ、戦闘では破壊されない。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、デッキからトイと名のつくモンスターを1体、特殊召喚する。

『トイ・ガード』

通常罷

自分フィールドのトイと名のつくモンスターを対象とするカードを無効にし、破壊する。

『トゥーン・ガード』

通常罷

自分フィールドに存在するトゥーンと名のつくモンスターが対象に選択された時に発動できる。このターン、自分フィールドに表側表示で存在するトゥーンと名のつくモンスターは、破壊されない。

#### 『トイ・ジヒネラル』

レベル7

地属性

攻撃力：2600

守備力：2300

機械族：効果

1ターンに一度、デッキからトイと名のつくモンスターを1体、特殊召喚する。

このカードが攻撃する場合、相手は魔法、罠を発動できない。

#### 『ツインゲーム・ガジェット』

レベル1

地属性

攻撃力：0

守備力：0

機械族：効果

自分フィールドに存在するモンスターが戦闘で破壊された時、このカードを墓地へ送り効果を発動できる。コイントスを行以下

の以下の効果を得る。

表：その戦闘によつて発生する自分への戦闘ダメージは0になる。  
裏：デッキからレベル4以下のモンスターを1体、特殊召喚する。

#### 『トゥーン・ゴッド』

レベル4

光属性

攻撃力：1400

守備力：1000

天使族：トーン

このカードは召喚・反転召喚・特殊召喚したターンには攻撃する事ができない。

自分フィールド上に「トーン・ワールド」が存在し、相手フィールド上にトーンモンスターが存在しない場合このカードは相手プレイヤーに直接攻撃する事ができる。フィールド上の「トーン・ワールド」が破壊された時、このカードを破壊する。

このカードが召喚・反転召喚に成功した時自分のデッキから儀式モンスターまたは

儀式魔法カード1枚を手札に加える事ができる。

『トイ・スパイ』

レベル3

地属性

攻撃力：1300

守備力：2000

機械族：効果

トイと名のつくモンスターが攻撃する場合相手はダメージステップ終了時まで魔法・罠カードを発動できない。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、手札を2枚捨て、デッキからトイと名のつくモンスターを合計レベルが7になるように特殊召喚できる。

『虫神の加護』

カウンター罠

フィールド上に表側表示で存在する昆虫族モンスターを対象にする効果モンスターの効果・魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

久しぶりに、ガチで忘れていた奴でも・・・。

プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわから  
ないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うから。  
あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、  
性別などを書いてください。

ついでに使用デッキも。さて、忘れてたアレ。

プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわから  
ないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うから。  
あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、  
性別などを書いてください。

ついでに使用デッキも。もし書いてなかつた場合、作者が勝手に決  
めます。他にも、ちょっと扱いにくいかな?って時は性格とか、デ  
ッキとかを変更するかもですはい。

足、大丈夫?

永理「大丈夫じゃない。」

女の子は可愛ければ向してもOK！ただし一次元に限る……最低？最高で

視点：レイ

あの人、永理さんの知りあいかな？見た事ないデッキだつたけど…。

あつ、もう私の出番だね、頑張ろう！

「レイちゃん、僕、あの人たちに勝てる自信が無いよ。どうしようつ・  
・・。」

「吹雪さんだけなら100%無理でしょうな。や

「酷いな・・・、お兄ちゃん泣いちゃうぞー！」

「『自由』。」

あつ、本当に泣いた、明日香さんが吹雪さんを壊むような眼で吹雪さんを見ている。

・・・永理さんの作ったクレープ、美味しかったなあ、アレプロの腕だつたね。

チョコとバナナの絶妙なハーモニーが僕の口の中で弾けて・・・、最高だつたよ。

「レイちゃん、食うか？さつき貰つたやつなんだが・・・。」

「うん！ いつただつきました！」

(ああ、幼女がバナナを、俺のバナナを・・・。フオオオオオオオ  
！-！)

ちなみに余談だけど、バナナは生姜と同じ仲間じゃよ。  
あと私、もう幼女じや無いよ。

『いや、もう幼女ですww』

・・・マッスルスパーク！

『ギャアーーー！』

ふう、障害は取り除いたぞ

アレ？キン肉マンのなにが面白かったつけ？

『では、えーっと・・・試合開始？もうそんな時間？あー、もうなのねはいはい・・・。第？試合ね。レイナちゃんと野郎、あと顔芸チームはデュエル場に上がつて。』

て・・・適当だあ・・・。  
アバターもつ適當だあ・・・、もう少ししつかうやって欲しいなあ・・・。

『にゃんにゃんを？』

「かめはめ波！」

『ぐまあツーーー！』

なんか出せたぞ

『出せたって・・・えーぐまあツーー！』

少し、頭冷やさうか？

まあいいや、デュエルの時間だ。

「行くよ吹雪さん。」

「つべ、明日香～・・・僕を慰めてくれよ～・・・。」

「・・・わざと立つてよ！」

『立つってどっち！？』

「もう黙つてシャルロッテ！」

いやマジで黙つてて、この小説R 18になつてしまつから！あとシャルロッテのテンションがなんが凄いんだけどなんで？久々の出番だから？

「なあ、もう始めてもいいか？」

「あつ、はいすいません。・・・ほらしつかり立つて吹雪さん！」

「うう、僕の心のライフはもうゼロだよ・・・。」

「だったら『インフェルニティ・ゼロ』でなんとかなるからー！」

「Jの外道幼女！」

ああ、この人色々と面倒な性格だよ・・・。

時械神サンダイオンで攻撃してやるうかツ！・・・・・実体化させることできなきゃ

うん？永理さんが、デュエル場になぜか存在するステージに上った  
？なんで？

「では行きますよ少年少女諸君！」

「――「デュエル！」」

あれ？永理さんがマイクを持つて、何をするつもりなの？

「では聞いてください、ルカルカ ナイトファイバー。」

ボーカロイド！？なんでその曲なの！？

つてか歌上手いな普通に！なんでその声だせるの！？凄く女っぽい  
んだけど！？

「では行きますよ、私のターン！ドロー！』

『アルカナフォースIII－THE EMPRESS』を召喚！更に魔法カード『魔王の贊』を発動！

『アルカナフォースIII－THE EMPRESS』を生贊に、『青眼の白龍』を特殊召喚！カードを2枚伏せ、ターン終了！』

普通に青眼出してきたよやつぱり！なんで普通に出せるの…？

こっちの業界ではこれが普通なの…？

「僕のターン！ドロー！』

『時械神ラツイオン』を召喚！カードを2枚伏せ、ターン終了！』

まずは様子見、この手札で一番、相手ライフにダメージを与えるカードだしね。

伏せたカードはリミット・リバースと針虫の巣窟、次の私のターンに一気に決める！

「俺のターン！ドロー！』

魔法カード『天使の施し』を発動！デッキからカードを3枚ドロードし、2枚捨てるぜ！

魔法カード『死者蘇生』！墓地の『青眼の白龍』を特殊召喚！更に装備魔法、『デーモンの斧』を『青眼の白龍』に装備！

『悪シノビ』を召喚し、カードを3枚セット、ターンエンド！』

攻撃力4000！？私のサンダイオンと同じ攻撃力だつて…？

凄いなあ、さすがマリクさん。

「僕のターン！ドロー！』

『真紅眼の飛龍』を守備表示で召喚！魔法カード『生け贊人形』を発動するよ！

『真紅眼の飛龍』を生贊に『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！『真紅眼の黒竜』を生贊に『真紅眼の闇竜』を特殊召喚！

攻撃力・・・3000！？やっぱ凄いなあ、吹雪さん。  
『1ターンでレベル10のモンスターを普通に召喚しているあんたの方が凄いわ。』

そりかなか？以外と事故らないけれど・・・。  
いやマジだつて！嘘だと思うならTF6やってみてよー！

「魔法カード『苦渋の選択』を発動！僕が選択するのは、この5枚だ！」

えーっと・・・サファイア・ドラゴンが3枚に、ハウンド・ドラゴンが2枚か・・・。  
アレ？それってつまり、攻撃力が1200ポイントアップするから・  
・攻撃力が4200！？

「俺は『ハウンド・ドラゴン』を選択するぜー！」

「そり、なら残りは墓地へ捨てるよ！カードを2枚伏せ、ターン終了！」

ああ、なんでだろう、僕のデッキも十分ヤバいけどみんなもヤバいよ・・・。

・・・今度BFロードでも作ろつかな？鬼畜？普通だよ

「私のターン！ドロー！」

『アルカナフォースI－THE MAGICIAN』を召喚します！『アルカナフォースI－THE MAGICIAN』の効果発動！

当然！正位置！

当然！？イカサマ！？

・・・僕がコイントスをやつたら当然、逆位置！だけじね・・・は  
は・・・。

あれ？目から恵みの雨が・・・よく見えないなあ・・・。

「魔法カード』古のルール』を発動！手札の『青眼の白龍』を特殊  
召喚！

フィールド魔法『シャインスパーク』を発動！

行け、『デーモンの斧』を装備した『青眼の白龍』で『真紅眼の闇  
竜』を攻撃！悪魔のエクストスクリーム！

「甘いよ、罠カード』ドラゴン・サイクロロン』を発動！相手場の魔  
法、罠を全て破壊するよ！」

「甘いゾエ 罠カード』呪い』『し

「まだまだ、罠カード』トラップ・ジャマー』！」

よし、青眼撃破！・・・でも、また蘇りそなんだよね・・・。  
相手マリクさんだし・・・魔王さんはあまり蘇生させないタイプの  
デッキだと思つけど。

「ターンエンド！」

伏せカードで除去されたら嫌だなあ・・・。

「僕のターン！ドロー！」

スタンバイフェイズ時、『時械神ラツイオン』の効果発動！この力  
ードはデッキに戻る！

僕は『時械神カミオン』を召喚！装備魔法『時械補助』を発動！行  
け、『時械神カミオン』で『青眼の白龍』を攻撃！

そして、『時機神力ミミオン』の効果！このカードが攻撃した時、相手フィールド上のモンスターを全てデッキに戻し1体につき500ポイントダメージを与える！

相手モンスターの数は、5！よつて2500のダメージを受けても  
「みづよ！」

よし、除去されていない！これで僕の勝ちだ！

あと永理さんの声が掠れてきたんだけど、大丈夫かなあ？

「ぐおおおおおおおーー！」

「ぐぐぐ・・・、ヤバいんじゃないですか？これどうしましょう・・・。  
・。」

「僕はこれでターンエンド！」

次のターンに吹雪さんが決めてくれなくとも、僕の手札には時機神サンダライオンがある！次の僕のターンに時機械ラツィオンをデッキに戻し相手の壁モンスターを破壊すれば、相手に4000のバーンダメージを与える！

だけど、もしモンスターを召喚されなかつたら僕の手札は事故同然、つまり、相手はまた青眼を召喚してくる可能性は十分に高い！

・・・アレ？針虫の巣窟でデッキからカードを5枚墓地へ送れば、攻撃力1000以下のモンスターが1体は落ちる筈、つまりこのターンで仕留められた！？・・・完全に僕のミスだ！

「俺のターン！ドロー！？」

手札から速攻魔法『禁じられた聖杯』を発動！『時機械ラツィオン』の効果を無効！

不味い！このままなら、僕は直接攻撃をうけて大ダメージを喰らってしまう…

でも、手札にはクリボーがあるから、ダメージを〇にできる！

「『神獣王バルバロス』を召喚！更に魔法カード発動！『一重召喚』！『神獣王バルバロス』を生贊に『偉大魔獸ガーゼット』を召喚！」

「攻撃力6000！？まさに意味不明！あはは、もう笑うしかないよねこれ・・・。

「行け、『偉大魔獸ガーゼット』で『時機械ラツイオン』を攻撃！キメラシユート！」

「手札から『クリボー』を捨て、戦闘ダメージを〇に！」

「ちつ、ターンエンド！」

ふう、なんとか首の皮一枚繋がったよ。本当に心臓に悪いよこの大会。プロデュエリストが見たら絶対に自信無くすよこれ。凄いパワーゲームだよこれ！子供が見たらトラウマになるよこれ！僕？もう慣れたよ・・・。

「僕のターンードロー！」

墓地の『ハウンド・ドラゴン』を除外し『ミスト・ドラゴン』を特殊召喚！『ミスト・ドラゴン』の効果で、デッキから『伝説の白石』を墓地へ送るよ！

墓地の『伝説の白石』の効果で、デッキから『青眼の白龍』を手札に加えるよ！『ミスト・ドラゴン』を除外し『レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン』を特殊召喚するよ！

『レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン』の効果で、手札の『青眼の白龍』を特殊召喚！魔法カード『滅びの爆裂疾風弾』を発動！場のモンスターを全て破壊する！

『未来融合 フューチャー・フュージョン』を発動！デッキから『伝説の白石』を2枚『ミンゲイドラゴン』を3枚墓地へ送るよ！墓

地へ送られた『伝説の白石』の効果で、デッキから『青眼の白龍』を2枚、手札に加えるよ！

『融合』を発動するよ！場の『青眼の白龍』と、手札の『青眼の白龍』2枚を融合！『青眼の究極竜』を融合召喚！バトル！『青眼の究極竜』で、マリクさんに直接攻撃！アルティメット・バースト！

オーバーキル・・・もうこの大会怖いよ。

何で？僕の常識が通用しないのは何でなの！？

「ぐ、うわああああ！！」

「続けて『レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン』で、斎王く

んを攻撃！ダークネス・バースト！」

「ちょ、まつ私ゲストなのにいいいい！」

おお、さすがドラゴン族、展開力が恐ろしやあ・・・。相手にはしたくないね、サンダイオンで終わるけどね

『顔ゲーイ！あつ終わった？勝者、レイちゃん！彼女に盛大な拍手を！吹雪はどうでもいいや。』

「アバター、表出ろ。」

『えつ、ちょまた、AIB

！』

アバターさんご愁傷様です。

『まだ死なないよあの邪神、ワタル弱くなつたなあ・・・。』

元からでしょそれ、ライバルが一番強いし。

だよ。

ファンか、欲しいな少しは・・・。  
昔はプロになつたらモテると思つて、プロになつたのに全くモテないのはなんでだろうね？  
勿論、美女限定だけどね

『えへ、アバターが寝てしまつたのでえ、ここからはこの俺、イレイザーさんがMCをする事になつたぜ！久々の出番だぜ！  
では第10試合、開始いたします！』

よし、次こそは目立とう私、頑張ろう私！

だが、私が優勝すためには、瑠璃という（胸的な意味でも）壁を越えなければならない。

「誰がツルペタだつて？」

「すいまッせーん！本当にすいまッせーん！」

後ろに鬼神が見えたのは氣のせいではないよな。マジで怖かつたぞ  
今。

「さつさとやるぞ使えないドラゴン使い。」

「誰が使えないドラゴン使いだ！」

「事実だろ、吹雪の方が実力も人気も顔も勝つていてるではないか。」

「ちつ、まあいい、さあ・・・。」

「――「デュエル！」――」

また、永理が何故あるかわからないステージへ上がつていったが、  
怖くないのか？

つてがまた歌うのか？喉痛くなるぞ？

「では聞いてください、俺ら東京を行ぐだ。」

「私のターン！ドロー！（懐かしい・・・。）

『ドラグニティダーク・トブリル』を召喚！『ドラグニティダーク・トブリル』のモンスター効果により、手札のドラグニティダークと名のつくモンスターを特殊召喚できる！

『ドラグニティダーク・フラス』を特殊召喚！

『ドラグニティダーク・フラス』の効果で、デッキからドラグニティダークと名のつくモンスターを特殊召喚できる。

『ドラグニティダーク・カタストロフ』を特殊召喚！更に『ドラグニティダーク・カタストロフ』の効果により、デッキからドトと名のつくモンスターを特殊召喚できる！

『DT ダークネス・ドラゴン』を特殊召喚！レベル3の『ドラグニティダーク・フラス』に、レベル8の『DT ダークネス・ドラゴン』をダークチューニング！

破壊の風よ！我が龍に闇の力を！ダークシンクロ！飛翔せよ！『ドラグニティダーク・ブルラスト』！カードを2枚伏せ、ターンエンド！

「

初手手札にこんなにも揃うとは、しかも展開力がBF以上あるんじやねこれ？

まあ、ここまで展開できたのは運だよね、あははははは・・・はあ・・・。

「私のターン！ドロー！

『極星天ヴァルキュリア』を召喚！効果発動！このカードは、相手場にモンスターが存在し自分場にこのカード以外のカードが存在しない場合、手札の極星と名のつくモンスターを2枚、除外して効果を発動できる！

私は手札の『極星天ミーミル』と『極星邪龍ヨルムンガンド』を除外し、私の場に『エイリンヘアル・トーケン』を2体、特殊召喚する！

レベル4の『エイリンヘアル・トーケン』2体に、レベル2の『極星天ヴァルキュリア』をチューニング！

北辰の空にありて、全知全能を司る王よ！今こそ、星界の神々を束ね、その威光を示せ！！シンクロ召喚！天地神明を統べよ、最高神『極神聖帝オーディン』！！

うわあ、ワンターンで出しあつたよこの娘、十分プロでも食つていけるよ！

私？プロですよ、アマチュアに実力で負けてるけどプロですよ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよー。」

亮、頼むから大嵐とかやめてよ？

「俺のターン！ドロー！

魔法カード『テラ・フォーミング』を発動！デッキから『戦場の跡地』を手札に加え、そのまま発動！

『戦場の跡地』の効果で、デッキから『旧サイバー・ドラゴン』を特殊召喚！『旧サイバー・ドラゴン』を生贊に『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を召喚！

俺は『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を召喚！効果により『極神聖帝オーディン』と、デッキから『旧世代の機械巨竜』を装備！カードを2枚場に出し、ターンエンド！

おいおい、何そのぶつ壊れカード・・・。デュエルアカデミア、恐ろしい場所！

次は、宿敵瑠璃のターンか・・・。

「私のターン！ドロー！』

『RF 漆黒を狩りし者』を召喚！更に『RF 閻の狩人』を特殊召喚！そして『RF 銀風のミスト』を特殊召喚！

『DT 閻からの使者』を特殊召喚！レベル2の『RF 閻の狩人』に、レベル12の『DT 閻からの使者』をダークチューニング！光が闇に閉ざされし時、冥府に封じられし邪神よ！我が勝利の為に働け！ダークシンクロ！コレが私の神だ！『邪王モノフルスス』！』

！』

い、いきなりかよ、マジでシャレにならないぞ！

「モノフルススの効果で、デッキから『RF 地獄からの帰還者』を手札に加え、デッキから『キラートマト』を守備表示で特殊召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド！』

チートとチートが手を組んだら無双状態になってしまふぞ！

このままでは、オリカTUEEEE！な状況に・・・俺もオ

リカデッキだつた。』

「私のターン！ドロー！』

罷発動！『闇からの援軍』！このカードは、デッキからドラグニティダーケと名のつくモンスターを1体、攻撃表示で特殊召喚できる！私はデッキから『ドラグニティダーク・カタストロフ』を特殊召喚！そして『ドラグニティダーク・カタストロフ』のモンスター効果により、デッキから『DT ドラグニティダーク・スプロトル』を特殊召喚！

レベル3の『ドラグニティダーク・カタストロフ』に、レベル7の

『DT ドラグニティダーク・スプロトル』をダークチューニング！集いし闇が、新たな進化の糧となる！ダークシンクロ！『ドラグニ

ティダーカ・ススパルト』をダークシンクロ召喚!』

これこそ、絶対的な力! 真の闇! まさにDEATH GAME!

「『ドラグニティダーカ・ススパルト』の効果発動! デッキから『闇エネルギー』『ジャンク・アタック』『ビックバン・シユート』を墓地へ送り、『純悪な闇』を『ドラグニティダーカ・ススパルト』に装備! バトル! 『ドラグニティダーカ・ススパルト』で明日香に直接攻撃!」

瑠璃のあのモンスター……攻撃力高すぎワロタ WWWWW……ワロタ……。

「罠カードオープン! 『次元幽閉』!』  
「ひょ?」

ひ、卑怯な! 除外は卑怯だぞ!  
カイザー? あれは卑怯じゃない、チートだ!

「くつ、モンスターを伏せ、ターンエンド!」  
「私のターン! ドロー! モンスターをセットし、ターンエンド!」

亮、少しは自重しろよ?  
いやマジで。

「俺のターン! ドロー!  
魔法発動! 『大嵐』!」

「ああ、伏せていた聖バリがあ・・・。  
亮エ・・・。

「破壊された『旧世代の機械巨竜』の効果発動！このカードが戦闘以外で破壊された時、デッキから旧と名のつくモンスターを1体、特殊召喚する！

俺はデッキから『旧サイバー・オーガ』を特殊召喚！更に『融合』を発動！場の『旧サイバー・オーガ』と、手札の『旧サイバー・オーガ』を融合！

『旧サイバー・オーガ2』を融合召喚！更に『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』の効果により、デッキから『旧サイバー・オーガ』と『邪王モノフルスス』を装備！

「残念つさね、罠カード！『闇分離』を発動つさ！自分フィールドのダークシンクロモンスターを墓地へ送り、エクストラデッキから別のダークシンクロモンスターを特殊召喚！  
よつて、デッキから『暴漢ピサロ』を特殊召喚！」

亮、これはヤバいんじゃないか？どう乗り越える？

「残念だつたな、このカードの効果は1ターンに一度では無いのだよ！デッキから『旧サイバー・ドラゴン』と『暴漢ピサロ』を『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』に装備！」

「これは、チヨツチイヤバいかな？」

え？何そのチート効果・・・。

ああ、プロの世界がお遊びに見えるぜ・・・。

「バトル！『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』で明日香に直接攻撃！」

「な、なんで私！？出番が来たらすぐ消える、狂氣の天上院明日香

ああああああ・・・。

なんか、すいません本当に。

凄く罪悪感があるんだけど・・・・、何故だろ？

「カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

瑠璃、こいつを敵に回した事を後悔するんだな！アーッハッハッハ  
ツハ！

「ありやりや、私のターン！ドロー！  
モンスターを伏せ、ターンエンド！」

あの伏せモンスターは、おそらくライトロードハンター・ライコウ  
か人食い虫だろ？  
だが、この程度の壁、私には通用しない！

「私のターン！ドロー！

『ドラグニティダーク・トブリル』を召喚！『ドラグニティダーク・  
トブリル』のモンスター効果により、『ドラグニティダーク・フラ  
ス』を特殊召喚！

『ドラグニティダーク・フ拉斯』の効果により、デッキから『ドラ  
グニティダーク・カタストロフ』を特殊召喚！『ドラグニティダー  
ク・カタストロフ』の効果で、『デッキから』DT カオスローグ『  
を特殊召喚！

更に、魔法カード『ダーク・ウェーブ』を発動！レベル・3となっ  
た『ドラグニティダーク・カタストロフ』に、レベル8の『DT  
カオスローグ』をダークチューニング！

闇に憑かれし龍の血族よ、今こそ光の世界へと舞い降り、この世界  
に混沌を！ダークシンクロ『ドラグニティダーク・クルスロード』

！」

うん、我ながらよくこんなのはつづきになつたなつて思つぞ。

「『ドラグニティダーク・クルスロード』の効果！『テッキから装備魔法を2枚、手札に加える！私は、『テッキから』『デーモンの斧』と『デーモンの斧』を手札に加え、そのまま『ドラグニティダーク・クルスロード』に装備！」

バトル！伏せモンスターに攻撃！キング・フレイム！」

撃破したモンスターは、ネクロ・ガードナーか。確かにいいモンスターだ。だが、このカードにとつては伏せモンスターなど無意味！

「クルスロードの効果！守備モンスターを攻撃した時、そのモンスターを破壊する！」

「ちょ　ｗｗｗ自重　ｗｗｗ。」

「無理です。」

ヤバい、ダークシンクロ癖になる。

「ターンエンド！」

次は亮、マジで自重してくださいお願ひします。

だつて、原作よりオーバーキル大好きになつてんもんこの人。

「俺のターン！ドロー！

魔法発動！『ハリケーン』！更に魔法カード『融合』発動！手札の『旧サイバー・ドラゴン』2枚を融合！  
『プロトサイバー・ツイン・ドラゴン』を融合召喚！バトル！『プロトサイバー・ドラゴン』で、瑠璃さんに直接攻撃！プロトツイン・

バースト！

まだだ、『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』で直接攻撃！

「若人よ、見事だ・・・ぐふつ！」

何あのやられ方？何処の悪へ堕ちた父親？

『勝者、旧サイバーチーム！彼らに拍手を！』

懐かしいな、この興奮。

しかし、このドрагニティダークテツキ・・・恐ろしいテツキだな。氣を抜くと闇に飲まれそうだ。

「あつづ、負けちゃったよお。」

「（ああ、泣き顔も可愛い）瑠璃姉は頑張ったんだ、今日はハンバーグを作つてやろう。」「わーい、永理大好き～。」

凄い嬉しそうだ、この口リコンめ！

「つ、次こそは私も・・・。」

・・・次の出番はセブンスターZ終了後だと思ひぞ・・・。

女の子は可愛ければ向してもOK！ただし一次元に限る……最低？最高で

もうジヤンク堂には行かない、凄く疲れた。

永理「ぶつちやけどうでもいいぞそれ。」

なん・・・だと・・・?

ま、まあいいや。それではオリカ紹介 地縛神、デッキ作ろうと思つたら、ダブルコストンが欲しくなつてきた。

『RF 地獄からの帰還者』

レベル4

光属性

攻撃力：1800

守備力：2000

鳥獣族：効果

このカードが表側守備表示で存在する場合、このカードを破壊し、このモンスターの元々の攻撃力ダメージを受ける。

自分のエンドフェイズ時このカードが墓地に存在する場合、デッキからカードを2枚墓地へ送り、このカードを特殊召喚する。

『旧世代の機械巨竜』

レベル8

地属性

攻撃力：3000

守備力：3000

機械族：効果

このカードが戦闘以外で破壊され、墓地へ送られた時に発動。自分のデッキから、旧と名のつくモンスターを特殊召喚する。

『旧サイバー・オーガ2』

レベル8

地属性

攻撃力：2600

守備力：2550

機械族：融合

旧サイバー・オーガ + 旧サイバー・オーガ

このカードが攻撃した場合、相手モンスターの攻撃力を500下げる。

『闇分離』

通常罠

自分フィールドに存在するダークシンクロモンスターを1体選択して発動する。

そのモンスターをエクストラデッキに戻し、デッキから、他のダークシンクロモンスターを1体、特殊召喚する。

『ドラグニティダーカ・クルスロード』

レベル11

闇属性

攻撃力：3700

守備力：2350

鳥獣族：効果

チューナー以外のモンスター1体 - ダークチューナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する「DT」<sup>ダークチュー  
ナ</sup>と名のついたチューナーのレベルを

それ以外の自分フィールド上に存在するモンスター1体のレベルから引き

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならない。

1ターンに一度、デッキから装備魔法を2枚、手札に加える。

このカードが相手フィールドに存在する守備表示モンスターと戦闘を行う場合、ダメージ計算を行わず、そのモンスターを破壊する。

ああ、もう当分自転車には乗りたくない。

永理「運動しろ！」

何故ロッコンの主人公が少ないのかが気になる俺は末期なのか？そして、こんな

視点・金田一 準

「俺の名は万丈田だ！」

『いきなり叫んでどうしたんですかあ～？』

「いや、なんでもない・・・。」

なんか電波が飛んで来た様な、気のせいかな？

・・・なあ、十代の性格が変わってるような気がするんだが・・・

氣のせいか？

いやな、前デュエルした時は無垢な少年の眼だったのにさあ、今じ  
や死んだ魚の様な眼なんだけど！？

「くくく、このデュエル、もはや俺達の勝利は確定したなあ？  
「ヒヤーッハツハツハア！少しば楽しませてくれよ？」

ああ、逃げたい帰りたい布団に入りたい引き籠りたい校長室でゲー  
ムやりたいデュエルする前からサレンダーしたいマジ助けて。

なんか栄ちゃんがやる氣出してるけど無理無理無理無理無理！…あいつ  
等とデュエルしたら地縛神の生贊にされたり、融合モンスター三枚  
にシンクロ2枚とか普通にありえそうだからね！これ絶対負けるつ  
て！イビルジョーを装備無し武器旧ユーグモで倒せつて言つてる様な  
もんだから！

せめて、チートカードをいお願いしますそこまでしなくちや勝てる  
氣がしません。

永理助けて！

何やつてんのオオオオオオオオ！何あれ、なんかの宗教団体？てか何故若本？

「三三かみんな面向いてる怖い怖い怖い怖い怖い！！何これお化け屋敷？オカルト嫌いなんだけど！？幽霊とかむちや怖いんだけど！？栄ちゃん？可愛いからK!!

『では、第11試合開始の時間だぜ！さあ、万丈目＆栄ちゃんチームに、十代＆神楽坂はデュエル場へ！』

イレイザーのテンションが怖い怖い。  
あ、永理がまた歌うのかな？・・・歌わなかつたorz結構好きだ  
ぞあの歌声。

「さあ、デュエルの時間だ。」

「ヒヤーッハッハッハッハアー！満足させてくれよ？」

か頑張ります!!

卷之三

「『デュエル!!』」「『ヒヤーッハッハッハッハア!!』」

笑つてるのは十代と神楽坂な。

「俺のターン！ドロー！」

まずは様子見。

『『地獄戦士』を召喚、攻撃表示！  
カードを2枚伏せ、ターンエンド！』

俺の伏せたカードは、落とし穴と万能地雷グレイモヤ。たとえ伏せカードが破壊されたとしても、地獄兵士の効果でダメージを与える！

それに、このカードはただの生贋だ。次のターンに、俺の手札の中で最強のカードを召喚してやる！

「ヒヤーハツハツハツハア！俺のターン！ドロー！  
『インフェルニティ・ガーディアン』を守備表示で召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

インフェルニティ・ガーディアンの効果は、手札がゼロの場合、破壊されないという恐ろしい効果。

恐らく、神楽坂の伏せたカードは全弾発射などの手札をゼロにするカードだろう。いや、もしかするとインフェルニティ・ガーディアンを守る様なカードである悲劇の引き金か、闇の幻影かもしない。いや、もしかするとブラフかもしれないし、そもそもインフェルニティ・ガーディアンは囮だつたり……いや、考え過ぎか。デュエルは楽しくやらなくては。

『私のターンですうー！ドロー！

魔法カード『愚かな埋葬』を発動ですうー！デッキから『ゾンビキャラリア』を墓地へ送りますうー！『ゾンビマスター』を召喚ですうー！カードを3枚伏せ、手札の『ネクロ・ガードナー』を墓地へ捨て、墓地の『ゾンビキャラリア』を特殊召喚しますうー！レベル4の『ゾンビマスター』に、レベル2の『ゾンビキャラリア』をチュー二ング！

獄の名を持つ龍よ、我が勝利のために甦るがいい！シンクロ召喚！  
これが、死の文字を与えし龍！『デスカイザー・ドラゴン』ですう  
う！

カードを2枚伏せ、ターンエンドですう～！』

ああ、栄ちゃんのテツキが永理並にガチ構築になってきた、恐ろしい子！

あつ元からなんですか？・・・マジですか？

「ヒヤーハハハハ！俺のターン！ドロー！』

『E・HEROカードルーラー』を守備表示で召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド！』

カードルーラー・・・たしか、墓地へ送られた時に墓地のカードを1枚、手札に加える効果だつたな。除外系カード少ないんだよな・・・。

ああ、早く手札に来い！

「俺のターン！ドロー！』

『地獄戦士』を生贊に『地獄詩人ヘルポエマー』を召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド！』

伏せカードが俺の場に2枚あるが、あえて2枚伏せる。大嵐とかは止めてよね！

ちなみに、新たに伏せたカードがカードブロックと強欲な瓶。ヘルポリマー？除去されます。

「どうしたどうした、俺のターン！ドロー！』

ヒヤーッハッハッハッハア！！『インフェルニティ・ビートル』を召喚！更に魔法カード『拒絶の魔術書』を発動！

手札のモンスターをすべて、墓地へ送る効果だ！更に魔法カード『罪なき住人の魂』を発動！手札のカードを1枚捨て、デッキからカードを3枚墓地へ送る。

これで俺様の手札は1、カードを伏せるぜ！そして『インフェルニティ・ビートル』の効果！このカードを生贊に、デッキから『インフェルニティ・ビートル』を2体特殊召喚！

レベル4の『インフェルニティ・ガーディアン』に、レベル2の『インフェルニティ・ビートル』をチューニング！

呪われし鎖に封印された龍よ、今こそ我が場へ舞い降り、奴の未来を破滅させよ！シンクロ召喚！『C・ドラゴン』！…

無駄にカツコいいシンクロ口上だなおい！アニメでの活躍がまるで嘘のようだ！

効果も微妙だし・・・次元で使われたら終わりだけどね！

「まだまだ行くぜ、レベル6の『C・ドラゴン』に、レベル2の『インフェルニティ・ビートル』をチューニング！  
シンクロ召喚！いですよ、『インフェルニティ・デス・ドラゴン』！」

はつきり言おう、気持ち悪い！

だって脳みそ丸出しなんだぜ？まだモリンフロンの方がカツコいいわ！

「『インフェルニティ・デス・ドラゴン』で『地獄詩人ヘルボエマ』を攻撃！デス・ファイア・ブласт！」

「残念だつたな、罠カード発動！『万能地雷グレイモヤ』－このカードの効果で『インフェルニティ・デス・ドラゴン』を破壊だ！」  
「甘いんだよ、テメエはなあ！『E・HERO』カードルーラー』の効果だ！このカードを生贊にし、罠の発動を無効にする！」

正直、ドロー効果しか知らなかつた。なるほど、道理で永理のおスメカードなわけか。

「ダメージステップ時に『ガード・ブロック』発動！ 戦闘ダメージを〇にし、『デッキからカードを一枚ドロー！』

引いたカードはおジャマジックか、手札には天使の施しがあるが、融合が来ないのがなあ。

てかこのデッキ事故率高すぎだろよく考えたら。？W?YZとおジャマと地獄デッキの混合つてどうなのさ！  
しかもVWXYNにいたつてはVW タイガー・カタパルトしか出せないよ！

「ひやはははは、ターンエンド！」

神楽坂が怖いです、助けてください。

『私のターンですう～！ ドロー！

バトルですう～！ 『デスカイザー・ドラゴン』で、十代さんに直接攻撃！ デスアンデット・ヘルブレス！』

「ぐ、どうした、もつと来いよ。この程度で終わりか？」

『もちろん、これで終わりでは無いですう～！ 私は永続魔法『エクトップラズマー』を発動ですう～！ 『ゴブリンゾンビ』を召喚して、エンドフェイズ時に『デスカイザー・ドラゴン』を生贊に、十代さんに1200のダメージですう～！  
私はこれで、ターンエンドですう～！』

栄ちゃん、恐ろしい子！

ぬ、なんだ？ 永理が猫を連れてきてもふもふしてる。・・・和むなあなんか。全く関係無かいけど。

「俺のターンか、ドロー！」

『地獄兵士』を召喚！更に魔法カード『地碎き』を発動！『インフェルニティ・デス・ドラゴン』を破壊！

「ヒヤーッハッハッハッハア、甘えよテメエはなあ！カウンター罷

『インフェルニティ・バリア』発動！

このカードは、自分フィールド上にインフェルニティと名のついたモンスターが表側攻撃表示で存在し、自分の手札が0枚の場合に発動する事ができるカード、相手が発動した効果モンスターの効果・魔法・罷カードの発動を無効にし破壊するぜ！』

ガチカードキター！もうこれ積んだな俺。

栄ちゃん、後は任せたぜ？

『『地獄戦士』を生贊にし、600のダメージを神楽坂に与える、ターンエンド！』

なんか、神楽坂なら逆転しそうな気がする。

長年の勘つて奴か？

「イツツ・ショータイム！ドロー！』

・・・く、くくくくくくく、ひやはやはやはやは！俺様の勝ちだな！永続魔法『インフェルニティ・ガン』発動！

そして『インフェルニティ・ガン』を墓地へ送り、墓地の『インフェルニティ・デーモン』と『インフェルニティ・ネクロマンサー』を特殊召喚！

そして『インフェルニティ・デーモン』の効果で、デッキから『インフェルニティ・ガン』を手札に加えるぜ！そして永続魔法『インフェルニティ・ガン』を発動！

これヤバクネ？

まさかのトリシユ 3連打来るか！？

「『インフェルニティ・ビートル』の効果で、墓地の『インフェルニティ・ビートル』を特殊召喚！

レベル3の『インフェルニティ・ネクロマンサー』と、レベル4の『インフェルニティ・デーモン』に、レベル2の『インフェルニティ・ビートル』をチューニング！

闇と氷が交わりしどき、混沌世界の始まりだ！ヒヤーッハッハッハッハ！これこそが3つの绝望！『氷結界の龍トリシユーラ』！

そしてトリシユーラの効果で、場の『ゴブリンクンゾンビ』墓地の『ゾンビキャリア』そして栄ちゃんの手札を除外！

ああ、優勝はできないなこれ。

だつてこの状況で勝てるって方がおかしいでしょ！いや、このカードを使えばかて・・・ないなうん。

どうせ墓地にデーモン2体以上居るんだろ！？分かつてるとんな事はよお！

「もう一度だ！永続魔法『インフェルニティ・ガン』発動！

そして『インフェルニティ・ガン』を墓地へ送り、墓地の『インフェルニティ・デーモン』と『インフェルニティ・ネクロマンサー』を特殊召喚！

そして『インフェルニティ・デーモン』の効果で、デッキから『インフェルニティ・ガン』を手札に加えるぜ！そして永続魔法『インフェルニティ・ガン』を発動！

『インフェルニティ・ネクロマンサー』の効果で、墓地の『インフェルニティ・ビートル』を特殊召喚！

レベル3の『インフェルニティ・ネクロマンサー』と、レベル4の『インフェルニティ・デーモン』に、レベル2の『インフェルニティ

イ・ビートル』をチューーング！

闇と氷が交わりしそき、この世界の混沌の始まりだ！ヒヤーッハッハッハッハッハッハ！これこそが3つの絶望！『氷結界の龍トリシユーラ』！トリシユーラの効果で、貴様の伏せカードに、墓地の『地獄詩人ヘルボエマー』そして貴様の手札を除外するぜ！』

奈落を使えば勝てるかもしない、どつかの人が男は度胸だつて言つてたし。

「罠カード『奈落の落とし穴』発動！トリシユーラを除外！」

「甘いんだよお！罠カード『盗賊の七つ道具』発動！」

神楽坂の頭が教師よりいい件。

なんでこいつイエロー生徒なの！？

「ひやーははは、ラストだ！『インフェルニティ・ガン』を墓地へ送り、墓地の『インフェルニティ・デーモン』と『インフェルニティ・ネクロマンサー』を特殊召喚！

『インフェルニティ・デーモン』の効果で、デッキから『インフェルニティ・バリア』を手札に加える！

カードを伏せ『インフェルニティ・ネクロマンサー』の効果で、墓地の『インフェルニティ・ビースト』を特殊召喚！

レベル3の『インフェルニティ・ネクロマンサー』と、レベル4の『インフェルニティ・デーモン』にレベル2の『インフェルニティ・ビートル』をチューーング！

闇と氷が交わりしそき、この世界の混沌の始まりだ！ヒヤーッハッハッハッハッハ！これこそが3つの絶望！『氷結界の龍トリシユーラ』！トリシユーラの効果で、栄ちゃんの『エクトプラズマー』に、貴様の墓地の『地獄戦士』を除外し、貴様の手札も除外だ！』

お兄さん、デュエル界でトップを目指すの諦めようかと思います。

「ヒヤーハハハハ！ トリシユーラ（一）で万丈目に直接攻撃！ ヘル・ストリーム！」

「ちょ、てめ自重しろおおおおお…！」

「もいつちょー！ トリシユーラ（二）で万丈目に直接攻撃！ ヘル・ストリーム！」

「ぐおおおおおお… 少しば手加減つてもんをなあ…」

「ラストだあ トリシユーラ（三）で万丈目に直接攻撃！ ヘル・ストリーム！」

「俺のライフはゼロだああああああ…」

じ、地獄だつたぜ。なんだあのループ状態は？

栄ちゃん、頑張つてくれよマジで！

「俺はターンヒンドだ！」

『わ、私のターン！ ドローニ…』

なんのカードを引いた！？ まさか聖バリカ？

『はうづ、モンスターを伏せて、カードをセットですうー ターンヒンドですうー。』

栄ちゃんはよく頑張った、だからもうサレンダーしてくれ！

「仲間の為に頑張るってか？ 泣かせる話じゃねえかよ。ひやははははは、俺のターン！ ドロー！

魔法カード『サイクロン』発動だあ！ その伏せカードを破壊するぜ

？

破壊されたカードはやつぱり聖バリ、となるとあの伏せたモンスターが気になるな。

つてか神楽坂完璧に悪役じゃねえか！

「トリシユーラ（一）」で、伏せモンスターを攻撃！ヘル・ストリー  
ム！」

あのモンスターは、闇の仮面か。栄ちゃんの作戦では、聖バリ発動でトリシユ破壊、闇の仮面で手札に「ノンボだつたんだろつけど・・・。

「次だ、トリシユーラ（2）で直接攻撃！ヘル・ストリーム！トリシユーラ（3）で直接攻撃！ヘル・ストリーム！」

・。ああ、終わっちゃつたか。俺がもつと強ければ勝てただろうが・。

『勝者、十代選手と神楽坂選手！皆さん、彼らに大きな拍手を！そして、最後まで諦めなかつた栄ちゃんに感動の拍手を！』

次は、クロノス教授の番か・・・。相手はあの羽蛾と竜崎だ、頑張つてくださいよクロノス教授。

## 視点：カイザー

・・・俺が永理と猫をモフモフしていたら、いつの間にかデュエル大会第12回戦になつていて。万丈目？見てないよそんなの。だつて猫可愛いんだもん！

勿論、犬も好きだぞ。サイバー流道場の床下に柴犬が居てな、たまに遊んだり、餌あげたりしてたんだ。・・・目の上に乗られた事もあつたけど・・・。

しかし、羽蛾と竜崎が相手か、クロノス先生が勝てる確率は83%つてここだな。

『なあ、あの子ぱり巨乳じやね？ちょっとナンパしてくるわ。』

『綿飴・・・もふもふ・・・。』

『少しば自重してくださいツインせん。』

上からツイン、キメラティック・オーバー・ドラゴン、エンドだぬ？なんでオーバーだけがフルネームかつて？キメラティックだけなら、フォートレスを連想させてしまうだろ？

「「「「デュエル！」」」

やつと始まつたか。あつ、たこ焼き買ってくるかな？美熟女をナンパするついでに。

『たこ焼きならあるぞ？おつ、1ターン目から『インセクト女王』出したぞあいつ。』

『おお、一般レベルなら凄い方・・・、でも、私の方が強い・・・。』

『何無い胸張つて威張つてんだ？』

『・・・レボリューション・レザルト・バースト・・・。』

『甘い！丸藤亮ガード！』

「へ？ うわあああああああーー！」

なんで俺がこんな目に遭わなきゃならないんだ？ 俺が何をしたってんだ！

『リストバンドですね。』

・・・そうでした。

まあいいや。さて、クロノス先生がダークシンクロでダーク・フラット・トップを召喚し、トレード・インの効果で墓地へ捨てた古代の機械巨人を特殊召喚していた。

・・・今の俺のデッキなら、あんなのただの装備魔法だけだな！！

『あつ、『暗黒ドリケラトップス』召喚しましたよ。しかも『一族の結束』の効果で、攻撃力が800もアップして、驚異の3200ですよ。』

『『超伝導恐獣』でおー！』

台無しになるような事を言ひなよジインョ・・・。

あー、あの龍崎って野郎、伏せカードの存在を完璧に忘れてやがるな。

で、案の定伏せカードはリミッター解除でした。やっぱ機械族デッキには居るよね。何故か遊戯のデッキにも入ってるけど。

「ぐ、まだだ、まだ残機が無くなつた訳じゃない！」

永理何やってんのー？

「あー、またオワタ・・・、コンテニューもつ出来ない・・・。」

東方かい！

つて永理に気を取られている隙に、クロノス教授の場に古代の機械究極巨人が出ていた、攻撃力8800で。

羽蛾のライフが一気に削られ、0になった。  
さすが古代の機械デッキ！ゲスイ！

『おお、『サイバー・ジラフ』召喚して……ダメージ……ゼロにしたみたい……。』

『凄いなあのおっさん。人は見かけによらないって事か。』

竜崎は、サレンダーしたらしい。ま、あの状況で勝てるなんて、俺か神楽坂、後十代に永理ぐらいだからな。  
さて、次はレイとのデュエルか……永理が強化しまくったらしいからなあのデッキ。

正直、俺も勝てるかどうかは分からぬし……。  
タッグパートナーがこいつだし……。

「ふつふつふ、俺はこう見えてもプロの世界では負け知らずなんだぜ？」

「の割には、俺の姉勝てないみたいだけどな。」

「永理」、あーんしてあーん

「ぶつ……！」

え、永理の鼻から凄い鼻血が……これ軽く死ぬぞ？

「りよ、亮……。」

「永理、すぐに保健室へ行け！」

「俺、生まれ変わったら鳥になつて、女子の風呂場を思う存分覗きた……い……。」

気絶したみたいだな。こいつガチのロリコンではないか！  
はあ、鼻血で俺の制服が汚れてしまつた。・・・クリーニング代べ  
らい貰つてもいいよな。

ちなみに、永理はツインが保健室へ連れて行きました。

『何故俺が野郎をおんぶしなければならぬのだ。どうせなら女子高生がよかつた・・・。』  
『いいから運んでください！なんですか、私は採用率低いからどうせ馬鹿にしてるんでしょ！？映画に出てなかつた癖にー。』  
『・・・最強のドラゴンは・・・私・・・なのだけれど映画に・・・。』

お前ら落ち着け！

何故ロツコーンの主人公が少ないのかが気になる俺は末期なのか?そして、こんな

神楽坂強化しそぎた。

永理「つうかあれもう別物だろーびっくりしたわ、トリシユ三打とか・・・。」

ふつふつふ、金が有つたらやつてみたいね!

永理「そうか、とにかく、なんで今回もこんなに遅かつたんだ更新。」

いやね、アイデアは思いつくんだけビ、アニメやらゲームやら漫画やらデュエルやらで忙しくて。

永理「勉強は?」

・・・まあ、雑談はこれくらいにして、オリカ紹介!

『E・HEROのカードルーラー』

レベル3

地属性

攻撃力:1300

守備力:1340

戦士族:効果

このカードがフィールド場から墓地へ送られた時、デッキからカードを1枚ドローする。このカードを生贊に捧げる事で、相手が発動した罠カードの効果を無効にできる。このカードは、シンクロ素材に使用する事はできない。

『拒絶の書』  
通常魔法

自分の手札のモンスターをすべて、墓地へ送る。

『罪なき住人の魂』  
通常魔法

手札を1枚捨て、デッキからカードを3枚、墓地へ送る。

永理「結構なチートカードだな。

さてと、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うぜ。

あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてくれ。ただ、作者の文才や気分でキャラが崩壊したりするぜ。

あと、使用デッキも出来れば書いてくれ。ただ、性格などと同じように戻りなどがあったりするかもしれないからな。。。で、もしデッキや性格、見た目などは書いてなかつた場合、作者が勝手に決めたりする。ただ、書いてたとしても戻りとかもあり得るからな。」

「ペペをちょっと改行するのって楽でいいよね。

永理「それを言つな！」

男の子の殆どはショタコンかロココンに分かれる等。むりむり、おじさん

視点：吹雪

ついに準決勝か、長かつたな・・・。

レイちゃんにこき使われたり、アバターをアレしたり、永理くんの鼻血で服が汚れたり・・・あつ、それは亮だつたか！

「えへり、お腹空いたお腹空いた～！」

「我が・・・生涯・・・に一片・・・の悔い・・・無し、ブハアツ  
！！」

永理の鼻から、まるで間欠泉の如く鼻血があふれ出る。あつ、服に付いた・・・。結構高いんだぞブルーの制服は！  
特に僕のはなんかキラキラする粉が入ってんだぞ！3000円ぐら  
いしたんだぞ！

「これと、これだ！・・・あれ？」

「次は私の番ですね、これとこれです。」

「ちょ、てめインチキだろwww」

「ふふふ、イリュージョンですよマリクちゃん（キリッ）

何神経衰弱やつてんの！？つか何普通に打ち解けてんの！？あんた凄いな！

あれ、レイちゃん何やってんだろう？まさか、えんご「言わせるか！？」アブラカタブラツ！

「永理さん、新しいデッキ作ってくれる？最近、デッキデッキ

に飽きてきたんだよね～、TF。「

「うん、いいよ。」

「永理、まずは鼻血を止める。レイちゃんの PSP が壊れてしまつぞ！」

永理工・・・。

もう永理は終わってるよね、主人公的な意味で。

『・・・そりそり始めてもようじいかな？さあ、準決勝の始まりだー。』

「まさに、DEATH GAME！」

マリクさんノリノリだあ、何故に？  
いやまあいいけどさ、でも・・・ねえ・・・。

(PSPに隠しカメラ付けてレイちゃんの着替えを・・・いや駄目だ！それでは人として最低だ！・・・いや、だけど・・・エロゲで我慢しどくか！)

何考えてんのこの人、すげ怖い！なんかオーラが怖い！何この黒  
いオーラは！  
いや、もうこいや。

『あの・・・そろそろは～「永理永理～、なんかゲームがバグった  
んだけど！？」・・・泣いていい？』

永理の鼻から、絶え間なく鼻血が出てるんだけど・・・大丈夫なの  
かな？

あっ、倒れた。ああ、運ばれていくさまがどこかドナドナを思い出  
すな～・・・。

『あの、そろそろ「まだ始まんね」のかア？』・・・何?何か悪い』とした?』

神楽坂くん、君のせいであーっと・・・イレイザーベンが泣きそつだよ!別にいいけど。

あと永理くん、そのトウモロコシ何処から持つてきた!?

「ふつふつふ、俺の家の裏庭に大量に実ってるのを!..」

『ああ、俺がつまみとして大切に育ててきたトウモロコシがーゆるさん、ゆるさんぞ!』

「ふつふつふ、お前のものは俺のもの、俺のものは幼女のものを!..』

『あの、そろそろ大会を・・・もつこいや。』

ドレッヂのだつたんだ。・・・似合わないねどう考えても。あとイレイザー、諦めちや駄目だよ!努力は必ず答えてくれるんだから!

「吹雪、俺団地妻をナンパしようと努力したことあつたが、全く答えてはくれなかつたぞ。どうこう事だ!』

「知らぬーよ!たぶん、信じる者は救われる的な事だろ!』

「吹雪、信じる者が救われるのは足元だけといつ事を覚えておけ!..』

「少しば先輩を敬え!』

「――だつてお前弱いじやん。』』

「ハモるんじやねえよ!..』

永理くん、僕に何か恨みでもあるの?お兄ちゃん泣いりやうが!いや、本当には泣かないけど。

『もういい加減に始めるぞ!準決勝開始!』

ああ、もうなんかアレだ。本当にアレだなこの状況！  
そもそも何？邪神つてこんななの？全部こんななの？

「レイちゃん、頑張るうね。」

「ほんと僕がやつてんだけだよね。」

「・・・僕、威儀とかが無いのかなあ・・・。」

「ふーはははは、高ぶる、高ぶるぞ・・・！久々に戦うなあ吹雪い  
！..！」

「・・・少しは自重してくれ。つか何？此処チートデッキ使いの  
たまり場？」

・・・少なくとも僕は違うよ。たぶん・・・。  
てか亮、何社長の真似してるの？凄いプレッシャーなんだべ！凄  
エ逃げ出したいんだけど！

「「「「「テュエル！」」「「

まずは亮のターンか・・・、なんか嫌な予感しかしない。

つうか、事故ってる、事故ってるよこの手札。あれか？やっぱ今日  
は運が無いのか？アンラッキー、データなのか？

「俺のターン！ドロー！

速攻魔法『手札断札』発動！互いに手札を4枚墓地へ送り、その枚  
数分ドロー！

よっしゃあ！今日なんか運いい！いつもよりいい！

ここまで勝てたのも、僕の『僕と組めたことに感謝しどけ。』「・  
・・ハイスマセン。」

凄い惨めな気分です。

結構当たるねあの占い。だつて今アンラッキーだもん。

永理くんが羨ましそうな目で見てるけどなんで?ドMなの?

「『旧サイバー・ヴァリー』を攻撃表示で召喚し、カードを3枚セツト! ターンエンド!」

なんかカラクリみたいなのが出てきたんだけど・・・種族植物だし・・・。

「これからはHPCの時代だ!」

「木材つていいよね!」

亮、心を読まないでくれ。凄く怖いんだ。

あと永理くん、木材好きなの?あれ、でも永理くん前自然破壊が好きとか言つてなかつた? 気のせい?

「僕のターン! ドロー!

『時械神ミチオン』を攻撃表示で召喚! カードを2枚伏せ、ターンエンド!

あの伏せカードは、恐らくソロモンの律法書かな? だつたらもう一つは激流葬かな? あんまやつて欲しくないけど・・・。

「私のターン! ドロー!

『ドラグニティダーク・カタストロフ』を攻撃表示で召喚! 『ドラグニティダーク・カタストロフ』の効果により、デッキから『DTダークネス・ドラゴン』を特殊召喚!

レベル3の『ドラグニティダーク・カタストロフ』に、レベル8の

『DTダークネス・ドラゴン』をダークチューニング!

破壊の風よ! 我が龍に闇の力を! ダークシンクロ! 飛翔せよ! 『ド

ラグニティダーク・ブルラスト』！カードを2枚伏せ、ターンエン  
ド！」

相変わらず展開力が凄いね、BF以上だよ。

攻撃力3100で戦闘では破壊されない効果か、結構厄介だね。

・・・レイちゃんには関係ない話だけどね・・・。

「僕のターン！ドロー！

『センジュー・ゴッド』を召喚！『センジュー・ゴッド』の効果で、デ  
ッキから『黒竜の聖騎士』を手札に加えるよ！

儀式魔法『黒竜降臨』を発動！フィールドに存在する『センジュー・  
ゴッド』を生贊に、手札から『黒竜の聖騎士』を儀式召喚！

『黒竜の聖騎士』の効果発動！このカードを生贊に、デッキから『  
真紅眼の黒竜』を特殊召喚！更に『真紅眼の黒竜』を生贊に『真紅  
眼の闇竜』を特殊召喚！

更に魔法カード『苦渋の選択』を発動！僕が選択するのは『真紅眼  
の飛龍』『片翼の飛龍』『ゼロ・ドラゴン』『真紅眼の皇帝竜』『  
ハウンド・ドラゴン』を選択するよ！

ああ、高等儀式術がなぜか来ない。入ってるはずなんだけどなあ・・・  
ま、いいや。別にそこまで困らないし。

・・・永理くん、その美味しそうな匂いのするじゃがバターを食べ  
るのは止めてくれ！お腹が空いて、デュエルに集中できないよ！

「なら・・・『ゼロ・ドラゴン』を選択しよう。」  
「では、残りはすべて捨てるよ。カードを3枚伏せ、ターンエンド  
！」

僕の伏せたカードは、針孔の巣窟に呪い移し、そして攻撃誘導ア-

マーの3枚だ。これでもし、相手が攻撃してきたとしてもレイちゃんの時機神に攻撃を誘導させれるし、いざとなつたら針孔の巣窟でデッキからカードを墓地へ送ればいい。相手が罠を発動させたとしても呪い移して、相手に罠の効果を移せばいい。

たしか、亮のデッキにはスキル・サクセサーがあつたはず。この『ユエル、僕の勝ちだ！

「俺のターン！ドロー！

『旧サイバー・ヴァリー』の効果発動！このカードをゲームから除外し、デッキからカードを2枚ドロー！

そして、デッキからカードを7枚墓地へ送る。（よし、『トラップ・リアクター・RR』が落ちた。）罠カード『リミット・リバース』を発動！墓地の『トラップ・リアクター・RR』を特殊召喚！そして魔法カード『思い出のブランコ』を発動！墓地の『旧サイバー・ドラゴン』を特殊召喚！『旧サイバー・ドラゴン』を生贊に『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』を召喚！

うわあ、いきなり出てきた。これヤバクネ？

だってさ、攻撃力5100の真紅眼の闇竜が奪われてアボーンだよ！なにこのチート野郎！

「罠発動『激流葬』！」

ああ、僕の真紅眼が流されてい……かないね。

「くつくつく、『盗賊の七つ道具』を発動したのさー！」

うわあ、これ僕死んだんじやね？

いや、まだ大丈夫だよね！たぶん……。

「『最終鬼畜兵器サイバー・エンド・ドラゴン』の効果発動！吹雪

の『真紅眼の闇竜』を装備！』

ヤバいなこれ、マジヤバいなこれ。  
明日香、僕を慰めてくれ。

「罠カードオープン！『天罰』！」

あはははは・・・は・・・た、助かった。

亮のデッキマジで心臓に悪いなあ、軽く現実逃避してたよ。

「（俺の手札に蘇生系カードは無い。少し不味いか？）カードを一枚伏せ、ターンエンド！」

永理くん、あとで猫触らせてね。畜生モフモフしたいなおい！

「（猫欲しいなあ・・・。）僕のターン！ドロー！』

スタンバイフェイズ時に『時械神ミチオン』の効果発動！このカードは、デッキに戻る！

『時械神カミオン』を召喚！そしてバトル！『時械神カミオン』で『ドラグニティダーク・ブルラスト』を攻撃！』

時械神の特徴は、スタンバイフェイズにデッキに戻る効果と平均攻撃力が0である事。

そして、効果が鬼畜な事だよね。永理くんは本当に色々なカードを持つてるよね。なんでだろう？

「だが、『ドラグニティダーク・ブルラスト』の方が攻撃力は上だぞ！」

「モンスターを攻撃力だけで決めるのはどうかと思うよ。『時械神ミチオン』の効果発動！相手モンスターを全てデッキに戻し、その

枚数分×500のダメージを与える!』

えーっと、相手フィールドにモンスターは・・・3枚、つまり15  
〇〇のダメージだね。

うん、これ僕いらぬよね常識的に考えて。

「カーテンを2枚伏せ、ダーン用のエレベーター

相手方は大変だなあ。・・・僕、凄く帰りたくなつてしまふんだけ  
どどうしてかな?凄く居ずらいんだけど・・・。  
だってみんなキチガイじみてる攻撃力をポンポン出してくるんだよ  
!/?こんなに勝てるわけないよ!

「私のターン！ドロー！」

『ドラゴンフラス』を守備表示で召喚！『ドラゴンフラス』の効果で、デッキから『ドラグニティダーク・フラス』を守備表示で特殊召喚！『ドラゴンフラス』の効果で特殊召喚したモンスターはドラグニティダークと名のついたモンスターの効果で特殊召喚した扱いとする！そして『ドラグニティダーク・フラス』の効果により、デッキから『ドラグニティダーク・カルラットエイジ』を特殊召喚！『ドラグニティダーク・カルラットエイジ』が召喚に成功した時、デッキからドラグニティダークと名のつくカードを1枚墓地へ送る事ができる！私はデッキから『ドラグニティダーク・カスタラットベイト』を墓地へ送る！

あのカードは眠? どうしてそれを墓地に、分からぬいなあ . . . 。  
つうか、カード名長いな! よく噛まずに言えるな! 僕じゃ息が続かないよ!

「ウワーオ、これは不味いかもなあ。吹雪頑張れ～。・・・うひ、歯茎にトウモロコシのアレが挟まって・・・なんかイヤつべ～！」

永理くん！？不味いつて何！？凄く気になるんだけど～！あと、トウモロコシ食べてたらたまにそうなるよね。なんとなく分かるよ。

「くくく、墓地の『ドラグニティダーク・カスタラットベイト』の効果発動！墓地に存在するこのカードを除外し、自分のフィールドに存在するドラグニティダークと名のついたモンスターを破壊する！そしてデッキからドラグニティダークと名のついたレベル±2のモンスターを特殊召喚する事ができる！

私は『ドラグニティダーク・カルラットエイジ』を破壊し、デッキからレベル6の『ドラグニティダーク・カスタルロットベルトイ』を特殊召喚！『ドラグニティダーク・カスタルロットベルトイ』の効果発動！手札を全て捨てる事で、このカードは直接攻撃ができる！

おいおい、マジかよ。攻撃力が2600もあつてで、直接攻撃可能なモンスターって・・・。絶対に永理くんがあげた奴だろ！

「違うな、正しくは売つただ！」変わんないよ！

「『ドラグニティダーク・カスタルロットベルトイ』で、レイちゃんに攻撃！」

技名無いんかい！いや、どうでもいいけど。

つて忘れてた、眼鏡・・・これだこれだ。完璧に忘れてたよ。

「罠カード『攻撃誘導アーマー』発動！攻撃対象を『真紅眼の闇竜』に変更～！」

これで攻撃は闇竜へ誘導され、そして罠カード針孔の巣窟を発動し、一気にダメージを『えられる……一番厄介なのは亮なんだけどね。

「罠カード『盗賊の七つ道具』を発動！そのカードの効果を無効にする！」

「甘いよ！カウンター罠『魔宮の覇略』を発動！そのカードの効果を無効にするよ！そのかわり、ドローさせちゃうのが玉に瑕なんだけどね。」

「なつ、といつ事は……。」

ふう、何とか凌いだね。冷や汗かきまくじだよ！

あ、針孔の巣窟発動できない。○ rn  
オーバーキルしたいお年ごろなんだよ！  
まあ、何とか勝てたからいいけどね。でも、永理くんや瑠璃さんみ  
たいにオーバーキルしたいんだよ！

「僕のターンードロー！」

罠カード『針孔の巣窟』を発動！デッキから、カードを5枚墓地へ  
送るよ！」

引いたカードはレモンスターで、落ちたカードが聖バリ、幽闇、奈落、血族、結束なんだけど……僕何か悪い事した？

永理くんが使つたらネクロとか普通に落ちるんだけどね、積み込み  
だよねアレ！

「『デビル・ドラゴン』を召喚！そして『デビル・ドラゴン』を除  
外し『レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン』を特殊召喚！バ  
トル！『レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン』で亮に直接攻

撃！『真紅眼の闇竜』で亮に直接攻撃！ダークネス・ギガ・フレイム！

な、何とか勝てた。これで夢でした！なんてオチは絶対に嫌だね。さあ、亮にも勝てたし、猫を愛でようかな？いや、愛でよう！

「永理さん、トウモロコシ頂戴。僕お腹空いたよ～。」

「ブファアア！」

「永理！？おい、大丈夫か！？」

「だ、大丈夫じゃないけど・・・問題ない。」

ああ、永理くんが血だらけになつてるよ。鼻血で。  
ま、いつか。猫可愛いよ猫。

『ツン！？ゲホゲホッ！・・・はあ・・・はあ・・・。し、勝者、レイちゃんと吹雪。彼らに拍手を・・・ちよ、だれか水持つてきて。』

『

イレイザーくん大丈夫かな？つづか何で焼きそば食べてるので普通たこ焼きとかだよね？

いや、別にいいけどね。でもなんかなあ・・・。

「貴様のせいで負けたんだぞ。」

「んなわけねーだろ！私だつて頑張ったわ！」

・・・触らぬ神に祟り無し、アレは無視しこいつ。

男の子の殆どはショタコンかロリコンに分かれる筈。むつかも?よし、おじさん

ふう、鬼柳さん攻略への道はアレだな。

永理「アレって何!? つうかなんで今回更新が遅くなつたんだ? テスト勉強とかなら分かるが……。」

二口二口、TF6、カラムーチョ買いに行つたり、ネタが思いつかなかつたりでだ。テスト勉強など知るか!!

永理「てめつ、勉強しろよ!」

吾輩の辞書に、勉強の文字は無いッ!!

永理「テメエは本当に駄目だ。」

ま、置いといて……と、オリカ紹介!

『旧サイバー・ヴァリー』

レベル1

地属性

攻撃力:0

守備力:0

植物族:効果

次の効果から一つを選択して発動する事ができる。このカードが相手モンスターの攻撃対象になつた時、このカードをゲームから除外する事で自分はデッキからカードを2枚ドローし、デッキからカードを7枚墓地へ送る。そのバトルフェイズを終了する。このカードと自分フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体を選

択し墓地へ送る。自分の「デッキからカードを3枚ドローする。」このカードと自分の手札1枚を選択してゲームから除外する。自分の墓地のカード1枚を手札に加える。

『ドラゴンフラス』

レベル4

地属性

攻撃力：1200

守備力：1700

ドラゴン族：効果

このカードが召喚・反転召喚に成功した時、「デッキからドラグニティダークと名のつくモンスターを1体、特殊召喚できる。自分のデッキから「剣闘獣」と名のついたモンスター1体を特殊召喚する。このカードの効果で特殊召喚したモンスターはドラグニティダークと名のついたモンスターの効果で特殊召喚した扱いとなる。

『ドラグニティダーク・カルラットエイジ』

レベル4

闇属性

攻撃力：1200

守備力：1700

このカードが召喚に成功した時、「デッキからドラグニティダークと名のつくカードを1枚墓地へ送る事ができる。このカードが戦闘を行う場合、相手は罷カードを発動することはできない。

『ドラグニティダーク・カスタラットベイト』

通常罷

自分フィールドに「ドラグニティダーク」と名のついたモンスターが表示されている存在し、相手モンスターの攻撃宣言時に発動する事ができる。

る。

相手モンスターを1体破壊し、そのモンスターの攻撃力の半分のダメージを相手に与える。

また、墓地に存在するこのカードをゲームから除外し、自分フィールドに存在するドラグニティダーカと名のついたモンスターを1体破壊して発動できる。

この効果で破壊したモンスターのレベル±2のモンスターを1体、特殊召喚する。

『ドラグニティダーカ・カスタルロットベルトイ』

レベル6

闇属性

攻撃力：2600

守備力：1200

手札を全て捨てる事で、このカードは直接攻撃できる。

ふう、俺頑張ったゾ

永理「その が凄くウザいんですけど・・・?」

気にするな さあ、走つて行こうじゃないか。ロココンの星へ向かつて!

永理「貴様一人で走つとけ!」

残虐な表現アリつて入れた方がいいかな？

永理「別に良いんじゃね？鼻血だし。」

なんか書き始めてから後悔する事があつたししない?だって他の話が思いついた

視点・十代

前回の神楽坂は怖かつたとです。遊城 十代です。

ついにやつてまいりました準決勝、はてさて、勝つのほどちらか?

・・・俺、ナレーショնとしての素質有るんじやね?割かしマジで。

「あひ、永理。トウモロコシくれ。腹減った。」

「・・・ちょい待て、あともう少しで焼きあがる。・・・よし。」

おお、凄え美味しい!この焦げた醤油が程よく香ばしく、トウモロコシの甘みを引き立てている!

・・・さつきから気になつてたんだが、神楽坂が食べてるのってなんだ?なんかキャベツみたいのが見えるんだが・・・。

「ああ、アレはキャベツ焼きといつ食べ物だ。意外と美味しいぞ。」

「じゃあ、それも一つ。」

「あいよ。・・・カミューーラ、キャベツ焼き一つ!」

「あいよー。」

カミューーラつて、吸血鬼だつたよな?吸血鬼の面影が全く見えないんだが・・・。

あとこの部屋、なんか動物多いよな・・・。いや多いなこれ!猫とか犬とかが凄く!

・・・そういうや、前に神楽坂がれつつ度量付近でイグアナを見たつて言つてたよな・・・。  
・・・氣のせいか。うん、そうだよねたぶん。

『えへ、では準決勝を始めようかと思いますが・・・おい、ソース多めつて言つたよな？てめなんでソーススマヨネーズ半々なんだよ！』

「黙れよ。」

『明日香様すいません調子こじてました許してください。』

もうそんな時間か、楽しいときが過ぎるのは早いな。  
あ、喉乾いた。

「レイ、なんか飲み物あるか？」

「あへ、これがありますけど・・・。」

・・・これなんて読むんだ？吐露非狩古鬱？

「なあレイ、これ、なんて読むんだ？」

「永理さんが言つには、トロピカルフルーツらしいですよ。」

絶対に読めないよ！そやは読めないよ！誰が読んでも分かんないよ！  
いや、別にいいけどね。いいけどさ・・・。

そういうえば、クロノス先生とのデュエルは久しぶりだなあ。たしか、入学試験以来だつけ？楽しみだな。

「ヒヤツハー！十代、今度の相手は俺を満足させもらひえるか？」

「・・・トリシュー×3の前には無力だと思つ。」

「なんだ、だらしねえ！」

うーん、逆にそれで勝つ方が凄いと思うんだけど・・・。つうかア

レだよね、満足デッキにダークシンクロって相性悪いよね。  
まあ、上手く使えば鬼強になるけど・・・。

『よし、ではデュエル開始イ！』

「――デュエル――」「ヒヤーッハツハツハツハア――」

さつきから俺の足元に猫がすり寄つてくるだが、いや可愛いからいいけど。

あと、なんか永理の肩にカメレオンみたいのが見えるんだが、なんだあれ？

「私のターン！ドローによ！」

カードを2枚伏せ、手札から魔法カード『大嵐』を発動！フィールドの魔法・罠を全て破壊します！

あ、先行盗られた。いや、別にいいけど。

「そして破壊された『黄金の邪神像』の効果により、私の場に『邪神トーケン』を2体特殊召喚します！

そして2体の『邪神トーケン』を生贊に『古代の機械巨人』を召喚！カードを伏せ、ターンエンドナノーネ！』

レイちゃんならサンダイオントかサディオントかを一氣に出すし、吹雪さんなら初手青眼とか闇竜とかで初手攻撃力2900以上を普通にだすから、あまり脅威には見えないんだよな。

最初に見た時は凄いって思つたんだけどなあ、俺も成長してるつて事なのか？

「まずは地獄の一丁目だ、俺のターン！ドロー！』

か、完璧に鬼柳さんになつてゐるうううう！！？

もう神楽坂は戻つてこないのかな・・・、他の小説では結構優しい性格なんだけどなあ・・・。どうしてこうなつた！

「モンスターをセットし、カードを2枚伏せるぜ。ターンエンド！」

普通それで終わるのが普通だよね。うん、なんか安心したよ。

・・・なんか永理の肩に白い手みたいなのが見えるんだけど氣のせいだよね！幽靈とかじゃないよね！

栄ちゃん？え、幽靈なの？

「私のターンでアール！ドロー！」

『トイ・ソルジャー』を召喚し、カードを3枚伏せるでアール！ターンエンド！

なんか永理の肩に乗つてる手が、俺に向かつてピースサインしてきました！？なんで！？凄く怖いんですけど！！

俺幽靈系苦手なんだよ！悪かつたなヘタレで！

「お、俺のターン・・・ドロー。」

「どうした十代！やる気あんのか！？」

「いや、なんか永理の肩に幽靈みたいなんが・・・。」

「何をいまさら言つてるノーネ？ここは元々いわくつきの物件なノーネ。たしか、自殺者が出たとかなんとか・・・。」

マジですか！？なんで永理は平氣なんだ！？俺なら怖くて発狂しそうだぞ！

そういうえば時々、肩が重く感じたり、鏡を見たら蒼い顔の女人人が見えたりしたんだけどやっぱり永理ののせいか！

「うう、モンスターを伏せ、カードを伏せてターン終了・・・。」「ドロップアウトボーカイ？顔色が悪いようですが大丈夫でスカ？」

「はい、たぶん大丈夫です。」

全然大丈夫じゃないけど我慢してるんだ。本当は逃げて帰りたいんだよ！」

「なあ、家に帰つてもお前に幽霊が憑いてるんじゃ・・・。」「言ひな神楽坂、たぶん大徳寺先生がなんとかしてくれる筈ー。」「無理ですニヤ。」

そ、即答ですか。そりゃないぜとつづあん。  
除霊してくれよとつづあん、とつづあーん！

「私のターン！ドローによ！」

『古代の機械騎士』を召喚！バトルなノーネ！『古代の機械巨人』で神楽坂の伏せモンスターを攻撃なノーネ！アルティメット・パワード！

「破壊された『キラートマト』の効果！攻撃力1500以下のモンスターを特殊召喚できるぜ！」DT ナイトメア・ハンド』を特殊召喚！

更に『DT ナイトメア・ハンド』の効果で、手札の『インフェルニティ・ドワーフ』を特殊召喚！

「です〜が『古代の機械巨人』の効果で、貫通ダメージを受けてもらいま〜す！『古代の機械騎士』で『DT ナイトメア・ハンド』に攻撃！プレシャス・ジャベリン！」

神楽坂、少し不味いぞ。ここでDT ナイトメア・ハンドに攻撃されたら、1800ものダメージを受けてしまう！

でも、なんか余裕そなんだよな。つうか笑ってるし、凄く怖い。

「残念だつたなあ。罠カードオープン！『聖なるバリア ミラーフオース』発動！」

うわあ、ガチカード来たよ。さすが神楽坂、さすがインフェルニティ・・・。

しかもテキストが昔のつて、それなんて言うチート？  
たしか、破壊したモンスターの攻撃力の半分のダメージを相手に与  
えるって効果だつたな。

うん、どう見てもチートだね。

「う・・・何故ダメージが・・・？」

「旧テキストだからだ！」

「ぬぐぐ・・・カードを2枚伏せ、ターンエンドなノーネ！」

早くも先生達のライフが1450、はっきり言つて信じられないな  
これ。

つうかやつぱり俺いらねえじやん！…どう考へてもいらねえじやん！

「もがけもがけ、俺のターン！ドロー！

ヒヤーッハツハツハツハツハツハツハア！レベル2の『インフェルニティ・ドワーフ』に、レベル10のナイトメア・ハンドをダークチューニング！

漆黒の帳下りし時、冥府の瞳は開かれる。舞い降りる闇よ…ダークシンクロ…こいつで血の海わたつてもらおうかあ？出でよ…『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』！

来た、神楽坂のエースモンスター！墓地の闇属性モンスターの効果を得るというチート効果、なんでもデッキからカードを持ってこら

れる万能サーチ。

だが、ダークシンクロモンスターだからあまり使われなかつたんだよなあ。俺？HEROデッキには生贊をそろえる手段があまり無いし、レベル2以下のモンスターも入れてないしで。

ああ、本当は入れたいさ！でもな、安定性が必要なんだよ俺のデッキにはなあ！

「魔法カード『手札抹殺』を発動！互いに手札を全て捨て、捨てた枚数分ドローだ！」

カードを2枚伏せるぜ！そして『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！墓地の『ダーク・クリエイター』の効果を得るぜ！墓地のナイトメア・ハンドを除外し『インフェルニティ・デーモン』を特殊召喚！『インフェルニティ・デーモン』の効果発動！デッキから『インフェルニティ・デストロイヤー』を手札に加える！そして『インフェルニティ・デーモン』を生贊に『インフェルニティ・デストロイヤー』を召喚！バトルだあ！『インフェルニティ・デストロイヤー』で、クロノス先生に攻撃！

デストロイヤーの効果つて結構チートだよね。

つうか、永理に顔色が悪い人が集まってきたるんだけど・・・ムツチャ怖いんですけど！？

「罠カード『炸裂装甲』を発動なノ～ネ！『インフェルニティ・デストロイヤー』を破壊なノ～ネ！」

「カウンター罠『盗賊の七つ道具』を発動！『炸裂装甲』の効果を無効にするぜ！」

うん、やっぱり神楽坂には勝てないよね。もづブルー寮生徒でもいいと思うんだけど・・・。

・・・永理の周りに顔色が悪い人が増えてきたみたいなんだが、も

う無視だ！もうあんなのは信じないぞ！

「…………」

ペガサスですか！？いや、別にいいけど。

つか永理、なんか人間以外も集まってきたっぽいんだけど！？何  
？永理には幽霊を寄せ付ける何かがあるのか？

「更に『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』でナポリタンに攻撃  
！インフィニティ・サイト・ストリーム！！」

「ナポレオンでアーヴ！罠カード『和睦の使者』発動でアーヴ！！  
！」

ナポリタンって美味しいよね！関係無いけど。

おお、何度見てもワンハンドレッド・アイ・ドラゴンの攻撃は凄い  
なあ、ほんまカッコいいよね！インフェルニティ・デス・ドラゴン  
よりもカッコいいよね！

「ひやーはははははー！甘いんだよオー！カウンター罠発動！『  
トラップ・スタン』！罠カードの効果を無効にするぜー！」

おいおい、ワントーンくらいは待つてやれよ。

『勝者、神楽坂！ぶっちゃけ今回、十代あんま活躍してないよね！』

し、仕方ないだろ！神楽坂が強すぎるんだから！俺のデッキは普通  
に強いぞ！ただ、周りがチートじみた強さなんだよ！

・・・セブンスターZ止めようかな、なんか勝てる気がしない。  
痛い思いしたくないし、前に永理君から賢者の石貰つたし・・・。  
なんで永理君が持つてるんだろう？作つたのか？

まあ、とりあえずデュエルしなきゃ駄目だしなあ、無事に済ますには・・・。

よし、これで行こう！

「永理くん、ちょっとデュエルしないかニヤー？」

「ん？別にいいが？でも大徳寺先生、デュエルディスク忘れてきた  
でしょ？」

「大丈夫ニヤー。」ここデュエルマットがあるのニヤー。

「豪ぐ準備がいいなおい！いや、まあいいけど。」

よし、ここまでは計画道理！このまま自然な流れでセブンスターZ  
の鍵を賭けて・・・。

「折角ですから、なんか賭けますか？イベントだし。」

「え、いいですニヤ。よつし、互にのトッキをシャツフルし・・・

まさか、永理君から言つてくれるとはな。

よし、このトッキ破壊もじきトッキの餌食にしてくれる！

「「デュエル！」ですニヤー！」

ジャンケンの結果、永理君からのターンだ。

・・・手札が悪いニヤー。まさかの事故つたニヤー。このトッキは  
あまり、事故らないように作つてゐるのに・・・。

「俺のターン、ドロー。

『ジユラゲド』を攻撃表示で召喚し、カードを2枚伏せる。ターン終了。』

これは『デュエルディスク』使つてないから、いちいち叫んだりしない。

「私のターンにや、ドロー。

モンスターを伏せて、カードを2枚伏せる『ヤー』。ターンエンディング。

ふつふつふ、私の伏せたモンスターはメタモルポット『ヤー』。これで一気にデッキ破壊してやる。

・・・ちなみに、伏せたカードは太陽の書2枚なの『ヤー』。残りの手札が上級モンスター2枚とウラの書つてどうかと思つ・・・。

「俺のターン、ドロー。

『ボーガニア』を召喚し、バトルフェイズに入る。『ジユラゲド』で伏せモンスターを攻撃。

「ふつふつふ、伏せていたモンスターは『メタモルポット』なの『ヤー』。互いの手札を全て捨てて、5枚ドローする『ヤー』。」

「では、大徳寺先生の手札が墓地へ送られた瞬間に罷発動『ゾンビの宝石』。大徳寺先生の墓地に存在する『ウラの書』を手札に加える。

『ボーガニア』で大徳寺先生に攻撃。カードを伏せ、ターンエンディング。』

手札が1枚増えたけど、永理君の場がヤバいぞ。恐らく、もう手札にはラーとかが来てるんだと思う。しかし、ウラの書をいつたいどつするつもりだ?

「私のターン、ドロー。・・・言い忘れてたけど、互いに賭けるのは七精門の鍵でいいか『ヤ～？』」

「別にいいが、その口癖なんとかなんないのか？アムナエル。」

「！い、いつから知つてたのだ？」「

「最初にあつた時から。」

「マジですか。

あと永理君、後ろの幽靈を何とかしてくれ。結構怖いから。

「モンスターを伏せ、カードを3枚伏せる。ターンエンド。」

あつ、なんか鎌を持つた黒い服の人出てきた。

「永理君！？何普通にリングあげてるのー？何この人怖い。

「俺のターン、ドロー。

スタンバイフェイズ時に『ボーガニア』の効果で600ダメージ。『ドリラゴ』を召喚し、バトル。『ジュラゲド』で伏せモンスターを攻撃。」

「伏せモンスターは『カオス・ポッド』だ。場のモンスターを全て、デッキに戻し、戻したモンスターの数だけ、レベル4以下のモンスターを特殊召喚する。」

永理君の場には、ボーガニア、ジュラゲド、ドリラゴが存在している。つまり、運が良ければ大量のデッキ破壊が・・・！

・・・永理君の運は凄まじいな。唯一墓地へ落ちたのがラーの翼神竜とは・・・。

「ターンエンド。」

「私のターン、ドロー。

『ニユート』を攻撃表示で召喚し、バトル。右の伏せモンスターを

攻撃。」

「伏せモンスターは『執念深き老魔術師』だ。『ニコート』を破壊。

「

ま、マジですか・・・。ヤバい、罠が無い。がら空きだあ・・・。

「ターンエンド。」

「俺のターン、ドロー。」

伏せモンスターを全てリバース。『グラナードア』を攻撃表示で召喚。『グラナードア』の効果により、1000ライフを回復。バトル。『グラナードア』で直接攻撃。『ニコードリア』で直接攻撃。『リバイバルスライム』で直接攻撃。」

ああ、負けちゃつた・・・。なんで負けたんだろ?。まあ、約束だからなあ・・・。

「はい。」

「どうも。さて、なんかカッブルがイチャついてるといつ電波を受信した気がする。」

ふつふつふ、オレイカルコスの石版に封印してやる。」

永理君、怖いよそれ。

つか悪い顔してる!ああ、これ本当に主人公なのか?どう考えても主人公な台詞じゃないよ。

なんか書き始めてから後悔する事があったししない?だって他の話が思いついた

永理「……『ジュラゲド』OCG化しないかな?」

それはどうでもいいからゾンビの宝石が欲しい。あと暗黒の魔再生  
も。

永理「ついでに『速攻の吸血鬼』もな。」

まあ、現環境では使えないカードだけどな。  
ついでにラー早くOCG化して欲しい本当に。

永理「それでもいいからダークシンクロOCG化しろ!」

それは置いといて、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、  
何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思うぜ。

あとオリキャラも募集中だ。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、  
性別などを書いてくれ。ただ、作者の文才や気分でキャラが崩壊したりするぜ。

あと、使用デッキも出来れば書いてくれ。ただ、性格などと同じよう  
に変更などがあつたりするかもしれないからな。。で、もしデッ  
キや性格、見た目などは書いてなかつた場合、作者が勝手に決めた  
りする。ただ、書いてたとしても変更とかもあり得るからな。」

結構 の奴忘れるんだよなあ・・・物忘れが激しいぜ

永理「気持ち悪い。」

—لےنےلی

最初から今まで前書き書いてたの今更だが思い出した。だから今は書いてみた

『「イレイザーと。』

『「・・・オーバーの・・・。』

『「おさらい、特別ルール！」』

『「何で・・・今更？・・・」』

『「はい、それはこの話が不正＆手札回復しそぎwwwルール分かつてないの？つていう苦情を回避するためで～す。』

『「でも、なんで今回・・・だけ？もうこれで終わりだよ・・・？」』

『「はい、この話では特別ルールを使用しまくってるからで～す。感覚的に言えばなのはMADみたいな？」』

『「理解・・・で、その特別ルールは？」』

『「使用禁止カードの説明は省いて、これが特別ルールで～す！」

- 1 - ライフコストの踏み倒し
- 2 - エンドフェイズに手札を5枚になるように補充可能
- 3 - 通常モンスターはバニラテキストに記されている説明がカード効果となる。・・・以上！』

『「・・・結局、3の奴は使われなかつた・・・。』

『「・・・では、本編スタート！」』

最初からここまで前書き書いてたの今更だが思い出した。だから今回書いてみた

視点：永理

うつ、少し血（鼻血）が出過ぎたか・・・。ふつまあいい、口リ娘を眺めて死ぬなら本望！—

「・・・さつせとしり、貴様のターンだぞ？ 貴様から仕掛けてきたんだろ、レッド生徒君？」

「ゴーゴー虫助、そんな奴倒しちゃえー！」

「その程度で勝ち誇るとは、貴様、本物の馬鹿だろ？いや、貴様ら・・・か・・・・。」

「ふん、俺の場には攻撃力2400の『電動刃虫』と、攻撃力2800の『デビルドーザー』が居るんだぞ？ 粋がるのもいい加減にしろよ。」

はあ、最近のブルー生徒の実力はこの程度か、ガツカリだな。これならまだ十代達の方が強いぞ。

「永理、頑張ってくれ！ 我らの妬みと共に！—

「まかせろーードローー！」

我が同志達の為に負ける訳にはいかない！

・・・・このカードなら・・・・。

「手札から魔法カード『死者蘇生』を発動！ 墓地の『ワンハンデレ

ツド・アイ・ドラゴン』を特殊召喚！』

「だが『強者の苦痛』の効果で、攻撃力はたつたの2700！その程度の壁モンスター、粉碎してくれる！」

「甘い、甘い甘い甘い甘い！甘すぎるぞ糞ガキ！魔法カード『インフィニティ・サイト・ストリーム』発動！俺の場に『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』が存在する場合このモンスターを破壊し、貴様のカードを2枚破壊する！』

ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン専用カード、念のために入れてよかつたぜ。

「俺は『強者の苦痛』と『デビルドーザー』を破壊！』

「ぐつ、だが俺の場には、まさ攻撃力2400の『電動刃虫』がある。こいつを倒さない限り、下級のモンスターではライフをゼロにできない！」

「破壊された『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！デッキから『ミラクルダークシンクロフュージョン』を手札に加える！」

くくく、これで融合召喚し、ドラゴエクイテスで止めを刺してやる！は？ダークシンクロモンスターはダークシンクロだから融合召喚できない？TFでは同じ扱いだから問題ないんだよ！

「魔法カード『ミラクルダークシンクロフュージョン』発動！墓地の『終末の騎士』と『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』を除外！エクストラデッキより出でよー『ラスト・オブ・ドラゴン』！』

来た来た来た！これこそが我が真の切り札！神さえも凌駕する最強のカード！これさえあれば、神のカードなぞ紙同然！キヤラが変わってる？気にするな！

「ふん、たかが攻撃力2000で何ができるー！」

「弱小デュエリストが・・・『ラスト・オブ・ドラゴン』の効果発動！貴様のモンスターを破壊し、そのモンスターの攻撃力の倍のダメージを貴様に与える！」

「なッ・・・やめろ貴様！」

「くくく、ブレイスト・エイド！…」

ひあはは、俺の勝利は確定だ！

・・・正義感？なにそれ美味しいの？

視点：吹雪

ついに来た、決勝戦！ぶっちゃけ準優勝でもいいんだけどね！  
だって、これに勝てそうな気がしないもん！

「ヒヤーハハハハ！…今日は俺様を満足させてくれるデュエリスト  
が居そうだぜ！」

「（・・・吹雪さんは何とかなるとして、問題はレイだな。あのカ  
イザーを倒したんだし・・・。）・・・たぶん、お前を満足させら  
れるデュエリストは居ないと思つ。」

僕、逃げ出したい！だってアレだよ！あいつ等だよ…鬼畜満足に外  
道HEROだよ！レイちゃんが居て初めて勝てるような奴らだよア  
イツ等！

あと僕の足元にカメレオンが…。あ、ひんやりする…。

「十代様、手加減は無しだよ！」

「・・・御手柔らかにお願いいたします・・・。」

ちよ、レイちゃん！これ、この首元に付いてるヤモリ取つて！ひんやりしてなんか気持ち悪い！ヌメヌメするよー。

『えー、では決勝戦を始めたいと思いますぜよ！赤コーナー、レイ&吹雪チーム！青コーナー、神楽坂＆十代チーム！両者、デュエル場へ！』

ちよつ、助けてええええええええええええ・・・。

「「デュエル！」」「ヒヤーッハツハツハツハア！」「たつ、助け、あつ、ヌメつて、ヌメつてした！」

レイちゃん、助けてよ！たゞ「僕のターン！ドロー！」聞いてーー！もつマリクさんでもバクラさんでもいいから、誰か助けて！

「・・・大丈夫かあ？ほらよ。」

「全く、テメエ男だろ？だらしねえ！」

「マリクさんあざーつす！バクラさん、僕はチキンだから仕方ないんだよ！」

「・・・しょんな事より、もつお前のターンだぞ？」

「えつ？」

レイちゃんの場合はスカイ・コア。伏せカードは2枚か・・・。何のデッキなんだろう？絶対事故率高いと思うんだけどねえ・・・。対する神楽坂くんの場合は、インフェルニティ・デストロイヤーが1匹。伏せカードが4枚！？いくらなんでも伏せすぎでしょ！

「ぼ、僕のターン！ドロー！」

『黒竜の雛』を召喚し、このカードを生贊に、手札の『真紅眼の黒竜』を特殊召喚！カードを2枚伏せ、ターンエンド！

ふつふつふ、伏せたカードはミラクルシンクロフュージョンにバスター・モード。ええ、事故つてますとも！後の手札は永理くんがおふざけで入れたヒドゥン・ナイト フック とゼロ・ドラゴンだし！今日抜こうかと思ってたのに、いきなり大会なんか始めるんだからなあ永理くん。サイドデッキ無いの知ってるくせにさあ！

「俺のターン！ドロー！

『融合』発動！手札の『E・HEROクレイマン』と『カードガンナー』を融合！『E・HEROカード・ウォリアー』を融合召喚！カードを3枚伏せ、ターンエンド！

カードガンナーとクレイマンの融合・・・はつきり言おう！ダサイ！なんかわからないけどダサイ！冗談抜きでダサイ！

「僕のターン！ドロー！

リバース罠『ツイン・ボルテックス』発動！僕の場に存在する『スカイ・コア』を破壊し、十代様のカード・ウォリアーを破壊する！「破壊されたカード・ウォリアーの効果発動！このカードが破壊され墓地へ送られた時、カードを2枚ドロー！」

そ、そんな効果だつたんだ。守備力3000でそれは強すぎないかい？

あれ？汗だくなつて一体どうしたんだろう永理くん。

「ぜえ・・・ぜえ・・・マリクさ・・・ん・・・み、水・・・。

「お、おお。」

「頑張れー吹雪くーん！」

ディヴアインさん……はい！頑張ります！

「破壊された『スカイ・コア』の効果発動！『デッキから『機皇帝スキエル』『スキエルT』『スキエルA』『スキエルG』『スキエルC』を特殊召喚！」

永続魔法『マシン・デロペッパー』を発動！バトル！十代様に攻撃！」

うわあ、鬼畜だあ……。レイちゃん鬼畜だあ……。

「罠カード『英雄の盾』！墓地のカード・ウォリアーを除外し、攻撃を無効！」

「甘いよ！僕、弱い人は嫌いなんだ。『スキエルT』で攻撃！『スキエルA』で攻撃！『スキエルC』で攻撃！カードを3枚伏せ、ターンエンド！」

レイちゃん、時械神はどうしたんだい？

サイドデッキと取り換えたのかい？まあ、まだ時械神はデッキに入ってるだろうけど……どう考えても変わり過ぎだと思うんだよなあ……。

「俺のターン！ドロー！

『インフェルニティ・デストロイヤー』を対象に、魔法カード『インフェルニティ・エクトプラズマー』を発動！

『インフェルニティ・デストロイヤー』を生贊にし、『デッキから『インフェルニティ・エクトプラズム』を3体特殊召喚！』

なんかモヤモヤしたのが、神楽坂くんの場に出てきた。……グロイよ、永理くんの部屋で見たシユールストレミングよりグロイ……。

あ、今夜夢に出そつだ。最悪だ！不幸だ！ホルアクティOOG化才  
メ！

「ヒヤーッハツハツハツハア！2体のエクトプラズムを生贋に『Dナイトメア・ハンド』を召喚！レベル2の『インフェルニティ・エクトプラズム』に、レベル10のナイトメア・ハンドをダークチューニング！」

漆黒の帳下りし時、冥府の瞳は開かれる。舞い降りろ闇よ！ ダークシンクローニーついで自の海渡つてやらおつかあ？ いどよー『ワンハンドレッド・アイ・ドリゴン』ー。

うわあ、毎回思うんだけどダークシンクロってさ。なんか素材となつたモンスターが苦しそうな顔してる気が・・・。  
まあいいか。

「ヒヤーッハツハツハツハア！リバース罠発動！『針孔の巣窟』！  
テッキからカードを5枚、墓地へ送るぜ！」

墓地へ送られたカードは・・・デストロイヤーにドワーフ、デス・サブマリンにリローダー。そしてアーチャー?聞いた事無いなあ・・・

「バトルだあ！『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』でレイに攻撃！この瞬間『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！墓地の『インフェルニティ・アーチャー』の効果を得る！『インフェルニティ・アーチャー』は、手札がゼロの場合直接攻撃できるぜ！ヒヤー哈哈哈哈！」

つまり、攻撃力3000の直接攻撃！？チートだ、チート。

「くつ、永続罠『メリットアップ』を発動！相手にカードを2枚ドローをせるけど、僕の場に存在するモンスターの攻撃力を2000アップさせるよ！」

上手い！神楽坂くんの手札が2枚に増えて、ワンハンドレッド・アイ・ドラゴンは直接攻撃ができなくなる！  
だけど、神楽坂くんが笑ってるのが気になる・・・。

「甘い、甘い甘い甘い甘い！！宇治金時より甘いぜー罠カード『インフェルニティ・ヘルフレア』発動！手札を2枚捨て、エンドフェイズまで俺様のモンスターの攻撃力を捨てたモンスターの攻撃力分アップだ！

俺様が捨てたカードは『インフェルニティ・ネクロマンサー』に『インフェルニティ・ジェネラル』だ！つまり、攻撃力は2700アップ！

あ、また手札がゼロになつた・・・。レイちゃんさようなら。

・・・あれ？これ僕、死んだんじやね？

だつて今まで勝てたの、レイちゃんのおかげだつたもん！

「えつ？とつ、罠カード『王国の法律』を発動！このカードを発動したターン、相手は直接攻撃できない！」

ああ、懐かしや王国。まだシンクロとかダークシンクロとかない時代の・・・。

でも、ライフが2000は少なすぎるよね！

「ほーお、姑息な手を使つじゃねえか。だつたら俺も使わせてもら

うぜ！罠発動！『虚無への誘い』発動！手札がゼロの場合、相手モンスター1体の効果を無効にする！

俺は『スキエルG』を対象にするぜ！ヒヤーハハハ！『スキエルA』に攻撃！

「ま、不味い！罠カード『ツイン・ボルテックス』発動！攻撃対象を『スキエルC』にし『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』を破壊！」

ん？なんで今使つたんだろう？最初から使えれば良かったのに・・・。そうすれば神楽坂くんにドローさせずに済んだのに・・・。

「ほーお、破壊できたか。流石だなレイ！破壊された『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』の効果発動！デッキから『死者蘇生』を手札に加えるぜ！

『死者蘇生』を発動！墓地の『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』を特殊召喚！ターンエンド！

うわあ、まるでネフティスみたいだね。

・・・なんだろう、焼き鳥食べたくなつてきた。

「僕のターン！ドロー！

『真紅眼の黒竜』を生贊に『真紅眼の闇竜』を特殊召喚！魔法カード『テイク・オーバー5』を発動！デッキからカードを5枚、墓地へ送るよ！

墓地へ送られたカードは、レモンバスターにゼロ・ドラゴン。結束にハウンド・ドラゴン。オレイカルコスのけ・・・ってええ！？いつの間に居れたんだこのカード！

永理くんか、永理くんだろ絶対！

僕は闇の力なんか使わないよ！・・・真紅眼？ダークネス？気にす

るな！

「更に儀式魔法『高等儀式術』を発動！デッキからレベル3の『片翼の飛龍』に、レベル1の『ゼロ・ドラゴン』を墓地へ送り『闇竜の黒騎士』を儀式召喚！

そして『闇竜の黒騎士』を生贊に『真紅眼の黒竜』をデッキから特殊召喚！更に『真紅眼の黒竜』を生贊に『真紅眼の闇竜』を特殊召喚！

「…」

うわあ、これ僕運いいだけだよね今回。

攻撃力5100が2体って、奇跡だ！奇跡以外の何物でもない！ああ、明日どれほどの不幸が降りかかるんだろう…。

「バトル！『真紅眼の闇竜』で『ワンハンドレッド・アイ・ドラゴン』に攻撃！ダークネス・ギガ・フレイム！」

真紅眼の攻撃がワンハンドレッド・アイ・ドラゴンに当たる直前、その攻撃が止まつた…。何故？

「つたく、見てられないぞ神楽坂。罠カード『ヒーロー見参』を発動したのさ。さあ吹雪さん、どれか選ぶがいい！」

「どれを選べばいい事やら…。  
…よし、一番右に決めた！

「一番右のカードだ！」

「くくく、運が無いなあ吹雪さん。吹雪さんが選んだ右のカードは『E・HEROネクロ・ダークマン』よつて、特殊召喚されるぜ！」

バトルフェイズ中にモンスターが減つたり、増えたりすると攻撃の

巻き返しが発生する。十代くんはそれを利用しただと・・・？  
だが、それで攻撃が無効になつた訳ではない！この勝負、貰つたよ！

「攻撃を続行！ ダークネス・ギガ・フレイム！」

な、何とか勝てた・・・、あとは十代くんだけか・・・。  
そんなにチートカードは使わないから楽に勝てるかな?

「カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

魔法発動『融合』!! 手札の『E・HEROスパ

魔法発動『融合』！手札の『日・月RCスパークマン』と『沼地の魔神王』を融合！

『E・HEROフレイム・ウイングマン』を融合召喚！更に魔法カード『テイク・オーバー5』発動！デッキからカードを5枚、墓地へ送るぜ！

うわあ、墓地へHEROが4枚も落ちたよ。。。

残り1枚は右斜め上からトナリたし……。永理くん並にチートたね

はあ、それを分けてほしいよ。せめて1書は、せめて1書は裕しいよドロー運！

まあ、攻撃力4000じゃ足りないけどね。

「更に魔法カード『テイク・オーバー5』発動！ デッキからカードを5枚墓地へ送る！」

ま、また5枚もHEROとの戦のつくカードを・・・分けてくれドロ一運を！

せめてレモンバスター引いたら一緒にテレポートも・・・あつ、今更だけど真紅眼の攻撃力超えた・・・。

「バトル！シャイニング・フレア・ウイングマンで闇竜を攻撃！シャイニング・シコート！」

「こひで、こひで負けたげたいんだけど・・・そりはいけないんだよね！」

「『黙力ード』スキル・サクセサー』発動！十代くんが攻撃対象にした闇竜の攻撃力を400アップさせる！」

「なつ、くつ・・・・・ターンエンド！」

よし、これで勝った！優勝だ！  
レイちゃん、後は任せたよ！

「はあ、永理さんならもつと楽しませてくれるだろうにな〜。僕のターン！ドロー！」

魔法力ード』『魂の解放』を発動！墓地の『ネクロ・ガードナー』と沿地、フレアにあとは・・・吹雪わんのドラゴン族を適当に除外！

い、いやがらせかい！？お兄ちゃん泣いぢやうぞ？

あ、明日香、そんな冷めた目で見ないでくれーお兄ちゃん悲しい！

「これで終わりだよ！『機皇帝スキル』で十代さんに直接攻撃

！」

あつ、十代くんの呼び方が変わった・・・。  
まあいいけど、だつて僕には関係ないしね

・・・誰だ！ が気持ち悪いって言つたやつ誰だ！

『勝者、吹雪＆レイちゃん！珍しく吹雪が活躍しました！優勝者はホルアクティを、そして大会参加者全員に永理家特製カーデパックをプレゼント！』

あ、僕も貰えるんだ。何が入ってるかな？

・・・これどうよ？

オレイカルコスの結界、オレイカルコス・トリトス、オレイカルコス・デウテロス、ラーの翼神竜、混沌帝龍つて・・・。

うん最後のはまあいいとして、最初の奴が・・・だつてオレイカルコスだよ！？やっぱ永理くんがする事は他の主人公と違うぜ、そこに痺れる憧れない。

レイちゃんは・・・

「レイちゃん、何が当たつた？僕はオレイカルコスの3結界が・・・」

「ん？僕はオシリス、オベリスク、開闢『邪神ゲー』ヤスシだけど？」

うわあ、レイちゃんのパックも凄いのが大量に・・・。

「ツシャア！『パワー・ウォール』が3枚当たつたぜ！」  
「おお、E HERO？聞いた事ないカードだな・・・。  
「れ、レベル10のドラグニティだと・・・？」  
「あつ、スカルライダー当たつた。」

なるほど、それでパック名が混沌と純悪の融合なのか・・・。  
うん、永理くんほど主人公に向いてない主人公つていね。

最初から今まで前書き書いてたの今更だが思い出した。だから今回書きこむな

うん、永理自重しろ！

永理「永理は妬ましくなると、つい殺つたりやうんだ

怖つ！笑顔で言つての怖つ！

永理「みんなも一緒に殺つてみよ！」  
「行くよ？ オレイカルバスの・  
・・結界！」

はい、オリカ一覧ね～。永理やめつ、うん、許可する。そののリア充を粉碎せよ！

『インフュニティ・サイト・ストリーム』

通常魔法

自分フィールド上にワンハンドレッヂ・アイ・ドラゴンが存在する場合に発動できる。

分フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体を破壊し、相手フィールド上に存在するカード2枚を破壊する。

『ラスト・オブ・ドラゴン』

レベル12

闇属性

攻撃力：2000

守備力：2000

ドラゴン族：融合

『ワンハンドレッヂ・アイ・ドラゴン』 + 闇属性、戦士族モンスター

－1体

このカードは、ミラクルダークシンクロフォージョンでのみ、融合召喚できる。

1ターンに一度、相手モンスターを1体破壊し、そのモンスターの攻撃力の倍分、ダメージを与える。この効果を発動したエンドフェイズ時、このカードを破壊し

このカードの攻撃力分のダメージを受ける。

『E・HEROカード・ウォリアー』

レベル5

地属性

攻撃力：1600

守備力：3000

戦士族：融合

『カーデガunner』 + 『E・HEROクレイマン』

このモンスターは融合召喚でしか特殊召喚できない。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、デッキからカードを2枚ドローする。

『英雄の盾』

通常罠

攻撃宣言時、墓地のHEROと名のついたモンスターをゲームから除外して発動する。

相手モンスターの攻撃を1度だけ、攻撃を無効にする。

『インフェルニティ・エクトプラズマー』

通常魔法

自分フィールドに存在するインフェルニティと名のついたモンスター

ーを生贊にして発動する。そのモンスターの攻撃力760に付き、デッキからインフェルニティ・エクトプラズムを特殊召喚する。

『インフェルニティ・エクトプラズム』

レベル2

闇属性

攻撃力：300

守備力：1500

アンデット族：効果

自分の手札がゼロで、このカードがフィールド上に存在する場合自分のデッキ、または手札からインフェルニティ・エクトプラズムをフィールド上に特殊召喚する事ができる。

『メリットアップ』

自分フィールドに表側表示で存在するモンスターを1体選択して発動する。

そのモンスターの攻撃力をエンドフェイズまで2000ポイントアップさせる。

その後、相手はデッキからカードを2枚ドローする。

『インフェルニティ・ヘルフレア』

通常罠

自分フィールドに表側表示で存在するモンスターを1体選択し、手札のインフェルニティと名のついたカードを2枚捨てて発動する。捨てた手札のモンスターの攻撃力分、対象に選択したモンスターの攻撃力をエンドフェイズまでアップさせる。

『王国の法律』

通常罠

このカードを発動したターン、相手は直接攻撃する事が出来ず、ライフに直接ダメージを与える効果を持つ魔法・罠・効果モンスターの効果を発動することはできない。

『虚無への誘い』

通常罠

自分フィールド上にインフェルニティと名のついたモンスターが表側攻撃表示で存在し、自分の手札が0枚の場合に発動する事ができる。

相手モンスター1体の効果を無効にする。

永理さあ、あのパックどうなんよ？

永理「ん？ 対して気にする事無いだろ？ 地縛神だつてTF5ではパックで手に入つたんだし。」

いや、そうだけどさ。

いつ、この主人公が悪役じゃないと言った・・・？（前書き）

『アバターと！？』

『ツインの』

『『33話から34話までの経緯的なあらすじ～！』

『前回、十代とかがE HEROを手に入れたりしましたね。』

『してたな。』

『この話は文化祭が終わってからの打ち上げ的な物で～す！』

『テンション高すぎ引くわ～。』

『まあそんなわけで、今回は永理がまさかのラスボス的フラグを立ててしましました～！』

『一応主人公だぜ？悪役的永理を見たくない人は、視点明日香あたりで終わればいいと思うよ？』

「いつ、この主人公が悪役じゃないと言つた……？」

視点：バクラ

「あ～、今日は疲れた～。・・・なあバクラ、よくCMでやつてる全米を震撼させたつて奴さ。アレぶつちやけありえないよな～。」「そうか、とりあえずせんべいは座つて食べろよ。」

「一体何者なんだこいつ？冥界へ普通に逝けるし、闇のカードとか神のカードとか普通に使うしで。

そもそも俺様を冥界から現世へと連れてきた目的はなんなんだ？いや、また現世でデュエルできる事は嬉しいんだけどさ。

ちなみに、俺様たちが泊まっているのは廃寮。・・・見た目がちょっととした旅館並だったのは驚いたがな・・・。  
つうかこっちじや、普通に精霊が見えるんだな。驚いたぜ。

「永理さん、折角だからビンゴゲームしよう！」

「うおおおおおっ！――？」

レイちゃん、扉を開けるときはノックしそうね。そしてゆっくり開けようね。マリクが扉に当たつてオベリスクの直接攻撃受けたみたいになつて飛んで逝つたから。

誤植ではないぜ？

「おーう、マリクもバクラも一緒にやるか？」

「別にいいが、あの変な髪形の奴も一緒にやるのか？」

「変な髪形？・・・ディヴァインの事か？」

「いや、王様の方の・・・。」

「永理！ カード買いに来たぜ！」

「カード買いに来たんなら俺の寮の方へ行つてくれ。こちにはカードは無い。」

あの十代とかいう奴。なんか純粹すぎて・・・なんか眩しい感じがする。

まあ、ガキは元気が一番だしな。

つうか永理、テメエは自分の寮で寝れよ。

「ふつふつふ、折角だから怪談でもしようか？」

「その前にビンゴゲームをしようよ！」

「これ、なんて修学旅行？」

「マリク、もう気にしたら負けな気がするぜ。」

正直、俺はもう諦めたよ。

・・・今夜は良い月夜だなあ・・・。

「ビンゴー！」

「思い道理！」

あのヤー、一個も当たらなってビンゴ？  
いやだつてさ？あのマリクだつてリーチまではあるんだぜ？こち  
は掠りもしねーよ！

そもそも俺、一応記憶編のラスボスだぜ？それが何？廃寮といつ名  
の旅館でビンゴゲームって、ビンゴゲームって・・・。

「つ、次こそは！」

あつ、同族発見。

いやあ、なんか同じ感じの人見てるとなんかアレだな。嬉しい感じになるな。

そもそも何？なんでみんなリーチ連発人生ゲームでもこんなにならねえよ！

大体なんだよ、ホルアクティO C G化するのにゾークがO C G化しないってどうなのさ！あれか？ P T Aか？ ドリラゴ何とかなったから大丈夫だろ！ これも俺の不運のせいか？

「ふう、人生ゲームもビンゴゲーム  
ディヴァインさんよろしくう！！」

「OK! ああみんな、私の周りに集まって。」

? なにをするんだ?

『速攻魔法』『緊急テレポート』発動！－！」

か、カードが実体化した！？

いや、なんか今更感ある感じだけれど。  
あつ、着いた。

「ちよ、ティヴァイン貴様、知つてやつてるだりおおおおおおおおおお

「あつ、ごめん。」

ああ、アビドスが池の中にに・・・。

つうかあれ、大丈夫か？服のまんまだぞ？溺れるぞ？

「おい王様、あいつ大丈夫なのか？」

「・・・無理だ・・・。」

諦めたよこいつ！

駄目だこいつ、前までは絆が何とか言つてたのに。

「アドバイスを～ん、大丈夫ですか～？」

「レイちゃん、知つてて間違つてる？いやね、おじさんも長年生きてるからそういう怒らないけどね。でもさ、そこまで知つてて間違われるとおじさんのガラスのハートが割れちゃうよ？」

「煩いぞカラボス。」

「永理くん！？それ一文字もあつてないから～鬼柳さんの勘違いより間違つてるから！」

「貴様、デュエルしろ！修正してやる！」

「吠えるなよ若造があ～！」

おーい、温泉浸かりに来たんだろう？なんでデュエルしてんだ？しかも休憩場で・・・。

他の人の迷惑になつてしまふぞ～。  
つうかなんでレイちゃん早く風呂に入らないの？もう明日香さん入っちゃってるよ？

つうか翔、何ネットやつてんの？何掲示板開いてるの？風呂入れよ！

「ふーはははは、貴様の場に存在するアブソールトとガイアを生贊にラヴィア・ゴーレムと特殊召喚！更に手札の『傀儡虫』を捨て、ラヴィア・ゴーレムのコントロールを得る！」

ふーははは、ゴーレム・ヴォルケーノ！～

「イワ――――――――ク！――！」

うわあ、2ターンキル・・・。これでエンドフェイズにコントロー  
ルが元に戻り、1000ダメージで止めとま・・・。  
つうかあれ、マリクのデッキじやね？どう考えてもマリクのデッキ  
じやね？

つかアビドス、早く体拭け。風邪ひくぞ？  
つか何でカード大丈夫なの？前まで普通と思つてたカード手裏剣  
も、冷静に考えたらおかしいと感じるしさあ。  
何？ここまでキャラと夢壊す小説ないだろそんなに。銀魂の二次創  
作小説よりしつかり銀魂してるよ！いろいろ危ない発言とかもして  
るしさあ！

「・・・そろそろ風呂に入るか・・・」

「ああ、そうだな。なんか寒気が・・・。」

「早く入れや！マジで風邪ひくぞ！」

「おーい、ちょっと焼きマシユマロしたいから火点けてくれー。」

「じゃあちょっと後に下がつてくれ。・・・魔法カード『火炎地  
獄』！」

「ああ、なんか背中が熱い・・・。」

あ、アビドス！？背中が、背中が燃えてるぞ！

「アビドス、燃えてるぞ。」

「ふつふつふ、俺はいつも、心はバーニングさ！」

「いや、物理的に・・・。」

「・・・ゑ？」

あ、また池に飛びこんだ。

そのあとどうなったかは知らない。何故なら、アビドスが池から上  
がつてくる前に風呂に入ったからだ。

「ひ、広い！」

「ふつふつふ、これこそがデュエルアカデミア名物、巨大温泉！効  
能は疲労回復その他、血糖値とかそんなんが改善されるぜ！..」

「ずいぶんアバウトな説明だなおい！」

「おお、しゃるが居るぞバキュラ！！アルパカまで！」  
「バキュラ言うな！」

ああ、いい気持ちだなあ本当に・・・。  
丁度いいぐらいの温度、露天風呂といつ解放感・・・。おちつく、  
やっぱ一日の閉めは風呂だなあ・・・。  
十代、泳ぐなおい。ディヴァインも泳ぐな、いい大人だから。

「ガーツ、なんか満足できねえぜ！誰か俺とデュエルしろおおおお  
！！」

「しゅこしじゅかにしてくれ、風呂くらいゆっくり静かに入りた  
い。」

「つうかアレだ、いきなり猫耳〇犬耳の娘が空から降つてこない  
かなあ。」

「「ふうん、では覗けばよからう。」」

「諸君、死ぬ準備はできるか？」

「・・・俺はやめとく。」

「おれしゃまもやめとくぜ。」

あいつが主人公でいいのか？いや、動物好きでデュエルが強いって  
いう、主人公的な要素はあるんだけど・・・。性格がなあ・・・。  
まあ永理も、冗談で言つたみたいだから覗きはしなかつたけど。つ  
うかマリク、読みずらいぞ？デュエルターミナルで治つたんじゃな  
かつたつけ？

「翔、焼酎無い？」

「んなの学生が持つてゐわけないッスよアーキ・・・。」

「・・・焼酎ではなく、にごり酒ならあるが？」

「なんで持つてんスか！？」

永理、お前未成年だろ！！

そんな俺の心の声も届かず、永理はディヴィアインと一緒に酒飲んでやがる。

・・・常識つて、なんだつけ？

視点・翔

ふう、まさか伝説のデュエリストである武藤 遊戯さんと一緒に、風呂に入れるとは・・・。  
人生、なにが起こるか分かんないツスね～。  
さて、掲示板でも見るツスか！  
ちなみに、僕が今いる場所は廃寮のパソコン室。1時間500円でご利用が可能ツス。

「え～っと、デュエリスト掲示板・・・と。」

おっ、なんか面白そうなスレ見つけ、早速覗いてみようつと。  
何々・・・？

スレ題：リスペクト

・・・リスペクト？今の『時世じゃリスペクトなんて何の役にも立たないのに、こんなスレ立てるなんて・・・。  
本文は・・・。

1 名前：校長

最近、生徒がリスペクト、デュエルをしなくて困ります。どうすればいいでしょうか？

2 名前：以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします  
知恵袋でやれwww

3 名前：ガツチャ  
んなのどうでもいいからレッド寮直せ馬鹿。

うわあ、アニキぽろ糞言つてるよ。

4 名前：永続満足

そんな貴方に『デブス・アミュレット』これががあればワンキル防止で  
きるぜ！お値段は1枚、2300円か！

高い、いくらなんでも高すぎるよ。

もう、ここまででいいか。十分出番あつたし今回。  
明日香さんより出番あつたし。

視点：明日香

何で覗きに来ないのよーおかげで出番がこんな最後らへんになっち  
やつたじゃない！

・・・まさか、皆私に興味ないハードゲイだつたり！？いや、それ  
は無いか。

永理はロリコン、亮はババコン？いや、ただ年上が好きだけね。  
あと十代は・・・あの子は純粋すぎて、女性の裸に興味ないのね、  
なんかショックだわ。

いやね、でもそういう純粋な人を落とすのもまた通つて奴よ！



視点：永理

『どうだ永理、デュエルエナジーは集まつたか？』

「ああ、貴様の頼み道理な・・・で、貴様は何が目的なんだ？影山。」

『影丸な・・・不死の命に決まつておるひつ。そういう貴様は何が目的だ？』

「さあな。俺にもいろいろ事情があるんだよ影助。」

『いや、だかりや』

しつこい、そう思つたので電話を切つた。

ふつ、大会も無事に終わつたし、実験結果も出たしでいい事頃くめ  
だつたな。

おっ、また電話だ。誰からだ？

『永理さん、お久しぶりです。私の事、覚えてますか？』

「・・・何か用か？N·ONE。」

『いえ、そつちにホセが行つたらしいのでちょっと・・・。  
まあそれは置いといて、実験結果はどうでしたか？』

はあ、何かと思つたらそんな事か。面倒な奴だ。

「実験は90%成功・・・てことだな。  
田ヤニや汗、そして影までは創る事は出来なかつた。これでは神ど

こうがダ一も創ることはできまー。」

『・・・貴方は一体、何を創ろうとしてるのですか？』

「さあ、もしかしたら貴様の望まぬ未来・・・かもしないな。」

『やうならない事を祈るばかりですよ。何故か私には、貴方の運命  
を変える事ができませんでしたからね。』

運命・・・か。たしかN·ONEが言つていた運命、それは死・・・。

その正体が何なのかは分からぬが、少なくとも自然死や病死では  
無さそうだな。

まあN·ONEに話すことはすべて話したな

「N·ONE、そろそろ通話を切つていいか？また別のところに電  
話しなきやならないから。」

「N·ONE、そろそろ通話を切つていいか？また別のところに電

『はい。あつ、そつそう。プラシドカルチアーノが、貴方から頼まれていた剣が完成したと言つてましたが・・・一体、何を頼んだのですか？』

「時空を切り裂く剣だが？もう切るぞ。」

はあ、面倒な奴だなあいつ。無駄に心配性だからな。

「魂は満ちた。あとは幻魔と神がぶつかりあい、冥界の扉が開く・・・。くつくくくははははは、ひやははははは！－！これで世界は闇に覆われ、絶望が世界を支配する死靈世界の誕生となるのだ！－！」

俺が闇の支配者となるのだ！」

「火ヤハハハハハ、相変わらずだな、その野望は、いつまでたっても変わらないか・・・。」

俺の後ろに赤い帽子を深く被つたイエロー生徒、炎祭が居た。いつの間に・・・。

しかし、相変わらずの老け顔だな。

「光が闇に勝つことなど許されぬ事だ。・・・この世界が創られる前、つまり一番最初に生まれた者は闇だ。すべての創造主であるのは神などではない、すべて闇の力だ。あいつら、マリクにバクラもそれから創った。」

「ですが、如何様にして創られたのですかな？私には到底分かりかねますなあ。火ヤハハ・・・。」

「・・・簡単な事だ。ただ雑靈を集め、実態を持たせたに過ぎない。流石に俺も、魂までもゼロから作り出すことはできないからな・・・。」

「。

炎祭が納得したといつよつな顔をしている。少し考えれば分かる事と思うが・・・。

この計画が成功すれば、未来世界からダークシグナーを呼び出す事ができる。ただ、同時にシグナーまでもが生まれてくるのだが……それはまあいいだろう。

俺の計画などは、イリアステルでも分かるまい。俺は元々、この世界の魂ではないからな。あの時死んでしまったが、今考えればそれが吉だったのかもな。無数の偶然が重なり合い、俺が転生できた。中々面白い運命ではないか。

（火ヤハハ、この計画が終われば破滅ＶＳ霸王……か。どっちが勝つてもこの世界は終わりだな。火ヤハハハハハハハハ！！！！）

「炎祭、今日は良い月夜だな。……まるで御姫様でも振つてきそうな。なあ？そこガキ。」

「……。」

ほお、心に闇を持つものか……。何の事情があるかは知らんが、ちと遊ぶか……。

いや、久しぶりに炎祭のデュエルを見るのも悪くない……か……。

「炎祭、遊んでやれ。久々にお前のデュエルを見たくなつてな。」「火火火、了！解つと。ヒ、言うわけだ糞ボウズ。おじちゃんと遊んでくれや。火火火アハハ……火ヤーハハハハハ！」

闇の炎がイエロー生徒と炎祭を取り囲む。まるで魂を欲してゐるかのように。

いやー、闇の炎はいつ見ても綺麗だねえ。それとう同様に、復讐の炎も中々……。

「貴様に要は無い！僕は永理に復讐しに来た！」

「火ヤハハ……まあそう言わざさあ、闇のデュエルで遊ぼうや。

「ツ・・・、いいだろ？ まずは貴様からだ！」

あいつ、よく見たら黄色の悪魔と恐れられている無私櫻じやねえか？

「『デュエル！』」

まずは炎祭のターンか、楽しめそうだねえ。

「俺のターン！ 火ヤハハハハ！」

永続魔法『火薬ビン』を発動！ こいつは火または炎と名のついた魔法カードを発動し、貴様のライフに直接ダメージを与えた場合、このカードを墓地へ送り、貴様に900のダメージを与えるぜ！

ほお、いきなり来るのはな・・・炎祭の得意なコンボが。

「『炎獣』を召喚！ 更に『炎獣』の効果発動！ 貴様に600のダメージを与えるぜ！ そして『火薬ビン』を墓地へ送り、貴様に900のダメージだ！ カードを一枚伏せ、ターンエンド！」

炎祭の攻撃力は1980、そう簡単には越えられない。さあどう出る？

「・・・炎祭、何故貴様が永理などという下種何かに協力してるんだ？ 僕のターン！ ドロー！」

フイールド魔法『伝説の都アトランティス』を発動！ 『ギガ・ガガギゴ』を攻撃表示で召喚し、バトル！ 『ギガ・ガガギゴ』で『炎獣』を攻撃！

ギガ・ガガギゴの攻撃力は2450に200プラスして2650、

「」のままでは670のダメージを受けてしまつた。まあ、少ないが。  
・・。

「火火火、ダメージ計算時に罠発動『炎壁』を発動！炎族モンスターとの戦闘を無効にし、『テッキからカードを3枚ドロー！そして、2枚捨てるぜ！』

「ほお、『』で使うか。じゃあ、もう切り札を呼ぶ準備はできてるって訳だ。

しかし、相手も中々やるな。俺たちほどではないが。  
まあ、器としては最適だな。

「おい炎祭、アレ使え。」

「火火火、了解。ボウズ、ターンエンドだろ？俺のターン！  
フィールド魔法『世界の終り』《始まりの瞬間》を発動！」

やはり、闇は落ち着くな。これが世界の終り、そして世界の始まり。  
・・か。

まあ、絶望と狂気だけの世界を俺は望んでいるんだがなあ。

「グッ、体が・・・闇が僕に憑りついてくる・・・。なんだこのフィールド魔法は・・・？」

おやおや苦しそうに。常人にはちと厳しい奴だからな。

あのペガサスが、自身の闇をそのまま具現化させ、そして所有者を絶望の闇へと葬り去ると噂されているカード。

そして同時に、願いが叶つとも言われているが・・・真偽は定かではない。

「火火火、すぐに楽にしてやるよ。魔法カード『悪夢の施し』を発

動！デッキからカードを4枚ドローし、5枚捨てる・・・。

墓地に存在する炎と名のつくモンスター『炎獣』『炎鳥』『炎邪』  
『炎帝テスタロス』『炎を支配する者』『怨念の魂業火』『炎の精  
靈イフリート』『炎龍』を除外し、俺の切り札を召喚させてもらう  
ぜ！出でよ『炎邪神ラブリミス』！！』

来た、炎祭の切り札。ここまで早く呼び出すとはな・・・。  
こいつを出そうと思ったら大変だからな、俺は出した事が無い。  
しかし、除外対象に水族無いのになんて左手に水晶なんだろう？  
まあ、気にする事無いがな。

「な・・・。だが、たかが攻撃力2400！僕の攻撃力2450の  
『ギガ・ガガギゴ』には敵わない！」

「火火火、若造が！『炎邪神ラブリミス』の効果発動！貴様の場に  
存在するモンスターを破壊し、元々の攻撃力の半分のダメージを相  
手に与えるぜ！もつともこの効果を発動するターン、俺は攻撃がで  
きないがな。」

そう、ギガ・ガガギゴの元々の攻撃力は2450・・・つまり半分  
の1225のダメージか・・・。

アイツだけは相手にしたくないねえ。召喚条件の難しいモンスター  
をこうも簡単に呼び出すとはな。

「火火火、ターンエンド！」

あーあ、手札がもう無いや。頼みの綱は、除外された炎鳥だけか・・・。

結構アイツ、手札早く減らすなあ・・・。

「グッ、僕のターン！」

(手札が悪い。あいつにカードを引かせるのは危険すぎるが、仕方ないか。) 魔法カード『天よりの宝札』発動!互いにデッキから、手札が6枚になるようにドローする。僕の手札は3枚、つまり3枚ドロー!「

「火火火、賭けに出たか。なら俺は6枚ドローさせてもらひぜ!」

ほう、手札が事故つてたか。

だがいいのか?炎祭の手札が6枚、敵に塩を送るようなもんじゃねえか。

「魔法カード『手札抹殺』を発動!互いに手札を全て捨て、捨てた枚数分ドロー!」

「火火火、いいのか?俺の墓地を肥やすもんだぞ?」

「(来た!) 魔法カード『サイクロン』発動!『世界の終り』を破壊!」

世界の終りを破壊したか。やはり、未知のカードは早めに潰す……か。それが人間の弱さ。そのカードが破壊された時に、炎祭のデッキに眠る最強のモンスターが出る。

「火火火『世界の終り』が破壊され、墓地へ送られた時にデッキからこいつを特殊召喚する。『心縛神Chinpaku』を特殊召喚!」

心縛神Chinpaku、ケチュア語で感染、伝染という意味。つまりその効果は……。

「ツ、カードを3枚伏せ、モンスターをセット!ターンエンド!」

ほお、カードを3枚も伏せるとは……恐らく、炎祭の手札にはサ

イクロン系のカードが来てる筈……。  
まあ、大嵐かもしれないが。

「火ヤーハツハツハツハッハ！攻めてこなきや勝てねえぜ？俺のターン！  
魔法力ード『フレイム・サイクロン』を発動！手札を2枚捨て、貴  
様の場の魔法・罠カードを2枚破壊！墓地の『炎鳥』の効果発動！  
除外されたこのカードを墓地へ戻し、デッキからカードを2枚ドロ  
ー！」

更に墓地の『炎人』の効果発動！墓地のこのカードを除外し、手札  
の炎と名のついたモンスターを特殊召喚できる！手札の『炎神』と  
『炎車輪』を特殊召喚！

ほお、1ターンでここまで展開できるとは、流石だな炎祭。  
そういうや、Chinpaku\_yの効果ってどんなんだっけ？

「火火火・・・『心縛神Chinpaku\_y』の効果、俺の場のモ  
ンスターを2体破壊し、貴様のモンスターを全て破壊する！そして、  
俺はカードを1枚ドローするぜ！」

そして魔法力ード『炎神の導き』を発動！手札を全て捨て、その枚  
数×700のダメージを与えるぜ！俺の手札は6枚！つまり貴様に  
4200のダメージだ！」

恐らく、オーバーキルをしようとしてるんだろう。

「火火火、俺の勝ちだな！さあ、闇に飲まれてもらうぜ？火火火  
火火・・・火ヤーツハツハツハツハツハツハッハッハ！」  
「な、く、来るな！うわああああああああああああああ！」

無私櫓に黒いスライム擬きが纏わりつき、闇に飲まれていった。  
少々物足りなかつたな。炎祭、少しは長引かせてくれよ。

「生贊は多いに越したことはない。よくやつたな炎祭。」

「火火火、アイツじや弱すぎるんだがなあ・・・。もう少しマシな生贊候補は居ねえのかよ?」

「それなりの実力がある奴は、俺の周りに漂つてているこいつ等のための器。または闇のカードを渡し、生贊をそろえるための尖兵として扱えるからな・・・。生贊はその程度の実力で十分だ。」

まあ実際、十代とかレイには負けるが・・・。

「おい永理、携帯鳴つてるぞ?」

「一体誰からだ?」

・・・ホセからか、なんか、アイツ等と話すの久々な気がするな。折角だから出るか。

「はいもしもし?」

『お~わしわし、わしだつて。』

「・・・わしわし詐欺か?」

『えつ、面白くなかった?』

「思い切り。」

アイツが[冗談を言つなんてな・・・珍しい。

しかし、さつきから虫が鬱陶しいな。だから夏は嫌なんだよ・・・。

『酷い、あつそうそう。頼まれていた剣出で『ちょ、プラシド何スカーレッジ出してんだよ! お前シンク口嫌いだつたろ! ?』『勝つためなら手段なぞ選ばん!』・・・お主等・・・。』

「やうか、ありがとう。んじゃ俺、そろそろ寝るから切るぞ?」

そう言い、俺は携帯を切った。あつ、メールだ。誰からだ？

・・・クロノス先生から？何故？

いやだつてそこまで親しくしてないし、つうか学生を飲み会に誘つ  
なよ！

いや、酒はいけるけどさ。酒売つたりしてるけどさ。

「じゃあ炎祭、俺今から飲みに行くから。じゃあな。

・・・あんた学生だろ？」

炎祭、小さい事気にしてるから留年してしまつんだぞ。

いつ、この主人公が悪役じゃないと言った……？（後書き）

うん、中々の悪役ぶりだな永理。褒めてつかわそう。

永理「DA MA RE！」

では、オリカ紹介！ああ、猫が欲しい。

『火薬ビン』

永続魔法

火または炎と名のついた魔法カードを発動し相手のライフに直接ダメージを与えた場合、このカードを墓地へ送り、相手にに900のダメージを与える。

『炎獣』

レベル4

炎属性

攻撃力：1980

守備力：0

獣族：効果

1ターンに一度、相手ライフに600のダメージを与える。この効果を発動するターン、自分は攻撃宣言ができない。

『炎壁』

通常罠

自分フィールドに表側攻撃表示で存在する炎属性モンスターが攻撃対象に選択された時に発動する。炎族モンスターの破壊と戦闘ダメ

一ジを無効にし、デッキからカードを3枚ドローし、そして2枚捨てる。

『世界の終り、『始まりの瞬間』』

### フィールド魔法

自分フィールドに存在する神と名のついたモンスターの攻撃力を500アップさせる。

このカードが破壊され墓地へ送られた時、デッキから心縛神と名のついたモンスターを特殊召喚する。

『炎鳥』

レベル3

炎属性

攻撃力：1400

守備力：1100

鳥獣族：効果

除外されればこのカードを墓地へ戻し、デッキからカードを2枚ドローできる。

この効果は3ターンに一度しか使用できない。

『炎邪』

レベル4

炎属性

攻撃力：2000

守備力：0

悪魔族：効果

このカードは、墓地のカードを1枚除外しなければ攻撃できない。

『炎邪神ラブリミス』

レベル9

攻撃力：2400

守備力：1300

幻獣神族：効果

このカードは通常召喚できない。墓地の炎と名のついたモンスターを8枚除外してのみ、特殊召喚できる。

1ターンに一度、相手の場に存在するモンスターを破壊し元々の攻撃力の半分のダメージを相手に与える。この効果を発動するターン、自分は攻撃宣言ができない。

『心縛神Chinpaku』

レベル10

神属性

攻撃力：2800

守備力：2300

このカードは通常召喚できない。終わりの始まりの効果でのみ特殊召喚できる。

自分フィールドに表側表示で存在する場のモンスターを2体破壊し、相手のモンスターを全て破壊し、デッキからカードを1枚ドローする。

『フレイム・サイクロン』

通常魔法

手札を2枚捨て、相手の場に存在する魔法・罠カードを2枚まで破壊する。

『炎人』

レベル2

炎属性

攻撃力：100

守備力：250

炎族：効果

墓地に存在するこのカードを除外し、手札の炎と名のついたモンスターを特殊召喚できる。

『炎神』

レベル7

炎属性

攻撃力：2600

守備力：1700

幻獣神族

かつて幾多の村々を燃やし尽くしたといわれる邪神。その業火は、地獄の炎をも焼き尽くすと言われている。

『炎車輪』

レベル6

炎属性

攻撃力：1900

守備力：1900

機械族：効果

このカードを手札から墓地へ送り、デッキから炎車輪を2枚まで手札に加える事ができる。

『炎神の導き』

通常魔法

自分の手札を全て捨て、捨てた枚数×700のダメージを相手に与える。

ああ、アニメの世界に行きたい。

永理「・・・無理だろ？」

ああ！ぶっちゃけ人見知り激しいんだよ俺。だから見知らぬ人と『ユエルなんて、大会でしかできないぜ？』

永理「いつも1回戦で敗退してるけどなお前。」

・・・仕方ないだろ、ブリュ持つてないんだから！

心のこもったままでキャラが安定しないのかが気になる。（前書き）

オーバー『オーバーと……』

エンド『エンドのお？』

『『前回のあらすじ……みたいな？』』

オーバー『前回、永理と炎祭が闇のデュエルで……悪役道まつしぐらであつたが……今回の話ではいつものぼのぼのルート……。』

『エンド』ついに出てきた光雄、じゃなくてボーア。原作道理あの人と対戦。

まさかの永理にヒロイン登場か？』

オーバー『ちなみに……私の性別は女性……あと、藍つて子出てた気が……。』

エンド『……それでは、本編スタートです。』

北のじでいつまでもキャラが安定しないのが気になる。

視点・永理

ああ、昨日は飲み過ぎた・・・。流石に5杯も一気飲みはするもんじゃねえな・・・。

あつ、なんか足元が温かいような・・・？猫か、そういうえばキヤツトフード何処へ置いたっけ？  
あつたあつた、ほらたんとお食べ。

「・・・何やつてんですか？教祖様。」

「猫に餌やつてんだよ。」

「火火火・・・まあ、俺も好きですがね。所で、影丸さんがお呼びですぜ？」

・・・一体何の用だあのあつさん、じつちは一日酔いで辛いってのに・・・。

あ〜、なんでこんなに飲んでしまったのかねえー本当に。マジでヤバい、吐き気がする。頭痛い。

「・・・炎祭、今日は断つておいてくれ。頭が・・・。」

「御意に・・・火火火。」

「なあ炎祭、今日つて何曜だっけ？」

「今日は・・・たしか月曜ですね。」

・・・は？たしか学園祭があつたのは土曜、つまり2日も寝てたと・

・・?

レイちゃんと姉貴をお見送りできなかつた。」

「あ、そうそう。瑠璃さんから荷物が・・・。たしかJK「月影永理さんですね?」人の台詞遮つて楽しいか姉ちゃん?」「・・・すいません。」

何処から出したそのダンボール箱!「と、ツツ」「ミを入れたいが客が居るのでやめとこ!」

この貧乳、あの眼鏡は・・・原麗華さんか?

「今、貧乳つて考えてませんでしたか・・・?」

「イヒ、メソウモゴザイマセン。」

「はあ、まあいいでしょ?・・・制服着なくとも授業中に寝てもいいから授業に来てなーーー!・・・と、クロノス先生から伝言がきて」・・・私の話聞いてます!?」

「ちょ、大声出さんといて頭が・・・。」

「だ、大丈夫ですか?」

「大丈夫、ただの一日酔いだから・・・。」

「貴方学生でしょ!?」

何を今頃言つてるんだ?最近じゃ小学生だつて酒飲むんだぜ?甘酒だけど・・・。

ああヤバい、なんか吐きそう。なんであんなにも飲んだんだ俺?あつ、ちよつとマシになつてきた。

ああ、こんな事なら一昨日炎祭の闇のゲームなんて見ないで寝とくんだつた。

「・・・まあとりあえず、アカデミアには行つてもうこりますからね!しつかり制服を着てね。」

制服・・・か。そういうえばどうやったっけ？最後に着たのはたしか  
・・ああ！

そういうや制服にラーメンの汁溢してクリーニングに出したんだった！

「ごめん、制服がちょっと・・・。炎祭、なんとかなんねえかな？」  
「俺の制服なら1着余りますけど、あんたレッド生徒だからなあ・・・。もう制服無しで行つちゃえればいいんじゃないすか？」

んな殺生な！

「はあ、そっちがその気なら、デュエルです！私が勝つたらしっかり制服着てアカデミアに行つてもらいますからね！」

「俺が勝つたら？」

「その時は私服でアカデミアに行つてもらいます！」

それってどおりにせよ同じじじゃねえか！

まあいいや、久々に授業を真面目に受けるつてのもいいな。・・・

制服無いから真面目じゃねえか。

そういうや、あの箱何が入ってるんだ？なんか声が聞こえるんだが・・・  
・まさかアレじゃないよな！

「デュエルです！」「デュエル・・・。」

おい炎祭、他人事と思つて何ネトゲやつてんだ！

「ネトゲじゃないつす、シゴミノーショングームつす！」

てめいつか消す！

ちなみに俺は紳士ではなくただの悪役なのでレディーファーストと

か知んない。

「俺のターン！ドロー！

カードを2枚伏せ、魔法カード『愚かな埋葬』を発動！『ツキから『マテリアルドリコン』を墓地へ送る！ターンエンド！』

手札に下級モンスターが居ないんだよコンチクショウ！いやまあ、伏せたカードはリビングデッジの呼び声だからいいけどね。・・・除去使われたら悲惨な事になるよ・・・。

「ガンバレー教祖サマー。あつ、あつたあつたマリオくん6巻。」

てめ炎祭何読んでんだゴラ、こいつちは手札事故で困ってんだぞ！？ああ、もつと思いやりのある幹部が欲しい。

「私のターン！ドロー！

魔法カード『火炎地獄』を発動！相手に1000のダメージを与えます！』

『永続罠』『リビングデッジの呼び声』発動！墓地の『マテリアルドリコン』を蘇生させる！』

ふう、これでライフ1000回復つと、ラッキー。

「くっ、モンスターを伏せてターンエンド！」

よかつた、カードとか伏せられなくて本当によかつたーもし伏せられていたら怖くて攻撃できなかつたよ。だつて俺チキンだもん！

「俺のターン！ドロー！

『マッシュ・テーモン』を召喚し、バトル！『マッシュ・テーモン』で

守備モンスターを攻撃！

「伏せモンスターは『マシュマロン』ーこのカードは戦闘では破壊されません！」

「だが『マッシュ・テーモン』は貫通能力を持っている。1300のダメージを受けでもうつぜー！」

ふう、マシュマロンの効果でライフを1000回復できた。さて、このカードを伏せてつと。

「カードを伏せ、ターンエンド！」

「私のターン！ドロー！」

魔法カード『サイクロン』を発動！貴方の場に存在する永続罠『リビングデッドの呼び声』を破壊！

うわあ、これはヤバいぞ？相手はフルバーン、俺のライフはすぐに消えてしまうだろ？

だが、もし相手が攻撃してたらマッシュ・テーモンは守備表示になつて少しばれるはず！

『永続魔法』『悪夢の拷問部屋』を発動！そして私は魔法カード『昼夜の大火灾』を発動！相手に800のダメージを与えます！更に永続魔法『悪夢の拷問部屋』の効果で、相手に300の追加ダメージ！そしてそれにチヨーンして速攻魔法『連鎖爆撃』を発動！このカードの発動時に積まれているチヨーン数×400ポイントダメージを相手ライフに与えます！

このカードの発動時に積まれているチヨーン数は3…つまり1200のダメージです！

うわあ、いきなり2400もダメージ受けたよ。つうか相手、もう

手札が1枚だけだよ？どうするの？まさかの手札補充とかないよね！

「魔法カード『命削りの宝札』を発動します！自分の手札が5枚になるようにドローします！ただし、5ターン後のスタンバイフェイズに全て捨てる事になりますが・・・。魔法カード『火炎地獄』を発動！相手に1000のダメージを与えます！更に『悪夢の拷問部屋』の効果で、相手に300のダメージです！これでターンエンドです！」

残りライフが1100ってどうなの？むつかやギリギリなんだけど？制服クリーニング出してるんだけど？

「俺のターン！ど」「すいませ～ん、永理君居ますか～？」あ、はい。ちょっと待つてくれ原麗華さん。」

あつ、翔か。一体何の用だ？

「せい～」「よつしゃナイスだ翔！原さんちよつと待つてくれ。すぐ着替えるからー」台詞遮らないでほしいッス・・・。」

俺は翔から制服を受け取り、マリオも真っ青な勢いでトイレに駆け込んだ。

ぶつかやけソーック超えた気がするが別にそんな事無かつたぜ！

「うし、アカデミアに行くぞ少年少女諸君！」

「そういえば、たり・・・鮫島校長が後で校長室に来いと言つてた気がするッス。」

おい、今狸つて言つてなかつたか？アイツ一応校長でサイバー流の

師範なんだぞ？

カイザーより弱いけどな。

「所で、後ろに居る」。「誰が子供だ！」骨が、骨が折れる！ギブギブギブ！」

いつの間にか赤い髪の少年、ルチアーノが居た。つうかいつの間に・・・。  
ちなみに、過去形なのは今、翔にウォーズマンのあれをしているからである。

あれって何かって？パロ・スペシャルだよ言わせんな恥ずかしい。

「あの、あの子誰ですか？」

「ルチアーノ、一応デュエリストだ。」

「一応って何！？」

「あ、なんか腕の感覚が・・・。」

ルチアーノ、もつやめとけ。冗談抜きでヤバいって。

「で、一体何の用だルチアーノ。あと下つ端はどうした？」  
「下つ端はたしか、ジャンプ買に行くつて言つてたよ。TO LO  
VERを見たいからつて。」

おい下つ端、何買いに行つてんだ貴様。シグナーとの決着はどうした？

つうか炎祭、何アカデミアに行こうとしてんだ置いてくな。

「じゃ、後はようじくお願ひします教祖様。」「に、逃げんなーー！」

うわあ、ダッシュで駆けて行つたよあいつ。ほんと思いやりのある部下が欲しいよ全く！

つか何これ、なんか埃ついてんだけど…？あいつ適当にやつたろ絶対！

「で、何の用だルチアーノ。」

「頼まれていた剣にあと、ふらり、下つ端がこれも渡しとけって。」

これつて、クロスハンター！？あいつ手作りで単行本作りやがったな！？

要らねえよこんなの！あいつ要らないやつ俺に押し付けただけだろ！？

「あー、あと……。」

「ん？」

「ものつす」と嫌な予感が……。

「僕もアカデミアに行きたいな！」

やつぱりな！どうせそんな事だらうと思つたぜ！

あ、そういうえば頭痛がちょっとマシになつてきてるよつな……。

「うし、じゃあ行くか！」

「あの、生徒でないものがアカデミアに通つてのはまづひと・・・。」

「大丈夫！あの禿げ狸にはもう言つとこたし！」

「・・・いつの間に・・・。」

ふーはは、そこは大人の事情つてやつよ少年少女諸君！

視点：十代

俺は今日、久しぶりに制服を着た永理を見た。なんかラッキーな気分だったなあ・・・。

そういうや、なんか校長室が騒がしいな。誰か居るのか？  
まあいいか。つうかアバター、朝からドーローパン3個も食つなよ！  
なんでそんなに食ってんだ？朝飯食べろよ！

誰に言つてるかって？ディスプレイの前の諸君に決まってるじゃな  
いか言わせんな恥ずかしい。

そういうや、あの赤髪の奴、誰だろ？

「ヒヤーハツハツハア！どうしたどうした十代、朝っぱらから時化  
た顔しやがつて？恋の悩みか？」

「恋！？それなら僕の出番だね十代くん！」

相変わらずハイテンションだな神楽坂。あと吹雪さん、何処で買つ  
たんですかその仮面。

「これかい？なんか永理くんから貰つたんだ。中々似合つてるだろ  
？」

「はいそうですねー（棒）

ぶっちゃけどうでもいいんですけど。

つうかさつきから何やってんだあの白い服の人。

なんか右眼が機械っぽいんだが・・・気のせいかな？

「あ、これこれ。あとあのパックを2パックください。」

「・・・何をしておるのだプラシード・・・」

「・・・まさか、パラディックス！？なんでここにいる・・・？」

「ふむ、未来を変えるにも金が必要なのだ。だからここでバイトをな。」

なんかいろいろあるっぽいデアイツ等。

そういうや、まだジャンプ買ってなかつたな。スケットダンス見たいから買うか。

「すいませーん、ジャンプください。」

「え、はい。ちょっと待つとねプリシード、すぐにお前の分も持つてくる。」

まだか？クロノスの授業の時に読もうと思つてんだが・・・。

「これだろ？」

「これ、ビジネスジャンプじゃねえか！親でもこんな間違い起きしねえよ！」

「すまぬすまぬ、ちょっとふざけただけだ。ほれ。」「ふざけるな！」

つたぐ、最近の若い者は・・・。

まあそんな事があり、今校長室に居ます。

「・・・相変わらず煩い場所だな！」

「つか展開速すぎワロタ WWW」

「それは言うな十代。」

「キー シツシツシツシツシ-セ! こは慣れだぜ?」

「おい、俺のいちご盗ったの誰だ！」

「いや、お前のだつたの？残してたからってつきり嫌いだと……。」

「俺は好きなものは最後に食べる派だ！」貴様をデコエルで成敗して

くれる！

うわあ、なんか色々とカオスだ本当に。

なあ明日香 隅にJでケーブルサヤでないでさ  
俺と一緒に デュエルでもやろうぜ！

「おい校長、この白服は誰だ？」

—白服ではない、恋の大泥棒ボーグだ！

何々、光雄？なんちゅう普通な名前や。

ちなみに、今見るのは校長室前で拾つた船の免許だ。・・・光雄  
しか書いてないのだが、これが名字か？いや、それは無いよな。  
あと明日香、なんか目が怖いんだけど。なんか目の白い部分が赤く

「一体何の用なの光雄！スカーフでも返しに来たのかしら？」  
「光雄ではなくボーイと呼んでもらいたい！・・・ふふ、少しばかりセブンスターズと戦いたくなつてね。正義の血が騒ぐ・・・とでも言つておこうか。」

「もうセブンスターは全部倒したぞ光雄。」

一  
ふ二 あせり来るの遅すぎ三 す光雄君

「だから光雄ではない！ボーアだ！」

うわあ、翔と永理言いたい放題だな。

そういうば、今日キャベツの特売日なんだよなあ。今日はお好み焼きにでもするか。ハネクリボーの好物だしな。

「そういうば、私のスカーフ盗んだの貴方だったわよね？殺すわよ？」

明日香が、明日香が怖いです。久々の出番なのに・・・。  
ほら、万丈目も震えてるし、その殺氣をなんとかしてくれ！

つうかスカーフ一枚ぐらいいいだろ別に！そのくらいでそこまでの殺氣出すのやめもらひえるかホントつかやめてください明日香様！

「久々のデュエルよ、楽しませて頂戴！」

「えつ、これ俺がやらなきゃ駄目・・・なのか・・・？」

「まあ、そうだな。頑張れ光雄。死なないようにな・・・。」

「死なないようについて何！？凄い怖いんだけど！？」

うつわあ、なんか黒い炎があたりを覆つてるような気が・・・。  
気のせい？いや、気のせいじゃないよねあれー絶対ダークシグナー  
のあれだよね！

「デュエルよ！」「でゅ、デュエル・・・。」

あ、永理がむずかしいでフルコン出した。凄い・・・。

「これ、飲む？」

「あ、ああ。」

赤髪の少年が俺にペットボトルてくれた。

良い子だ、本当に良い子だよあの子。何々、ペプシ……紫蘇！？  
どんな味だよ紫蘇味つて、ためしに飲んでみた。

・・・結論、大分と不味い！！

ぶっちゃけペプシに紫蘇入れる意味がわからないよ！

「先行はあげるわ。さあ、楽しませなさい！」

「お、俺のターン！ドロー！」

永続魔法『セカンド・チャンス』を発動！そして『ギャンブル天使バニー』を召喚！

きょ、巨乳だと！？

あとどうでもいいけどこの校長室だから。デュエルはデュエルフィールドでやれやつて思つた俺は悪くないと思いました。あれ、作文！？

「『ギャンブル天使バニー』の効果発動！ターンに一度だけ、自分のメインフェイズに発動できる。コイントスで裏表を当て当たった場合、相手に1000ポイントのダメージを与える効果、そしてハズレの場合、自分は1000ポイントのダメージを受ける。  
さあ、運命のコイントス！」

出た目は裏、つまり光雄に1000のダメージだな。どうせ、ギャンブルデッキ使うならもつといいバーンダメージカードがあつたろうに・・・。

つか絶対火炎地獄のほうがいいぞ？

「だが『セカンド・チャンス』の効果でもう一度だ！」

セカンド・チャンスの効果、それはコイントスをやり直すという効果。

ぶつちやけこんな効果を持つた魔法カードとか遊戯王だけだよね。で、光雄が「イントスして出た結果が表、つまり明日香に1000ものダメージだ。

「カードを伏せ、ターンエンド！」

「私のターン！ドロー！」

はあ、その程度なのね。ガッカリよ。」

「何？」

明日香さん、どういう事でしょつか。  
つうか田、田が怖いよ！その田でそんなこと言われたら相手、怯んじやうぞたぶん。

「どういう事だ？俺のデュエルタクティクスは完璧なはずだ。少なくともこのアカデミア生徒には負ける事は無い！」

「それはどうかしら？『極星天ヴァルキュリア』を召喚！そして『極星天ヴァルキュリア』のモンスター効果、発動！

このカードが召喚に成功した時、相手フィールド上にモンスターが存在し、自分フィールド上にこのカード以外のカードが存在しない場合手札の極星と名のついたモンスター2体をゲームから除外して発動する事ができるわ！

自分フィールド上に『エインヘルリアル・トーケン』2体を守備表示で特殊召喚！そしてレベル4の『エインヘルリアル・トーケン』2体にレベル2『極星天ヴァルキュリア』をチュー二ング！

北辰の空にありて、全知全能を司る王よ！今こそ、星界の神々を束ね、その威光を示せ！！シンクロ召喚！天地神明を統べよ、最高神『極神聖帝オーディン』！

1ターン目から攻撃力4000つて、明日香やり過ぎだ。  
ほら、光雄君も怯えてるではないか。やめたげてよオ！

つうかあのあつさんひげ凄いぞおい！髪の毛の長いし、男なら短く  
だろ！

俺？俺はいいの。

「『極神聖帝オーディン』の効果、インフルエンス・オブ・ルーン！  
バトルよ！さあオーディンよ、その力を悪しき女に裁きの鉄槌を振  
り下ろせ！ヘヴンズジャッジメント！」

「永続罠『モンスターBOX』！相手モンスターの攻撃宣言時、コ  
イントスを1回行い裏表を当て、当たった場合その攻撃モンスター  
の攻撃力はバトルフェイズ終了時まで0にする！」

「無駄よ、オーディンに魔法・罠は効かないわ！」

うわあ、オーディンの雷がギャンブル天使バーに落ちて、まるで  
アニメながらの黒焦げになつて消えて逝つた。

ああ、昔こんなのあつたなあ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ。貴方のラストターン、私を  
楽しませなさい！」

うん、これ絶対逆転無理だろ。

だつて自己再生能力を持つた攻撃力4000のモンスターだぜ？ト  
リショウで除外？ブリュでバウンズ？  
・・・アイツ等は別だ。

「俺のターン！ドロー！

この瞬間『モンスターB-X』の効果！俺はこのカードを破壊する！  
『時の魔術師』を召喚！そして『時の魔術師』の効果！タイム・ル  
ーレット！

結果は裏、だがセカンド・チャンスの効果でもう一度コイントスを

し、見事表を出しやがった。

つまり、オーディンが破壊され2000ものダメージを受ける事になる。蘇生できるけど。

このターンで決めなきゃ光雄のライフはすぐにゼロになってしまつぞ。

「魔法カード『融合』発動！場の『時の魔術師』と、手札の『ベビードラゴン』を融合！

『千年竜』を融合召喚！」

普通、ギャンブルティックに融合は入れないと想つ。  
ご都合主義つてやつか？

「バトル！『千年竜』で明日香に直接攻撃！サウザンド・ノーズ・ブレス！」

「罠カード『ドレイインシールド』！攻撃を無効にし、ライフを2400回復！」

「くつ、ターンエンドだ！」

「貴方のエンドフェイズ時、墓地の『極星聖帝オーディン』は墓地のチューナーを糧に復活する！」

永理、せめて見といてやれ。なにムシキングやつてんだ懐かしいなおい。

そういうや、何ぼ金つき込んだっけ？流石にやり過ぎたなあ・・・。つづかオーディン、なんか疲れてるぞ？

「私のターン！ドロー！」

光雄の場に『極星邪龍ヨルムンガンド』と『極星邪狼フェンリル』を特殊召喚！

相手の場に何故攻撃力3000と攻撃力4000のモンスターを特殊召喚するんだ？

あれか? 破壊されたら大ダメージを与えるとかそういう効果か?

「私はこれでターンエンドよー。」

「一体何を考えてるんだ明日香、俺のターンードローーーー！」

「スタンバイフェイズ時『極星邪狼フェンリル』の効果、場のモンスターの表示形式を変更する！

そして、極悪魔三リムンガント』の効果！このガードが、備表示から攻撃表示に変更された時、貴方に3000のダメージを与える！」

うつわあ、完璧にやり過ぎだ。

「うかこれ、痛みを現実に与える闇のテニエル……じゃなかつたな。あれは幻覚だったのか？」

「西田監督、おまかせだわ。」

「ふふふ。さあ、スカーフを返してもらうわよ。」

「ちつ、好きにしろ。・・・好きだつた子のスカーフ、どうしても  
欲しくつてさ。」

ねえ永理)、この相手強すぎなし?」

「……話聞けよおい！」

うつわあ、光雄マジドンマイ。

まあ俺じゃないからどうでもいいがなー

「つ、次あつた時はこうは行かぬぞ、次こそは俺が勝つ！さらばだ

「！」

「つりやあー！」

赤髪の子が投げたペプシネックス（紫蘇）を光雄が踏み、派手にこけた。

赤髪の子が爆笑しているよ。どうなのそれ。ドジなのあれ。つうかオチは！？オチはどう行つたおい！？

「オチたじやん、僕が投げたペプシ（紫蘇）で。4コマ漫画でいう起承転結の結・・・みたいな。」

「遊星強すぎる。なんだよあれ、なんでシユーティング・クルーサーが1ターンで出でくるんだよ。冗談じやねえよ。」

あのワードを被った青年がなんか愚痴つてゐる。手にはPSAを持って。  
うつわあ、全くオチでねえ。

「ひじりつままでキャラが安定しないのが気になる。（後書き）

オリカ使わなくても十分強いよ明日香さん。

永理「おお、怖い怖い。」

光雄ドンマイだな本当に。あと永理、凄いなお前フルコンとか。俺なんか簡単でやつとフルコンなのにさあ！

永理「いや、そんな事言われても・・・。

さて、折角なのでアニメ風に次回予告よりしく！

永理「な、いきなりだなおい！」

・・・俺がエロゲをやってる時に現れた3幻魔、影丸は精靈の力を吸い取るために精靈を持つ俺と十代とのタッグデュエルを申し込んできた。久々に登場したあのキャラまで出てきたが、ぶっちゃけ忘れてましたすいませんだ。

はたして影丸の運命は、そしてプラシドは無事、？ジャンプを入手する事が出来るだろうか。次回なにかが違うGXと3邪神、タッグデュエルでのレイザーはガチカード。お楽しみに・・・こんなんでいいか？」

OKOK、上出来だ少年。

さて久しぶりに、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思う・・・あくまでも思うだけでその日のやる気とかによる。

あとオリキャラも募集中。感想欄に見た目、性格、使用テック、性

別などを書いてくれ。ただ、俺の文才や気分でキャラが崩壊したりするぜ。

あと、使用デッキも出来れば書いてくれ。ただ、性格などと同じように戻すなどがあつたりするかもしれないからな。で、もしデッキや性格、見た目などは書いてなかつた場合、作者が勝手に決めたりする。ただ、書いてたとしても戻すとかもあり得るぜ。

ふう、久々だなあれ。

永理「お前忘れすぎだぞ。」

タッグヒューホルでのレイイザーはガチカード。（前書き）

『ツインと?』

『デレッヂの・・・。』

『『前書き・・・みたいな?』』

『なんかテンション低いぞデレッヂーまあいーが、前回、イリアス  
テル達が何故か永理の家に転がり込んだ』

『下つ端TF6やつてたな。』

『まあそれは置いといて、光雄と戦った明日香、ぶっちゃけ遊んで  
たようにしか見えない。まるで、死にかけの動物を虐める子供のよ  
うに・・・。』

『そのたとえどりなの?では、本編をお楽しみください。』

『ぶっちゃけ、前回の話見た方が早かつたりするぜーこれ見てるよ  
りな!』

『ぶっちゃけるなー』

タッグデュエルでのレイザーはガチカード。

『どうしたどうしたア？その程度で終わりかア？』

『闇と闇重なりし時、冥府の扉は開かれる・・・光無き世界へ！』

『こいつがどうなつてもいいくてんなら、攻撃してきな。ただし、貴様の愛するこいつは死ぬがな！』

『貴様の命運も死きたようだな、これで楽にしてやる。行けヘルボスマー、奴の魂を刈り取れ！』

『これでまた、生贊が一人・・・。』

『破壊を求めよ、希望を捨てよ、貴様らにあるのは絶望のみだ！止めだ！』

『勝つのに手段など必要ない、これはデュエル、ギャング同士の対決だからな・・・くくくくはははは、ひやはははは！』

『残念だつたな。貴様等、奴を潰せ！』

『残るデュエリストは貴様だけか、血祭りにあげてやる。俺様ら、チーム・バッドエンドがなあ！』

『一ダメも『えられぬとはな、失望したよ。殺せ』ジユラゲド』ー。』

・・・夢か、久しぶりに見たな。

あの夢は俺の昔の記憶、少しばかり若い時にやらかした黒歴史的なものだ。

あの頃は若かつたなア。で、何故起きたら田の前に蟹鍋が？何して  
るprasid、ポン酢？知らんよそんなの。  
まあいいか、さて、待つてくれよ俺のフェイントちゃん！

「まだだ、まだ食い足りんよ！」

「フォツフォツフォツフォツフォ、鍋は戦場だ！」

「遅い、蟹ゲットオオオオオ！」

「甘じよprasid、オラア！」

prasidが蟹を取ろうとしたらルチアーノが富本武蔵真っ青な勢いでprasidの箸を掴み、上へと投げた。よくそんな器用な事できるな。

おお、その隙間をまるでハエの如き速さで蟹を掴んだ！？

「これで鍋奉行の座は、私の物だ！」

「甘じよホセ、罠発動！」

ルチアーノが先ほど上へと放り投げたprasidの箸が、ホセの手の甲の部分に勢いよく当たり、ホセの手が鍋の外側へ・・・。  
うわあ、あれ絶対熱いわ。よい子は真似すんなよ！

「ウオオオオオオオオッ！」

「まだああああああッ！」

「何やつてんだ貴様等！」

あつ、ディヴィアインがファイアーボールをイリアステル共に当たり、転げまわってる。いつの間にいたんだおじさん。

「蟹ならいくらでもあるから喧嘩すんな！」

「「「すいません・・・。」「」」

なんかシユールだ、ホセが正座してるの・・・。  
そう思い妙に得した気分になつてている時に、なんかあれだ、爆発音  
がした。

あーあ、ホセ驚いて鍋ぶちまけてるよ。しかも偶然そこで寝てたバラドックスの顔面にダイレクトアタック決まっちゃったよ。  
うわこれどうしようと思つていると、玄関からノック音が聞こえた  
が気のせいにしたい、だつてなんか面倒事に巻き込まれそだもん。

「おいバラ、ちょっと出で。」

「断る、俺は炬燵でぬくぬくしどきたいんだ。貴様が行け。」

「居候の身で生意氣な！」

「どうでもいいから早く出てほしかつたつす。」

おい翔、何処から入つてきた。

あとみかん勝手に食うな、まず手を洗え！

「どつから入つて來たんだお前・・・。」

「ルチアーノ君に入れもらつた。」

「ルチアーノはこんなにも良い子なのに、バラドックスときたら・・・。一体誰に似たのかしら？」

「お母さん！？」

誰が母さんか！

「で、何様だ翔。」つちは蟹争奪戦で忙しいのだ。」

「あー、なんか万丈目君が明日香さんとラヴ・デュエルするために七精門の鍵を盗んだんだけど、なんかそれがきっかけで幻魔の封印が解かれてしまつたらしいんだ。で、空からアボボノ宇宙人みたいな人が降ってきて、十代のアーニと永理君にデュエルを申し込んだんだよ。」

「なんとも面倒な話だね。あ、ホセみかん取つて。」

原作道理だな恐ろしいぐらいに。さて、デッキ調整しなければならないのだが……ここで一つ問題が。こたつの魔力は恐ろしいものです。（みかんを）食べる手が止まりません。

だつて温かいんだもん！

「おーいバラ、カード持つてきて全部。」

「ぜ、全部！？貴様、この部屋をカードの海にするつもりか？」

「うーし、それなら……ポチつとな。」

俺が懐から取り出したスイッチ。それを押した瞬間に上から、カードがまるで滝のように流れ、幻想的な風景を……全然幻想的じゃねえ！

「まあ、これは全部ソリット・ヴィジョンだがな！」

「「「「じゃあ何のためにそれ作った！？」」」

「ついノリで」

いやだつて、暇だつたんだもん！あらかたゲームやつたし、そもそもゲームを9時間ぶつ通しでやつたら飽きるんだもん！

それでもすぐに欲しくなる。何故だろう。恐らく、人間の欲望がそ

うさせてこらるのだろう・・・。

あれ、プラシドがすぐにゲーム買うのってそのせいなのまさか。あいつ機械なのに！？いやでも、蟹鍋してるし・・・。

うし、行くか！（この間1・2時間）

みんなやつと来たつて顔してるよ。遅くたつていいじゃない、寒がりだもの・・・。

「やつと来たな。貴様、私らがどれだけ待つたと思ってるんだ一体・・・。」

「んなの知らん。だつてこたつ好きだもの。」

「・・・まあいい、貴様にあわゝ十代、これ頼まれてたやつだ。これ探してて少し遅くなつてしまつたんだ。予定では30分早く着く予定だつたんだ。『おい、どちらにせよ大分と遅いぞ！』話聞いて！」

まあわざとだけどな。人のエロゲタイムを邪魔した罰だ！  
だつて折角レアなバッドエンドと出会えたのに・・・。

「貴様、人を待たせておいてその態度とは・・・やはり、闇使いは闇使いか。」

「・・・えーっと、誰だっけ？」

いや、どつかで顔を見た記憶はあるんだが・・・、誰だっけ？  
まるで機動戦士ガンダムさんのオスカーハマークを覚えてる感じのアムロみたいな感じだ。

「・・・十代、あれ誰だ？」

「・・・知らん、翔に聞け。」

「キーシッシ、影薄いんだね。」

「いや、そりや何話も一回も出なかつたら忘れるつて。」

「ほお、俺は久々にやつたエロゲのヒロインだつて全員名前言えるし、一番最初にやつたエロゲのヒロインの名前だつてまだ言えるぞ？」

「うわ、引くわそれ。」

「無視するな貴様！」

「あ、ごめん素で忘れてたわ。」

「いやだつて、今までこいつ無しで会話してたんだぜ？だつたら忘れるのも無理はないだろ？」

「だつてこんな主人公だもん！」

「俺を忘れたのか貴様、俺の名は天界磁、天界磁 誠だ！」

「誠誠、ああ、俺に負けた人か。」

「ああ、あの人か。で、何故まだ生きてたんだお前。」

「貴様を倒す為、地獄の底から戻つて来たのだ！」

「役者は揃つた、幻魔の復活を完全にする為、精霊を持つデュエリスト、遊城 十代、月影 永理よ。どうせだ、タッグでどうだ？天界磁もそれで良かろう？」

「・・・いいだろつ。永理、貴様は俺が倒す。貴様は手を出すな。」

「これつて、やっぱタッグデュエルになるのか？面倒な事だな。」

「俺は部屋でゆつくり、嫁とニヤンニヤンしたいのに・・・。嫁つて言つても勿論、二次元だぞ？あとニヤンニヤンが古い？貴様、闇のデュエルだ。」

「そりだな。デッキからカードを一枚出し、その中で一番攻撃力が高い奴が先行でいいな。ただし、それで選択したカードは『デュエル中に使用できないぞ。』

異論は・・・無さそうだな。

さて、俺が選ぶのは攻撃力3000のラヴァ・ゴーレム。奴らのカードが何であれ、奴らならこの攻撃力以上のモンスターが使用できなくなるとすると、恐らく高くて1900か。

「俺が選んだのはラヴァ・ゴーレム、攻撃力は3000だ。」

「俺が選んだのはバブルマン・ネオ、攻撃力は800だ！」

「わて「俺が選んだのはクリスティア、攻撃力は2800！」台詞遮らんといて。はあ、私が選んだのは『ジュラゲド』攻撃力は1800だ！」

何故ジュラゲドが・・・と思ったが口には出さないでおこう。シリアスな雰囲気が壊れちゃ駄目だからな。  
もう壊れている? 気にするナンクルナイサー!

「「「「『デュエル!』」」」

おーいルチアーノ、何呑気みかん食つてんだこら俺にも寄越せ。  
ちなみに、みかんはドレッドが作った畠になつてたの勝手に持つて  
来た。

「俺のターンードロー!」

ウホッ、いいカード。

ごめん、一度言つてみたかつたんだ。  
でもいいカードなのは本当だよ?

「『ネクロソルジャー』を召喚し、カードをセット・ターン終了！」

ふつふつふ、ここで視点は、切り替わる！

視点・十代・・・痛いよ、ぐる「オメエの出番、無理からー」・・・  
へ？

なんか懐かしいような気がする声が聞こえたような・・・。気のせ  
いか？

しつかし、初手手札がこれってマジで積み込み疑われたりするだろ  
うが決してそんなのではない。

そもそもそれをやっているのは亮さんだけだ。

次は天界磁のターンか、マジで特徴無いんだよなアソツ、なんと言  
うかその・・・シルエットで判明できないキャラってあれじやん？

「俺のターンードロー！」

「貴様のスタンバイフェイズに、俺は『ネクロソルジャー』の効果  
発動！デッキ、又は手札から同名モンスターを特殊召喚！更に、こ  
の効果で特殊召喚した『ネクロソルジャー』の効果で特殊召喚！」

「『死天使への生贊』を召喚し、カードを伏せてターンエンド！」

・・・顔色が悪いなあいつ、なんというか、ダークシー・レスキュー  
ーを思い出したなうん。

ああ、みかん食いたい。ルチアーノ頼むから一つだけ、一つだけで  
いいからさ。

次は影丸の番か、普通なら俺の番なのに・・・いや、バブルマン・  
ネオ選んだ俺も俺だけだ。

「私のターン！ドロー！」

『ネクロソルジャー』を召喚し、カードを伏せてターンエンド！』

何？ネクロソルジャー人気なの？  
いや、別にいいけど。まあ確かに、生贊要員にはいいけどさ。  
つうかやっと俺の番だよ。

「俺のターン！ドロー！」

「貴様のスタンバイフェイズ時、デッキから『ネクロソルジャー』  
を特殊召喚！更に、この効果で出てきた『ネクロソルジャー』も、  
効果を使用できるので、更に『ネクロソルジャー』を特殊召喚！」

少しばかりヤバいな。まあ、大して問題ではないが・・・。  
永理が何とかしてくれるだろ？

「『ダーク・フュージョン』発動！手札の『E・HEROバースト  
レディ』と『E・HEROフェザーマン』を融合！  
『E・HEROインフェルノ・ウイング』を融合召喚！モンスター  
を伏せ、カードを場に2枚伏せ、ターンエンド！」

くつくつく、影丸、貴様のデッキは攻略済みだ。問題は天界磁のみ！  
永理、貴様のおかげでな！  
いや、味方だからね一応。

「俺のターン！ドロー！（なるほど、そういう事か。・・・少し、  
十代を強化しそうたか？主に頭の方。）

3体のモンスターを生贊に神を見せてやる、3幻神を超える神を  
！降臨しな『邪神イレイザー』！』  
『俺の出番キター！』

ああ、雰囲気が一気に潰れた気がするが元から潰れてたから気にしないことにした。

つうかこれが初登場つてどうよ？

「これが神の力だ！ イレイザーよ、そこの邪魔な人形を潰しちまいな！ ダイジエスティブ・ブレス！」

『これが、出番の無いカードの力だあああああ！』

うつわあ、完膚なきまで粉碎しちゃってるよ。ネクロソルジャー可哀そう・・・。

うん、あの子はアニメオリジナルだから1回しか出でないんだよ。今回いっぱい出てるけど。

「カードを伏せ、ターンエンド！」

またカードを伏せた。まさかとは思つんだけど、デストラクション・ポーションとかじやないよな。

もしそれならイレイザー可哀そつだな、折角の出番なのに・・・。

「俺のターン！ ドロー！

『死天使の生贊』を生贊に『死天使クリスティアゼロ』を召喚！ 『死天使の生贊』は、死天使と名のついたモンスターを生贊召喚する場合、2体分として扱う！

バトル！ 『死天使クリスティアゼロ』で『E インフェルノ・ワイング』を攻撃！

『罠カード』『ダークヒーロー・ブラスト』を発動！ E HEROと名のついたモンスターが攻撃対象に選択された時、その攻撃モンスターを1体破壊し、そのモンスターの元々の攻撃力分のダメージを相手に与える！

クリスティアゼロの攻撃力は2700！その攻撃力を受けてもらおうか！」

まさかここで使う事になろうとは・・・早くも俺のアンチカードが出てきたからな、早々に潰さなければならぬ。  
さあ影丸、貴様の切り札を出すがいい！

「くつ、ターンエンド！」

「私のターン！ドロー！」

装備魔法『ストーンヘンジ』を発動！私の墓地の『ネクロソルジャー』を特殊召喚！  
そして場の3体の悪魔族モンスターを生贊に『幻魔皇ラビエル』を召喚！

大分とデッカイなおい！  
流石似非オベリスク、姿もパロだな。

「更に永続魔法『トライアングル・フォース』を発動！デッキから同名カードを場に出す事ができる！

そして3枚の永続魔法を生贊に『降雷皇ハモン』を召喚！

手札消費激しそぎだらあれ。

つうかあれ、ラーか？なんとなく分かるけど・・・。

「バトル！『降雷皇ハモン』で『E-HEROインフェルノ・ワイング』に攻撃！失楽の霹靂！」

「・・・幻魔は確かに強い。だが、こいつ等にも弱点は存在するのさ！永続罠『イービル・ブロック』！E-HEROと名のついたモンスターが攻撃対象に選択された時、デッキの上からカードを5枚墓地へ送り、攻撃を無効にする！」

幻魔は確かに強い。だが、全てのカードには弱点が存在する。

その一つがこれ、確かに神に罷は通用しないが、神ではなくブレイヤーの発言が起動となつて発動する罷には無力！

そして、この『デッキにはE HEROのサポートカードは大量に入っている。その中にダーク・フュージョンのサポートカードまであるだ。

つまり、この効果は俺にはメリットにしかならない。

「くつ、ターンエンドだ！」

「俺のターン！ドロー！」

墓地に存在するこのカード、闇の創造主。結構高かつたな・・・。しかも、手札に来たら思い切り事故るし・・・。

「墓地の『闇の創造主』を除外し、墓地の『ダーク・フュージョン』を手札に加える！

そして『ダーク・フュージョン』を発動！場のインフェルノ・ウイングと、手札の『E HEROアンデッド・カオス』を融合！『E HEROデビルズ・ガーディアン』を融合召喚！

これこそ、我が切り札！効果は忌わしき属性HEROのエスクリダオに似た効果だが、だがあ奴なぞこいつの足元にも及ばぬ！  
これこそ、最強のHERO！

「なつ、何故貴様がそのカードを・・・？」

「さあな、デビルズ・ガーディアンの効果は、墓地のE HEROと名のついたモンスターの数×600アップする。こいつの元々の攻撃力は2600、そして墓地に存在するモンスターの数は4、つまり攻撃力は1800アップし攻撃力は4400！

バトル！デビルズ・ガーディアンで、ハモンを攻撃、ヘルヴィシヤス・ブلاスト！』

闇の炎を纏い、ハモンをボツコボコにした。うん、ミクを思い出した俺は悪くない。

「ぐッ、なんだと……？何故、最強である幻魔が……幻魔がやられるわけが……」

「そして効果だ、戦闘で破壊したモンスターを除外し、そのモンスターの攻撃力の半分のダメージを与える！ハモンの攻撃力は4000、つまり2000のダメージだ！」

腕から黒い炎を吹き出し、影丸にダメージを与える。うん、これ完璧に悪役だよね……。

「カードを伏せ、ターンエンド！」

「俺のターン！ドロー！」

『農カード』『おジャマ・トリオ』を発動！貴様らの場に『おジャマ・トークン』を3体特殊召喚する！

そしてイレイザーの攻撃力アップ！そして『コストソルジャー』を召喚！『コストソルジャー』の効果！『テッキから魔法カード』『神秘の中華鍋』と『魔法石の採掘』そして『早すぎた埋葬』を墓地へ送り、場に『コスト・トークン』を3体特殊召喚！

更に『コスト・ソルジャー』の効果、このカードを生贊にし、ライフを1になるように払う事でもう一度だけ通常召喚できる！『コスト・トークン』3体を生贊に『邪神アバター』を召喚！

改めて見ると、少しは恐怖を感じるな……。

つか相手可哀そう。まあどうでもいいけど！

……ちょっと疑問に思つのが、幻魔が封印されていた場所になん

かこう、黒い渦が見えるんだけど……。

「影丸、貴様の役目は終わった。」

「・・・どういう事だ！」

「これで幻魔と邪神、そして『デュエルエナジー』、闇の凝縮、鍵は揃つた。闇の扉を開き、未来にて死せし奴らを復活させる計画……。貴様には話してなかつたな。」

え、どういう事だ……？

永理が、影丸と繋がっていた……？影丸が永理の手の上で踊らされていたと……？

「魔法カード『DTウイルス』を発動！ライフを半分払い、『デッキからDTと名のついたモンスター』『DT デス・サブマリン』を特殊召喚！

そしてデッキからカードを5枚、墓地へ送る！そして墓地の『邪神寄生虫』の効果！場に邪神と名のついたモンスターが存在しこの力ードが墓地に存在する場合、墓地のこのカードをゲームから除外し、デッキから同名モンスターを特殊召喚！」

まさか、やるのかアレを……？

しかし、一体何の事なんだ？未来で死んだ？闇の扉？

「レベル・3の『邪神寄生虫』にレベル9の『デス・サブマリンをダーケチューニング！

闇と闇交わりし時、邪惡なる扉は開かれ、希望の扉は閉じられる……・破滅のみの世界へ！ダークシンクロ！我が敵を闇へと誘え！『冥府の番人』『ヴァirus・ヘルヴェート』！」

これが、永理の本当の切り札……？

初めて見たが、どこかで見た事がある様な・・・。闇、破滅、絶望、孤独、まるでそれらが一つの個体としてあるような、俺はそれを感じた事がある？いや、そんな記憶は無いはずだ。  
まで、本当に記憶に無いのか・・・？

「こいつの攻撃力は5000、そして効果は、貴様等のモンスターの攻撃力を半分にし、その分アップさせる！吸い取れ！バトル！ヴィルズ・ヘルヴェートで天界磁の『おジャマ・トークン』を攻撃！地獄への誘い！」

ヘルヴェートの背中に存在する真っ黒な翼、それを羽ばたかせおジヤマ・トークンを破壊する。

その時出てた殺気はなんだつたんだ・・・？

「ヴィルズ・ヘルヴェートは攻撃に成功した時、デッキからカードを5枚墓地へ送り、その中に存在する悪魔族モンスターの数×400のダメージを与える！

墓地へ送られた悪魔族モンスターは4！1600のダメージを受けでもらう！」

「ぐ、うわああああああああ！！」

「次、アバターで影丸のラビエルを攻撃！地獄蹂躪拳！」

「が、ああああああああ！！」

影丸を倒したが、なんかなあ・・・。  
いやね、なんか満足しないんだよ。何故だろ？？

「はあ、流石にやり過ぎたな。このカードは封印しておいた方がいいな。さて・・・ディヴィアイン、あれをやれ。  
「え・・・うん。」

あ、影丸逃げた。しつかし、こいつがうするか。  
で、なんでデイヴィアインさんが？

「【冥府の番人に食われし魂よ、石版に封じられし魂を生贊に降臨せよ！】」

「来い、ヴィルズ・ヘルヴェート！」

永理の声がなんかおかしいような・・・『氣のせい』か？  
つかあれ、あの魂みたいなの何？まさか本当に魂じゃないよな。

「【冥府より蘇生せよ、ダークシングナー！】」

「ぐ、不味い・・・みんな離れるんだ！」

え、デイヴィアインさん何を・・・。

俺がそう思った瞬間、永理とデイヴィアインさんが闇の光に包まれた・  
・。

「・・・成功した・・・か・・・？デイヴィアイン、大丈夫か？」

「あ、ああ。何とかな・・・。」

「これでサー・キットの完成がまた・・・遠のいていく・・・。」

「キーッシッシッ、まあ普段から永理の世話になつてるんだし、そ  
の位いいんじゃない？」

光が消え砂埃が晴れると、知らない人たちが倒れていた・・・。  
なんか、腕に変な痣があるような・・・。

「ここは、何処だ？」

「知らねえよ！おいルドガー、ここ何処だおい。」

「・・・すまん、先日飲み過ぎて頭が痛いんだ。・・・アテムさん  
どこ行つたんだろ。折角酒持つてきたのに。」

「大丈夫ですか？・・・まあ、私のカードの扱いに比べたら、まだましな方だがな・・・。」

「・・・なんかすいません、私みたいな補欠同然な私の地縛神の方が使えてすいません。」

「大丈夫です、私が神ですから！」

女性が一人、野郎が5人か・・・。

ああ、あれが増えるのか。なんか嫌だな・・・。

「さて、貴様らを復活させたのは俺だ。まあとりあえず腹減つたら廃寮の方へ行つてくれ。と、言うわけでディヴィアイン、よろしく）。（カードが消えたか、少しばかり無茶しすぎたか？）」  
「はいはい。全く、人使いが荒い人だな・・・。」

ディヴィアインさん大変そうだな。さて、俺もそろそろ寝床で寝るか！疲れたし。

その後、アイツ等がアカデミアに来ることになり、驚いたのはまた別の話である。



視点・炎祭

ついに復活したか、ダークシグナー。

これでシグナーが現世へと現れ、シグナーの龍も復活する。

そして、シグナーはダークシグナーを倒すべくデュエルアカデミアへ来るはずだ。その時に奪えば冥界の王と契約を結び、不死の命を手に入れる事ができるはず。

さて、まずはそのダークシグナーと会わなければならぬ。何処に居るのかは分からんが、まあ適当に歩きや見つかるだらう。

やつぱ明田念おう、何故こんな時に補習を受けなきやならないんだ

よ・・・。○・

ああ、やつぱ今日の運勢最悪だつたしなあ・・・はあ・・・。

タッグデュエルでのレイザーはガチカード。（後書き）

ふつ、やつぱり小学生は最高だぜ！（ただし、一次元に限る。）

永理一 黙れ！」

永理一たく、だから貴様は・・・。

まあそんなことは置いて、オリカ紹介！・・・腕めっちゃ痛い。

死天使の生贋

鳳鳴生

文選力 1700

守備力：1200

天使族：效果

このカードは悪魔族としても扱う。

このカードは死天使と名のついたモンスターの

「お口を閉じて、外の方に向って空氣を吐く事がない」と

このガードを悪魔族としても掘り天使族モンスターを生け贋召喚する場合、このモンスター1体で2体分の生け贋とする事ができる。

『ダークヒーロー・ブラスト』

通常罷

E HEROと名のついたモンスターが攻撃対象に選択された時に発動できる。

相手モンスター1体の攻撃を破壊し、そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手ライフに与える。

セットされたこのカードが破壊され墓地へ送られた時、このカードを破壊したプレイヤーのデッキトップを墓地へ送る。そのカードがモンスターカードだつた場合、そのプレイヤーにそのモンスターの攻撃力分のダメージを与える。

#### 『闇の創造主』

レベル7

闇属性

攻撃力：1400

守備力：3000

悪魔族：効果

自分の墓地に存在するこのカードをゲームから除外して発動する。  
墓地のダーク・フュージョンを手札に加える事ができる。

この効果を発動するターン、自分はこのカードの効果以外の墓地を対象にする効果を発動する事ができない。

#### 『E HEROアンデッド・カオス』

レベル5

闇属性

攻撃力：2400

守備力：1300

アンデット族：効果

墓地に存在するこのカードをゲームから除外して発動する。

自分のデッキからE HEROアンデッド・カオスを特殊召喚する。この効果で特殊召喚したモンスターは、シンクロ素材にすることができる。

『E HEROインフェルノ・ウイニング』 + 『E HEROアンデ

レベル8

闇属性

攻撃力：2600

守備力：1800

悪魔族：融合

『E HEROインフェルノ・ウイニング』 + 『E HEROアンデ  
ツド・カオス』

このモンスターはダーク・フュージョンによる融合召喚でしか特殊  
召喚できない。このカードの攻撃力は、自分の墓地に存在するE  
HEROと名のついたカード1枚につき300ポイントアップする。  
このカードが戦闘によってモンスターを破壊し墓地へ送った時、破  
壊したモンスターの攻撃力分の半分のダメージを相手ライフに与え  
る。

『コストソルジャー』

レベル3

地属性

攻撃力：0

守備力：0

戦士族：効果

1ターンに一度、デッキから魔法カードを任意の枚数墓地へ送る事  
で、自分の場にコスト・トークンを墓地へ送った魔法カードの数分  
だけ特殊召喚する。

このカードの召喚ターン、このカードを生贊にし、ライフを1に払  
うことでもう一度だけ召喚できる。この効果は、1ターンに一度し  
か使用できない。

『冥府の番人ヴィルス・ヘルヴェート』

レベル12

攻擊力：5000

守備力：0

# 幻獸神族：ダークシンクロ

チユーナー以外のモンスター1体 - ダークチユーナー

このカードを特殊召喚する為には、自分フィールド上に存在する  
「ダークチューナー」2名の「ミラーコード」一つを手札に持つ。

「DT」と名の「したチニーナー」のレバを  
それ以外の自分フィールド上に存在するモン

卷之三

その数字がこのカードのレベルと等しくならなければならぬ。

このカードのターゲティング召喚成功時、相手モンスターの攻撃力を半分にし、その攻撃力分アップさせる。このカードが戦闘によって相手モンスターを破壊した時、自分のデッキの上からカードを5枚墓地へ送る事ができる。この効果で墓地へ送った悪魔族族モンスター1体につき400ポイントダメージを相手ライフに与える。

永理「ナハハじやねえ！」

まいりではないか！さて、次回予告よろしく！

永理「はあ、まあよからう。

リアスティル組とクリスマスを過ごすことになったダークシグナーと俺たち、そしてリア充撲滅&サー・キット完成を目指すパラドックス、プラシドも何故か乗り気だが、途中でいちご100%を買いに行くことになった。プラシドが作ってきたDホイールとは何か、新たなるデュエルの可能性、スピードデュエルとは?

次回外編、クリスマスは異性と一緒にいる奴を狩る日。お楽しみに

!

そして、プロフィールが見たい、部屋の構造が見たい、何処が違うかわからないって人は感想欄にそう書いといて、5人以上で書くと思う・・・あくまでも思うだけでその日のやる気とかによる。

あとオリキャラも募集中。感想欄に見た目、性格、使用デッキ、性別などを書いてくれ。ただ、俺の文才や気分でキャラが崩壊したりするぜ。

あと、使用デッキも出来れば書いてくれ。ただ、性格などと同じように戻りなどがあつたりするかもしれないからな。で、もしデッキや性格、見た目などは書いてなかつた場合、作者が勝手に決めたりする。ただ、書いてたとしても戻りとかもあり得るぜ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0547v/>

なにかが違うGXと3邪神

2011年12月21日16時45分発行